SONY

操作編

デジタルハイビジョンチューナー内蔵ハードディスク搭載

取扱説明書［操作編］

BDZ-A950/BDZ-A750

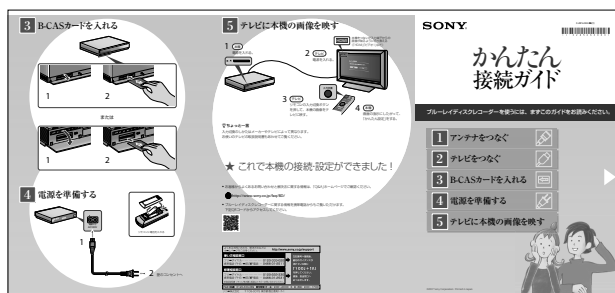
お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「取扱説明書［準備編］」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

別冊取扱説明書／各種ガイドのご案内

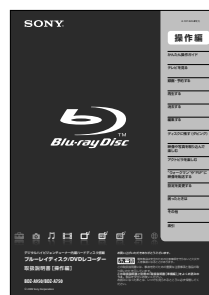
紙のマニュアル

かんたん接続ガイド

接続・設定など、本機を利用するために必要な準備の説明をしています。

取扱説明書［準備編］

本機をお使いになる前に、［準備編］を必ずお読みください。

本機とアンテナ、テレビの基本的な接続方法をイラストでわかりやすく説明しています。

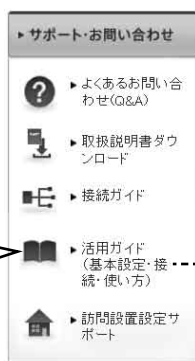
取扱説明書［操作編］

本機のさまざまな機能や操作方法を説明しています。

インターネットのガイド

ブルーレイディスクレコーダー活用ガイド

基本の操作から、ぜひ使ってほしい機能まで、目的にあわせてご紹介します。

URL

http://sony.jp/bd/

ファーストステップガイド

はじめて本機を利用されるお客様のために、「接続ガイド」や「基本操作ガイド」、Q&Aなどの情報を掲載しています。

URL

http://sony.jp/bd/support/guide/

目次

かんたん操作ガイド

「接続・設定ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

テレビを見る

録画・予約する

次のページにつづく⇨

再生する

消去する

編集する

次のページにつづく⇨

ディスクに残す（ダビング）

映像や写真を取り込んで楽しむ

アクトビラを楽しむ

“ウォークマン”や“PSP”に映像を転送する

おでかけ転送

設定を変更する

次のページにつづく⇨

困ったときは

その他

「Q&A」ホームページ
http://www.sony.co.jp/faq/BD/

索引

ホームメニュー“XMB”(クロスメディアバー)一覧

「ホームメニュー」から操作をはじめましょう
リモコンのホームを押すと、画面に“XMB”(クロスメディアバー)と呼ばれるホームメニューが表示されます。この画面から各種操作・設定画面に移動できます。

設定(190ページ)

- お問い合わせ(191ページ)
- お知らせ(191ページ)
- 放送受信設定(192ページ)
- ビデオ設定(197ページ)
- 映像設定(199ページ)
- 音声設定(201ページ)
- フォト設定(202ページ)
- 本体設定(203ページ)
- BD/DVD視聴設定(204ページ)
- 年齢制限設定(205ページ)
- 通信設定(206ページ)
- かんたん設定(211ページ)
- 設定初期化(211ページ)

フォト(98ページ)

- フォト切出し(154ページ)
- ディスク書出し(155ページ)
- x-Pict Story HD 作成(160ページ)
- BD-RE/BD-R/データDVD/データCD(98ページ)
- デジタルカメラ(98ページ)
- PSP(98ページ)
- USB機器(98ページ)
- x-Pict Story HD(160ページ)
- x-ScrapBook(157ページ)
- サンプルアルバム(99ページ)
- アルバム(99ページ)

ミュージック(97ページ)

- 音楽CD(97ページ)

ビデオ(84ページ)

- BD-ROMデータ(86ページ)
- おでかけ・おかえり転送(175ページ)
- ビデオカメラダビング(148ページ)
- ディスクダビング(133ページ)
- x-おまかせ・まる録(57ページ)
- 録画予約(42、66ページ)
- 予約確認(60、72ページ)
- BD/DVD(84ページ)
- 録画した映像(タイトル)(84ページ)
- または
- (グループ)(94ページ)ジャンル(61ページ)
- 予約(42ページ)
- おまかせ・まる録(57ページ)
- マーク(116ページ)
- プレイリスト(114ページ)
- ダウンロード(169ページ)
- レンタル(169ページ)
- x-Pict Story(160ページ)
- ビデオカメラ映像(148ページ)

地上アナログ(29ページ)

- 番組検索(61ページ)
- 地上アナログ番組表(Gガイド)(46ページ)
- 地上アナログch(29ページ)

番組検索（61ページ）
番組表／x-みどころマガジン（45、52ページ）
番組検索（61ページ）
番組表／x-みどころマガジン（45、52ページ）
番組検索（61ページ）
番組表／x-みどころマガジン（45、52ページ）
ダウンロード管理（170ページ）
地上デジタル（29ページ）
BS（29ページ）
CS（29ページ）
外部入力（67ページ）
ネットワーク（165ページ）
地上デジタルテレビch（29ページ）
地上デジタルデータch（31ページ）
BSテレビch（29ページ）
BSラジオch（31ページ）
BSデータch（31ページ）
CSテレビch（29ページ）
CSラジオch（31ページ）
CSデータch（31ページ）
入力（映像またはS映像）（69ページ）
HDV（69、149ページ）
DV（69、149ページ）
アクトビラ（166ページ）

本書の読みかた

- 取扱説明書（本書）では、BDZ-A950とBDZ-A750の2機種について説明しています。
- 本書ではブルーレイディスクを「BD」、本機内蔵のハードディスクを「HDD」と記載しています。
- 本書で使われているイラストは、BDZ-A950のものです。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などと関係ありません。
- 下線の項目はお買い上げ時の設定です。
- 本書中の[　]内の項目は画面上に表示される項目です。
- 「用語集」（246ページ）や「アイコン別索引」（252ページ）もご覧ください。
- 本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれる「ソフトウェア等に関する重要なお知らせ」（準備編）をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。
- 放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容は、変更・中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。

本書での放送の表記について

放送の種類	本書内のマーク
地上デジタル放送 2003年12月、関東・近畿・中京の3大広域圏で、地上波のUHF帯を使用して開始されたNHKや民放各局のデジタルテレビ放送です。	地上デジタル
BSデジタル放送 2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。	BS
110度CSデジタル放送 2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。 取扱説明書では、「110度CS」と省略している場合もあります。	CS
地上アナログ放送 従来のNHKや民放各局のテレビ放送（VHF/UHF）です。地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。 地上アナログ放送は、2011年7月24日までに終了する予定です。	地上アナログ

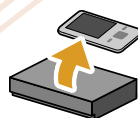
本書で使用するディスクマークについて

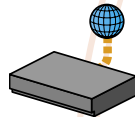
本機で使えるディスクについて詳しくは、「本機で録画・再生できるディスク」（235ページ）をご覧ください。

ディスクの種類	本書内のマーク
HDD（本機内蔵ハードディスク）	HDD
BD-ROM	BD
BD-RE/BD-RE DL（2層）	BD-RE
BD-R/BD-R DL（2層）	BD-R
DVDビデオ（DVD-ROM）	DVD
DVD+RW	+RW
DVD-RW （VRモード／ビデオモード）	-RWVR -RWVideo
DVD+R/DVD+R DL（2層）	+R
DVD-R/DVD-R DL（2層） （VRモード／ビデオモード）	-RVR -RVideo
DVD-RAM	RAM
データDVD	DATA DVD
音楽CD	CD
データCD	DATA CD
AVCHD方式の映像が含まれているディスク	AVCHD

かんたん操作ガイド

こんなことができます

A 多彩な機能を楽しむ

外出先でも録画した番組を見ることができます

- おでかけ転送をする　➜180ページ
- ワンタッチでおでかけ転送をする　➜184ページ

インターネットを利用して、家に居ながら映像をレンタルしたり購入できます

- 映像や情報サービスを楽しむ　➜166ページ
- 映像をダウンロードして楽しむ　➜169ページ

ビデオカメラやデジタルスチルカメラから、映像や写真を取り込んで楽しめます

- 映像や写真を取り込む　➜148ページ
- フルハイビジョンフォト再生　➜98ページ
- x-Pict Story HD　➜160ページ
- x-ScrapBook　➜157ページ
- ブラビアプレミアムフォト　➜99ページ

ハイビジョンで かんたんに録画できます

- 『番組表』ボタンから録画予約する ➜42ページ
- 『予約する』ボタンから録画予約する ➜42ページ
- 今見ている番組を録画予約する ➜40ページ

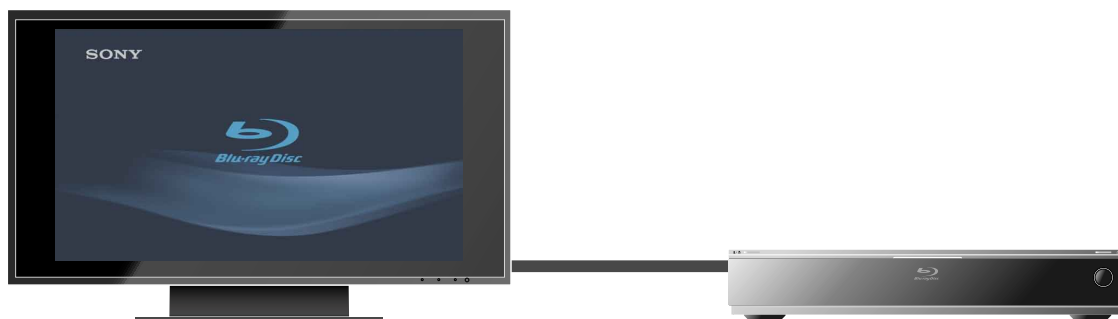
録画した番組や、ブルーレイソフトを楽しめます

- 『見る』ボタンからタイトルを再生する ➜84ページ
- 追いかけ再生する ➜89ページ
- ダイジェスト再生する ➜92ページ
- ブルーレイソフトを再生する ➜84ページ

録画した番組を高画質のまま ディスクに残せます

- タイトルをBDに高速ダビングする ➜138ページ
- 連続ドラマを一括ダビングする ➜135ページ

基本の操作

本機の画面を出す

実際に表示される画面と異なる場合があります。

テレビのリモコン

本機のリモコン

1 テレビの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 テレビの入力を本機をつないだ入力に切り換える。

電源を入れても本機の画像がうまく表示されないときは、以下を行ってください。

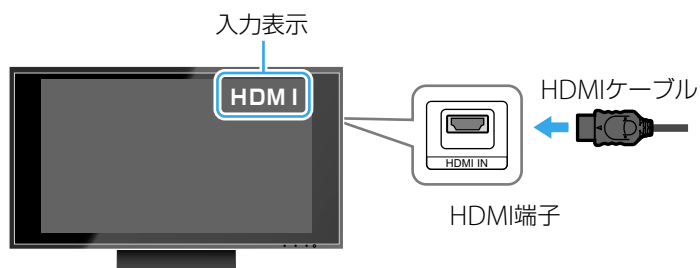
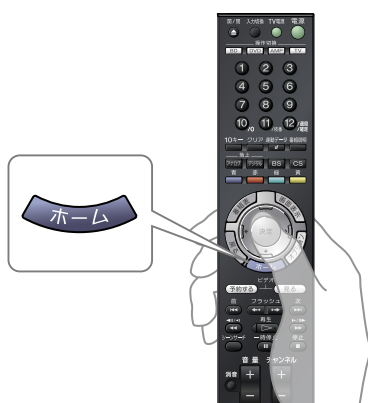
■ 再度「入力切換」ボタンを押す。

つないでいる端子の名称と画面の入力が合っていることを確認してください。
テレビの入力切換が正しくない場合、手順3の後ブルーレイディスクのロゴが表示されません。

■ HDMIケーブルを抜き差しする。

ケーブルが正しく接続されていない場合、画像がうまく表示されない場合があります。

ホームメニューを表示する

ビデオ
NEW 男と女の恋愛劇場
3/ 6(月) 8:00PM(2H15M) U B T

本機のホームメニュー画面であることを表します。

横軸
テレビや、映像、音楽などのカテゴリーが並んでいます。

縦軸
各カテゴリーで利用できる機能やコンテンツ(映像や写真、音楽)が並んでいます。

本機のリモコン

を押して、ホームメニューを表示する。

各カテゴリーの説明

設定
本機の設定ができます。

地上アナログ
アナログ放送を見られます。

外部入力
つないだ機器の映像を見られます。

フォト
取り込んだ写真が見られます。

地上デジタル
デジタル放送を見られます。

ネットワーク
アクトビラを楽しめます。

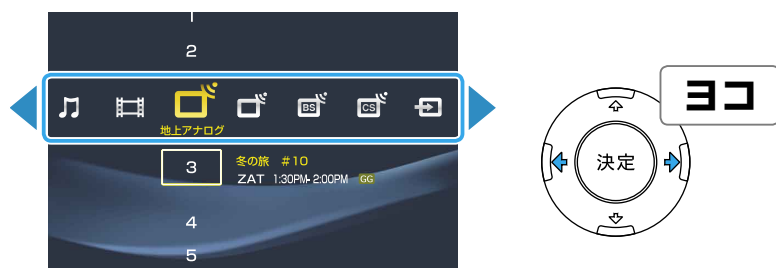
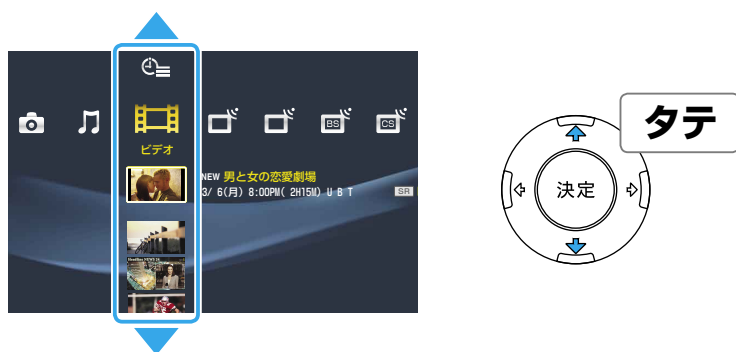
ミュージック
本機に挿入した音楽CDを聴けます。

BS
BSデジタル放送を見られます。

ビデオ
録画した番組を再生できます。

CS
110度CSデジタル放送を見られます。

ホームメニューを操作する

1 ←→で操作したいカテゴリーを選ぶ。

2 ↑↓で操作したい機能やコンテンツを選ぶ。

3 決定 を押す。

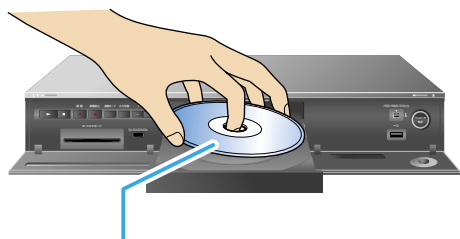
 を押すと 1つ前の画面に戻ります。

 を押すと そのときに使える機能一覧が表示されます。
項目が表示されたら、↑↓で選び、決定 で実行します。

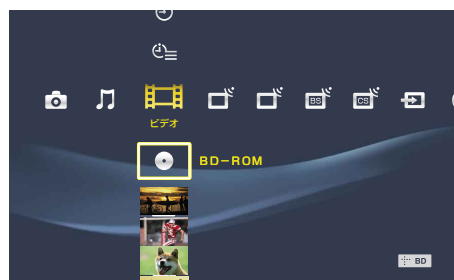
ディスクを入れる

1 リモコンの 開/閉 ⏏ (開/閉)を押す。

ディスクトレイが開きます。

2 ディスクを入れる。

ラベル面を上にしてください。
両面ディスクの場合、記録または再生したい側を下にしてください。両面にまたがって記録または再生することはできません。

3 リモコンの 開/閉 ⏏ (開/閉)を押す。

ディスクトレイが閉まります。
前面パネルは手動で閉めてください。
本機の表示窓に「LOAD」と表示され、ディスクを認識するまでしばらくかかりますので、お待ちください。
本機がディスクを認識すると、ホームメニュー上の 🎞 の列に挿入したディスクのアイコンが表示されます。

ディスクを取り出すには

あらかじめディスクの操作を終了しておいてください。

1 リモコンの 開/閉 ⏏ (開/閉)を押す。

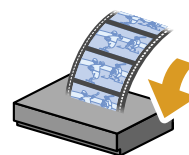
ディスクトレイが開きます。

2 ディスクを取り出す。

ディスクトレイからディスクを取り出してください。

3 リモコンの 開/閉 ⏏ (開/閉)を押す。

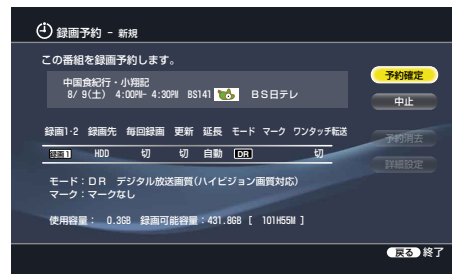
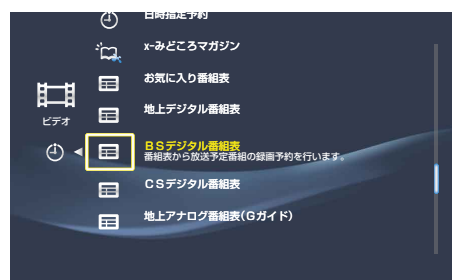
ディスクトレイが閉まります。

録る

番組表を使って、録画予約をする

1 予約する を押す。

2 ↑↓で番組表を選び、決定 を押す。

3 ↑↓←→で番組を選び、決定 を押す。

4 ↓で[予約確定]を選び、決定 を押す。

以上で予約が完了です。
予約を確認したり変更したりするには72ページをご覧ください。

さらに詳しい操作は、42ページをご覧ください。

見る

録画した番組を見る

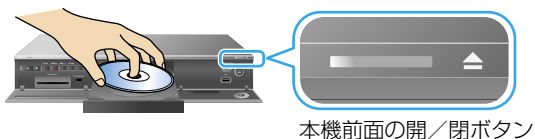
1 見る を押す。

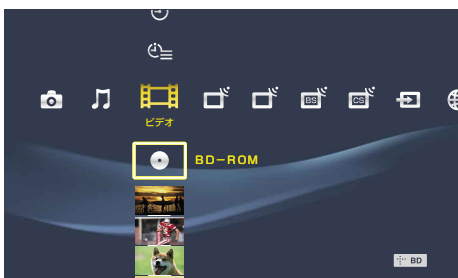
2 ↑↓で番組（タイトル）を選び、決定 を押す。

再生が始まります。

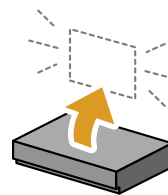
さらに詳しい操作は、84ページをご覧ください。

ブルーレイソフトを再生する

1 開/閉（開/閉）を押して、BD-ROMを入れる。

本機前面の開／閉ボタン

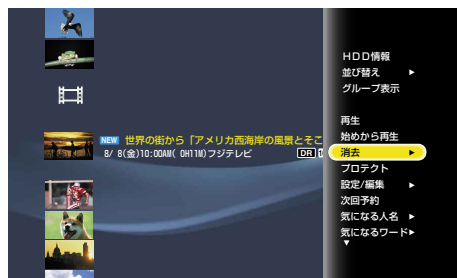
2 ↑↓で ● を選び 決定 を押す。

再生が始まります。

さらに詳しい操作は、84ページをご覧ください。

消す

録画した番組を消去する

1 見る を押す。

2 ↑↓で消去したい番組（タイトル）を選ぶ。

3 オプション を押す。

4 ↑↓で［消去］を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で［1タイトル消去］を選び、決定 を押す。

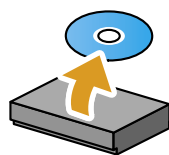
6 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。

録画した番組が消去されます。

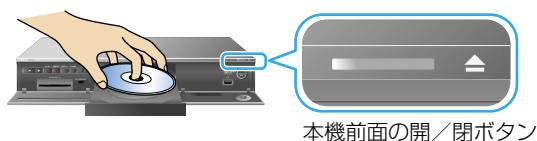
さらに詳しい操作は、108ページをご覧ください。

基本の操作(つづき)

かんたん操作ガイド

残す

録画した番組をダビングする

1 開/閉 を押して、BD-REまたはBD-Rを入れる。

本機前面の開／閉ボタン

2 ホーム を押す。

3 ←→で (ビデオ)を選んでから↑↓で (ディスクダビング)を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で (HDD→BD/DVDダビング)を選び、決定 を押す。

5 ↑↓でダビングしたい映像を選び、決定 を押す。

一度に複数の映像をダビングしたいときは、手順5をくり返し行い、ダビングしたい映像を全て選んでください。

番組を選ぶと、画像(サムネイル)の左側に番号がつきます。複数の映像を選んでダビングした場合、映像の再生はこの番号順になります。

6 ↑↓←→で[実行]を選び、決定 を押す。

ダビングが始まります。

さらに詳しい操作は、133ページをご覧ください。

さらに楽しい使いかた

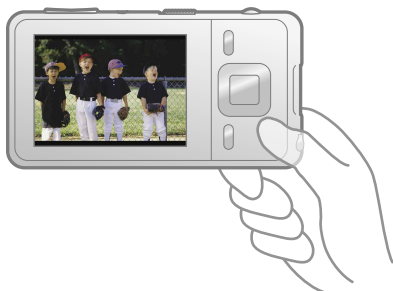
いつでもどこでも見ることができます

おでかけ転送

ハードディスクに録画した番組や、ビデオカメラやデジタルスチルカメラから本機に取り込んだ映像、x-Pict Story HDで作成したビデオ映像を"ウォークマン"や"PSP"などに転送して外に持ち出せます。本機で録画したニュースや語学番組などを、いつでもどこでも見ることができます。

詳しくは175ページ

いろいろな機器で持ち出せます

"ウォークマン"や"PSP"、携帯電話など、様々な機器で持ち出せます。

高速で転送できます

[おでかけ転送 高速転送録画]の設定を[入]にしておけば、録画した映像を短時間で転送できます。

テレビの新しいネットサービスを楽しみたい！

アクトビラ

本機をインターネットのブロードバンド回線につなげば、映画／音楽／アニメなど幅広いジャンルの映像や、普段の生活に役立つさまざまな情報を好きな時に楽しめます。ご利用にあたって入会手続きなどは必要ありません。*
本機をインターネットにつなげば、その日からすぐに楽しめます。

* 会員登録することでさらに便利になるサービスもあります。
一部有料のサービスもあります。

詳しくは165ページ

家に居ながら映像をオンデマンドで楽しめます

知りたい情報を見られる「アクトビラ ベーシック」に加え、映像を楽しめる「アクトビラ ビデオ」のサービスを利用できます。
「アクトビラ ビデオ・フル」を利用すると、大画面で迫力ある高画質な映像を楽しめます。

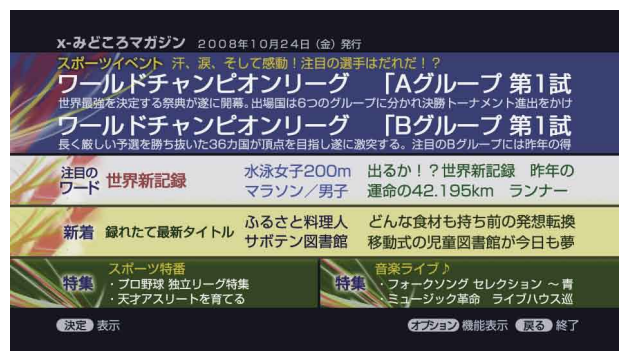
映像のダウンロードや、ディスクの作成、転送機器への持ち出しができます

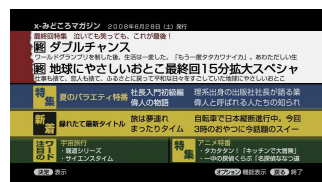
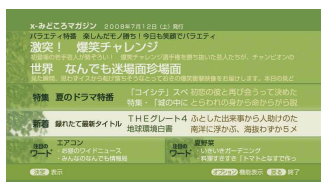
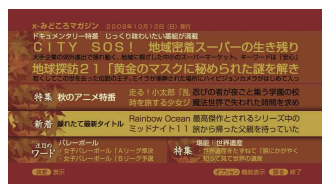
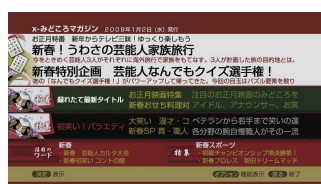
ダウンロードサービスでは、「アクトビラ ビデオ・ダウンロードレンタル」に加え、映像を購入する「アクトビラ ビデオ・ダウンロードセル」が利用できます。
「アクトビラ ビデオ・ダウンロードセル」では、作品によってはディスクにダビングしたり、“ウォークマン”や“PSP”などに転送して楽しんでいただけます。

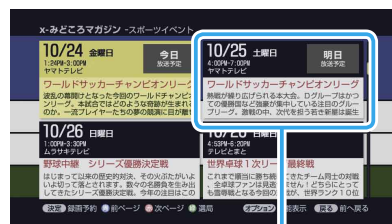
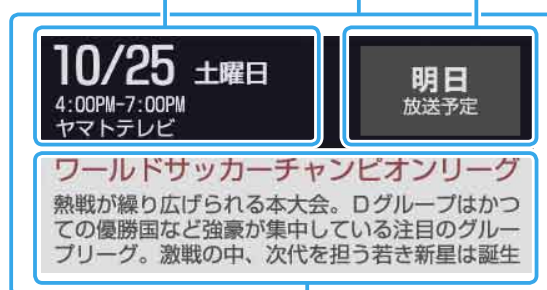
いま旬の番組を逃さずチェックしたい！

x-みどころマガジン

いま面白いと思われるテーマや、注目のキーワードに関連したみどころの番組を一覧で表示し、予約や再生ができます。季節や番組のテーマに合わせて毎日画面が変化する、楽しい機能です。

詳しくは52ページ

季節やテーマに合わせて、毎日画面が変化します

あらかじめ設定したテーマに沿って、みどころの番組を本機が選び出します。季節や番組のテーマに合わせた画面で表示されます。

気になる番組を録画したり、再生したりできます

みどころ番組の放送日時や詳細情報など、番組情報が表示されます。気になる番組を選ぶだけで、かんたんに、録画予約や再生ができます。

いろんな番組をみたい！

x-おまかせ・まる録

膨大な番組の中に埋もれて気づかなかった番組も、x-おまかせ・まる録を使えば、自分好みの番組を本機が自動的に探して録画してくれます。

詳しくは57ページ

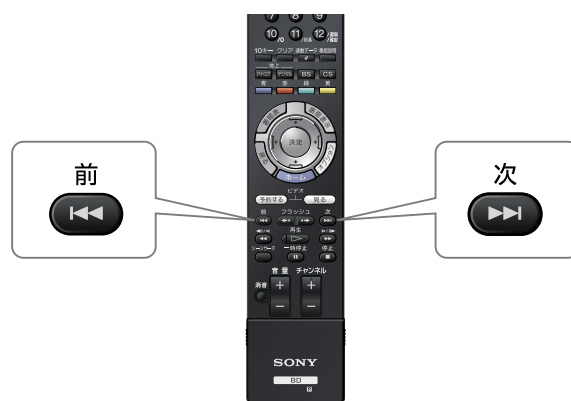
見たいシーンへ、すばやくジャンプ！

おまかせチャプター

再生中や編集中にリモコンの 次 や 前 を押すだけで、見たいシーンを簡単・快適に呼び出せます。録画した番組の中から「音が切り換わるシーン」や、場面が大きく変化する「映像の切り換わりシーン」を自動的に検出し、これらを「見たいシーン」としてチャプターにします。

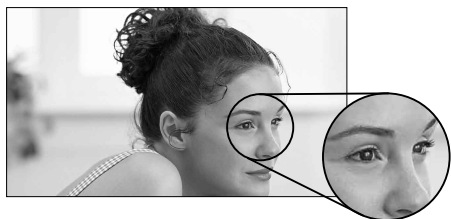
詳しくは197ページ

チャプター作成

チャプター作成

テレビを見る

「テレビを見る」でできること

デジタル放送

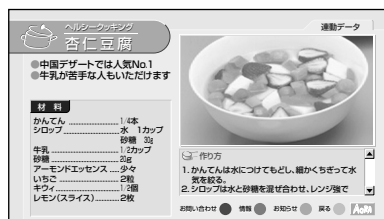
29ページ

デジタル放送の高画質・高音質で多彩な番組をご覧いただけます。デジタルハイビジョン放送やサラウンド音声のある番組では、臨場感あふれる映像・音声をお楽しみいただけます。
本機では、番組表や検索機能を使って、デジタル放送のたくさんのチャンネルの中から簡単にお好みの番組が選べ、番組説明で各番組の詳しい情報も見ることができます。

ラジオ放送

31ページ

衛星放送のラジオ放送が楽しめます。
本機では、通常のステレオ音声の番組でも、サラウンド機能を使って、クリアで臨場感と迫力のある音声に再現してお聞きになれます。また消画機能を使って、映像を消して音声のみを楽しむこともできます。

データ放送

31ページ

デジタル放送のデータ放送をご覧いただけます。
テレビ番組を見るだけでなく、簡単なリモコン操作でクイズやアンケートに参加して双方向で楽しめます。また、テレビ番組に連動したデータ放送（連動データ放送）では番組に関連した情報や地域の情報などもご覧いただけます。他に、データ放送のみを専門にしている独立データ放送があります。

字幕放送

30ページ

映画やニュースなど、デジタル放送の番組を字幕付きで楽しめます。

テレビ番組を見る

地上アナログ 地上デジタル BS CS

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。
電源の入れかたについて詳しくは「基本の操作」(16ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を入れる。

3 テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。
テレビの入力切り換えについて詳しくは「基本の操作」(16ページ)をご覧ください。

4 ホーム を押す。

5 ←→で見たい放送の種類を選ぶ。

6 ↑↓で見たいチャンネルを選び、決定 を押す。

リモコンの数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを使って選局するには

1 アナログ、デジタル、BS または CS で放送の種類を選ぶ。

2 数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

チャンネルを順送りで切り換える。

10キー選局するには

10キー (10キーボタン)を押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、最後に12ボタンを押します。

例：011CH（デジタル放送)の場合
10キー → 10/0 → 1 → 1 → 12/選局/確定

例：37CH（アナログ放送)の場合
10キー → 3 → 7 → 12/選局/確定

枝番が付いているチャンネルを10キー選局するには

お住まいの地域で枝番の放送があるときは、本機のホームメニューの (地上デジタル)の列に表示されます。

例：011_2CHの場合
10キー → 10/0 → 1 → 1 → 11/枝番 → 2 → 12/選局/確定

テレビ番組を視聴中に、オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「テレビを見る」で利用できるオプション」(33ページ)をご覧ください。

枝番とは
お住まいの地域によっては、他地域の電波も受信できる場合があります。このような場合、チャンネル番号が重複してしまう可能性があるため、4桁目の番号を加えて放送局を区別する処理を行います。この4桁目の番号を枝番と呼びます。リモコンなどで枝番を選局するときは、4桁の番号すべてを入力してください。

ご注意
- はじめて選局するときは、あらかじめチャンネルスキャンを行い、チャンネルを自動設定しておいてください(192、195ページ)。
- 本機の映像が正しい比率でテレビに表示されないときは、「テレビに表示される画面の横縦比について」(232ページ)をご覧になり、本機のテレビタイプやテレビのワイドモードの設定を確認してください。
- ワンセグ放送は本機で受信できません。
- 「録画1」で録画中のときは、録画中のチャンネルのみ見ることができます。

次のページにつづく⇨

映像や音声、字幕を切り換える

地上アナログ 地上デジタル BS CS

リモコンのふたの中の 映像切換（映像切換）や 音声切換（音声切換）、字幕（字幕）を押す。

番組によっては押すたびに映像信号や音声信号、字幕放送の字幕言語が切り換わります。

切り換えた信号や字幕表示の内容が画面に表示されます。

地上アナログ放送は「音声切換」にのみ対応しています。

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

例：第1音声を選んでいるとき

音声信号

視聴年齢制限を解除する

BS CS

の［年齢制限設定］から［暗証番号設定］で視聴年齢制限付き番組を見るための暗証番号を設定した場合（205ページ）、その設定に該当する番組を見たり、録画したりするには、暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。

1 **「テレビ番組を見る」（29ページ）の手順に従って、有料番組を選局する。**

2 **視聴年齢制限番組画面が表示されたら、［暗証入力手続き］を選び、決定 を押す。**

3 **暗証番号入力画面が表示されたら、1～10 を押して、4桁の暗証番号を入力する。**
1～10 を使って入力すると、画面上に ＊ が表示され、カーソルが右に移動します。次の番号を入力します。
番号を間違えたときは、←で入力した数字を消去できます。

4 **↑↓←→で［確定］を選び、決定 を押す。**
暗証番号を確認するメッセージが表示されます。

5 **番組を視聴したり、録画や録画予約をする。**

字幕放送とは
デジタル放送の映画やドラマの字幕のことです。

ご注意

BS/110度CSデジタル放送の視聴年齢制限を解除するには

- ↑↓←→で数字を入力した後に 1～10 を使うと、↑↓←→を使って入力した数字は 1～10 で入力した数字に変わります。
- 暗証番号の設定のしかたについて詳しくは、205ページをご覧ください。
- 暗証番号を忘れたときは、設定初期化でお買い上げ時の状態に戻してから設定し直してください（211ページ）。

ラジオ／データ放送を楽しむ

地上デジタル BS CS

画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質で楽しめます（BSデジタル放送／110度CSデジタル放送のみ）。
データ放送では、様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しめます。
なお、ラジオ放送／データ放送は録画できません。

1 ホーム を押す。

2 ←→で見たい放送の種類を選ぶ。

3 ↑↓で視聴したいラジオまたは独立データのチャンネルを選び、決定 を押す。

番組表から選局する

1 番組表 を押す。

2 デジタル、BS または CS を押す。

3 オプション を押す。

4 ↑↓で［サービス切換］を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で［ラジオ］または［データ］を選び、決定 を押す。

6 ↑↓←→で視聴したいラジオまたは独立データのチャンネルを選び、オプション を押す。
緑（緑）を押しても選局できます。

7 ↑↓で［選局］を選び、決定 を押す。

連動データを見る

デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動して見ることができる放送サービスです。なお、連動データは録画できません。

番組視聴中に 連動データ d を押す。
連動データ放送が表示されます。（視聴中の番組に連動データ放送がない場合は何も表示されません。）

文字スーパーを表示する

デジタル放送では、地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報（文字スーパー）を見ることができます。
文字スーパーを見たいときは、 の「放送受信設定」から「文字スーパー表示」を設定してください（194ページ）。

テレビを見る

ちょっと一言

- デジタル放送のデータ番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（通信表示が点灯）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。
- 電話回線やネットワークを使用するデータ放送をご覧になる場合は、あらかじめ電話回線やネットワークの接続の設定を行ってください（「準備編」の「電話回線／ネットワークにつなぐ」）。

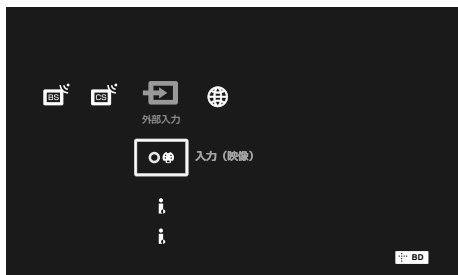
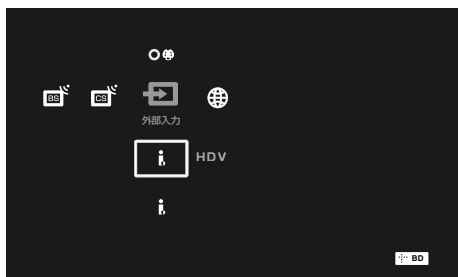
ご注意

ラジオ放送やデータ放送の番組表をはじめて利用するときは番組表に何も表示されません。ラジオ放送やデータ放送を一度選局すると、番組表に番組が表示されます。

本機につないだ機器の映像を見る

ビデオデッキや外部チューナー、ビデオカメラなどの映像を見ることができます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で (外部入力)を選ぶ。

3 ↑↓で本機につないだ機器の入力を選び、決定 を押す。

外部入力の映像を視聴中に、オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「テレビを見る」で利用できるオプション」（33ページ）をご覧ください。

「テレビを見る」で利用できるオプション

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
あ行	追いかけ再生	録画中の番組を再生します(89ページ)。
	お気に入り番組表	お気に入り番組表を表示します。
	おでかけ進行状況	おでかけ転送実行中におでかけ転送進捗画面を表示します(181ページ)。
か行	画音設定	
	録画設定	録画の画質・映像サイズを調整します(77ページ)。
	画質設定	再生の画質を調整します(101ページ)。
	音声設定	録画の音声を調整します(78ページ)。
	気になる人名	見ている番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
	気になるワード	見ている番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
	降雨対応切換	降雨対応放送時に降雨対応放送に切り換えます。
さ行	再生停止	再生を停止します。
	情報表示	詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、↑↓で画面をスクロールしてください。
	選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
た行	ダビング進行状況	タイトルダビング実行中にダビング進捗画面を表示します(135ページ)。
	チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(90ページ)。
は行	始めから再生	録画した番組(タイトル)を始めから再生します。
	番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します(46、47ページ)。
	番組表	デジタル放送の番組表を表示します。
	番組表(Gガイド)	アナログ放送の番組表を表示します。
	番組録画	見ている番組をHDDまたはBDへ録画します。
ま行	みどころマガジン	みどころマガジンを表示します。
ら行	録画延長*	録画中の番組の録画時間を延長します。[録画予約-延長]画面で操作します(44ページ)。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
	録画停止*	録画を停止します。

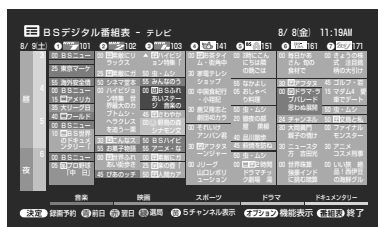
	オプション機能	できること
アルファベット	BD情報	BDの情報を表示します(120ページ)。
	BD録画(記録可能なBDを挿入しているときのみ)	視聴中の入力映像をBDに録画します。
	DVD情報	DVDの情報を表示します(120ページ)。
	HDD情報	HDDの情報を表示します(120ページ)。
	HDD録画	視聴中の入力映像をHDDに録画します。

* 「録画1」と「録画2」で同じ番組を予約している場合は、「録画1」の操作になります。

録画・予約する

「録画・予約する」でできること

番組表で予約

42ページ

１週間先のテレビ番組の情報を確認できる番組表を使って、テレビ番組の録画予約ができます。本機には「番組表」、「お気に入り番組表」、「x-みどころマガジン」の3種類の番組表があります。

番組検索

61ページ

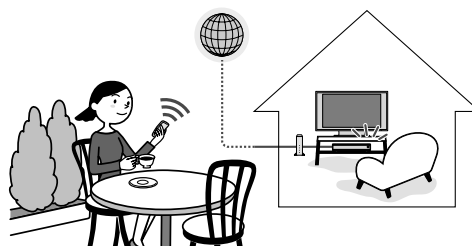
ジャンルやキーワードを入力して番組を検索したり、見ている番組の出演者や、番組内容のキーワードを使って、興味のある番組を検索できます（気になる検索）。

2番組同時録画

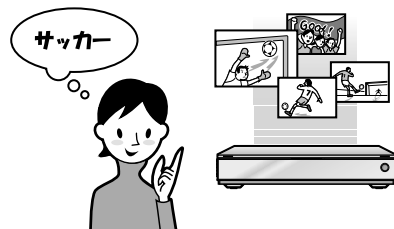
48ページ

時間帯が重なるデジタル放送2番組を、両方ともハイビジョンで録画できます。もちろんデジタル放送とアナログ放送の同時録画も可能です。

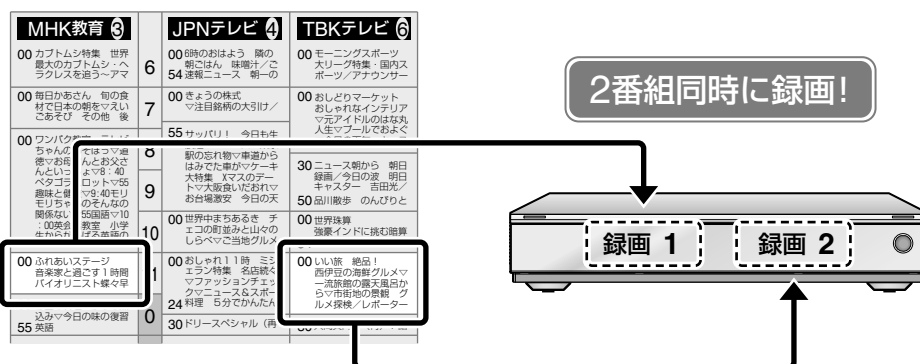
リモート録画予約

70ページ

携帯電話やパソコンを使って本機の録画予約設定ができます。外出先などから、本機の録画予約を設定したいときなどに便利です。

x-おまかせ・まる録

57ページ

本機がおすすめする番組や、あらかじめ設定したキーワードをもとに抽出された番組を自動的に録画できます。番組を1つずつ録画予約しなくても、見たい番組が録画できる便利な機能です。

本機の録画機能について

本機は2つのチューナー（「録画1」と「録画2」）を搭載しており、時間帯の重なる2つの番組を同時に録画できます。

2つの番組を異なるチューナーを使って録画するため、本機のメニューや本取扱説明書では、それぞれのチューナーを「録画1」、「録画2」の名称で区別しています。
「録画1」と「録画2」では、録画できる放送の種類や、録画した番組（タイトル）で利用できる機能に違いがあります。それぞれの違いについては以下をご覧ください。

「録画1」と「録画2」で録画できる放送の種類と録画モードについて

	放送の種類	利用できる録画モード
録画1	地上デジタル BSデジタル CSデジタル	DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER
	外部入力(HDV)	DR
	地上アナログ 外部入力(入力/DV)	XR/XSR/SR/LSR/LR/ER
録画2	地上デジタル BSデジタル CSデジタル	DR

録画モードについては39ページをご覧ください。

「録画1」で録画した番組（タイトル）でのみ利用できる機能

再生やダビング時にこれらの機能を利用したいときは、必ず「録画1」で録画してください。
- おまかせチャプター
- ダイジェスト再生
- おでかけ転送用ファイルの自動作成
- ワンタッチおでかけ転送

2番組同時録画時の録画先について

2番組同時録画中は「録画1」と「録画2」で利用できる録画先が異なります。

録画1 で HDD を選んだとき	録画2 は HDD または BD-RE BD-R で録画できます。
録画1 で BD-RE BD-R を選んだとき	録画2 は HDD でのみ録画できます。
録画2 で HDD を選んだとき	録画1 は HDD または BD-RE BD-R で録画できます。
録画2 で BD-RE BD-R を選んだとき	録画1 は HDD でのみ録画できます。

ちょっと一言

「録画1」で録画中、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見る場合は、テレビ本体側で見たいチャンネルに切り換えてください。

ご注意

リモコンの録画ボタンを使って録画すると（40ページ）、「録画1」でHDDに録画されます。

次のページにつづく⇨

録画中の他機能の実行について

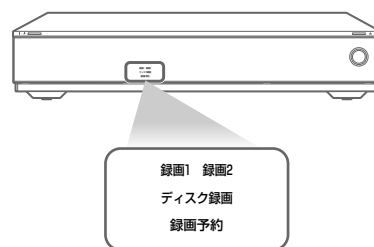
「録画1」や「録画2」で録画しているとき、他機能の動作状況については次の表をご覧ください。

○=実行できる、×=実行できない

実行する機能		録画1で録画中	録画2で録画中
録画中以外の放送チャンネルの視聴		×	○
HDD⇔BDダビング(高速のみ)		○*1	×
HDD⇔BD/DVDダビング(録画モード変換ダビングを含む)		×	×
HDDやBDに記録した映像の再生		○*2	○*2
BD-ROMの再生		×	○*2
AVCHDで記録したディスクの再生		×	○*2
DVDに記録したディスクの再生		○	○
早見再生		×	○
ブラビアリンクの「見て録」		×	○
ホームサーバー映像出力		○	○
アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルの視聴		○	○
アクトビラからのビデオダウンロード		○	○
おでかけ転送(ファイル生成を含む)		×	×
おでかけ転送(高速転送のみ)		×	○
おかえり転送		×	○
フォト取込み／書出し／コピー		○*3	×
フォト切出し		○	×
フォト再生		○*2	○*2
x-ScrapBook		×	×
x-Pict Story HD		×	×
まるごとDVDコピー		×	×
HDV/DVダビング		×	○*1
AVCHDダビング		○	×
サムネイル設定		×	×
編集	A-B消去	○	×
	タイトル分割	○	×
	チャプター編集	○	×
	チャプター消去	×	×
	プレイリスト作成	×	×
設定	放送受信設定	×	×
	ビデオ設定	×	×
	映像設定	×	×
	本体設定	×	×
	かんたん設定	×	×
	設定初期化	×	×

*1 BDへの録画中は、ダビングはできません。またタイトルにアクトビラからダウンロードしたタイトルが含まれる場合は、ダビングできません。
*2 BDへの録画中は、BDの再生はできません。
*3 BDへの録画中は、BDからの取り込みやBDへの書き出しはできません。

録画中の本体表示について

録画の状態により点灯するランプが変わります。

「録画1」で本機のHDDに録画しているとき

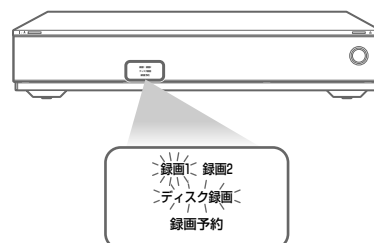
「HDD録画1」が点灯します。

「録画2」で本機のHDDに録画しているとき

「HDD録画2」が点灯します。

「録画1」または「録画2」でBDに録画しているとき

「ディスク録画」が点灯します。

2番組同時に録画中のときは、「HDD録画1」「HDD録画2」「ディスク録画」のうち2つのランプが同時に点灯します。
例)「録画1」で本機のHDDに録画し、「録画2」でBDに録画しているときの状態

録画モードについて

録画時に設定する画質を録画モードと呼びます。複数の録画モードの中から、好みに合った録画時間や画質のモードを選べます。高画質な録画モードに設定すると、録画に必要なデータ量が多くなるため録画できる時間が短くなります。ER や LR などのモードを選ぶと、使用するデータ量を抑えることができるため、長時間の録画ができますが、データ量が少ないため画質は粗くなります。

録画モード		デジタル放送の録画	アナログ放送の録画	説明
DR	デジタル放送画質	○	×	デジタル放送をそのままの画質で録画します。
XR	高画質	○	○	高画質で録画します。
XSR	↕	○	○	
SR		○	○	標準的な画質で録画します。
LSR		○	○	データ量を抑えて、長時間録画できます。
LR		○	○	
ER	長時間	○	○	

詳しくは「録画モード一覧」(238ページ)をご覧ください。

録画制限について

「録画禁止」のコピー制御信号が入っていると録画されません。詳しくは「デジタル放送のコピー制限について」(131ページ)をご覧ください。

録画を始める前に

- 本機では、録画時の録画モードにより、記録できる映像や音声が異なります。

DRモード(デジタル放送のみ)

映像:必ず映像1の映像を記録します。
音声:すべての音声を記録します。

DRモード以外(デジタル放送のみ)

映像:[詳細設定]で選んだ映像を記録します。
音声:[詳細設定]で選んだ音声を記録します。

変更するには録画予約画面で[詳細設定]を選んでください。

記録できる映像や音声について詳しくは239ページをご覧ください。

- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、BD-RE2.1規格に対応したプレーヤーでのみ再生できます。
- 字幕付きのデジタル放送をDRモード(238ページ)でHDDやBDに録画する場合は、字幕データも記録します。なお、DRモード以外の録画モードでHDDやBDに録画する場合や、おでかけ転送用動画ファイルを作成する場合、[字幕焼きこみ]を[入]にすると映像の中に字幕を焼きこむことができます(198ページ)。
- 1タイトルの連続録画最長時間は、HDD、BDともに約8時間です。
- 1タイトル中に入れられるチャプターマークは、HDDとBD-RE/BD-Rでは最大98個です。
- HDDに録画できる最大番組数は500です。BDに録画できる最大番組数は200です。ただし、使いかたによっては、最大数まで録画できないことがあります。
- HDDやBDに空きがあるかを確認してください(120ページ)。空きが足りない場合、HDD、BD-REでは映像(タイトル)を消去して空きをつくることができます(108ページ)。
- 録画の画質を調整してください(77ページ)。
- AVマウス付きテレビ/チューナーと本機の録画予約を同時に設定すると、正しく録画されないことがあります。
- 本機では電源の入/切にかかわらず録画予約した録画開始時刻になると録画が始まります。また録画中に電源を入/切しても、録画に影響はありません。
- 本機が予約待機になっていても、本機を使うことができます。

字幕放送の録画について

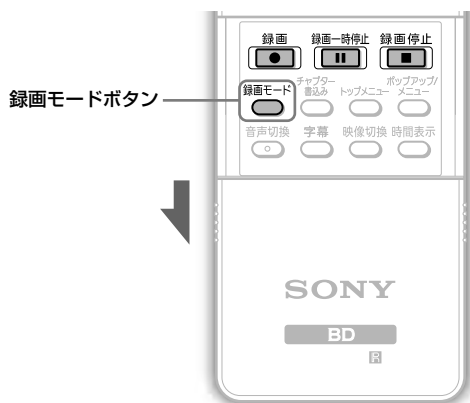
字幕放送の番組を録画するときは、録画モードにより字幕の記録方法が次のように異なります。

録画モード	記録される字幕
DRモード	字幕放送の字幕データを録画できます。再生時に字幕の入/切が可能です。
DRモード以外	の[ビデオ設定]から[字幕焼きこみ]を[入]に設定すると字幕を焼きこんで録画します。再生時に字幕を消すことはできません。

視聴中の番組を録画する

HDD 地上アナログ 地上デジタル BS CS

本機で受信している放送を視聴中に録画できます。

1 **リモコンのふたを開ける。**

2 **本機でテレビ番組を視聴中に (録画モード)をくり返し押して、録画モードを選び、決定 を押す。**

録画モードが、画面上と本体表示窓に表示されます。
録画モードについて詳しくは、238ページをご覧ください。

3 **(録画)を押す。**
録画が開始されると、画面上と本体表示窓に●（赤）が表示され、本体前面のHDD録画ランプが点灯します。
録画中は本体の表示窓に録画経過時間が表示されます。
この場合、本機では「録画1」に録画します。

録画を止めるには

リモコンのふたの中の (録画停止)を押します。
録画停止をしない場合は最長8時間録画されます。

自動的に録画が停止するように録画時間を設定する（クイックタイマー）

「視聴中の番組を録画する」の手順3のあとにリモコンのふたの中の (録画)をくり返し押すと、録画を終了させたい時刻を30分単位で最長6時間まで設定できます。

► 30分→1時間→…→5時間30分→6時間→（切）

クイックタイマーを設定すると、本体前面の表示窓に録画の残り時間が表示（例：「1:30」など）されます。

HDD 1:30

視聴中の番組を番組終了まで録画するには

1 **「視聴中の番組を録画する」（40ページ）の手順3で オプション を押す。**

2 **↑↓で［番組録画］を選び、決定 を押す。**

3 **↑↓←→で［録画先］を選び、［HDD］または［BD］に設定する。**

4 **↑↓←→で［予約確定］を選び、決定 を押す。**
本機の電源を切っていても、録画を行います。

録画モードについて

記録可能時間の短い録画モードを選ぶと、高画質で録画できます。記録可能時間の長い録画モードを選ぶと、長時間録画できます。
録画モードの設定については、238ページの「録画モード一覧」をご覧ください。

ちょっと一言

- 録画した後に、画質は落ちますがデータ量を減らしてダビングできます（「録画モードを変えてダビングする（録画モード変換ダビング）」138ページ）。
- 通常の録画と予約した番組の録画との録画モードは連動していません。
- クイックタイマーで録画中は、電源を切っても、終了時間まで録画できます。
- 番組を視聴中に オプション を押し、［録画モード］を選んでも、録画モードを変更できます（77ページ）。

ご注意

- 録画ボタンを押して、視聴中の番組を直接BDやDVDへ録画できません。
- 録画ボタンを押してもすぐに録画が始まらないことがあります。
- 録画ボタンを押して録画するときは「録画1」を使って録画します。録画中のチャンネル以外には切り換えられません。

録画を停止するには

1 ホーム を押す。

2 ⇔で録画中の放送の種類を選ぶ。

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ⇕で録画中の番組を選び、オプション を押す。

4 [録画停止]を選び 決定 を押し、録画停止確認画面で[はい]を選び 決定 を押す。

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。

録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

録画中の番組を選局しているときに、録画停止（録画停止）を押しても録画を停止できます。

録画中の番組を視聴中にオプションを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画・予約する」で利用できるオプション」（79ページ）をご覧ください。

二か国語放送（二重音声放送）を録画する

二か国語放送などの番組を録画するときは、録画モードにより音声の記録方法が次のように異なります。

録画モード	記録される音声
DRモード	「主音声＋副音声」
DRモード以外	の[ビデオ設定]から[二重音声記録]（197ページ）で設定した音声が記録されます。

外部入力の音声設定については、「外部チューナーの二重音声放送を記録するには」（68ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

デジタル放送では、音声信号が複数ある番組があり、これらの音声信号を第1音声、第2音声と呼びます。第1音声信号に主＋副音声が送られたり、第1音声（日本語）、第2音声（英語）などのように送られる場合があります。上記のように複数の音声信号がある番組をDRモード以外で録画する場合でかつ、第2音声を録画したい場合は、43ページの[詳細設定]で録画する信号を選んでください。

番組表で録画予約する（番組表（EPG））

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

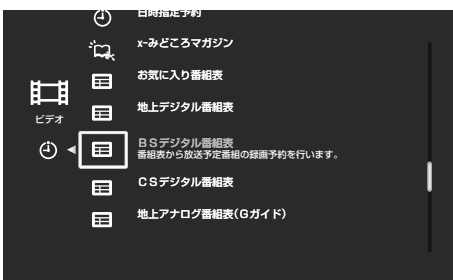
番組表から録画したい番組を選ぶだけで、録画予約を設定できます。

1 **本機を接続しているテレビの電源を入れる。**

2 **本機の電源を入れる。**

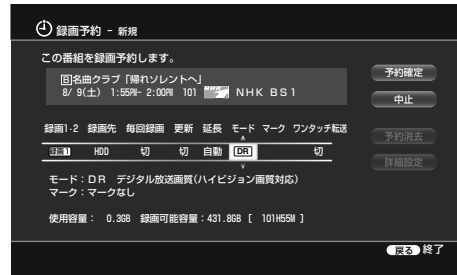
3 **テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。**

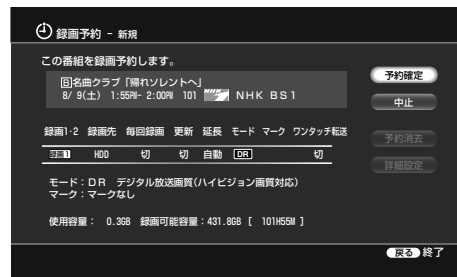
4 **（予約する）を押す。**

5 **↑↓で録画したい放送の番組表を選び（決定）を押す。**

6 **↑↓←→で録画したい番組を選び、（決定）を押す。**

上記画面はデジタル放送の番組表を選んだときに表示される画面です。番組表について詳しくは以下のページをご覧ください。

- デジタル放送の番組表について→45ページ
- アナログ放送の番組表について→46ページ

7 **←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。**

HDDに録画したいときは[録画先]を[HDD]に、BDに録画したいときは[録画先]を[BD]に設定してください。
ここで「録画1」を選んだ場合、テレビ番組を見ているときに、録画予約で設定した録画が開始されると、録画されるチャンネルに切り換わります。

8 **←→で[予約確定]を選び、（決定）を押す。**

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に（時計マーク）が赤く表示されます。
本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります。
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

ちょっと一言

- 日時指定予約と合わせて40番組まで予約できます。番組表の見かたについては「デジタル放送の番組表について」（45ページ）または「地上アナログ放送の番組表（Gガイド）について」（46ページ）をご覧ください。
- リモコンの（番組表）を押した後、（アナログ）、（デジタル）、（BS）、（CS）を押しても番組表を表示できます。
- 番組視聴中にリモコンの（番組表）を押しても番組表を表示できます。

ご注意

- 定期的に番組表データを取得するため、コンセントから電源コードを抜かないでください。
- 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数分かかることがあります。
- BDに多くの番組や映像が記録されている場合、録画が始まるまで数分かかることがあります。
- 録画可能時間は目安としてご覧ください。実際の録画可能時間は、放送や映像により異なります。
- 次のようなときに録画可能時間が異なることがあります。
  - 受信状態の悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
  - 編集されたBDに追加して録画する場合
  - 静止画像や音声のみを録画し続けた場合
- 停電があった場合は録画されません。自己メールを確認してください（190ページ）。

録画予約設定画面でできること

項目	設定
録画1・2	「録画1」か「録画2」どちらかを選びます。アナログ放送は「録画1」のみ選べます（37ページ）。同じ時間帯のアナログ放送を録画する予定があるときや、同じ時間帯に他のチャンネルを視聴したいときは、デジタル放送の録画予約は「録画2」を選んでください。[録画2]を選ぶと[ワンタッチ転送]は[切]になります。
録画先	HDD、BDが選べます。[BD]を選ぶと[ワンタッチ転送]は[切]になります。
毎回録画	毎日放送される番組などを毎回録画する（毎日、月－金など）。[番組名]を選ぶと番組名を検索して自動で録画予約できます（54ページ）。毎回録画は設定した日の番組から実行されます。
更新（HDDのみ）	毎回録画を設定したときに、[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します（55ページ）。
延長	録画予約の終了時間を遅らせます。10分ごとに最長60分まで延長できます。スポーツ延長対応（75ページ）の延長時間と合わせると最長180分になります。デジタル放送の予約の場合は、放送の延長に合わせて本機が自動的に録画の終了時間を延長するため、[自動]に設定することをおすすめします。
モード	録画モードを変更します（238ページ）。* 「録画2」を選ぶと録画モードは[DR]に設定されます。
マーク（HDDのみ）	お好みのマークを付けることができます（95ページ）。
ワンタッチ転送（HDDのみ）	“ウォークマン”や“PSP”にワンタッチ転送ボタンで映像を転送（184ページ）するか選びます。ここで[入]を選ぶと、ワンタッチ転送できます。
詳細設定	記録する信号を選びます（録画モードがDR以外でデジタル放送のみ）。

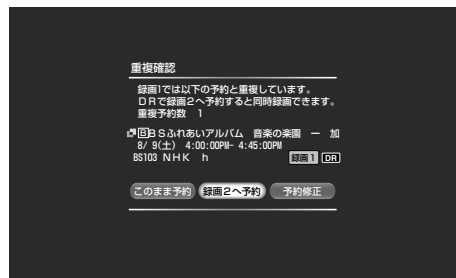
* リモコンのふたの中の 録画モード（録画モード）でも録画モードを変更できます。

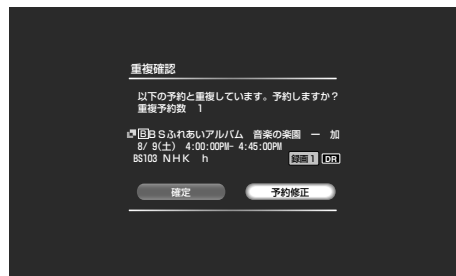
録画予約を確認するには

録画予約した内容を確認したいときは、「録画予約を確認する・変更する・取り消す」（72ページ）をご覧ください。

同じ時間に予約が重なったときは

予約が重複している番組の一部またはすべてを録画できないことがあります。

「録画1」、「録画2」のいずれかで予約が重複している場合

上記画面で「録画1」→「録画2」へ、または「録画2」→「録画1」に録画先を切り換えると、録画できるようになることがあります。「録画2」ではDRモードで録画されます。

「録画1」、「録画2」ともに予約が重複している場合

予約を修正し、同時に録画したい番組を選び直してください。

- [このまま予約]または[確定]を選ぶと、予約をそのまま設定します。予約の優先順位にしたがって録画します（74ページ）。
- [予約修正]を選ぶと、録画予約設定画面に戻り、予約の修正ができます。予約を取り消したい場合は、録画予約設定画面で[中止]を選び 決定 を押します。

録画・予約する

ちょっと一言

- 番組表に表示されない先の日時の番組は、日時指定で予約できます（66ページ）。
- キーワードやジャンルなどを指定して番組を検索、録画予約できます（61ページ）。また、番組名を検索して自動で録画予約できます（54ページ）。
- スポーツ中継などの時間延長に合わせ、録画を自動的に延長できます（「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する（スポーツ延長対応）」75ページ）。
- ブラビアのリモコンで設定した予約は延長できません。

ご注意

- BDへの録画時はおでかけ転送用ファイルが作成されません。
- 「録画1」から「録画2」に変更すると、「ワンタッチ転送」は「切」になり、ワンタッチ転送できなくなります。

次のページにつづく⇨

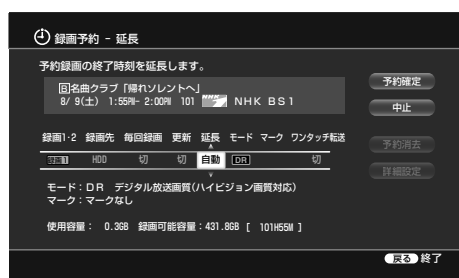
現在放送中の番組を録画するには

番組表から現在放送中の番組を選んで、「番組表で録画予約する（番組表（EPG））」（42ページ）の手順6～8の操作を行うとすぐに録画が始まります。番組が終了すると自動的に録画が停止します。

録画予約した番組を録画しているときに録画時間を延ばすには

録画中の番組を表示中に（オプション）を押して、[録画延長]を選びます。

番組表で録画中の番組を選んで（決定）を押しても録画延長できます。ただし、番組表から録画していない番組などはこの操作ができない場合があります。

↑↓で時間を設定します。

10分ごとに最長60分まで録画時間を延ばすことができます。

[予約確定]を選び、（決定）を押します。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

録画予約した番組を録画しているときに録画を停止するには

1 **（ホーム）を押す。**

2 **←→で録画中の放送の種類を選ぶ。**

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 **↑↓で録画中の番組を選び、（オプション）を押す。**

録画中の番組には●（赤）が表示されています。

4 **[録画停止]を選び（決定）を押し、録画停止確認画面で[はい]を選び（決定）を押す。**

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。

録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

録画中の番組を選局しているときにリモコンのふたの中の（録画停止）を押しても録画を停止できます。

デジタル放送の番組表について

デジタル放送は各放送のサービスごとに番組表が用意されています。番組表では、8日分のテレビ番組（ラジオ放送は3日分、データ放送は2日分）を確認できます。

デジタル放送の番組表の見かた

1 放送日
現在見ている番組表の日付を表示します。

2 放送局名、放送開始時刻、番組名
放送予定の番組を表示します。↑↓←→で選択箇所を移動できます。

3 マーク
▍（赤）：これ以上録画予約が設定できない時間帯に表示されます。

4 マーク
●（赤）：録画中の番組
⏻（赤）：録画予約されている番組
⏻（灰）：予約の一部が録画できない番組

マークの意味
¥ ：有料番組
他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。
二 ：二か国語放送（41ページ）
S ：ステレオ放送
字 ：字幕放送（30ページ）
B ：圧縮Bモードステレオ放送
N ：ニュース番組

5 ジャンル
番組のジャンル情報を色分けで表示します。（オプション）を押し、［ジャンル色設定］を選ぶと設定できます。

6 現在日時
現在の日時を表示します。

7 操作ガイド
画面の操作に利用できるカラーボタンを表示します。
青：現在表示している番組表の前日の番組表を表示します。
赤：現在表示している番組表の翌日の番組表を表示します。
緑：番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
黄：番組表の表示を5チャンネル表示、3チャンネル表示、7チャンネル表示に切り換えます。

ちょっと一言

- 地上デジタル放送の番組表データは、各放送局から送信されます。番組表が表示されない場合は、チャンネルを切り換えて各放送局をひととおり選局してから、番組表を表示してください。
  また、電源を入れたあと、数分間は番組説明の情報が一部表示されないことがあります。しばらく待ってから再度表示してください。
- 番組表を表示しているときに アナログ、デジタル、BS、CS を押すと、それぞれの放送の番組表に切り換えられます。また、数字キーを押すと、数字キーに割り当てられている放送局に選択が切り換わります。
- 見ない放送局の番組表を非表示にしたり、チャンネル＋／－で選局しないようにできます。［放送受信設定］の該当するチャンネル設定で［アップダウン選局］を［選局しない］（192、193ページ）にしてください。番組を共有しているチャンネルは、［選局する］に設定していても、番組表に表示されないことがあります。また、チャンネル番号の下一桁が「1」のチャンネルは［選局しない］を選ぶことができません。
- 番組表では、（フラッシュ ←・ ・→）でページ戻し・送りができます。

ご注意

- 休止中のチャンネルは番組表に表示されません。
- 電源が入っている時に、停電が発生したり、再起動（リセット）させたりすると、デジタル放送の番組表データは一度すべて失われます。
- 連動データ（31ページ）は録画されません。
- 地上デジタルのデータ放送や、BS/110度CSデジタルのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- 次の番組は番組表に表示されません。
  －「選局しない」設定（192、193ページ）をした放送局の番組
  －CATV独自の番組*

* CATVのVHF/UHF放送の番組は表示できることがあります。ご利用のCATV局にお問い合わせください。

次のページにつづく⇨

番組表の表示を変更するには

デジタル放送の番組表は、リモコンの 黄（黄）を押すことで、5チャンネル表示、3チャンネル表示、7チャンネル表示の3段階で表示できます。
番組表を拡大すると、放送時間の短い番組（5分間の番組など）なども確認できるようになります。

デジタル放送の番組表を表示中に オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画･予約する」で利用できるオプション」（79ページ）をご覧ください。

番組説明画面の見かた

1 **放送日・放送時間・番組名**

2 **放送局名**
チャンネル番号や放送局名、放送局ロゴマーク

3 **マーク**
放送サービスの種類（テレビ、ラジオ、データ）などがマークで表示されます。各マークの説明については、252ページをご覧ください。

4 **番組の情報**
出演者や、映像情報（30ページ）、音声情報（30ページ）、ジャンル（61ページ）、データ情報など番組の詳しい内容が表示されます。

5 **閉じる**
詳細画面を終了し、元の番組表に戻ります。

6 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。
赤：次のページを表示します。
青：前のページを表示します。

7 **録画予約／予約修正／録画延長**
録画予約設定画面を表示します。すでに予約しているときは、予約の修正ができます。録画予約した録画の実行中は録画の延長ができます。

8 **語句登録**
表示されている詳細の内容から、キーワードを選んで登録できます。

地上アナログ放送の番組表（Gガイド）について

地上アナログ放送の番組表や番組説明は、Gガイド（244ページ）を利用しています。番組表には、約8日分の番組が表示されます。

アナログ放送の番組表の見かた

例：チャンネル別番組表

1 **パネル広告**
広告が表示されます。パネル広告を選ぶと、その広告に関する説明が表示されるものもあります。

2 **マーク**
▌：これ以上録画予約が設定できない時間帯に表示されます。
●（赤）： 録画中の番組
◷（赤）： 録画予約されている番組
◷（灰）： 予約の一部が録画できない番組

3 **番組表の種類**

4 **放送局名**

5 **現在日時**

6 **番組画面**
現在受信している放送局の画面です。

ちょっと一言

- リモコンの 番組説明（番組説明）を押しても番組説明を見ることができます。
- 電源を入れたあと、数分は番組説明の情報が表示されないことがあります。しばらく待ってから再度表示してください。
- デジタル放送の番組表データが、番組開始直前に変更になった場合は検索が間に合わないことがあります。

ご注意

放送大学の番組（地上アナログ放送）は番組表に表示されません。

7 **放送開始時刻・番組名**
放送予定の番組を表示します。広告が表示される場合もあります。

8 **番組説明**
カーソルで選んでいる番組の説明が表示されます。

9 **操作ガイド**
画面の操作に利用できるカラーボタンを表示します。
青：現在表示している番組表の前日の番組表を表示します。
赤：現在表示している番組表の翌日の番組表を表示します。
緑：番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
黄：時刻別、チャンネル別、ジャンル別番組表やトピックスに切り換えます。

アナログ放送の番組表を表示中に（オプション）を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画・予約する」で利用できるオプション」（79ページ）をご覧ください。

番組表の種類を切り換えるには

地上アナログ放送の番組表には、「時刻別番組表」・「チャンネル別番組表」・「ジャンル別番組表」の3種類の番組表と、放送局からのお知らせなど便利な情報を表示する「トピックス」があります。リモコンの黄（黄）を押すことで、切り換えることができます。

番組説明画面の見かた

1 **放送日・放送時間・番組名**

2 **放送局名**

3 **番組の情報**
出演者やあらすじなどが表示されます。

4 **閉じる**
詳細画面を終了し、元の番組表画面に戻ります。

5 **録画予約／予約修正／録画延長**
録画予約設定画面を表示します。すでに予約しているときは、予約の修正ができます。録画予約した録画の実行中は録画の延長ができます。

6 **語句登録**
表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録できます。

ちょっと一言

- 見ない放送局の番組表を非表示にしたり、チャンネル＋／−で選局しないようにできます。[地上アナログチャンネル設定]の[アップダウン選局]（195ページ）を[しない]にしてください。
- リモコンの番組説明（番組説明）を押しても番組説明を見ることができます。
- 番組表では、フラッシュ ←・ ・→ でページ戻し・送りができます。

2番組を同時に録画予約する（2番組同時録画）

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

録画したい番組が同じ時間に2つある場合、本機の2番組同時録画機能を利用すれば、両方の番組を録画できます。

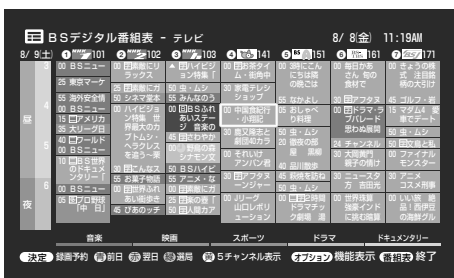
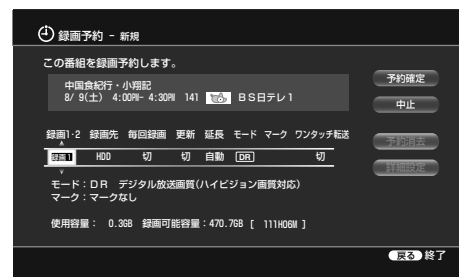
2番組同時録画は、見ている番組を録画する通常の録画（「視聴中の番組を録画する」（40ページ））や、番組表予約（「番組表で録画予約する（番組表（EPG））」（42ページ））と日時指定予約（「日時を指定して録画予約する」（66ページ））などを利用して録画できます。

ここでは番組表を使った録画方法で2番組同時録画を設定する方法を一例として説明します。まず始めに1つ目の番組を録画予約する方法を説明します。

1つ目の番組を録画、録画予約する

1 予約する を押す。

2 ↑↓で録画したい放送の番組表を選び 決定 を押す。

3 ↑↓←→で録画したい番組を選び、決定 を押す。

4 ←→で［録画1･2］を選び↑↓で［録画1］または［録画2］を選ぶ。

「録画1」と「録画2」では、録画先ディスクや録画モード、他機能との同時動作で違いがあります（37、38ページ）。

5 ［予約確定］を選び、決定 を押す。
本機の電源を切っていても、録画を行います。

ご注意

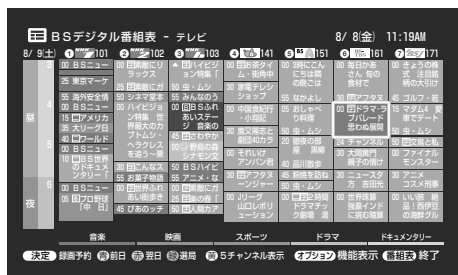
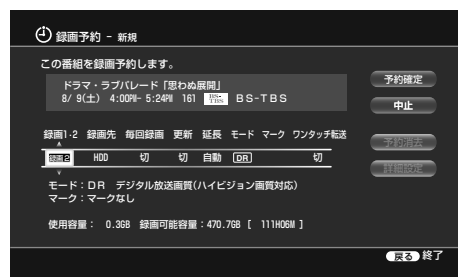
- 2番組同時録画の録画先を両方BDにすることはできません。
- 「録画1」で録画中は、録画中のチャンネルのみ視聴できます。
- アナログ放送同士の2番組同時録画はできません。
- 録画ボタンによる録画は、「録画1」でのみ録画されます。

2つ目の番組を録画、録画予約する

次に2つ目の番組を録画するときの設定です。

1 （予約する）を押す。

2 ↑↓で録画したい放送の番組表を選び（決定）を押す。

3 ↑↓←→で録画したい番組を選び、（決定）を押す。

4 ←→で［録画1･2］を選び↑↓で1つ目の番組を録画したときに選んだ設定と異なる設定を選ぶ。

1つ目の番組を「録画1」で設定したときは、2つ目の番組は「録画2」で設定してください。

5 ［予約確定］を選び、（決定）を押す。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

2番組同時録画を停止するには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で録画中の放送の種類を選ぶ。

3 ↑↓で録画中の番組を選び、（オプション）を押す。

4 ［録画停止］を選び（決定）を押し、録画停止確認画面で［はい］を選び（決定）を押す。

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。

録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

同じチャンネルを同時に録画しているときは、「録画1」が停止されます。

2番組とも停止する場合は、ともに手順**2** ～ **4**を行ってください。

お気に入り番組表で録画予約する（お気に入り番組表）

HDD BD-RE BD-R 地上デジタル BS CS

デジタル放送の番組の中から、あらかじめ設定しておいたジャンルや、キーワードの条件にあった番組を一覧表示します。「気になる検索」で選んだ人名や、キーワード、または番組検索を使った条件を登録すれば、いつでも好きなときに、お気に入りの番組を探し予約できます。
また、「おすすめ番組」では、本機がお客様の好みを学習し、おすすめする番組を表示します。

お気に入り番組表の設定をするには

1 ホーム を押す。

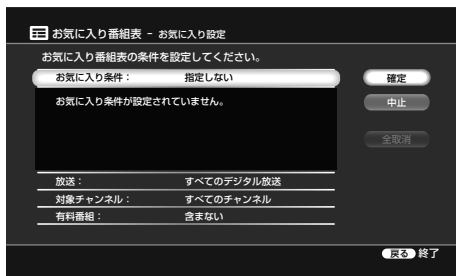
2 ←→で見たいデジタル放送を選ぶ。

地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で （番組表/x-みどころマガジン）を選び 決定 を押す。

4 ↑↓で （お気に入り番組表）を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で のお気に入りの条件が設定されていない行を選び、オプション を押す。

6 ↑↓で［お気に入り設定］を選び、決定 を押す。
お気に入り設定画面が表示されます。

7 ↑↓で［お気に入り条件］を選び、決定 を押す。
お好みの番組を表示するためのジャンルやキーワードを設定します。自分で設定するには［詳細設定］を選びます。

8 ↑↓で［詳細設定］を選び、決定 を押す。

9 ↑↓で［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］の設定欄や［時間帯］、［キーワード検索方法］を選び、それぞれ設定する。

10 ↑↓←→で［確定］を選び、決定 を押す。

11 ↑↓で［放送］、［対象チャンネル］、［有料番組］をそれぞれ設定する。
［対象チャンネル］で［チャンネル選択］を選ぶと、お好みのチャンネルに限定できます。

12 ↑↓←→で［確定］を選び、決定 を押す。
設定した条件にあったお気に入り番組表を表示します。

お気に入り番組表の見かた

1 **ジャンル／キーワード／おすすめ**
←→で設定条件ごとの番組表や本機がおすすめする番組表に切り換えます。

2 **放送日、放送時間、番組名**

3 **マーク**
▌: これ以上録画予約が設定できない時間帯に表示されます。
●（赤）：　録画中の番組
⏻（赤）：　録画予約されている番組
⏻（灰）：　予約の一部が録画できない番組

ちょっと一言

- ［お気に入り条件］の［詳細設定］で［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］は合わせて7つまで設定できます。各項目の組み合わせは変更できます。変更方法について詳しくは「ジャンルやキーワード、除外ワードの組み合わせを変更するには」（58ページ）をご覧ください。
- 番組検索結果画面から、オプションの［お気に入りへ登録］を選ぶと、検索条件をお気に入り番組表に登録できます。
- 番組検索結果画面から、オプションの［おまかせへ登録］を選ぶと、検索条件をx-おまかせ・まる録に登録できます。
- 番組表では、フラッシュ ←・ ・→ でページ戻し・送りができます。

ご注意

本体を起動して数分間は、お気に入り番組表の表示に時間がかかることがあります。

4 **番組説明**

5 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

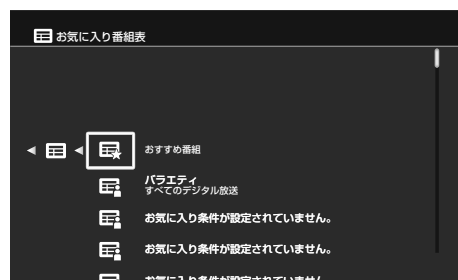
お気に入り番組表を表示中に （オプション）を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画･予約する」で利用できるオプション」（79ページ）をご覧ください。

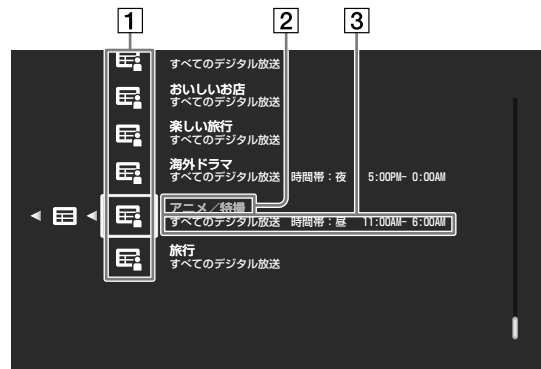
お気に入り番組表を見るには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で見たいデジタル放送を選ぶ。

3 ↑↓で （番組表/x-みどころマガジン）を選び （決定）を押す。

4 ↑↓で （お気に入り番組表）を選び、（決定）を押す。
設定されているお気に入り番組表が一覧で表示されます。

5 ↑↓で見たいお気に入り番組表を選び、（決定）を押す。
選んだお気に入り番組表が表示されます。

お気に入り番組表一覧画面の見かた

1 **おすすめ／お気に入りアイコン**
：本機がお客様の好みを学習し、おすすめする番組を登録したもの。
（灰）：お気に入りの条件が設定されていないもの。
（白）：自分で設定した条件で登録されたもの。
（青）：あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って登録されたもの。

2 **お気に入り条件／キーワード**
［お気に入り設定］で設定した条件やキーワードを表示します。

3 **放送の種類／時間帯**
［お気に入り設定］で設定した放送の種類や時間帯を表示します。

お気に入り番組表の一覧を表示中に （オプション）を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画・予約する」で利用できるオプション」（79ページ）をご覧ください。

お気に入り番組表の設定をx-おまかせ・まる録に登録するには

お気に入りの条件をx-おまかせ・まる録に登録すると、自動で録画できます。

1 お気に入り番組表を表示中に （オプション）を押す。

2 ↑↓で［おまかせへ登録］を選び、（決定）を押す。

3 ↑↓でおまかせ条件の登録先を選び、（決定）を押す。

録画予約を確認するには

録画予約した内容を確認したいときは、「録画予約を確認する・変更する・取り消す」（72ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

（予約する）を押し、［お気に入り番組表］を選んでも、お気に入り番組表を見ることができます。

旬の番組を録画予約する（x-みどころマガジン）

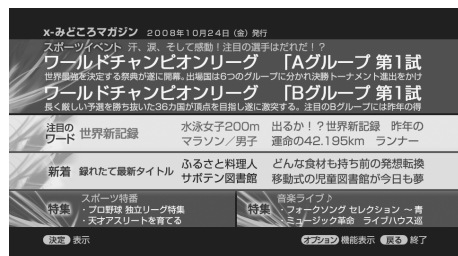
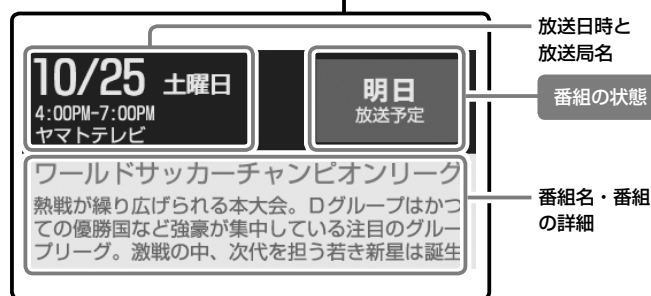
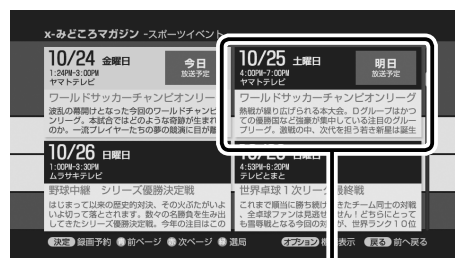
HDD BD-RE BD-R 地上デジタル BS CS

今"旬"と思われるテーマやキーワードを抽出し、日替わりでみどころ番組を表示します。

1 予約する を押す。

2 ↑↓で (x-みどころマガジン)を選び 決定 を押す。

x-みどころマガジンをはじめて利用するときは、テーマ設定の確認画面が表示されます。
すべてのテーマをそのまま利用したい場合は、[確定]を選んでください。
利用するテーマを絞りたい場合は、[特集テーマ選択]を選んで利用しないテーマを解除し、[確定]を選んでください。

3 ↑↓←→で見たい特集などを選び、決定 を押す。

4 ↑↓←→で見たい番組を選び、決定 を押す。
番組の状態によって、できることが異なります。

番組の状態 については、53ページをご覧ください。

💡**ちょっと一言**

- テーマを絞って表示させたいときは、手順3でオプションボタンを押し、[特集テーマ選択]から表示させるテーマを解除してください。選択しているテーマには ✔ が付きます。
- 設定後、x-みどころマガジンの表示に時間がかかることがあります。
- 利用するテーマ数や番組表の受信状況によっては、x-みどころマガジンに表示される番組が少なくなります。
- x-みどころマガジンには8日分の番組情報が表示されます。

番組の状態

現在放送中の番組

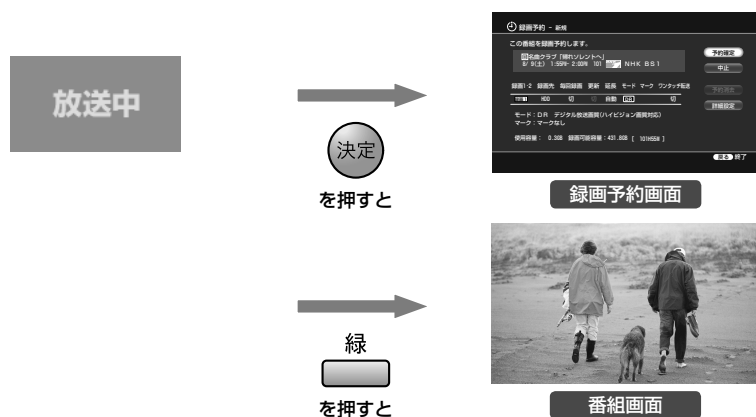
放送中

決定を押すと

録画予約画面

選んだ番組を録画します。詳しくは、「番組表で録画予約する（番組表（EPG））」（42ページ）の手順7以降をご覧ください。

緑を押すと

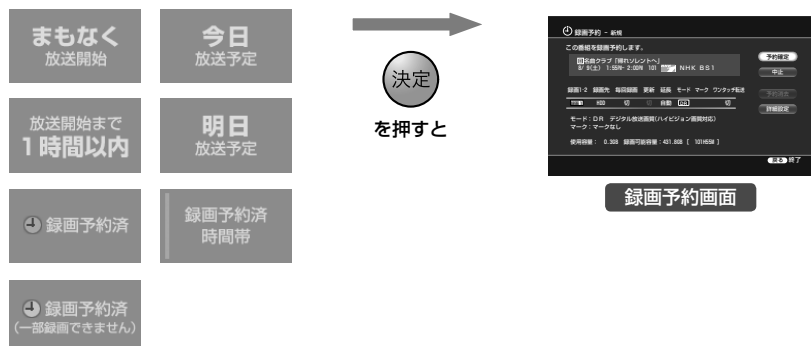
番組画面

選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。テレビ番組視聴中の操作について詳しくは、「テレビ番組を見る」（29ページ）をご覧ください。

これから放送される番組

まもなく放送開始

今日放送予定

明日放送予定

録画予約済時間帯

明後日以降の番組には番組の状態が表示されませんが、録画予約できます。
番組状態アイコンの左側に表示される縦線は、録画予約済みの他の番組と時間帯が重複していることを意味します。

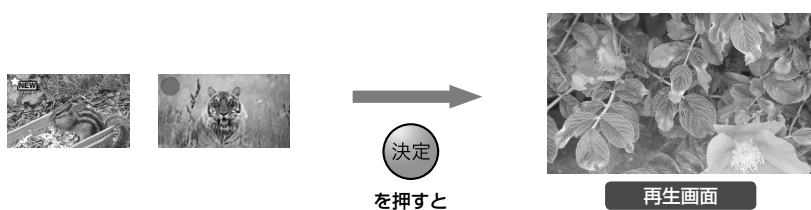
決定を押すと

録画予約画面

選んだ番組を録画します。詳しくは、「番組表で録画予約する（番組表（EPG））」（42ページ）の手順7以降をご覧ください。

録画された番組

決定を押すと

再生画面

タイトルを再生します。再生中の操作について詳しくは「録画した映像やBD、DVDを再生する」（84ページ）をご覧ください。

x-みどころマガジンを表示中に（オプション）を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画・予約する」で利用できるオプション」（79ページ）をご覧ください。

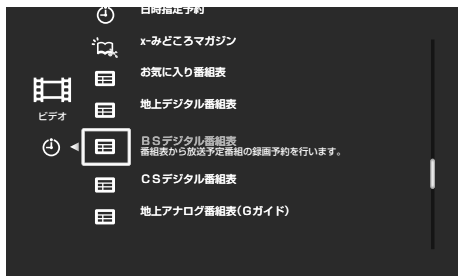
録画予約を確認するには

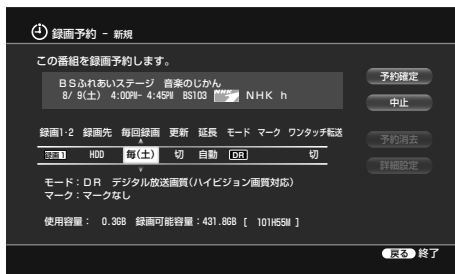
録画予約した内容を確認したいときは、「録画予約を確認する・変更する・取り消す」（72ページ）をご覧ください。

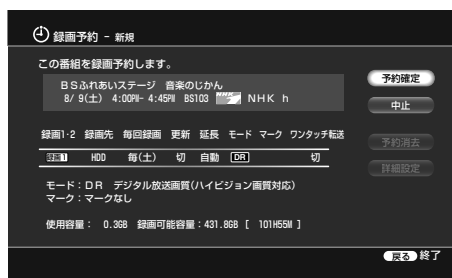
よく見る番組を毎回録画予約する

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

1 (予約する) を押す。

2 ↑↓で録画したい放送の番組表を選び (決定) を押す。

3 ↑↓←→で録画したい番組を選び、(決定) を押す。

4 ←→で［毎回録画］を選び、↑↓で設定する。

［毎日］、［月-金］など、定期的に録画する条件を設定します。

5 ←→で［予約確定］を選び、(決定) を押す。

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に ⏻ が表示されます。
本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります。
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

番組名で自動的に録画予約する

同一チャンネルの同じ名前の番組を番組表に表示される8日分の番組から検索し、自動で録画予約を行います。不定期に放送される番組を録画したいときに便利です。

1 「よく見る番組を毎回録画予約する」（54ページ）の手順4で［毎回録画］を選んだ後、↑↓で［番組名］を選ぶ。

2 ←→で［予約確定］を選び、(決定) を押す。
条件に合った番組には、番組表で ⏻ が表示されます（最大8番組）。
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

ちょっと一言

- 本機は、予約した番組を録画するのに残量が足りない場合や、予約の時間帯が重複した場合は画面でお知らせします。ただし、1つの番組名で表示されるお知らせは8件までです。8件を超える予約については、残量の不足や予約の重複はお知らせできません。残量や予約重複は、こまめに確認してください。
- 番組の類似度を判定しているため、思いどおりの番組が録画できない場合があります。検索する番組名を変更する（55ページ）か、確実に録画したいときは、番組表からの録画予約をおすすめします。
- 携帯電話やパソコンから登録した予約を、予約修正によって「番組名」予約する場合、手動による延長はできません。
- 検索結果が見つからなかった場合は、予約リスト上で灰色表示されます。

検索する番組名を変更するには

選んだ番組名でうまく予約されないときは、検索する名前が検索されやすいように変更してください。

例：ドラマ「ABC」→ABC

1 ホーム を押す。

2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で（予約確認）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で（予約リスト）を選び、決定 を押す。

5 予約リストで番組を選び、オプション を押す。

6 ↑↓で［番組名検索情報］を選び、決定 を押す。
番組名検索画面が表示されます。
指定した番組の録画中は、表示されません。

7 ［番組名変更］を選んで 決定 を押す。
番組名を変更します。

前回録画した番組を消去して録画する（更新録画）

HDD

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、前回録画した番組（タイトル）を消去した上で、新しい回を録画します。ただし、録画開始時刻から8時間経っていないタイトルは、更新による消去はされません。

［更新録画］を設定する場合は、［録画予約］で［毎回録画］が設定されているタイトルが対象になります（43ページ）。

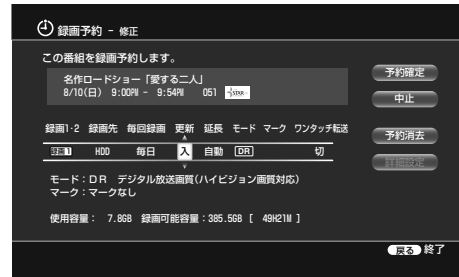
1 ホーム を押す。

2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で（予約確認）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で（予約リスト）を選び、決定 を押す。

5 予約リストで番組を選び、決定 を押す。
録画予約設定画面が表示されます。

6 ←→で［更新］を選んで、↑↓で［入］に設定し、決定 を押す。

7 ［予約確定］を選んで、決定 を押す。
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

録画予約を確認するには

録画予約した内容を確認したいときは、「録画予約を確認する・変更する・取り消す」（72ページ）をご覧ください。

録画・予約する

ご注意

見ていないタイトルでも、次回、予約した番組の録画が開始する前に消去されます。ただし、以下の場合は消去されません。
－タイトルがプロテクト設定されたとき
－タイトルが編集されたとき
－プレイリストに加えられたとき
－タイトルを再生中だったとき
－録画開始時刻から8時間経っていないタイトル

次回の番組を録画予約する（次回予約）

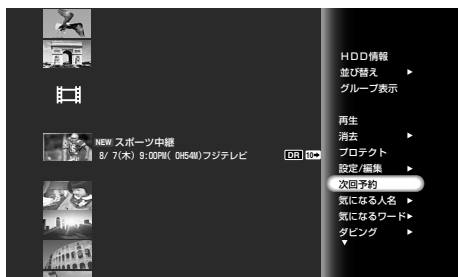
HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

録画した番組（タイトル）の次回に放映される番組を検索し、録画予約を簡単に行うことができます。

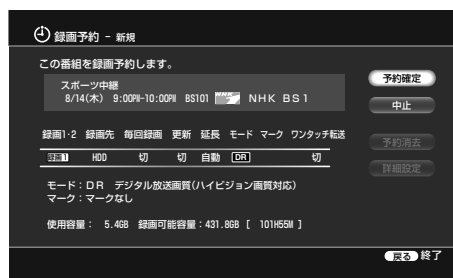
1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で次回予約したいタイトルを選び、オプション を押す。

4 ［次回予約］を選び、決定 を押す。

番組が見つかった場合は、録画予約設定画面が表示されます（42ページ）。

番組が見つからなかった場合に、［番組名で自動予約］を選ぶと、番組名による録画予約設定画面が表示されます（54ページ）。［予約確定］を選び、決定 を押すと、今後対象番組が現れたときに録画されます。

5 ［予約確定］を選び、決定 を押す。

本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

録画予約を確認するには

録画予約した内容を確認したいときは、「録画予約を確認する・変更する・取り消す」（72ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- 次回予約の番組の検索はタイトル名をキーワードにして行います。
- 次回予約の番組の検索はタイトルの開始時刻1時間前から終了時刻1時間後の間で行います。
- タイトル名を変更して次回予約の番組を検索すると、番組が見つからなかったり、番組名が似ているほかの番組が検索されることがあります。
- タイトルが放送中または録画中のときは、現在放送中の番組が検索されます。
- 次回予約の番組の検索は現在日から1週間後までの範囲で行います。

ご注意

- 予約に有料番組が含まれている場合、その間の時間は録画されません。有料番組は、番組表から予約してください（42ページ）。
- タイトル名が似ている別の番組や、次々回以降の番組が予約リストに表示され、次回の番組が表示されないときは、番組表から次回の録画予約を行ってください。

自動で録画する(x-おまかせ・まる録)

HDD 地上アナログ 地上デジタル BS CS

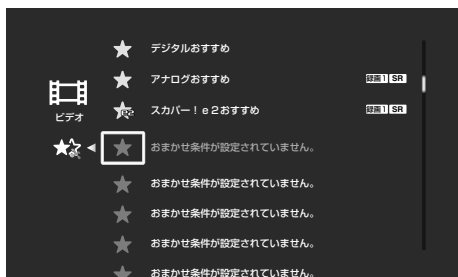
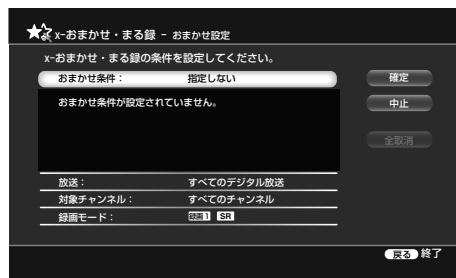
ジャンルやキーワードなどの条件を設定すると、本機が自動でその条件にあった番組を探し、録画します。

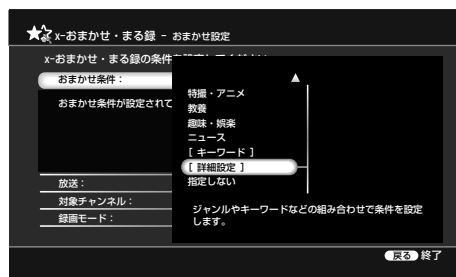
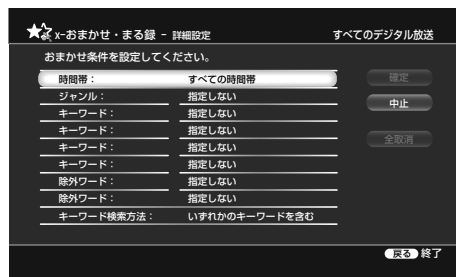
1 ホーム を押す。

2 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で (x-おまかせ・まる録)を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で ★(灰)のx-おまかせ・まる録の録画条件が設定されていない行を選び、決定 を押す。

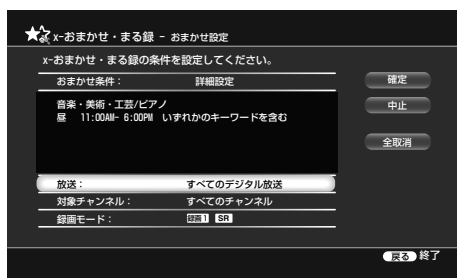
x-おまかせ・まる録設定画面が表示されます。

5 ↑↓で[おまかせ条件]を選び、決定 を押す。

好みの番組を自動録画するためのジャンルや、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを設定します。自分で設定するには[詳細設定]を選びます。また、あらかじめ設定されているものから選んだり、キーワードのみを設定することもできます(手順8へ進む)。

6 ↑↓で[詳細設定]を選び、決定 を押す。

7 ↑↓で[ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]の設定欄や[時間帯]を選び、それぞれ設定する。

8 ↑↓←→で[確定]を選び、決定 を押す。

ご注意

- 録画する番組を番組表データから探すため、データが正しく受信されていないと、この機能は働きません。
- テレビ番組を見ているときに、「録画1」のx-おまかせ・まる録が開始したときは、録画するチャンネルに切り換わります。
- x-おまかせ・まる録では、無料番組と、契約をしているチャンネルの有料番組が録画されます。契約をしていないチャンネルの有料番組は録画されません。

次のページにつづく⇨

9 **[放送]、[対象チャンネル]、[録画モード]をそれぞれ設定する。**

放送：自動録画の対象とする放送の種類を選びます。

対象チャンネル：自動録画の対象とするチャンネルを選びます。[チャンネル選択]を選ぶと、好みのチャンネルに限定できます。

- **すべてのチャンネル**：すべてのチャンネルが対象になります。
- **チャンネル選択**：[放送]で[すべてのデジタル放送]を選んだ場合、[放送変更]で放送の種類を変更できます。

録画モード：自動録画する場合の録画モードを選びます。

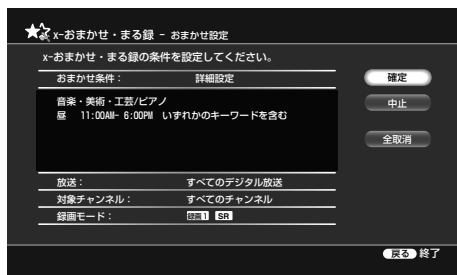
録画1

DR*/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER

録画2

DR

* [放送]で地上アナログ放送を選んでいる場合は、[DR]は選べません。

10 **[確定]を選び、(決定)を押す。**

おまかせ条件が設定され、x-おまかせ・まる録一覧画面に戻ります。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

x-おまかせ・まる録一覧画面を表示中に(オプション)を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画・予約する」で利用できるオプション」(79ページ)をご覧ください。

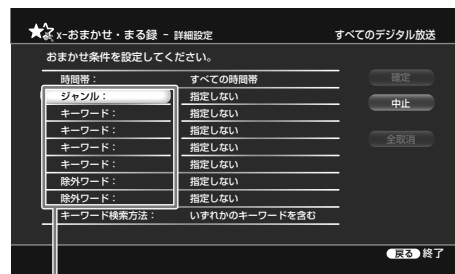
おまかせ条件を変更・取り消すには

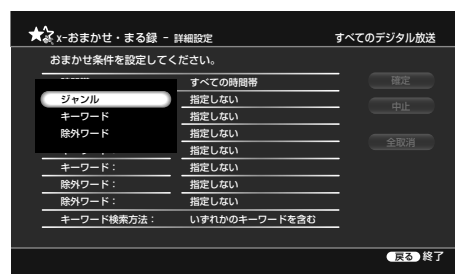
1 **「自動で録画する(x-おまかせ・まる録)」(57ページ)の手順4で変更・取り消したい録画条件を選ぶ。**

2 **手順5以降を行い修正したい項目を選び再度設定する。取り消したいときは[全取消]を選び、(決定)を押し、さらに[確定]を選び、(決定)を押す。**

ジャンルやキーワード、除外ワードの組み合わせを変更するには

おまかせ設定のジャンルとキーワード、除外ワードは合わせて7つまで設定できます。お買い上げ時は、ジャンル設定欄が1つ、キーワード設定欄が4つ、除外ワード設定欄が2つの組み合わせですが、設定したい内容にあわせて、キーワードとジャンルの組み合わせを変えられます。ただし、除外ワードのみの設定の条件は作れません。

1 **「自動で録画する(x-おまかせ・まる録)」(57ページ)の手順7で、↑↓←→で[ジャンル]や[キーワード]、[除外ワード]を選び、(決定)を押す。**

設定したい項目を選ぶ

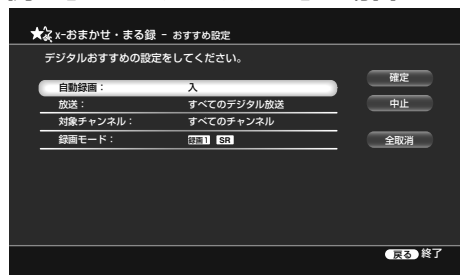
2 **↑↓で[ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]の中から組み合わせたい項目を選び、(決定)を押す。**

ちょっと一言

- HDD残量が少なくなった場合にx-おまかせ・まる録で録画したタイトルが自動消去される場合がありますが、消去されないよう保護できます(109ページ)。
- x-おまかせ・まる録設定の内容を変更／削除しても、変更前のx-おまかせ・まる録が行われることがあります。確実に録画したいときは、番組表からの録画予約をおすすめします。
- x-おまかせ・まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。
- 本機が学習した情報は、(ツールボックス)の[お買い上げ時の状態に設定]で初期化できます(211ページ)。

本機がおすすめする番組を自動録画するための設定をする

地上アナログ放送やデジタル放送の番組で、お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動録画する設定を行います。

1 「自動で録画する（x-おまかせ・まる録）」（57ページ）の手順4で、［デジタルおすすめ］、［アナログおすすめ］または［スカパー！ｅ２おすすめ］を選び、決定 を押す。

例：［デジタルおすすめ］の場合

2 ［自動録画］、［放送］、［対象チャンネル］、［録画モード］を選び、それぞれ設定する。

3 ［確定］を選び、決定する。

x-おまかせ・まる録設定一覧画面の見かた

1 おまかせアイコン
★（緑）
デジタルおすすめ：
本機がおすすめするデジタル放送の番組を自動録画するための設定です。
アナログおすすめ：
本機がおすすめするアナログ放送の番組を自動録画するための設定です。
★
スカパー！ｅ２おすすめ：
本機がおすすめするスカパー！ｅ２の番組を自動録画するための設定です。
☆（白）
自分で設定した録画条件：
自分で録画条件やキーワードを登録すると、このアイコンが付きます。
★（青）
プリセットキーワードの録画条件：
あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って録画条件を登録すると、このアイコンが付きます。
★（灰）
条件が設定されていないものです。

2 おまかせ条件／キーワード

3 放送の種類

4 自動録画・録画モード・録画1／録画2

5 時間帯（詳細設定のときのみ）

x-おまかせ・まる録中に録画を停止するには

1 ホーム を押す。

2 ←→で録画中の放送の種類を選ぶ。

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で録画中の番組を選び、オプション を押す。

4 ［録画停止］を選び 決定 を押し、録画停止確認画面で［はい］を選び 決定 を押す。
録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。
録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

おすすめ自動録画の設定を解除するには

1 「本機がおすすめする番組を自動録画するための設定をする」（59ページ）の手順2で［自動録画］を選び 決定 を押す。

2 ［切］を選び 決定 を押し、さらに［確定］を選び 決定 を押す。

ご注意

［スカパー！ｅ２おすすめ］で自動録画する対象番組は下記になります。
－契約しているチャンネルの場合は、すべての番組が対象
－契約していないチャンネルの場合は、無料の番組のみが対象

次のページにつづく⇨

自動で録画される番組を確認する

おまかせ予約リストを使うと、自動録画される予定のすべての番組を一覧で確認できます。
自動録画の録画条件で抽出された番組だけでなく、本機が探し出したおすすめ度の高い番組も一覧に表示します。

1 ホーム を押す。

2 ↔で (ビデオ)を選ぶ。

3 ↕で (予約確認)を選び、決定 を押す。

4 ↕で (おまかせ予約リスト)を選び、決定 を押す。

おまかせ予約リストが表示されます。
自動録画される予定の番組が一覧で確認できます。

おまかせ予約リストを表示中に オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画・予約する」で利用できるオプション」(79ページ)をご覧ください。

おまかせ予約リストの番組を予約リストに登録するには

おまかせ予約リストに表示されていても録画されない番組もあります。
おまかせ予約リストの番組を確実に録画したいときは、 オプション を押して、[録画予約]を選んでください。

x-おまかせ・まる録と他の録画予約が重なったら

x-おまかせ・まる録以外の録画予約が優先されるため、x-おまかせ・まる録による録画予約は行われません。

x-おまかせ・まる録同士が重なったら

おすすめ度の高い番組を優先して録画します。同じおすすめ度では、録画開始時刻が先のものが優先されます。

ちょっと一言

おまかせ予約リストの内容は、おまかせ設定が完了した時や、番組情報が更新された場合などにより随時更新されます。40件までのおまかせ予約が表示されます。

ご注意

- [番組表取得設定]の[取得時刻]で[取得する]に設定している時刻には、x-おまかせ・まる録による録画が実行されません。x-おまかせ・まる録を優先するには、[自動]に設定してください(196ページ)。お買い上げ時の状態では、[取得する]に設定されている時間帯があります。
- x-おまかせ・まる録で録画される番組は、おまかせ予約リストに表示され、予約リストには表示されません。

番組を検索して録画予約する（番組検索）

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

本機ではキーワードや人名、ジャンルなど、様々な方法で番組を検索できます。
（番組表）を押して、番組表が正しく表示されるのを確認してから検索してください。

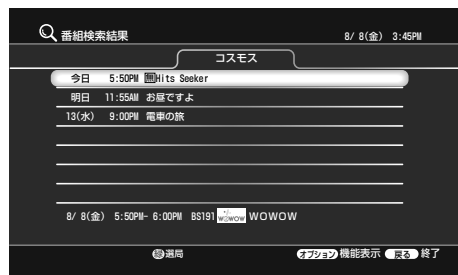
気になる単語で検索して録画予約する（気になる検索）

録画番組の再生中や、デジタル放送の視聴中に、気になる出演者や話題を見つけたら、該当する人名やキーワードを選ぶだけで、気になる番組を素早く検索して簡単に録画予約できます。

1 デジタル放送の番組を視聴しているときや、タイトルを再生しているときに、（オプション）を押す。

2 ↑↓で［気になる人名］または［気になるワード］を選び（決定）を押す。

3 ↑↓で検索したい人名またはキーワードを選び、（決定）を押す。
選んだ人名またはキーワードで検索した番組が表示されます。

4 ↑↓で番組を選び（決定）を押す。

5 予約の内容を確認し、［予約確定］を選び（決定）を押す。
本機の電源を切っていても、録画を行います。

ジャンルから番組を検索して録画予約する（ジャンル検索）

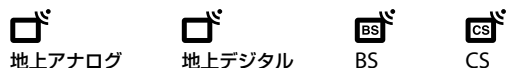
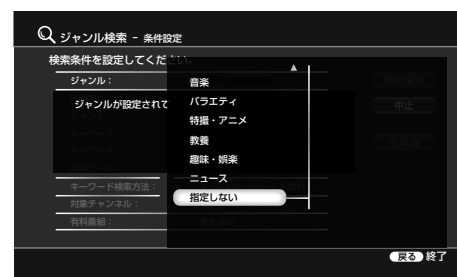
ジャンルの内容に沿ってあらかじめ設定されている様々な条件を使い番組を検索して録画予約します。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で見たい放送の種類を選ぶ。

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で（番組検索）を選び、（決定）を押す。
3つの検索方法が表示されます。

4 ↑↓で（ジャンル検索）を選び、（決定）を押す。

5 ［ジャンル］を選び、（決定）を押す。
ジャンル一覧画面が表示されます。

ジャンルを選んで、→を押すと、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを選べます。

6 ↑↓←→で検索したいジャンルを選び、（決定）を押す。

7 ［放送］、［対象チャンネル］、［有料番組］を選び、それぞれ設定する。
手順2で、地上アナログ放送を選んでいる場合は、［放送］、［有料番組］は選べません。

8 ↑↓←→で［検索開始］を選び、（決定）を押す。
検索結果画面が表示されます。

9 ↑↓で番組を選び、（決定）を押す。

10 予約の内容を確認し、［予約確定］を選び、（決定）を押す。
本機の電源を切っていても、録画を行います。

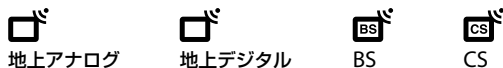
キーワード検索で番組を検索して録画予約する（キーワード検索）

キーワードで番組を検索して録画予約します。

1 （ホーム）を押す。

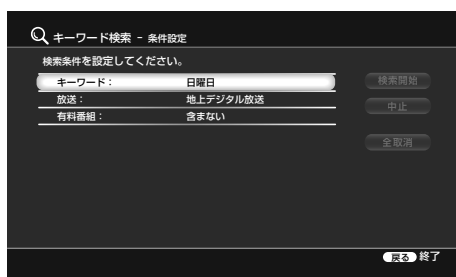
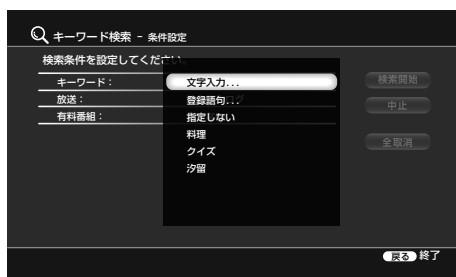
録画・予約する

次のページにつづく⇨

2 ←→で見たい放送の種類を選ぶ。

3 ↑↓で（番組検索）を選び、決定 を押す。

3つの検索方法が表示されます。

4 ↑↓で（キーワード検索）を選び、決定 を押す。

5 [キーワード]を選び、決定 を押す。

6 [文字入力]を選び、決定 を押す。

文字入力画面で語句を入力します（63ページ）。あらかじめ語句を登録してある場合は、[登録語句]から語句を選べます。

7 [放送]、[有料番組]を選び、それぞれ設定する。

手順**2**で、地上アナログ放送を選んでいる場合は、選べません。

8 ↑↓←→で[検索開始]を選び、決定 を押す。

検索結果画面が表示されます。

9 ↑↓で番組を選び、決定 を押す。

10 予約の内容を確認し、[予約確定]を選び、決定 を押す。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

詳細な条件で番組を検索して録画予約する（詳細条件検索）

番組のジャンルやキーワードなどを組み合わせて番組を検索して録画予約します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で見たい放送の種類を選ぶ。

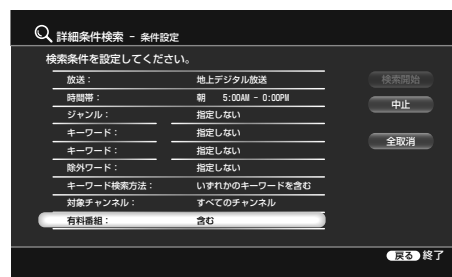
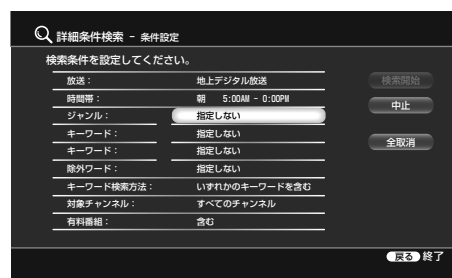
地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で（番組検索）を選び、決定 を押す。

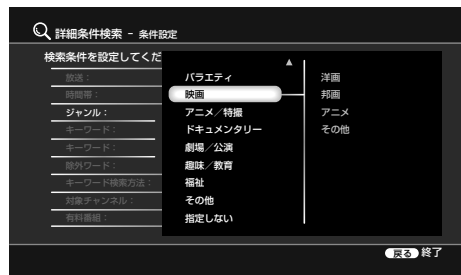
3つの検索方法が表示されます。

4 ↑↓で（詳細条件検索）を選び、決定 を押す。

検索条件設定画面が表示されます。

5 [放送]、[時間帯]、[対象チャンネル]、[有料番組]を選び、それぞれ設定する。

6 ↑↓で[ジャンル]の設定欄を選び、決定 を押す。

ご注意

- 番組表で非表示にしている放送局の番組は検索できません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- キーワードには、カナと漢字の違いがあります。例えば、「野球」という名称の番組を検索するとき、「やきゅう」（ひらがな）では検索されません。また、長音「ー」とダッシュ「—」は異なる文字として認識されます。例えば、「サッカー」（長音）と「サッカ—」（ダッシュ）では検索結果が異なりますのでご注意ください。
- 本機を起動して数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。
- 検索で表示できる番組数は最大200番組までです。
- 検索のタイミングによっては番組表にない番組が検索されたり、番組表にあっても検索結果に表示されないことがあります。
- 詳細条件検索で設定するジャンルとジャンル検索で設定するジャンルでは内容が異なります。詳細条件で設定するジャンルには、番組のジャンル情報しか含まれていませんが、ジャンル検索のジャンルには、番組のジャンル情報以外にも様々な条件を含んでいます。

7 ↑↓←→で設定したいジャンルを選び、(決定) を押す。

ジャンルを選んで→を押すと、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを選べます。

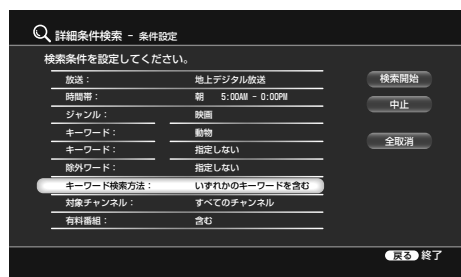
8 ↑↓で[キーワード]の設定欄を選び、(決定) を押す。

キーワードの一覧が表示されます。

9 [文字入力]を選び、(決定) を押す。

文字入力画面で語句を入力します(63ページ)。あらかじめ語句を登録してある場合は、[登録語句]から語句を選べます。

10 文字を入力したら[入力終了]を選び、(決定) を押す。

11 [キーワード検索方法]を選び、(決定) を押す。

12 ↑↓で設定項目を選び、(決定) を押す。

13 ↑↓←→で[検索開始]を選び、(決定) を押す。

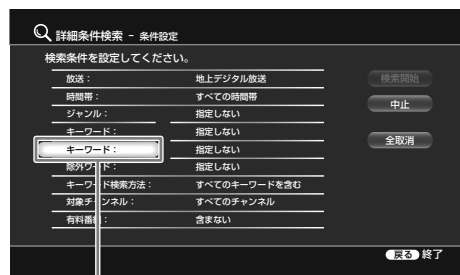
検索結果画面が表示されます。

14 ↑↓で番組を選び、(決定) を押す。

15 予約の内容を確認し、[予約確定]を選び、(決定) を押す。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

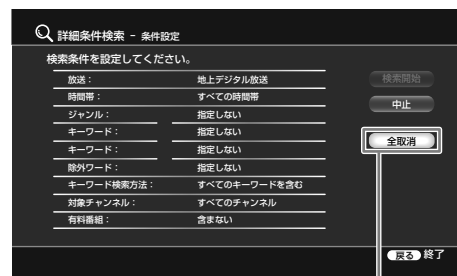
キーワードとジャンルの組み合わせを変更するには

番組検索のジャンルとキーワードは合わせて4つまで設定できます。検索したい番組の内容にあわせて、次の手順でキーワードとジャンルの組み合わせを変えられます。除外ワードを組み合わせることもできます。

[ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]のいずれかに設定できる

検索条件を変更するには

1 検索結果画面表示中に (戻る) を押す。

2 [ジャンル検索](61ページ)、[キーワード検索] (61ページ)、[詳細条件検索](62ページ)のいずれかを選び、手順に従って変更する。

すべての項目を変更して検索したいときは、[全取消]を選び、(決定) を押します。

[全取消]

文字を入力する

文字入力画面は、文字を入力する項目を選ぶと表示されます。文字入力はキーワードで番組を検索したり、録画した番組(タイトル)の名前を変えるときに使います。

リモコンの数字ボタンで文字を入力する

携帯電話のように (1) ～ (12/選局/確定) の数字ボタンで文字を入力できます。

カラーボタンは次のように使います。

(青)：押すごとに入力モードを「かな/漢字」→「カタカナ」→「英字」→「数字」→「かな/漢字」の順で切り換えます。

(赤)：漢字やカタカナに変換したり、英字や数字を全角または半角に変換します。

(緑)：かな漢字入力モードの時に、予測候補を表示します。英字入力モードでは、大文字、小文字を切り換えます。

(黄)：入力されている文字を確定して、キーボード画面を終了します。

(クリア)(クリア)：カーソルの後の1文字を削除します。後に文字がないときは、前の文字を削除します。ボタンを押し続けると、文字をすべて削除します。

次のページにつづく⇨

例として、「お父さんのDisc」と入力してみます。

1 ① を5回押し、[お]を選ぶ。
入力文字表示エリアに「お」が表示されます。

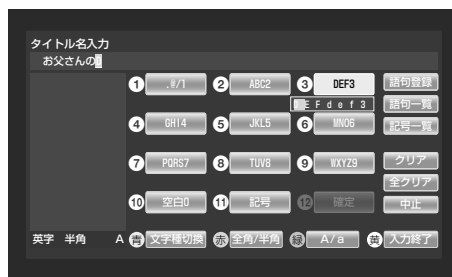
2 ④ を5回押して、[と]を選ぶ。
同様にして「う」、「さ」、「ん」、「の」と入力します。

3 赤 [変換]を押す。
変換候補が表示されます。

4 ↑↓で変換候補から入力したい文字を選び、決定 を押す。
漢字変換された文節が決定されます。

5 青 を押し、入力モードを英字に切り換える。
英字入力モードに切り換わります。

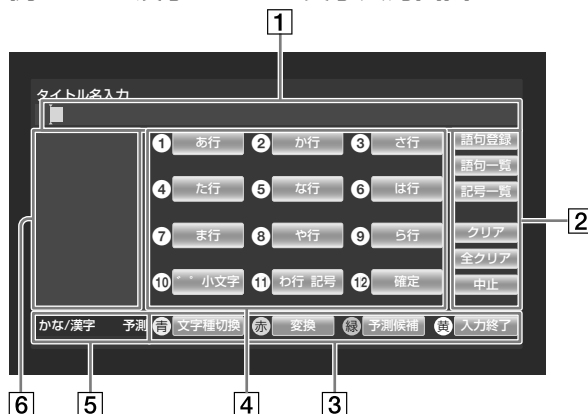
6 赤 を押し、半角モードに切り換える。
全角から半角モードに切り換わります。

7 ③ を1回押し、[D]を選ぶ。
「D」が表示されます。

8 緑 を押し、小文字入力モードに切り換える。
大文字入力から小文字入力モードに切り換わります。

9 ④ を3回押し、[i]を選ぶ。
同様に[s]、[c]を選んで、入力します。

10 黄 [入力終了]を押す。
文字入力が終了し、元の画面に戻ります。

文字入力画面の見かた

例：かな/漢字モードの文字入力画面

1 **入力文字表示エリア**
入力できる最大文字数は次のとおりです。
HDD、BDに録画したタイトルのタイトル名：
全角40文字（半角80文字）
DVDに録画したタイトルのタイトル名：
全角32文字（半角64文字）
BDディスク名：全角69文字（半角138文字）
DVDディスク名：全角32文字（半角64文字）
キーワード入力：全角10文字（半角20文字）
タイトルのマークの名前：全角20文字（半角40文字）
写真のアルバム名やファイル名：全角16文字（半角32文字）

ちょっと一言

文字入力画面の[記号一覧]から選べる、二（二ヶ国語放送）や字（字幕放送）は、キーワード検索で使用できます。

2 画面内操作ボタン

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアに表示されている語句を登録します。
語句一覧	登録してある語句の一覧を表示します。
記号一覧	記号の一覧を表示します。
クリア	カーソルの後の1文字を消します。後に文字がないときは、前の1文字を消します。
全クリア	入力した文字をすべて消します。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに入力した文字は記録されません。

3 機能ボタンエリア

4 文字選択／変換／確定操作欄
リモコンの数字ボタン（1〜12）に対応していて、携帯電話のように数字ボタンで選択できます。

5 入力文字／変換モード
入力文字種を表示し、候補パネルの表示が予測候補文字か変換文字かを表示します。

6 候補パネル
予測変換候補を表示します。変換時は、変換文字を表示します。

予測変換機能を使うには

文字入力中、変換された語句が画面左の候補パネルエリアに表示されます。その中から正しい語句を選んで、入力できます。
緑［予測候補］を押し、↑↓で語句を選んで決定を押します。

↑↓←→で文字を入力する

例：［お］を入力する場合

1 ［あ行］を選び、決定を押す。

2 →で［お］を選び、決定を押す。

→で［お］を選ぶ

連文節の漢字変換について

連文節の文章を漢字変換すると、まず最初の1文節だけ漢字変換されます。文節の区切りを変更するときは、次のように操作します。

1 連文節の文章を入力する。
文字の入力のしかたについては「文字を入力する」（63ページ）をご覧ください。

2 ［変換］を選び、決定を押す（または赤（赤）を押す）。

3 ←→で、文節の長さを調節する。

4 変換候補から入力したい文字を選び、決定を押して選んだ文節の変換を確定する。
次の文節が自動的に漢字変換されます。

文字を挿入するには

↑↓←→で入力文字表示エリアにカーソルを動かし、←→で挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。数字ボタンまたは↑↓←→を使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

文字入力を中止するには

［中止］を選んで決定を押し、確認画面で［はい］を選びます。
入力文字表示エリア内の文字は入力されずに、元の画面に戻ります。

よく利用する語句を登録する

あらかじめよく利用する語句を登録できます。

1 「文字を入力する」（63ページ）の手順1 〜 4にしたがって登録したい語句を入力する。

2 ［語句登録］を選び、決定を押す。

ちょっと一言

- 登録できる語句は20語までです。
- ［語句一覧］で［語句削除］を選び、削除したい語句を選んで決定を押し、確認画面で［はい］を選び決定を押すと、登録した語句を削除できます。

ご注意

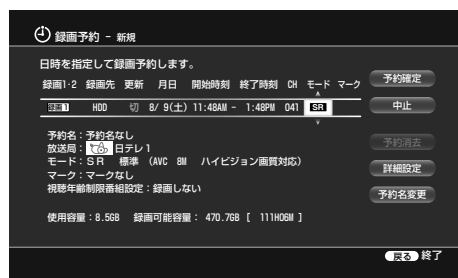
電源コードを抜き差ししたり、再起動（リセット）させたりすると、変換に関する学習データが消去されます。

日時を指定して録画予約する

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

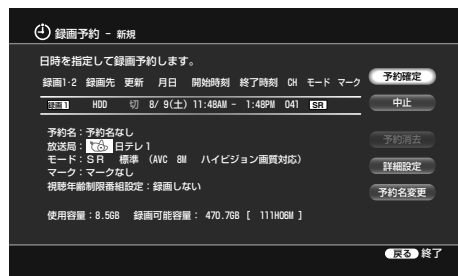
1ヵ月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約と合わせて、40番組まで予約できます。

1 **予約する を押す。**

2 **↑↓で（日時指定予約）を選び、決定 を押す。**

録画予約設定画面が表示されます。

3 **←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。**

HDDに録画したいときは[録画先]を[HDD]に、BDに録画したいときは[録画先]を[BD]に設定してください。
予約名を変更したいときは、[予約名変更]を選び、名前を入力してください(63ページ)。

4 **[予約確定]を選び、決定 を押す。**

本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機状態になります。
本機の電源を切っていても、録画を行います。

BS/110度CSデジタル放送のときは、[詳細設定]で指定時間内の視聴年齢制限番組を録画するかどうかを設定できます。

録画予約設定画面でできること

項目	設定
録画1・2	「録画1」か「録画2」どちらかを選びます（アナログ放送は「録画1」のみ）。
録画先	HDD、BDが選べます。
更新（HDDのみ）	毎回録画を設定したときに、[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します（55ページ）。
月日	録画の日付を選びます。 次の順で選べます。 今日 → 明日 →………（1ヵ月後）→ 毎(日) →……… → 毎(土) → 月-金 → 月-土 → 毎日 → 今日
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
CH	チャンネルを選びます。次の順で選べます。 地上アナログ* → 地上デジタル → BSデジタル → CSデジタル → 入力* アナログ、デジタル、BS、CSで放送の種類を、入力切換（入力切換）で外部入力の種類を選ぶこともできます。
モード	録画モードを選びます（238ページ）。 リモコンのふたの中の 録画モード（録画モード）でも録画モードを変更できます。「録画1・2」で「録画2」を選ぶと録画モードは「DR」に設定されます。
マーク（HDDのみ）	録画したいタイトルに付けるマークを選びます（95ページ）。

＊「録画1」のみ

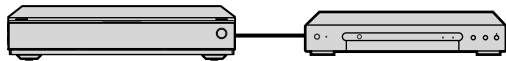
録画予約を確認するには

録画予約した内容を確認したいときは、「録画予約を確認する・変更する・取り消す」(72ページ)をご覧ください。

ご注意

日時を指定した録画予約に有料番組が含まれている場合、その間の時間は録画されません。有料番組は、番組表から予約してください(42ページ)。

外部チューナーの映像を録画／録画予約する HDD BD-RE BD-R

デジタルCS放送や、CATV局のBS/110度CSデジタル放送、有料チャンネルなどを外部チューナーを使って録画する場合、本機と外部チューナーを接続して、日時指定予約を使って録画予約する必要があります。

①本機と外部チューナーを接続する

接続方法について詳しくは「準備編」の「［準備４］その他の機器をつなぐ」の中の「チューナーをつなぐ」をご覧ください。

S映像ケーブルを使う場合は、の［映像設定］で［映像入力］を選び、［S映像］にしてください。

②外部チューナーの録画予約を設定する

外部チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画したい日時、チャンネルで録画予約の設定を行ってください。

③本機で日時指定予約を設定する

「②外部チューナーの録画予約を設定する」で設定した予約と同じ日時で、本機の日時指定予約を設定します。

1 **（予約する）を押す。**

2 **↑↓で（日時指定予約）を選び、（決定）を押す。**

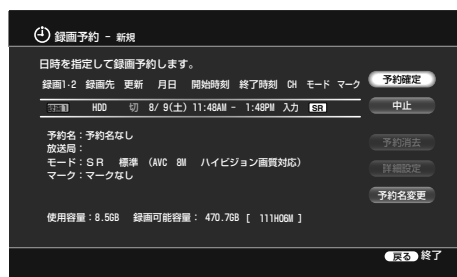
録画予約設定画面が表示されます。

3 **←→で［CH］を選び、↑↓で［入力］を選び（決定）を押す。**

4 **←→で各設定項目を選び↑↓で設定する。**

HDDに録画したいときは［録画先］を［HDD］に、BD録画したいときは［録画先］を［BD］に設定してください。

予約名を変更したいときは、［予約名変更］を選び、名前を入力してください（63ページ）。

5 **［予約確定］を選び（決定）を押す。**

本機の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機状態になります。

本機の電源及び、外部チューナーの電源を切っていても、録画を行います。

録画予約を確認するには

録画予約した内容を確認したいときは、「録画予約を確認する・変更する・取り消す」（72ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

録画をする前に、録画の画質や映像サイズを調整できます。「録画の画質・映像サイズや音声を設定する」（77ページ）をご覧ください。

ご注意

外部入力から録画する場合、［1回だけ録画可能］の番組は、BDには録画できません。

次のページにつづく⇨

外部チューナーの映像を録画するには

1 ホーム を押す。

2 ←→で (外部入力)を選ぶ。

3 ↑↓で (入力)を選び、決定 を押す。

放送を見ている状態で 入力切換 (入力切換)をくり返し押して、選ぶこともできます。
画面が外部チューナーの映像に切り換わります。

4 リモコンのふたの中の 録画モード (録画モード)をくり返し押して、録画モードを選ぶ。

録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」(39ページ)をご覧ください。

5 オプション を押し、↑↓で録画先を選び、決定 を押す。

HDDに録画したいときは[HDD録画]を、BDに録画したいときはあらかじめ記録可能なBDを挿入し[BD録画]を選んでください。
録画が始まります。
録画を止めるには、リモコンのふたの中の 録画停止 (録画停止)を押します。録画停止をしない場合は、最長8時間録画されます。

外部チューナーの二重音声放送を記録するには

外部チューナーの外部出力音声が主音声＋副音声に設定してある場合は、本機で以下の設定が必要です。

1 ホーム を押す。

2 ←→で (外部入力)を選ぶ。

3 ↑↓で (入力)を選び、決定 を押す。

放送を見ている状態で 入力切換 (入力切換)をくり返し押して、選ぶこともできます。
画面が外部チューナーの映像に切り換わります。

4 リモコンのふたの中の 録画モード (録画モード)をくり返し押して、録画モードを選ぶ。

録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」(39ページ)をご覧ください。

5 オプション を押し、[画音設定]‐[音声設定]で[外部入力音声]を選び、[二重音声]に設定する(78ページ)。

6 [ビデオ設定]の[二重音声記録]を[主音声]または[副音声]に設定する(197ページ)。

7 オプション を押し、↑↓で録画先を選び、決定 を押す。

HDDに録画したいときは[HDD録画]を、BDに録画したいときはあらかじめ記録可能なBDを挿入し[BD録画]を選んでください。
録画が始まります。
録画を止めるには、リモコンのふたの中の 録画停止 (録画停止)を押します。録画停止をしない場合は、最長8時間録画されます。

ちょっと一言

「外部チューナーの映像を録画するには」(68ページ)の手順**5**や「外部チューナーの二重音声放送を記録するには」(68ページ)の手順**7**でリモコンのふたの中の 録画 (録画)を押しても、HDDに録画できます。

ビデオデッキやビデオカメラの映像を録画する HDD BD-RE BD-R

ビデオデッキやビデオカメラで録画したテープから本機に録画できます。
また、本機以外の機器のHDDに記録したダビング10の録画制限を含む映像*を外部入力経由で本機に録画できます。その場合、BDへのダビングはできませんが、CPRM（132ページ）対応のDVDへの移動（ムーブ）はできます。

* 本機以外の機器がアナログ制限対応している必要があります。

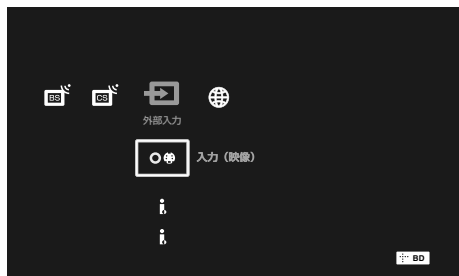
①本機に接続する

本機にビデオデッキやビデオカメラをつなぎます。
ビデオデッキの接続方法について詳しくは「準備編」の「［準備４］その他の機器をつなぐ」の中の「ビデオデッキをつなぐ」をご覧ください。
ビデオカメラからの映像の取り込みについては、「映像や写真を取り込む」（148ページ）をご覧ください。
HDV1080i/DVに接続する場合は、148ページの「i.LINKケーブルを使ってデジタルビデオカメラの映像をまるごとダビングする（HDV/DVダビング）」をご覧ください。

②録画する

1 ホーム を押す。

2 ←→で （外部入力）を選ぶ。

3 ↑↓で外部機器の入力元を選び、決定 を押す。

外部機器をつないだ端子に応じて、「入力」または「HDV」、「DV」を選んでください。放送を見ている状態で 入力切換（入力切換）をくり返し押して選ぶこともできます。
画面が外部入力の映像に切り換わります。

4 リモコンのふたの中の 録画モード（録画モード）をくり返し押して、録画モードを選ぶ。

録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」（39ページ）をご覧ください。

5 リモコンのふたの中の 録画一時停止（録画一時停止）を押して、本機を録画一時停止状態にする。

6 本機の入力端子につないだ外部機器を再生一時停止状態にする。

7 リモコンのふたの中の 録画一時停止（録画一時停止）と、外部機器の一時停止または再生ボタンを同時に押す。
録画が始まります。
録画を止めるには、リモコンのふたの中の 録画停止（録画停止）を押します。録画停止をしない場合は、最長8時間録画されます。

ビデオデッキやビデオカメラの映像をBDに直接録画したいときは

1 本機にディスクを入れる。

2 「②録画する」（69ページ）の手順4のあと、オプション を押す。

3 ↑↓で［BD録画］を選び 決定 を押す。

4 外部機器の再生ボタンを押す。

ビデオデッキの二重音声の映像を記録するには

二重音声付きの映像を録画する場合は、本機で以下の設定が必要です。

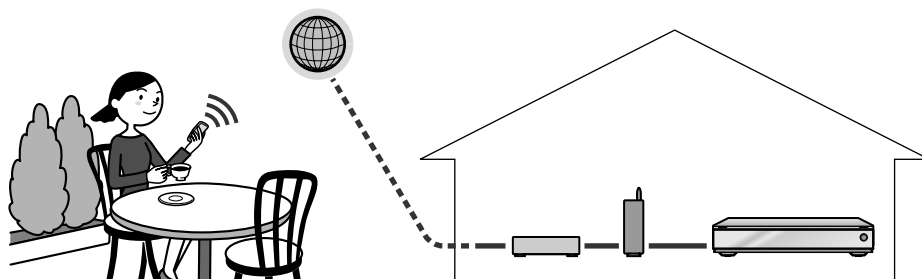
1 「②録画する」（69ページ）の手順4で オプション を押し、［画音設定］-［音声設定］で［外部入力音声］を選び、［二重音声］に設定する（78ページ）。

2 ［ビデオ設定］の［二重音声記録］を［主音声］または［副音声］に設定する（197ページ）。

ちょっと一言

録画をする前に、録画の画質や映像サイズを調整できます。「録画の画質・映像サイズや音声を設定する」（77ページ）をご覧ください。

携帯電話やパソコンなどから録画予約する（リモート録画予約） HDD 地上アナログ 地上デジタル BS CS

本機をインターネットに常時接続すると、外出先から、その場で録画予約できます。また、ホームサーバー機能を使うと、別の部屋にあるソニールームリンク対応の<ブラビア>で本機の映像や写真を楽しむ（103ページ）だけでなく、<ブラビア>の番組表から本機に録画予約の設定をすることができます。

リモート録画予約を利用するための準備

リモート録画予約をするには、次の準備が必要です。

- 本機をFTTH（光）などの常時接続のブロードバンドインターネット接続回線につなぐ（「準備編」の「電話回線／ネットワークにつなぐ」）。
- ネットワーク設定の［接続診断］を行う（208ページ）。
- 携帯電話やパソコンから録画予約を行う場合、リモート録画予約の設定を行う（209ページ）。
- 本機のスタンバイモードが［高速起動］の設定になっていることを確認する（203ページ）。

携帯電話で録画予約する

地上アナログ放送、地上デジタル放送、およびＢＳデジタル放送の録画予約が可能です。
リモート録画予約をご利用いただくには、別途リモート録画予約サービス事業者との契約が必要です。

携帯電話からリモート録画予約をするには、リモート録画予約に対応した携帯電話を用意してください。対応する機種や機能については下記をご確認ください。

登録方法、携帯機種および機能に関する問合せ先（2009年3月現在）

ホームページ

PC: http://ipg.jp/ra/
携帯: http://ipg.jp/k/

メールでのお問い合わせ

◆ NTTドコモの携帯電話をお使いのかた
Gガイド番組表リモコン事務局
E-mail：help@ggmobile.jp

ちょっと一言

一部の携帯電話からは、本機の予約リストの取得や録画モードの変更、録画した番組（タイトル）の削除やプロテクト操作も可能です。

ご注意

- リモート録画予約を行っても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかる場合があります。録画したい番組に間に合うようにご注意ください。
- 本機に登録できるリモート機器は5台までです。
- 携帯電話やパソコンから録画予約を行う場合、次の費用が発生します。これらの費用はすべてお客様負担となります。
  － インターネット接続プロバイダーへの、接続料金など
  － 携帯電話からリモート録画予約サービス側のサーバーにアクセスするときの通信料

◆ auの携帯電話をお使いのかた
Gガイド番組表事務局
E-mail：help-au@ggmobile.jp
◆ ソフトバンクの携帯電話をお使いのかた
Gガイドモバイル事務局
E-mail：help_ggm_sbm@ggmobile.jp
ご利用にあたっては、お客様の責任によりサービス登録をお願いいたします。

パソコンを使って録画予約する

So-netが提供するインターネットサービス「Gガイド.テレビ王国」を使って、お使いのパソコンから録画予約できます。
地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の録画予約が可能です。
ご利用いただくには、「Gガイド.テレビ王国」のメンバーサービスへの登録が必要です。

登録方法、機能に関する問合せ先
（2009年3月現在）
ホームページ
PC: http://www.so-net.ne.jp/tv/dvr/
Gガイド.テレビ王国サポートのホームページ
PC: http://www.so-net.ne.jp/tv/support/
Gガイド.テレビ王国は商標です。

ご利用にあたっては、お客様の責任によりサービス登録をお願いいたします。

<ブラビア>からネットワークを利用して録画予約する（ネットワーク録画予約）

ソニールームリンク対応の<ブラビア>（X1000シリーズを除く）をお使いの場合、ホームサーバー機能を利用して<ブラビア>の番組表から本機に予約設定できます。

1 **本機と<ブラビア>をネットワーク接続する。**
詳しくは「準備編」の「電話回線／ネットワークにつなぐ」をご覧ください。

2 **本機のホームサーバー機能を利用するための設定をする。**
設定方法については、[ツールボックス]ー[通信設定]の[ホームサーバー設定]（210ページ）をご覧ください。

3 **<ブラビア>のホームネットワークの設定を「入」にする。**
詳しくは<ブラビア>の取扱説明書をご覧ください。

4 **<ブラビア>の番組表から予約設定を行う。**
本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。

ソニールームリンクに対応する<ブラビア>について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/event/DLNA/

リモート録画予約に関する免責事項

- リモート録画予約サービス事業者によるサービス内容は、予告なく変更・中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。
- ソニーは、理由の如何を問わず発生したリモート録画予約サービスの提供の遅延または中断等によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。
- ソニーは、理由の如何を問わず、以下を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能に対して、一切の責任を負わないものとします。
  – リモート録画予約サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等
  – ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情
- 本機の修理・交換等によりリモート録画予約サービスの再登録が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

リモート録画予約についての制限事項

- 次の場合はリモート録画予約を行っても実行されません。
  – ディスクの容量が不足している場合
  – 重複する予約を後から、本機や他の機器から行った場合
  – 録画予約に影響する操作を本機で行った場合
  – B-CASカードが挿入されてない場合（BS/110度CSデジタル放送、地上デジタル放送の場合）
- リモート録画予約は「録画1」で行われます。
- 携帯電話やパソコンから登録した予約を本機で修正する場合、[毎回録画]の設定を[番組名]に設定すると、手動による延長はできません。
- <ブラビア>からの録画予約は、本機では日時指定予約となります。

録画予約を確認する・変更する・取り消す

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

予約リストを使って録画予約を確認する・変更する・取り消す（予約リスト）

予約リストを使って、予約の変更や消去、重複確認、優先順の変更ができます。

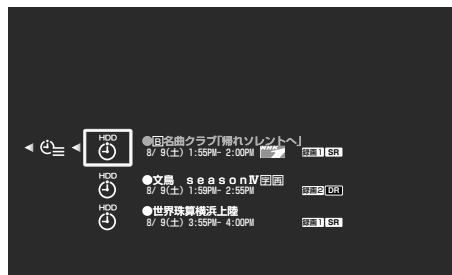
1 ホーム を押す。

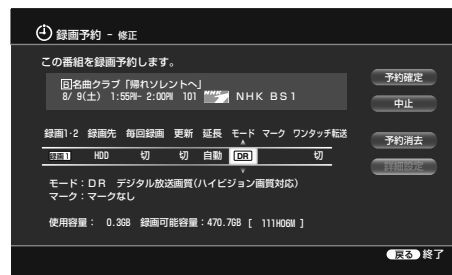
2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で （予約確認）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で （予約リスト）を選び、決定 を押す。

予約した番組の一覧（予約リスト）が表示されるので、予約内容を確認してください。

5 （予約リスト）から、予約内容を確認・変更・取り消したい番組を選び、決定 を押す。

緑（緑）を押すと、予約リストの並び替えができます。

6 予約内容の確認･変更･取り消しを行う。

予約内容を確認するとき

内容を確認し、戻る を押す。

予約内容を変更するとき

1 ←→で変更したい項目を選ぶ。

2 ↑↓で項目を変更する。

録画予約設定画面の設定項目について詳しくは、「番組表で録画予約する（番組表（EPG））」（42ページ）の手順7をご覧ください。

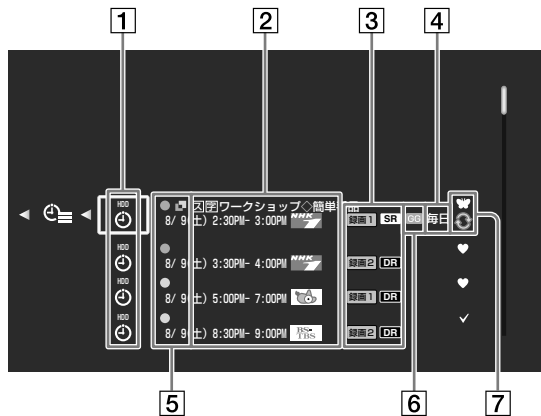
3 ↑↓←→で［予約確定］を選び、決定 を押す。

予約を取り消したいとき

↑↓←→で［予約消去］を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

- 録画中の予約を変更することはできませんが、録画時間を延ばすことはできます（44ページ）。
- 予約リスト表示中にオプションボタンを押し、「予約消去」を選んでも予約を取り消すことができます。

予約リストの見かた

1 **録画先**

HDDかBDを表示します。

2 **予約している番組の一覧**

3 **録画先・録画モードマーク**

録画1 録画2 ：「録画1」、「録画2」どちらで録画するのかが表示されます。

DR など：録画時の録画モードが表示されます。

4 **毎回録画表示**

毎日、毎週、月–金、番組名など、毎回録画で予約した場合に表示されます。

5 **予約状態マーク**

：複数の予約が重なっている場合、優先順位が低い予約に表示されます。

●（赤）：録画予約した番組を録画しているときに表示されます。

●（青）：録画可
同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画できることを示します。

●（灰）：録画不可
録画先に設定されたディスクが残量不足、または他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。録画可能にするには、タイトルを削除するなどして容量を空けてください。
録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。また、番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合にも表示されます。

⚠：対象番組なし
予約に該当する番組を追跡できない可能性がある場合に表示されます。

6 **番組情報マーク**

GG ：地上アナログ放送の番組表から録画予約した場合に表示されます。

¥：有料番組に表示されます。

7 **マーク**

予約設定時に設定した分類マークを表示します。

（更新）：更新録画予約（55ページ）に設定されている場合に表示されます。

予約リストを表示中に を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画・予約する」で利用できるオプション」（79ページ）をご覧ください。

番組表を使って予約を変更する・取り消す

番組表で設定した予約は、番組表から予約の変更や消去ができます。

1 番組表を表示する。

2 番組表から予約した番組を選び、決定 を押す。

録画予約―修正画面が表示されます。設定項目を変更できます。

項目	できること
予約消去	予約を取り消します。録画予約消去画面で［はい］を選び、決定 を押します。
詳細設定	記録する信号を選びます（録画モードがDR以外でデジタル放送のみ）。

3 予約を変更したら、［予約確定］を選び、決定 を押す。

ご注意

- デジタル放送の予約の場合、番組の延長に自動的に対応して録画されます。また、放送時間内に終わらなかったときに他のチャンネルで放送を継続する番組（イベントリレー）でも、本機が自動的に対応して録画します。ただし、毎回録画に設定して番組追跡しなかった場合や、録画予約の設定の中で［延長］の設定を［自動］以外に設定した場合は、自動で延長されません。
- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合に時間変更に対応して録画しますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、番組の先頭が録画されない場合があります。
- 先の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります（番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合）。
- 予約が重なっている場合は、優先度の低いほうの予約の先頭または最後部は録画されない場合があります。

次のページにつづく⇨

予約の重複を確認する

予約リストで、予約の重複を確認できます。予約重複マーク は予約の優先順位が低い予約に表示されます。

オプションメニューで[重複確認]を選んで、確認します。

確実に録画したい場合は、オプションメニューの[優先変更]で設定し直してください(74ページ)。

予約の優先順位を変更する

本機では、録画の[優先順位]にしたがって録画します。

[優先順位]は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。

予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。

重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて番組を最優先させてください。

1 **ホーム を押す。**

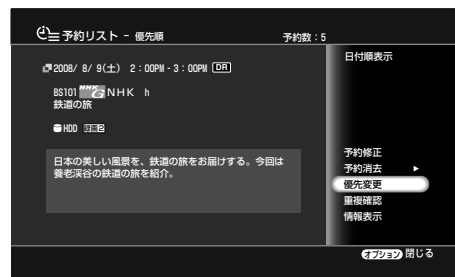
2 **←→で (ビデオ)を選ぶ。**

3 **↑↓で (予約確認)を選び、決定 を押す。**

4 **↑↓で (予約リスト)を選び、決定 を押す。**

5 **予約リストで重複している番組を選んで、オプション を押す。**

重複している番組には がついています。

6 **[優先変更]を選び、決定 を押す。**

優先変更画面が表示されます。

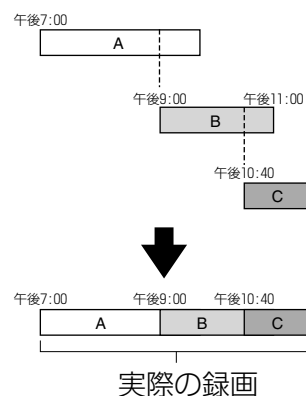
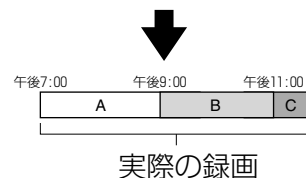
7 **[はい]を選び、決定 を押す。**

選んだ予約が最優先で録画されます。

予約が重なっているときは

「日時を指定して録画予約する」(66ページ)の手順**4**の後に重複確認の画面が表示されます。新たに登録された予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、予約重複マーク が付きます。

重複予約を確定した場合、後から設定した予約が優先されます。

例：番組[A]、[B]、[C]の順に予約した場合(番組[C]の優先順位が一番高い)

番組[B]の優先順位を番組[C]よりも高くすると、番組[B]は設定した録画終了時間まで録画されます。

ご注意

- リモート録画予約で[毎回録画]を[番組名]に設定した場合、手動で延長できません。
- [見て録]で設定した予約は延長できません(「準備編」の「ブラビアのリモコンで本機を簡単に操作する(ブラビアリンク)」)。

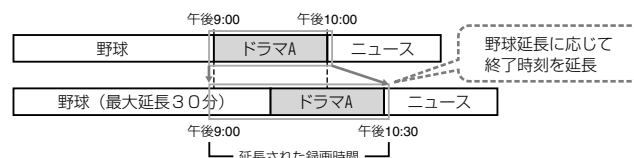
予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

前の番組の最後の約20秒が録画されません。前後の録画を「録画1」と「録画2」に分けて予約すると、途切れずに録画されます。

スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する（スポーツ延長対応）

スポーツ中継の放送延長により、予約した番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、番組表データから検出された延長時間分（10分単位で最長120分）、検出できない場合は［スポーツ延長対応］（197ページ）で設定した時間分延長して録画します。次の条件をすべて満たしている場合、録画終了時刻が延長されます。

- 予約番組の放送開始時刻より前に、ジャンルが「スポーツ」の番組の放送予定が同じチャンネルにある。
- スポーツ中継番組の番組説明に「延長」、「試合終了まで」、または「完全中継」という語句がある。
- スポーツ中継番組が、午後7:00から午後9:00の間に放送される。
- スポーツ中継番組の放送延長により変更となった、予約番組の開始時刻が翌日午前5：00より前である。
- デジタル放送は放送局から、番組の延長情報などが送られてくるため、スポーツ延長の設定をしなくても、自動的に録画を延長します。デジタル放送で自動的に録画を延長させたいときは、延長の設定を［自動］にしてください。

例：午後9:00から午後10:00まで放送予定のドラマAを予約しています。ドラマAの前には野球が放送され、最大30分間の放送延長の可能性があります。延長の情報があると、ドラマAの録画開始時刻はそのままで、終了時刻を30分延長します。

自動延長された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合、録画は予約の優先順位にしたがいます（74ページ）。

この機能はお買い上げ時は、［30分］に設定されています。

この設定を取り消すには、の［ビデオ設定］で［スポーツ延長対応］を選び、［切］に設定します。

放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する（番組追跡録画）

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、最終回だけ放送時間が違う場合に録画できないことがあります。番組追跡録画を設定すると、放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃さず録画できます。また、1回だけの予約の場合でも、録画の前に番組表データの更新があった場合、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。追跡可能な範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。

この機能は、以下の番組で利用できます。

- 毎回録画に設定したデジタル放送の番組
- 録画予約の［延長］の設定を［自動］以外に設定したデジタル放送の番組

ちょっと一言

- 予約したスポーツ番組も延長の対象となります。
- 上記の例でドラマAを他の予約より優先させたいときは、予約リストでその予約を選び、オプションボタンを押して、［優先変更］を設定してください。

ご注意

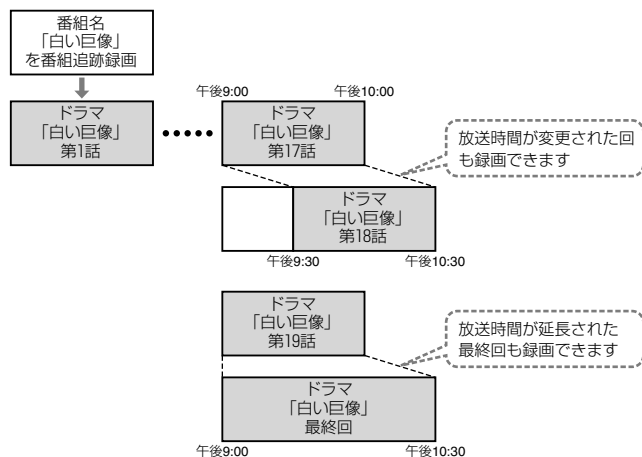
次の場合は、番組の追跡ができなかったり、他の番組を追跡してしまったりするため、録画されないことがあります。

－番組名が変わった場合

－番組名が短い場合

－放送時間が大幅に短くなった場合

次のページにつづく⇨

• 地上アナログ放送の番組

この機能はお買い上げ時は、[入]に設定されています。
この機能を使わないようにするには、の[ビデオ設定]で[番組追跡録画]を選び、[切]に設定します。

番組名を変更して追跡するには

予約リストで番組を選んで、を押し、[番組追跡情報]を選びます。追跡情報画面で[番組名変更]を選んで、追跡のための番組名を変更します。指定した番組の録画中は表示されません。
番組追跡情報は番組表からの予約で次の場合のみ表示され、修正できます。

- 地上アナログ放送の番組
- デジタル放送で毎回録画に設定した番組
- デジタル放送で延長を設定した番組

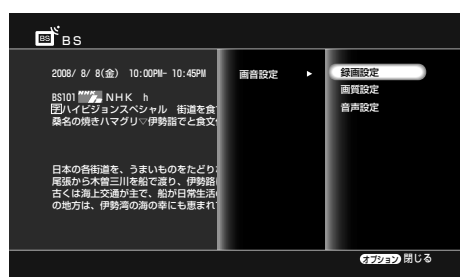
録画・予約する

録画の画質・映像サイズや音声を設定する HDD BD-RE BD-R

画質・映像サイズを設定する

録画するときの画質や映像サイズを設定できます。録画前に行ってください。

1 **本機で放送または外部入力(HDV入力を除く)を視聴中に オプション を押す。**

2 **[画音設定]から[録画設定]を選び、決定 を押す。**
録画設定画面が表示されます。

3 **次の各設定項目を選び、決定 を押す。**
お買い上げ時の設定は、下線の数値です。

項目	設定
録画モード	録画先や録画する時間、画質に合わせて録画モードを設定します。「録画モード一覧」(238ページ)をご覧ください。
外部入力録画横縦比(入力のみ)	録画する映像に合ったサイズに設定します。 • 16:9:映像サイズを16:9(ワイド画面)に設定します。 • 4:3:映像サイズを4:3に設定します。
DV入力録画横縦比(DV入力のみ)	録画する映像に合ったサイズに設定します。 • 16:9:映像サイズを16:9(ワイド画面)に設定します。 • 4:3:映像サイズを4:3に設定します。
録画画質調整(入力/DVのみ)	各項目ごとに画質を調整します。調整する項目を選び、決定 を押します。 • コントラスト:コントラストを調整します。 • ブライトネス:全体の明るさを調整します。 • 色の濃さ:色をより濃く、またはより薄く調整します。 • 色あい:画面の赤と緑のバランスを調整します。

[標準設定]－[はい]を選ぶと、[録画設定]のすべての設定を標準値に戻します。

4 **↑↓←→で設定を選び、または調整し、決定 を押す。**
お買い上げ時の設定は、下線の数値です。

項目	設定
録画画質調整	
コントラスト	(弱)-3 ～ 0 ～ 3(強)
ブライトネス	(暗)-3 ～ 0 ～ 3(明)
色の濃さ	(薄)-3 ～ 0 ～ 3(濃)
色あい	(赤)-3 ～ 0 ～ 3(緑)

5 **録画モードや、外部入力録画横縦比、DV入力録画横縦比、録画画質調整を調整するときは、手順3 ～ 4をくり返す。**

6 **[閉じる]を選び、決定 を押す。**

次のページにつづく⇨

音声を設定する

録画するときの音声を設定できます。
録画前に行ってください。

1 **本機で外部入力(HDV入力を除く)を視聴中に [オプション] を押して、[画音設定]－[音声設定]を選び、[決定] を押す。**
音声設定画面が表示されます。

2 **各設定項目を選び、[決定] を押す。**
お買い上げ時の設定は、下線の設定や数値です。

項目	設定
外部入力レベル調整（入力のみ）	音声／映像／ S映像入力端子からの映像を録画するときの音量を設定します。 （小）－2 ～ 0 ～ 2（大）
外部入力音声（入力のみ）	外部機器から入力する音声の種類を設定します。 • ステレオ⇨ステレオ音声を記録します。 • 二重音声⇨二か国語放送などの二重音声（主音声または副音声）を記録します。
DV入力音声（DV入力のみ）	デジタルビデオカメラの映像をダビングするときの音声の種類を設定します。 • ステレオ1⇨デジタルビデオカメラで録画したときの音声を記録します。 • ミックス⇨ステレオ1とステレオ2の音声を同時に記録します。 • ステレオ2⇨デジタルビデオカメラでアフレコしたときの音声を記録します。

3 **↑↓←→で設定を選び、または調整し、[決定] を押す。**

4 **設定を調整したら、↑↓←→で[閉じる]を選び、[決定] を押す。**

録画・予約する

「録画・予約する」で利用できるオプション

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能		できること
あ行	追いかけ再生		録画中の番組を再生します(89ページ)。
	お気に入り設定		お気に入り番組表の条件を設定します(50ページ)。
	お気に入りへ登録		お気に入り設定画面に切り替えます。
	おすすめ設定*[2]		本機がおすすめする番組を録画するための設定ができます。
	おまかせ設定		x-おまかせ・まる録の録画設定画面に切り換えます。
	おまかせへ登録		お気に入り設定を、x-おまかせ・まる録に登録すると、自動で録画します(57ページ)。
か行	画音設定		画質・音質を調整します(77、101ページ)。
	気になる人名		デジタル放送のみ。 視聴中の番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
	気になるワード		デジタル放送のみ。 視聴中の番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
	語句登録		表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録できます。
さ行	サービス切換		
		テレビ	テレビ番組のチャンネルを表示します。
		ラジオ	ラジオ番組のチャンネルを表示します。
		データ	データ放送のチャンネルを表示します。
	再生		再生を停止したところから再生します。
	次回予約		録画した番組(タイトル)の次回に放映される番組を録画予約します。
	ジャンル色設定		地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てます。
	重複確認		時間が重なっている録画予約を確認します(74ページ)。
	消去		録画した番組(タイトル)を消去します。
	情報表示		録画した番組(タイトル)または予約に関する情報を表示します。
	設定取消		設定した条件を取り消します。
	選局		番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
	全チャンネル表示／設定チャンネル表示		全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。

	オプション機能		できること
た行	特集テーマ選択		x-みどころマガジンで対象とする特集テーマを設定します。
は行	始めから再生		録画した番組(タイトル)を始めから再生します。
	パネル広告		選択対象を番組からパネル広告に移動します。
	番組検索		
		ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
		キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
		詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
	番組説明		見ている番組の詳しい情報を表示します(46、47ページ)。
	番組追跡情報		次の場合に、番組追跡情報を表示します。 • 地上アナログ放送の番組 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組
	番組表切換		時刻別、チャンネル別、ジャンル別番組表やトピックスに切り換えます(47ページ)。
		みどころマガジン	x-みどころマガジンを表示します。
		お気に入り番組表	お気に入り番組表を表示します。
		地上デジタル	地上デジタル番組表を表示します。
		BSデジタル	BSデジタル番組表を表示します。
		CSデジタル	CSデジタル番組表を表示します。
	番組表を表示		選んだお気に入り番組表を表示します。
	番組名検索情報		毎回録画で[番組名]を選んだときに、番組名の確認や変更ができます。
	日付指定		日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
	日付順表示		予約を日付順に表示します。
や行	優先順表示		優先設定されている番組を先に表示します。
	優先変更		優先順を変更します。
	予約修正*[1]		録画予約情報を修正します(72ページ)。
	予約消去		録画予約を取り消します(72ページ)*[1]。
		1件消去	1件の予約を取り消します。
		選択消去	複数の予約をまとめて取り消します。
	予約名変更		予約名を変更します。

次のページにつづく⇨

	オプション機能	できること
ら行	録画延長*[1]	録画中の番組の録画時間を延長します。[録画予約-延長]画面で操作します(44ページ)。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
	録画停止*[1]	録画を停止します。
	録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします(42ページ)。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
アルファベット	BD情報	BDの情報を表示します(120ページ)。
	DVD情報	DVDの情報を表示します(120ページ)。
	HDD情報	HDDの情報を表示します(120ページ)。

*[1] 「録画1」と「録画2」で同じ番組を予約している場合は、「録画1」の操作になります。

*[2] [おすすめ設定]は★(緑)のときに表示されます。

再生する

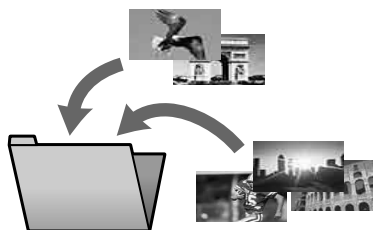
「再生する」でできること

録画した番組やBD、DVDの映像再生

84ページ

録画した番組(タイトル)やBD、DVDの高画質映像が楽しめます。本機のハードディスクに取り込んだビデオカメラの映像や、アクトビラからダウンロードした映像を楽しむこともできます。

オートグルーピング機能

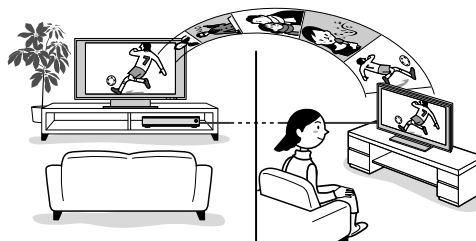
94ページ

ボタンひとつで、本機のハードディスクに録画したたくさんの番組を、ジャンル別や放送別などに分類して表示します。

ダイジェスト再生

92ページ

番組の盛り上がるシーンを自動検出し、見どころを凝縮して再生します。たとえば、1時間のスポーツ番組をハイライトシーンだけ再生し、数分で見ることができます。スポーツに限らずニュース、音楽など、さまざまなジャンルの番組を効率よく見られます。

ホームサーバー機能

103ページ

DLNA対応テレビやパソコンをホームネットワーク(LAN)でつなぐと、本機のハードディスクに録画されている番組を、他の部屋からそのままの画質で再生できます。

再生ガイド

ハードディスクに**録画した番組**（タイトル）やアクトビラからダウンロードした映像を再生したい

- **はじめから**再生したい → 「録画した映像やBD、DVDを再生する」 ➡ 84ページ
- 前回見た**つづきから**再生したい → 「前回停止した位置から再生する（つづき再生）」 ➡ 84ページ
- **音声付きで早送り**再生したい → 「音声付きで早送りする（音声付き早見）」 ➡ 92ページ
- **見どころシーン**を中心に再生したい* → 「見どころシーンを中心に自動で再生する（ダイジェスト再生）」 ➡ 92ページ

BDやDVDを再生したい

- **はじめから**再生したい → 「録画した映像やBD、DVDを再生する」 ➡ 84ページ
- 前回見た**つづきから**再生したい → 「前回停止した位置から再生する（つづき再生）」 ➡ 84ページ

デジタルビデオカメラから取り込んだ映像（タイトル）を再生したい

- **はじめから**再生したい → 「録画した映像やBD、DVDを再生する」 ➡ 84ページ
- 前回見た**つづきから**再生したい → 「前回停止した位置から再生する（つづき再生）」 ➡ 84ページ

* アクトビラからダウンロードした映像はダイジェスト再生できません。

録画した映像やBD、DVDを再生する

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM AVCHD

HDDの映像を再生する

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。

4 見るを押す。

録画した映像(タイトル)の一覧が表示されます。

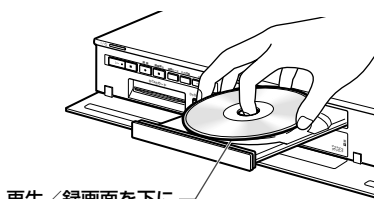
5 ↑↓で見たいタイトルを選び、決定を押す。

再生中は、本体表示窓に再生経過時間が表示されます。

再生をやめるには、停止(停止)を押します。

タイトルの一覧(タイトルリスト)に表示されるアイコンの説明については、253ページをご覧ください。

BDやDVDの映像を再生する

1 開/閉(開/閉)を押して、ディスクを入れる。

2 開/閉(開/閉)を押して、ディスクトレイを閉める。

3 見るを押す。

録画した映像(タイトル)の一覧が表示されます。

4 ↑↓で ● を選び、決定を押す。

5 ↑↓で見たいタイトルを選び、決定を押す。

市販のBD-ROMやDVDビデオの場合、手順4で ● を選び、決定を押すと、再生が始まります。ディスクを入れると、自動的に再生が始まる場合もあります。

再生中は、本体表示窓に再生経過時間が表示されます。

再生をやめるには、停止(停止)を押します。

タイトルの一覧(タイトルリスト)に表示されるアイコンの説明については、253ページをご覧ください。

前回停止した位置から再生する(つづき再生)

再生したことがある映像(タイトル)では、次の場合、前回再生を止めた位置から再生が始まります。

- ホームメニューでタイトルを選び、決定を押した場合
- 再生(再生)を押して再生した場合
- オプションを押して[再生]を選び、決定を押した場合

オプションを押して[始めから再生]を選び決定を押すと、タイトルの最初から再生できます。

つづき再生が解除される条件について

- ディスクトレイを開けたとき(HDDを除く)
- 他のタイトルを再生したとき(HDDやBD-RE、BD-Rを除く)
- 再生の途中で停止したタイトルを編集したとき
- [映像設定]や[BD/DVD視聴設定]、[年齢制限設定]を変更したり、[設定初期化]を行ったとき(HDDを除く)

ちょっと一言

- 「HDDの映像を再生する」、「BDやDVDの映像を再生する」の手順5でタイトルを選び、再生(再生)または見るを押しても再生が始まります。
- BDやDVDの場合は、タイトルの管理番号順に再生します。管理番号は、BDやDVDに録画・ダビングした順に付きます。
- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルをおでかけ／おかえり転送すると、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります([おでかけ転送 再生位置同期]、198ページ)。

ご注意

- 録画予約で設定した番組を録画しているときは、タイトルのサムネイルが表示されないことがあります。
- サムネイルの表示に時間がかかることがあります。
- DVDに記録されたタイトルや、「録画2」で録画したタイトルなどで、画面横縦比が4:3の映像を含むタイトルは、サムネイルの横縦比が正しく表示できないことがあります。
- DVDにスクラップブックを書き出した場合、元のタイトル名は表示されません。
- 他のDVD機器で録画したDVDは元のタイトル名が表示されないことがあります。
- 再生するディスクによっては、つづき再生できない場合があります。
- アクトビラからダウンロードした視聴年齢制限のあるタイトルのつづき再生は、タイトルリストからタイトルを選び直したり、暗証番号の入力が必要な場合があります。

HDMI機器制御を使って再生する

HDMI機器制御機能のあるソニー製テレビと本機をHDMIケーブルでつなぐと、録画した映像（タイトル）を簡単に再生できます。
HDMI機器制御の準備方法については、「準備編」の「HDMI機器制御機能を利用する」をご覧ください。

1 **（見る）を押す。**
本機とテレビの電源が入り、テレビの入力が、本機が接続されているHDMIの入力に切り換わります。

2 **ホームメニューの（ビデオ）が表示されたら、↑↓で見たいタイトルを選び、（決定）を押す。**
タイトルを選んで、（見る）を押しても再生が始まります。

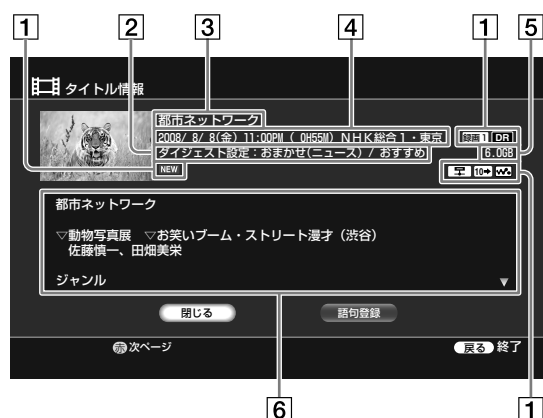
タイトルを再生しているときや、タイトルリストでタイトルやディスクを選択中に（オプション）を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「再生する」で利用できるオプション」（105ページ）をご覧ください。

タイトルの情報を確認するには

1 **（見る）を押す。**

2 **↑↓でタイトルを選び、（オプション）を押す。**

3 **↑↓で［情報表示］を選び、（決定）を押す。**
タイトル情報画面が表示されます。

タイトル情報画面の見かた

1 **マーク／アイコン**
マーク／アイコンの種類について詳しくは、253ページをご覧ください。

2 **ダイジェスト設定、ジャンルなど**

3 **タイトル名**

4 **録画日時、録画時間、放送局名**

5 **タイトルの容量**

6 **タイトルの詳細情報**

BD-ROMやDVDビデオでメニューを使うには

BD-ROMの場合

BD-ROMによっては、本機の再生を止めることなく、メニューを表示できるポップアップメニューが収録されています。再生中にリモコンのふたの中の（ポップアップ/メニュー）を押して、↑↓←→や（決定）を使って操作します。

また、ポップアップメニューのほかに、トップメニューも利用できます。BD-ROM再生中にリモコンのふたの中の（トップメニュー）を押すと、ディスクのメニュー画面が表示されます。↑↓←→で項目を選びます。

DVDビデオの場合

DVDビデオやファイナライズされた、DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）を再生中に、リモコンのふたの中の（トップメニュー）、（ポップアップ/メニュー）を押すと、ディスクのメニュー画面が表示されます。↑↓←→で項目を選びます。

ちょっと一言

「タイトルの情報を確認するには」の手順2で、タイトルを選んで （番組説明）を押しても、タイトル情報画面が表示されます。

ご注意

- つないだ機器によっては、HDMI機器制御機能が働かないことがあります。つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 再生するブルーレイディスクによっては、アナログ出力（D映像出力端子）での解像度が制限される場合や、出力ができない場合があります。

次のページにつづく⇨

BonusView（ボーナスビュー）やBD-Live（BDライブ）を楽しむには

BD-ROMには、オリジナルのスペシャルコンテンツ（BonusView）や、ネットワークからデータをダウンロードして楽しむコンテンツ（BD-Live）などがあります。BD-Liveを利用する場合は、あらかじめ以下の手順にしたがって準備してください。

1 本機をネットワークにつなぐ。
「準備編」の「［準備5］電話回線／ネットワークにつなぐ」をご覧ください。

2 ［BD-ROMインターネット接続］（204ページ）の設定を行う。

BonusViewやBD-Liveの再生方法については、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

本機からBD-ROMデータを削除するには

BD-ROMに付随するデータや、ネットワークからダウンロードしたBD-Liveのデータなどは、本機のHDDのローカルストレージに保存されます。
BD-ROM再生時に本機の記憶領域（ローカルストレージ）が不足していることを知らせるメッセージが表示されたときは、下記の手順に従ってBD-ROMデータの削除を実行してください。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で （BD-ROMデータ）を選び、決定 を押す。
［共通キャッシュデータ］とディスク単位のデータ（ディスク名など）が表示されます。

4 ↑↓で消去したいデータを選び、オプション を押す。

5 ←→で［消去］または［全消去］を選び、決定 を押す。
［全消去］を選ぶと、ディスク単位のデータがすべて削除されます。

6 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。
すべてのデータを消去するには、以下を行ってください。
– 手順4で↑↓で［共通キャッシュデータ］を選び、オプション を押したあと、［消去］を選び、決定 を押す。
– 手順4で↑↓で［共通キャッシュデータ］以外のデータを選び、オプション を押したあと、［すべて消去］を選び、決定 を押す。

ロック設定されたBD-REやBD-Rを再生するには

ロック設定されたBD-REやBD-Rを入れると、暗証番号を入力する画面が表示されます。4桁の暗証番号を入力し、［確定］を選ぶと、ロックが解除され再生できるようになります。ディスクを取り出すと、再びロックされます。ロックの設定、解除については「ディスクをロックする」（122ページ）をご覧ください。

再生についての制限事項

- ディスクダビングをしているときは、ダビング中のタイトルは再生できません。
- おでかけ転送実行中は、転送中のタイトルは再生できません。
- 「録画1」で録画中は早見再生できません。
- 「録画1」で録画中はBD-ROMやAVCHD方式で記録したディスクの再生はできません。
- ディスクの種類によっては、前回停止した位置からの再生ができないことがあります。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルを再生するときは、本機をインターネットにつないでください（「準備編」の「［準備5］電話回線／ネットワークにつなぐ」）。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルには、有効期限が指定されているものがあります。有効期限を確認するには、「タイトルの情報を確認するには」（85ページ）でタイトル情報画面を表示してください。また、再生中に有効期限が切れた場合は、再生を停止します。

ちょっと一言

本機に保存されたBD-Liveのコンテンツを楽しむには、ディスクを入れて操作してください。

ご注意

「本機からBD-ROMデータを削除するには」で、ディスクが挿入されていると、そのディスクが使用しているデータは消去できません。

再生のいろいろな操作

	押すボタン	できることと使えるディスク
❶	開/閉（開/閉）	ディスクの再生が停止し、ディスクトレイが開きます。*4 **すべてのディスク**
❷	黄（黄）	HDDの映像を再生中に押すと音声付き早見再生になり、ダイジェスト再生中に押すとダイジェスト早見再生になります。もう一度押すと元の再生モードに戻ります（92ページ）。 HDD
❸	青（青）	再生中に押すとダイジェスト再生になり、音声付き早見再生中に押すとダイジェスト早見再生になります。もう一度押すと元の再生モードに戻ります（92ページ）。 HDD
❹	（戻る）	BD-ROMやDVDビデオ再生時に使用する場合があります。 BD DVD AVCHD
❺	フラッシュ（フラッシュ）	少し前に戻る、または先に進みます。 HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video RAM AVCHD
❻	見る（見る）	HDDの映像のタイトルリストまたはディスクを表示します。 **すべてのディスク**
❼	前 次（前／次）	前や次のタイトル／チャプターの先頭に進みます。 1つ前のタイトル／チャプターの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。 HDDの場合は、前や次のタイトルの先頭に進めません。 **すべてのディスク**
❽	（早戻し／早送り） （スロー、コマ戻し／コマ送り）	• 再生中に押すと3段階で早送り再生（▶▶1、▶▶2、▶▶3）または逆再生（◀）、早戻し再生（◀◀1、◀◀2、◀◀3）します。ボタンを押し続けると、はなすまで選んだ速さで再生します。また、HDDや一部のディスクでは⟷でも同様の操作ができます。 • 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生またはスロー逆再生します（BD-ROMやDVD、AVCHD方式で記録されたディスクはスロー逆再生できません）。 • 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生またはコマ戻し再生します（BD-ROMやDVD、AVCHD方式で記録されたディスクはコマ戻し再生できません）。 通常の再生に戻すには、再生（再生）または決定を押します。 **すべてのディスク**

ちょっと一言

[自動チャプターマーク]（197ページ）が[入]または[おまかせチャプターのみ]のとき、「録画1」で録画したタイトルには自動的にチャプターが設定されます。チャプターが設定されているタイトルには、再生中に前／次（前／次）を押すと、見たい場面にすばやく移動できます。

ご注意

- 再生するディスクや映像（タイトル）によって、実行可能な操作が異なります。
- BD-ROM再生時にカラーボタン（青、赤、緑、黄）を使用する場合があります。

次のページにつづく⇨

	押すボタン	できることと使えるディスク
❾	シーンサーチ（シーンサーチ）	再生中のタイトル内ですばやく場面を移動できる「シーンサーチ」に切り換えます（89ページ）。 HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM AVCHD
❿	停止（停止） 一時停止（一時停止）	停止や一時停止します。 すべてのディスク
⓫	トップメニュー（トップメニュー） ポップアップ/メニュー（ポップアップ/メニュー）	ディスクのメニューを表示できます。BD-ROMのポップアップメニューを表示するには、ポップアップ/メニュー（ポップアップ/メニュー）を押します（85ページ）。 元の画面に戻るには、トップメニュー（トップメニュー）またはポップアップ/メニュー（ポップアップ/メニュー）を押します。 BD DVD +RW -RWVideo +R -RVideo AVCHD
⓬	字幕（字幕）	くり返し押して字幕を切り換えます。 HDD*1 BD BD-RE*1 BD-R*1 DVD AVCHD
⓭	音声切換（音声切換）	くり返し押して音声言語を選びます。 BD DVD くり返し押して音声トラックを主音声と副音声から選びます。 HDD*2 BD-RE*2 BD-R*2 -RWVR -RVR RAM
⓮	映像切換（映像切換）	複数の映像が記録されているとき（本体表示窓に(ANGLE)表示）に、くり返し押して映像（アングル）を切り換えます。 HDD*3 BD BD-RE*3 BD-R*3 DVD
⓯	時間表示（時間表示）	本体の表示窓に再生経過時間／残量時間を表示します。押すたびに再生経過時間と残量時間が切り換わります。 すべてのディスク

*1 DRモードで録画した字幕を含むタイトル
*2 DRモードで録画した複数音声を含むタイトル
*3 DRモードで録画した複数映像を含むタイトル（(ANGLE)は表示されません）
*4 ディスクの再生時にディスクトレイを開くと、つづき再生は解除され、ディスクの最初から再生を開始します。

視聴年齢制限されたディスクや映像（タイトル）を再生するには

視聴年齢制限されたBD-ROMを再生するときは、ー[年齢制限設定]で[BD視聴年齢制限]（205ページ）の設定を変更してください。

視聴年齢制限されたDVDの場合、再生またはつづき再生を行うとき、「視聴年齢制限を一時的にレベル＊に変えますか？」と表示されたら、[はい]を選ぶと暗証番号を入力する画面が表示されます。ー[年齢制限設定]の[暗証番号設定]（205ページ）で設定した暗証番号を入力し、[確定]を選ぶと再生が始まります。
設定の変更については、ー[年齢制限設定]の[DVD視聴年齢制限]（205ページ）をご覧ください。

アクトビラからダウンロードした、視聴年齢制限されたタイトルを再生するときは、画面にしたがってー[年齢制限設定]の[暗証番号設定]で設定した暗証番号を入力してください（205ページ）。
また、20歳未満制限付きタイトルは、視聴年齢制限されていると、タイトルリストなどでタイトルが表示されません。この場合は、あらかじめタイトルリストで任意のタイトルを選び、オプションを押して[視聴制限一時解除]を選んで、画面にしたがって暗証番号を入力して、すべてのタイトルを表示させてから操作してください。
視聴が終わったら、オプションを押して[視聴制限再設定]を選ぶと、制限を再設定できます。また、本機の電源を切ると、自動的に制限が再設定されます。
設定の変更については、ー[年齢制限設定]の[ダウンロードタイトル視聴年齢制限]（206ページ）をご覧ください。

視聴年齢制限されたタイトルには、タイトルリストで が付きます。設定年齢を確認するには、 を押して[情報表示]を選び、タイトル情報画面を表示します。

録画中の映像を最初から見る(追いかけ再生)

HDD

録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を再生します。

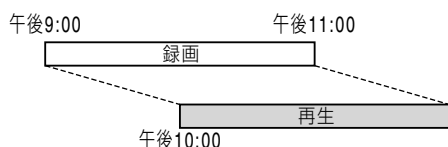
1 ホーム を押す。

2 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で録画中の映像(タイトル)を選び、 を押す。

4 ↑↓で[再生]を選び 決定 を押す。

録画中の番組の再生が始まります。

例：午後9時からの番組を録画中、10時に帰宅。録画中の番組を始めから見る。

早送り再生で録画に追いついたときは

早送り再生で録画現在位置に追いつくと、再生一時停止に切り換わります。

追いかけ再生についての制限事項

「録画1」で録画中のタイトルを追いかけ再生しているときは、ダイジェスト再生や音声付き早見再生はできません。

録画しながら他の映像や音楽を再生する(同時録画再生)

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM DATA DVD CD DATA CD AVCHD

再生中に録画予約で設定した録画が始まっても再生を続けることができます。また、HDDに録画しながら、BD、DVD、CDやデータDVD、データCDを再生できます。

録画中のディスク	録画中に再生できるディスク
HDD	HDD/BD*/DVD/CD、AVCHD方式で記録されたディスク、データDVD ／データCD
BD	HDD

* 「録画1」で録画中のときはBD-ROMは再生できません。

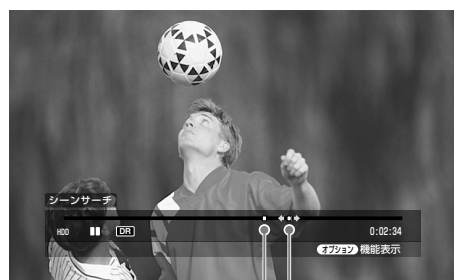
すばやく見たい場面にとばす(シーンサーチ)

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM AVCHD

シーンサーチを使うと、再生中の映像(タイトル)内ですばやく場面を移動できます。

1 再生中または一時停止中に、シーンサーチ (シーンサーチ)を押す。

シーンサーチになり、画面下部にバーとシーンインジケーターが表示されます。再生中の場合、画面は一時停止します。

2 ←→で、見たい場面の位置までシーンインジケーターを動かす。

現在位置 シーンインジケーター

バー上のシーンインジケーターは場面のおおよその位置を表示します。

再生する

ちょっと一言

- アクトビラからダウンロード中のタイトルも追いかけ再生できます。
- 「すばやく見たい場面にとばす(シーンサーチ)」の手順2で ◀◀ / ▶▶ (早戻し／早送り)を押しても、←→と同様の操作ができます。
- 「すばやく見たい場面にとばす(シーンサーチ)」の手順4や「シーンサーチを途中でやめるには」で シーンサーチ (シーンサーチ)、再生 (再生)、または 一時停止 (一時停止)を押しても、決定 と同様の操作ができます。

ご注意

- 録画モードにより録画開始直後の1分間ほどは追いかけ再生できません。
- シーンサーチは100秒以上100時間未満のタイトルでのみ有効です。

次のページにつづく⇨

3 **見たい場面の位置まで来たら、ボタン操作をやめる。**
シーンインジケーターを止めた位置の場面が、一時停止で表示されます。
場面を選び直すには、⇔でシーンインジケーターの位置を動かします。

4 **決定 を押す。**
再生が始まります。

シーンサーチを途中でやめるには

決定 を押します。押した場面から再生が始まります。

チャプター番号やタイトル番号で頭出しする

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM AVCHD

録画した映像(タイトル)内にチャプターマークがある場合、それを選んで頭出しできます(HDD/BD/DVDのみ)。チャプターマークの付けかたについて詳しくは、「再生中にチャプターマークを付けるには」(90ページ)をご覧ください。
また、市販のBD-ROMやDVDビデオによっては、タイトル番号を選んで頭出しできます。

1 **再生中または一時停止中に オプション を押して、[チャプターサーチ]または[タイトルサーチ]を選び、決定 を押す。**
画面はHDDの場合です。

チャプター番号／タイトル番号入力画面が表示されます。

例：チャプターサーチの場合

チャプター番号入力画面

2 **1～10 で見たいチャプター番号またはタイトル番号を入力し、決定 を押す。**

番号の入力を間違えた場合は、クリア (クリア)を押してから、もう一度入力し直してください。
場面が少しの間一時停止したあと、再生が始まります。

再生中にチャプターマークを付けるには

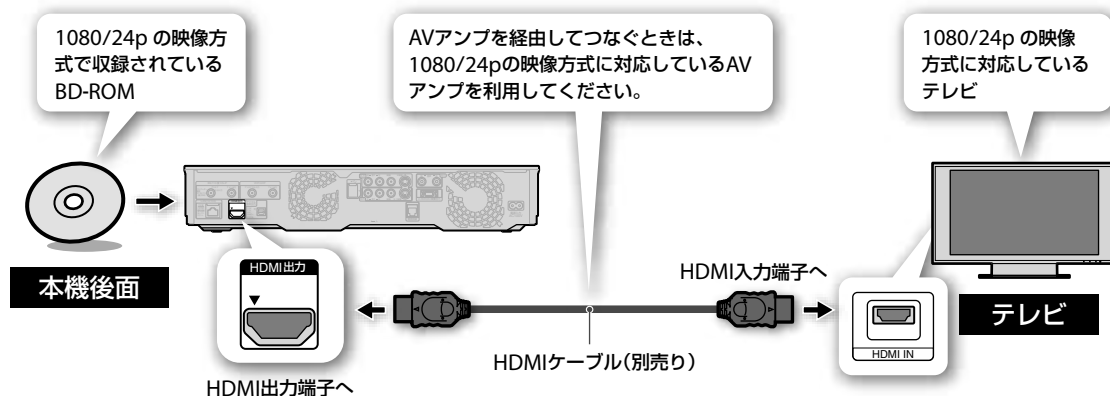
HDD BD-RE BD-R

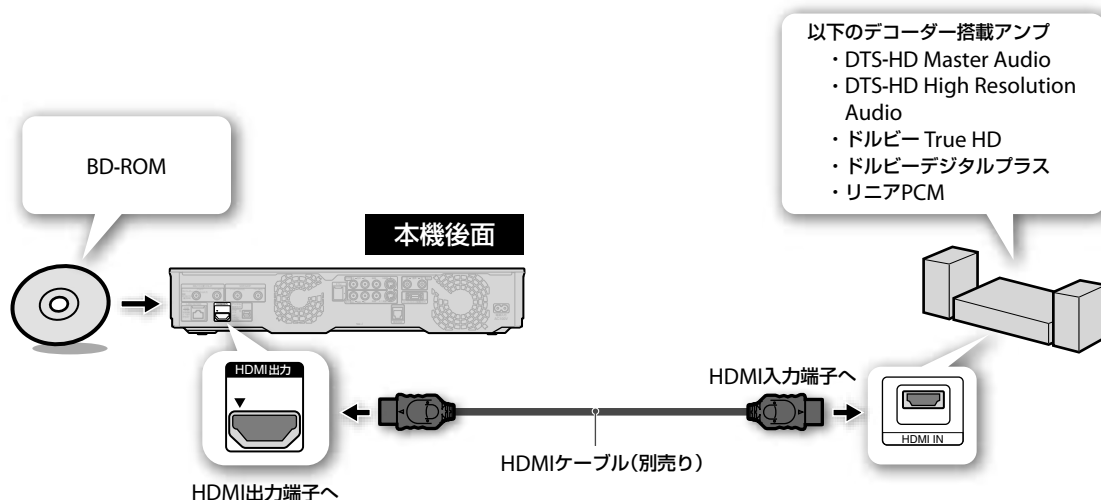
再生／再生一時停止中や録画／録画一時停止中に映像(タイトル)をチャプターとして分けたい場面で、リモコンのふたの中の チャプター書込み (チャプター書込み)を押します。画面上に「チャプターマーク書込み」が表示され、5秒で消えます。
マークの前後のシーンが別々のチャプターになります。
録画中に手動でチャプターを入れる場合は、ツールボックス の[ビデオ設定]で[自動チャプターマーク]を[切]にしてください(197ページ)。
チャプター編集画面でチャプターマークを消去できます(117ページ)。前後のチャプターが結合され、１つのチャプターになります。

ちょっと一言

一番目のチャプターマークは、自動的にタイトルの先頭に付きます。このチャプターマークは消去できません。

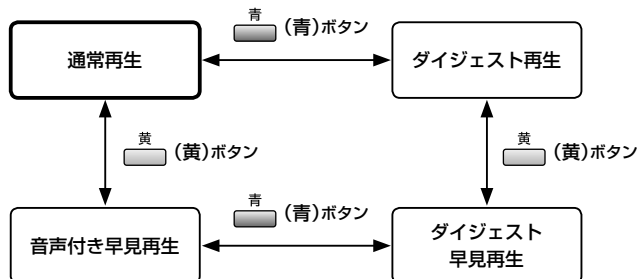
BD-ROMを1080/24p（24p True Cinema）で楽しみたいときは

市販のBD-ROMには、オリジナルのフィルムと同じ毎秒24コマのプログレッシブ映像として収録されているものがあります。
1080/24pの映像方式に対応したテレビとHDMIケーブル（別売り）で接続すれば、映画フィルムの質感そのままに楽しむことができます。

BD-ROMの「リニアPCM」、「ドルビーTrue HD」や、「DTS-HD」のような高音質サラウンドを楽しむには

BD-ROMの中には、映画館のような迫力のある音場を生み出す非圧縮方式の「リニアPCM 8ch」サラウンドや、「ドルビー True HD」や「DTS-HD」といった、ロスレス（可逆型）音声が収録されているものがあります。
本機とデコーダー搭載アンプを、HDMIケーブル：ハイスピードタイプ（Ver1.3a,カテゴリー 2）（別売り）で接続すれば、音の遠近感や位置までが感じられる立体的なサラウンドで、ハイビジョン映像の世界をリアルに体感できます。これまでの映像ソフトでは味わえなかった臨場感をリビングで満喫できます。

ちょっと一言

- BD-ROMを24p True Cinemaでお楽しみになる場合は、お使いのテレビやAVアンプが1080/24pの映像方式に対応している必要があります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- BD-ROMを24p True Cinemaでお楽しみになる場合は、再生するBD-ROMが1080/24pの映像方式に対応している必要があります。

時間を短縮して録画した映像を再生する

本機のHDDに録画した映像（タイトル）は音声付きの1.5倍速で再生できます（音声付き早見再生）。また、本機が自動で抽出した見どころシーンを中心に絞って再生できます（ダイジェスト再生）。
再生中にリモコンのカラーボタンを押すと、再生モードは次のように切り換わります。

音声付きで早送りする（音声付き早見）

HDD

録画した映像（タイトル）を再生中、黄（黄）を押すと音声付きで早送り再生ができます。

音声付き早見再生についての制限事項

- 「録画1」で録画中は音声付き早見再生はできません。

見どころシーンを中心に自動で再生する（ダイジェスト再生）

HDD

本機は、録画した映像（タイトル）の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、タイトルの中で見どころと思われる場面を中心に自動再生できます。「録画1」で録画したタイトルのみダイジェスト再生できます。

1 **見るを押す。**

2 **↑↓でダイジェスト再生したいタイトルを選び、決定を押す。**

3 **再生中に青（青）を押す。**

ダイジェスト再生が始まります。通常再生に戻すには、再生（再生）または青（青）を押します。
ダイジェスト再生中にダイジェストの再生時間を5段階で変更することもできます（93ページ）。

見たい場面を探すには

ダイジェスト再生中に前/次（前／次）を押すと、再生中の見どころシーンの先頭または、次の見どころシーンの先頭に移動します。1つ前の見どころシーンに移動するには、前（前）を続けて2回押してください。フラッシュ（フラッシュ ⬅/➡）を押すと、少し前または先に移動します。

ちょっと一言

音声付き早見再生中やダイジェスト再生中（一時停止中も含む）、ダイジェスト早見再生中に、◀◀/▶▶（早戻し／早送り）、または⬅➡を押すと、通常の早戻し／早送り再生になります。再生（再生）を押すと、通常再生に戻ります。

ダイジェスト再生中の画面表示について

ダイジェスト再生中に (画面表示)を押すと、ダイジェスト再生時間画面が表示されます。ダイジェスト再生で再生する場面と再生しない場面を確認したり、ダイジェスト再生の総再生時間を確認できます。

ダイジェスト再生の再生時間を変更するには

1 ダイジェスト再生中に、 を押す。

2 ↑↓で[ダイジェスト時間]を選び、(決定)を押す。

3 ←→でダイジェスト再生の再生時間を選び、(決定)を押す。
再生時間を選ぶと、画面の中央に表示されている青いグラフも変化し、タイトル全体の中で再生する時間と場所を確認できます。

ダイジェスト再生の設定を変更するには

録画した映像(タイトル)ごとに、ダイジェスト再生のジャンルや再生時間を設定できます。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、 を押す。

4 ↑↓で[設定/編集]を選び、(決定)を押す。

5 ↑↓で[ダイジェスト設定]を選び、(決定)を押す。

6 設定を変更したら、↑↓←→で[確定]を選び、(決定)を押す。

ダイジェスト再生できない映像について

本機では、HDDに「録画1」で録画した映像(タイトル)をダイジェスト再生できます。ただし、次のタイトルはダイジェスト再生できません。

- プレイリスト
- 結合されたタイトル
- 追いかけ再生中のタイトル
- 「録画2」で録画したタイトル
- 再生時間が約10分未満のタイトル(編集して短くなったものを含みます)
- HDV/DVダビングしたタイトル
- AVCHDダビングしたタイトル
- x-Pict Story HDで作成したタイトル
- ディスクからHDDにダビングしたタイトル
- アクトビラからダウンロードしたタイトル

また、受信状態が悪いときに記録されたタイトルや番組内容によってはダイジェスト再生できない場合があります。

ちょっと一言

ジャンルごとのダイジェスト再生の再生時間を設定するには、 の[ビデオ設定]で[ダイジェスト設定]を変更してください(197ページ)。

録画した映像を整理する

録画した映像をグループごとに分類する（オートグルーピング機能）

HDD

録画した映像（タイトル）を指定したグループで分類して、目的のタイトルをすばやく探すことができます。

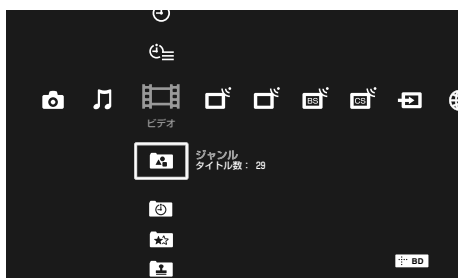
各グループの中の同じ名前のタイトルは、タイトルごとに1つのフォルダに集約されるため、フォルダ単位で簡単に探すことができます（タイトル名集約）。

また、フォルダの中でまとまったタイトルを一括して消去、ダビングできます。

1 ホーム を押す。

2 ↔で （ビデオ）を選ぶ。

3 黄（黄）を押す。

タイトルがグループごとに分類されます。

もう一度 黄（黄）ボタンを押すと、タイトル一覧に戻ります。

グループの種類

[ジャンル]

下記のジャンルで分類します。

ニュース、スポーツ、ワイドショー、ドラマ、音楽、バラエティ、映画、アニメ／特撮、ドキュメンタリー、劇場／公演、趣味／教育、福祉、その他、ジャンルなし

[予約]

予約の種類ごとに分類します。

グループ名	グループの説明
予約録画	毎回録画で予約設定したタイトル名ごとに分類します。
見て録	「見て録」で録画したタイトルが、このグループに分類されます（「準備編」の「ブラビアのリモコンで本機を簡単に操作する（ブラビアリンク）」）。
その他の予約録画	その他の予約録画、手動で録画したタイトルが、このグループに分類されます。（8cm DVD以外のBD/DVDからHDDにダビングしたタイトルを含む）。
おまかせ・まる録	x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルが、このグループに分類されます（57ページ）。

[おまかせ・まる録]

x-おまかせ・まる録（57ページ）で録画されたタイトルを、以下のグループに分類します。

グループ名	グループの説明
おすすめ	本機のおすすめで録画されたタイトルが、このグループに分類されます。
スカパー！ｅ２おすすめ	スカパー！ｅ２の無料放送が、本機のおすすめ機能で録画された場合に分類されます。
おまかせ	現在設定されている自動録画条件で分類されます。
その他のおまかせ・まる録	過去に設定した自動録画条件で分類されます。

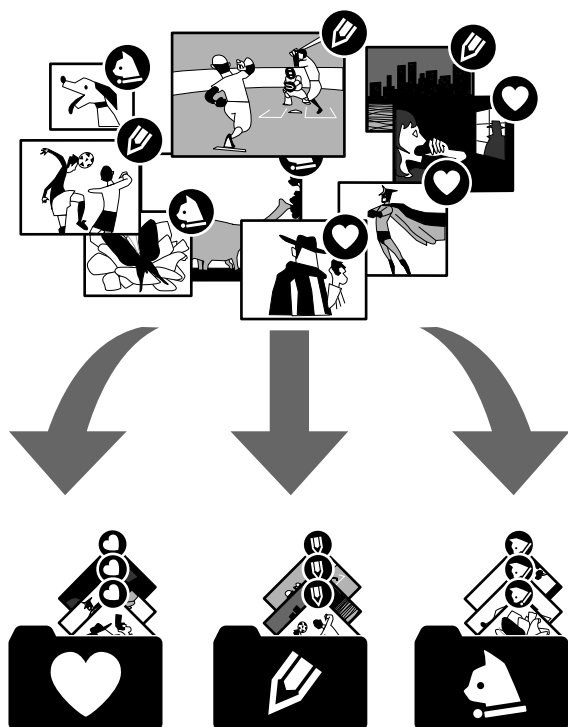
ちょっと一言

- 手順2の後でタイトルやグループを選んで オプション を押し、[グループ表示]または[全タイトル表示]を選んでもビューを切り換えることができます。
- [予約]の[予約録画]グループ内で80グループを超えた場合は、予約が消去された日時が最も古いグループが消え、その中にあったタイトルは[その他の予約録画]のグループに分類されます。

ご注意

タイトルが1つもないグループは表示されません。

[マーク]

録画した番組や取り込んだ映像にお好みのマークを付けると、マークごとのフォルダに分類できます。

本機には次の29個のマークがあります。録画予約時にマークを設定したり、録画した映像(タイトル)にマークを付けることができます。

アイコン	名前	アイコン	名前
	マーク1		マーク16
	マーク2		マーク17
	マーク3		マーク18
	マーク4		マーク19
	マーク5		マーク20
	マーク6		マーク21
	マーク7		マーク22
	マーク8		マーク23
	マーク9		マーク24
	マーク10		マーク25
	マーク11		マーク26
	マーク12		マーク27
	マーク13		マーク28
	マーク14		マーク29
	マーク15		マークなし

録画予約時にマークを付けるには　→ 43ページ
映像にマークを付けるには　→ 116ページ
マークの名前を変更するには　→ 96ページ

[x-Pict Story]

x-Pict Story HDで作成したx-Pict Story HD映像(または、そのプレイリストタイトル)を表示します。

[ビデオカメラ映像]

8cm DVDからHDDへダビングしたタイトル、HDV1080i/DV入力端子から録画したタイトル、HDV/DVダビングやAVCHDダビングで取り込まれたタイトルを表示します。

次のページにつづく⇨

[プレイリスト]
プレイリストタイトルを表示します(x-Pict Story HD やビデオカメラ映像のプレイリストを除く)。

[ダウンロード]
アクトビラからダウンロードしたタイトルを表示します。タイトルはシリーズごとに集約されます(シリーズ集約)。

[レンタル]
アクトビラからダウンロードしたタイトルのうち、視聴期限のあるタイトルを表示します。タイトルはパックごとに集約されます(パック集約)。

グループ選択中に を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「再生する」で利用できるオプション」(105ページ)をご覧ください。

マークの名前を変更する

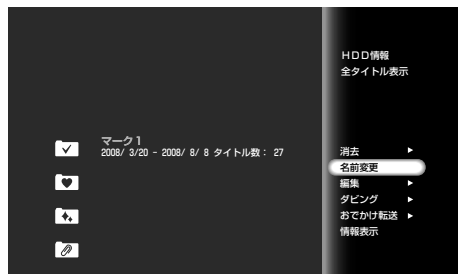
マークの名前を変更できます。
次の手順を行う前に、「録画した映像をグループごとに分類する(オートグルーピング機能)」(94ページ)をご覧になり、録画した映像(タイトル)をマークごとに分類してください。

1 を押す。

2 ↔で (ビデオ)を選ぶ。

3 ↕で (マーク)を選び、(決定)を押す。

4 ↕で変更したいグループを選び、 を押す。

5 ↕で[名前変更]を選び、(決定)を押す。

6 キーボードが表示されるので、新しいマークの名前を入力する(63ページ)。

録画した映像を好きな順番に並び替える

HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

録画した映像(タイトル)の一覧を並び替えることができます。

1 を押す。

2 ↔で (ビデオ)を選ぶ。

3 (緑)をくり返し押して、並び替えの種類を選ぶ。

(緑)を押すごとに、次の順番で並び替えの種類を切り換えます。お買い上げ時は、[日付順(新しい順)]に設定されています。

種類	設定
日付順(新しい順)	録画開始日時やダウンロード登録(購入)日時の新しい順に並べます。
日付順(古い順)	録画開始日時やダウンロード登録(購入)日時の古い順に並べます。
未視聴順	見ていないタイトルから並べます(HDDのみ)。
タイトル名順	タイトル名順に並べます。
管理番号順	BD/DVDに録画した順に並べます。ディスク中のタイトルを選んでいるときのみ表示されます。

再生する

CDを再生する

CD

本機にCD（CD-R/CD-RWを含む）を挿入すると、自動的にMusic Player画面が表示されます。

再生（再生）を押す。

CDの始めの曲から再生が始まります。

CDを再生中に オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「再生する」で利用できるオプション」（105ページ）をご覧ください。

再生中の操作

項目	できること
開/閉（開/閉）	ディスクトレイの開／閉
◄◄II/◄I　I►/II►►（早戻し／早送り）	早戻し／早送り再生します。通常の再生に戻すには、再生（再生）を押します。 長押しすると、押している間だけ早戻し／早送り再生します。ボタンをはなすと通常の再生に戻ります。←→を長押ししても、早戻し／早送り再生します。
停止（停止）	再生の停止
一時停止（一時停止）	再生の一時停止／一時停止の解除
音声切換（音声切換）	音声チャンネルの切り換え（押すごとに、「ステレオ」→「L（左）チャンネルのみ」→「R（右）チャンネルのみ」→「ステレオ」の順に切り換わります。）
前　次（前／次） 決定	前ボタンを押すと、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。（1つ前のトラックの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。） 次ボタンを押すと、次のトラックの先頭に進みます。 ←→を押してもトラックを戻したり送ったりできます。

トラックを選ぶには

1. ホーム を押す。
2. ←→で ♫（ミュージック）を選ぶ。
3. ↑↓で ●（CD）を選び、決定 を押す。
4. ↑↓で聴きたい曲（トラック）を選んで、決定 を押す。

再生する

ちょっと一言

DTS Digital Surround ™の音声を楽しむには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルのDTS Digital Surround ™デコーダーを接続してください。

ご注意

マルチセッションで作成されたCD-Rはシングルセッションのみ再生できます。

デジタルスチルカメラなどの写真を再生する

本機では、ディスクやUSB機器に保存した写真を再生できます。
ディスクやUSB機器に保存した写真を本機に取り込んで、スクラップブックやフォト作品を作成したいときは、「映像や写真を取り込んで楽しむ」(145ページ)をご覧ください。

ディスクに保存されている写真を再生する

BD-RE BD-R DATA DVD DATA CD

1 本機にディスクを入れる。

2 ホーム を押す。

3 ←→で (フォト)を選ぶ。

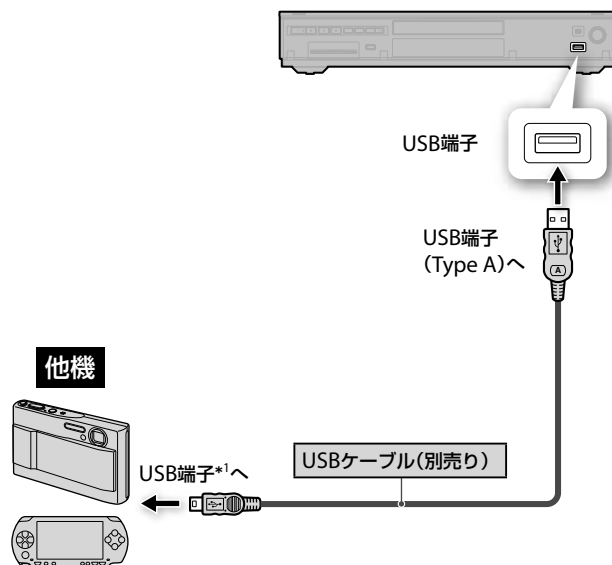
4 ↑↓で を選び、決定 を押す。

5 ↑↓←→で再生したい写真が入っているフォルダを選び、決定 を押す。
本機ではフォルダのことをアルバムと呼びます。

6 ↑↓で写真を選び、決定 を押す。
表示中に 前 (前)を押すと前の写真を、次 (次)を押すと次の写真を表示します。

USB機器に保存されている写真を再生する

USB機器によっては、USB機器側からデータを送信できるように、モードを切り換える必要があるものもあります。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

1 デジタルスチルカメラや"PSP"などのUSB機器を、本機のUSB端子につなぐ。

2 ホーム を押す。

3 ←→で (フォト)を選ぶ。

4 ↑↓で接続機器を選び、決定 を押す。

デジタルカメラ*2　"PSP"　USB機器*3

ちょっと一言

本機後面のUSB端子も使用できます。

ご注意

- 写真を表示しているときや本機に取り込んでいるときに、デジタルスチルカメラや"PSP"を接続しているUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機は、ボイスメモには対応していません。
- 16：9（HDTVサイズ）で撮影した写真を本機で再生すると、上下、または上下左右に黒帯が表示されることがあります。 －[映像設定]の[テレビタイプ]を[16：9]に設定してください(199ページ)。また、ワイドテレビ側のワイド切換で16：9に設定してください。切り換え方法について詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 電源供給のみ行うUSBケーブルは使用できません。
- 本機で再生できる写真は、圧縮形式がJPEG形式で、ファイル名形式がDCF形式*のものです。
  * （社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rules for Camera Files systems"のことです。
- ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- 1つの階層で表示できるファイルやフォルダの総数は最大500個です。

5 ↑↓←→で再生したい写真が入っているフォルダを選び、(決定)を押す。

本機ではフォルダのことをアルバムと呼びます。

6 ↑↓で写真を選び、(決定)を押す。

表示中に (前)を押すと前の写真を、(次)を押すと次の写真を表示します。

*[1] 接続する機器によりUSBケーブルの端子の形状は異なります。

*[2] デジタルスチルカメラをつないだ場合でも「USB機器」と表示されることがあります。

*[3] つないだUSB端子に応じて、[USB機器(前面)][USB機器(背面)]と表示されます。

"メモリースティック" USBリーダー／ライター を使って、"メモリースティック"のデータを再生したいときは

本機に"メモリースティック" USBリーダー／ライター MSAC-US40(別売り)を接続し、"メモリースティック"を"メモリースティック" USBリーダー／ライター MSAC-US40に挿入してください。

本機のHDDに保存されている写真を再生する

HDD

本機に取り込んだ写真を表示できます。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で (フォト)を選ぶ。

3 ↑↓でHDD内のアルバムを選び、(決定)を押す。

4 ↑↓で写真を選び、(決定)を押す。

表示中に (前)を押すと前の写真を、(次)を押すと次の写真を表示します。

写真を再生しているときや、アルバムや写真を選択中、接続機器やディスクを選択中に (オプション)を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「再生する」で利用できるオプション」(105ページ)をご覧ください。

順番に再生する(スライドショー)

本機のアルバムやBD-RE/BD-R ／データDVD ／データCD(CD-R/CD-RWを含む)、USB接続したデジタルスチルカメラや"PSP"、USB機器に保存されている写真を順番に表示します。

アルバム内のすべての写真の表示が終わると、アルバムの先頭からくり返し再生されます。写真の数(ファイル数)が多いときやファイルサイズが大きいと動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

1 アルバムを選んで、(オプション)を押す。

2 ↑↓で[スライドショー]を選び、(決定)を押す。

スライドショーを再生中に (前)を押すと前の写真を、(次)を押すと次の写真を表示します。

スライドショーをやめるには、(停止)を押します。

スライドショーを一時停止するには、(一時停止)を押します。(一時停止)か (再生)を押すとスライドショーを再開します。

本機とのUSB接続で、保存されている写真の再生や、写真の取り込みが可能な機種について

動作確認機器についての最新の情報は、次のホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/usb/index.html

より高画質な写真を楽しむ(ブラビア プレミアムフォト)

「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビをお使いの場合、以下の接続と設定を行うことで、よりよい画質で写真を見ることができます。

1 「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビと本機をHDMIケーブル(別売り)でつなぐ。

2 テレビの映像設定を「ビデオ-A」モードにする。

「ビデオ-A」モードについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく⇨

ブラビア プレミアムフォトとは

写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。「ブラビア プレミアムフォト」対応のソニー機器同士の組み合わせで、写真を今までになかった感動のFull HD高画質で楽しめます。
また、人肌や花びらの繊細な描写、砂浜や波の質感など、美しいフォト画質を大画面で楽しめます。

写真を再生するときの制限事項

- 1つのフォルダで表示できるファイル*[1]やフォルダの総数は500です。500を超えた場合は、一部表示されません。
  *[1] JPEG以外のファイルも含む。
- DCF形式以外のJPEG形式の写真（パソコンで加工した静止画像など）では、一部の機能が正しく動作しないことがあります。
- 次の写真は画面上の写真の一覧には表示されますが、再生すると が表示され再生できません。また、これらのファイルを本機のHDDに取り込むこともできません。
  - 縦または横のいずれかが、8192ドット以上の写真
  - 縦または横のいずれかが、15ドット以下の写真
  - ファイルサイズが32MBを超える写真
  - 横縦のサイズ比が50:1より横長、あるいは1:50より縦長の写真
  - プログレッシブJPEG形式の写真
- BD-RにUDF2.6以外で記録した場合は再生できません。
- BD-REにUDF2.5以外で記録した場合は再生できません。
- ファイル名、フォルダ名はISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット（Joliet）に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- パソコンで作成されたディスクは再生できない場合があります。
- 写真によっては、表示に時間がかかることがあります。写真の数（ファイル数）が多いときには、次の動作で時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。また、次の動作中に電源を切ると、故障の原因になることがありますのでご注意ください。
  - サムネイルの表示*[2]
  - スライドショーの再生
  *[2] 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかる場合があります。
- おでかけ転送中はUSB機器から写真を再生することはできません。

再生の画質や音質を調整する

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM AVCHD

画質を調整する

本機には3つの画質モードがあり、再生する映像やお好みで画質を調整できます。また、[カスタム]を選ぶと、お好みの画質モードを登録できます。

1 再生中に オプション を押して、[画音設定]－[画質設定]を選び、決定 を押す。
画質設定画面が表示されます。

2 ↑↓で[画質モード]を選び、 決定 を押す。

3 ↑↓で、お好みの画質モードを選び、決定 を押す。
お買い上げ時は、[スタンダード]に設定されています。

画質モード	設定
スタンダード	標準的な画質に設定されています。
パワフル	コントラストの強いメリハリのある画質に設定されています。
ソフト	ソフトタッチでしっとりと落ち着いた画質に設定されています。
カスタム	フラットな状態から画質をお好みで調整して登録できます。

4 各設定項目を選び、決定 を押す。

項目	設定
標準に戻す	選んだ画質モードのすべての設定を標準値に戻します。
ノイズリダクション	
FNR	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減するための調整をします。
BNR	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減するための調整をします。 DV入力のとき、アナログチューナーからの入力のとき、音声／映像／ S映像入力端子への入力 のときは使用できません。
MNR	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減するための調整をします。 DV入力のとき、アナログチューナーからの入力のとき、音声／映像／ S映像入力端子への入力 のときは使用できません。
画質調整*1	
コントラスト	コントラストを調整します。
ブライトネス	全体の明るさを調整します。
色の濃さ	色をより濃く、またはより薄く調整します。
色あい	全体の色のバランスを調整します。
ガンマ(HDMI) *2	部分的に明るさを調整します。たとえば、陰影に富んだシーンが多い映画で、全体の陰影を損なうことなく、暗い部分だけを明るく見やすくできます。
HDリアリティーエンハンサー(HDMI) *2	
エンハンス	注目部分の鮮鋭感、立体感を高めたり(+)、逆にソフトなタッチにします(−)。
スムージング	平坦部の階調(表現)をなめらかにすることによって、画面上の擬似輪郭*3を低減します。

再生する

ちょっと一言

- 本機には、視聴中のテレビ映像や再生中の映像に含まれるノイズのレベルに応じて、FNR、BNR、MNR の強度を動的に自動調整する「ピュアイメージリアライザー」が搭載されています。
  映像の輪郭がぼやけるときは、FNR、BNR、MNRの設定を[切]にしてください。
- HDリアリティーエンハンサー (HDMI)とは、視聴中のテレビ映像や再生中の映像を画素ごとに分析、最適な処理を施して、映像の質感や解像感を高める機能です。
- テレビ番組を視聴中のときでも、オプション を押して[画音設定]ができます。

ご注意

再生している場面によっては、FNRやBNR、MNRの効果がわかりにくいことがあります。

次のページにつづく⇨

5 ↑↓←→で設定を選び、または調整し、決定 を押す。

初期設定は、手順3で選んだ画質モードにより異なります。

項目	設定
ノイズリダクション	
FNR	切　入
BNR	切　入
MNR	切　入
画質調整*[1]	
コントラスト	（弱）-3 ～ 0 ～ 3（強）
ブライトネス	（暗）-3 ～ 0 ～ 3（明）
色の濃さ	（薄）-3 ～ 0 ～ 3（濃）
色あい	（赤）-3 ～ 0 ～ 3（緑）
ガンマ（HDMI）*[2]	画面を見ながら←→で調整したい明るさの部分を選び、↑↓で明るさを調整します。
HDリアリティーエンハンサー（HDMI）*[2]	
エンハンス	（弱）-3 ～ 0 ～ 3（強）
スムージング	切　標準　強

他の項目も調整するときは、手順4 ～ 5をくり返します。

6 設定を調整したら、↑↓←→で［閉じる］を選び、決定 を押す。

*[1] 視聴中のテレビ映像と再生中の映像にのみ効果があります。
*[2] HDMI出力端子にのみ効果があります。
*[3] 擬似輪郭：なだらかな平坦部にあらわれる輪郭のような縞模様。

音声を調整する

1 再生中に オプション を押して、［画音設定］－［音声設定］を選び、決定 を押す。

音声設定画面が表示されます。

2 各設定項目を選び、決定 を押す。

お買い上げ時の設定は、下線の設定や数値です。

項目	設定
画音同期調整	映像と音声のずれを調整するための設定をします。映像に対して音声を遅らせます。 （短）0 ～ 120msec（長）
アナログ音声フィルター	・シャープ ⇨ フラットな音質で明瞭な音像定位が得られます。通常はこの設定にします。 ・スロー ⇨ 雰囲気のあるあたたかい音が得られます。

3 ↑↓←→で設定を選び、または調整し、決定 を押す。

4 設定を調整したら、↑↓←→で［閉じる］を選び、決定 を押す。

再生する

ご注意

- ［ガンマ（HDMI）］の明るさのレベルをつないだ線は、なだらかな曲線になるように調整します。極端な凹凸が出るように調整すると、映像が乱れて表示されるように感じる原因となります。画面を見ながら、少しずつ値を調整してください。
- ディスクの種類や視聴条件によっては、アナログ音声フィルターの効果がわかりにくいことがあります。

別の部屋のテレビやパソコンなどで再生する（ホームサーバー機能）

HDD

本機とDLNAまたはソニールームリンクに対応したテレビやパソコンなどをネットワークにつなぐと、本機のHDDに保存した映像（タイトル）や写真を、テレビやパソコンで再生できます。

ホームサーバー機能を利用するための準備

1 ネットワークにつなぐ。

この機能を利用するには、ネットワークにつなぐ必要があります。電話回線を使って本機能を利用できません。
ネットワークへの接続設定について詳しくは、「準備編」の「［準備5］電話回線／ネットワークにつなぐ」をご覧ください。

2 ネットワークの設定をする。

本機をネットワークにつなぐための設定をします。設定方法は、 －［通信設定］の［ネットワーク設定］（208ページ）をご覧ください。

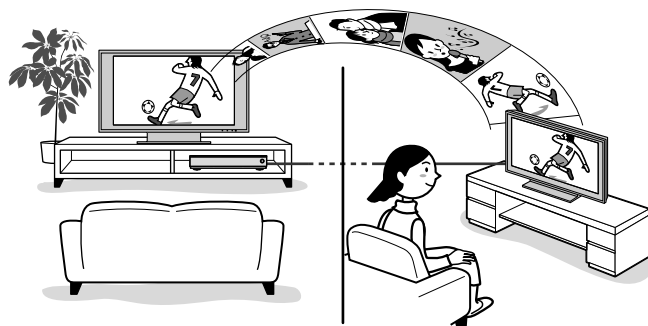
3 ホームサーバー機能を利用するための設定をする。

本機のHDDの映像や写真を、他機器で再生するための設定をします。設定方法は、 －［通信設定］の［ホームサーバー設定］（210ページ）をご覧ください。

他機器の準備

本機の映像（タイトル）や写真を再生する他機器でも、ネットワーク接続やホームサーバー機能に対応する設定が必要です。接続と設定については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
また、他機器でファイアーウォールの設定がされている場合、ホームサーバー機能が使えない場合があります。他機器の取扱説明書をご覧になり、設定を変更してください。

「ホームサーバー機能対応」とは

ホームネットワーク上でデジタルAV機器やパソコンなどをつないで、動画などを相互にやりとりできます。本機の映像や写真を別の部屋に設置されているテレビで再生できるようになるなど、大変便利な機能です。

動作推奨機器や再生対応コンテンツについて詳しくは、ソニー製品情報のホームページ（http://www.sony.jp/event/DLNA/）をご覧ください。

ちょっと一言

ネットワーク録画予約対応の＜ブラビア＞をお使いの場合、ホームサーバー機能を「入」にすると、＜ブラビア＞から本機に予約設定を転送できます。詳しくは、「＜ブラビア＞からネットワークを利用して録画予約する（ネットワーク録画予約）」（71ページ）と、＜ブラビア＞の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ホームサーバー機能対応のテレビや、パソコンとのホームネットワーク（LAN）ケーブル（別売り）による接続が必要です。有線LANで接続してください。
- ホームネットワーク（LAN）経由で同時に2つ以上の機器への配信はできません。
- 編集した映像（タイトル）は、他機器によって再生できなかったり、映像が乱れることがあります。
- 他機器によっては、映像（タイトル）の名前が正しく表示されない場合があります。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や音声が途切れる場合があります。
- 本機から出力された映像が乱れているような場合、出力を中止することがあります。
- 本機から出力される映像／写真を他機器で再生するときと、本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 一部の他機器では再生できないことがあります。
- 他機器で再生している映像を長時間一時停止していると、本機との通信が切断されることがあります。
- ホームサーバー機能を利用してディスク上の映像や写真を楽しむことはできません。

次のページにつづく⇨

本機の映像や写真を他機器で再生する

他機器を操作して本機の映像（タイトル）や写真を再生したり停止したりします。本機や本機のリモコンで操作できません。
詳しい操作方法については、お使いの他機器の取扱説明書をご覧ください。
接続機器により再生できないタイトルがあります。また、DRモードで録画したタイトルは、より多くの機器で再生できます。詳しくは、http://www.sony.jp/event/DLNA/でご確認ください。

次の映像や写真は他機器で再生できません。
- プレイリスト
- 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル
- 録画中のタイトル
- アクトビラからダウンロードしたタイトル
- サンプルフォトに保存されている写真

他機器で再生できるタイトルは、タイトル再生中やタイトルリストでタイトルを選んで オプション を押し、[情報表示]を選んで表示されるタイトル情報画面で が表示されます。

他機器で再生できない場合

次のような場合、他機器で再生できません。
- 本機の設定を変更しているとき
- 再生を伴うタイトル編集をしているとき*[1]
- タイトルダビングをしているとき*[2]
- まるごとDVDコピーをしているとき
- x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中
- x-Pict Story HDを作成しているとき
- おでかけ／おかえり転送をしているとき
- 写真の取り込み中
- アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ・フルを視聴しているとき

*[1] 再生を伴うタイトル編集とは、次の編集内容のことです。
サムネイル設定、チャプター編集、チャプター消去、A-B消去、タイトル分割、プレイリスト作成
*[2] HDV/DV ダビングを利用しているときは、他機器で再生できます。

デジタル放送の番組をホームサーバー機能に対応した他機器で視聴するときの制限

録画回数制限のある番組をホームネットワーク上の他の機器で視聴するには、他の機器側がDTCP-IP*[3]規格に対応している必要があります。

*[3] DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

ご注意

本機や本機のリモコンを操作して、本機の映像や写真を他機器で再生することはできません。

「再生する」で利用できるオプション

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能		できること
あ行	おでかけ進行状況		おでかけ転送実行中に、おでかけ進捗画面を表示します（181ページ）。
	おでかけ転送		
		選択転送	選んだタイトルを“ウォークマン”／“PSP”用動画ファイルとして転送します（180ページ）。
		すべて転送	表示中のリストのうち、上から順に30タイトルまでを“ウォークマン”／“PSP”用動画ファイルとして転送します（180ページ）。
		グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを“ウォークマン”／“PSP”用動画ファイルとして転送します（181ページ）。
		グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、上から順に30タイトルまでを“ウォークマン”／“PSP”用動画ファイルとして転送します（181ページ）。
か行	回転（左）		写真ファイルを左周りに90度回転させます。
	回転（右）		写真ファイルを右周りに90度回転させます。
	画音設定		画質･音質を調整します（101ページ）。
	画質設定		映像や写真の画質を調整します（101ページ）。
	気になる人名		タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます（61ページ）。
	気になるワード		タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます（61ページ）。
	グループ表示		グループごとに分類されます（94ページ）。
	コピー		
		1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします（155ページ）。
		選択コピー	選んだ複数の写真をコピーします（155ページ）。
		1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします（152ページ）。
さ行	再生		前回停止したところから再生します（84ページ）。
	再生停止		再生を停止します。
	次回予約		録画したタイトルの次回の予約をします（56ページ）。
	視聴制限一時解除／視聴制限再設定		視聴年齢制限を一時的に解除したり、再び設定したりします（88ページ）。

	オプション機能		できること
さ行	消去		タイトルやアルバムを消去します（108、156ページ）。
		1タイトル消去	1つのタイトルを消去します（108ページ）。
		選択消去	複数のタイトルや写真を選んで消去します（109、156ページ）。
		すべて消去	表示中のリストのすべてのタイトルを消去します（109ページ）。
		グループ消去	グループのタイトルを一括して消去します（110ページ）。
		グループ内選択	グループ内の複数のタイトルを選んで消去します（110ページ）。
		1ファイル消去	1ファイルの写真を消去します（156ページ）。
	情報表示		詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、↑↓で画面をスクロールしてください（85ページ）。
	初期化		BD-REを初期化します（123ページ）。
	進行状況		アクトビラからダウンロード中に、ダウンロード進行状況画面を表示します（170ページ）。
	スライドショー		スライドショーで表示します（99ページ）。
	スライドショーの速さ		スライドショーの表示の速さ（速い／標準／遅い）を設定します。
	設定/編集		
		名前変更	名前を変更します（119ページ）。
		マーク設定	タイトルにマークを設定します（116ページ）。
		サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します（116ページ）。
		ダイジェスト設定	ダイジェスト再生のジャンルや再生時間を設定します（93ページ）。
		チャプター編集	チャプターを結合・分割したり、消去したりします（117ページ）。
		チャプター消去	チャプターを消去します（117ページ）。
		A-B消去	タイトル内の一部分を選んで消去します（118ページ）。
		タイトル分割	タイトルを2つに分割します（118ページ）。
		タイトル結合	複数のタイトルを結合します（119ページ）。
		プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します（114ページ）。
	全タイトル表示		すべてのタイトルを表示します。

次のページにつづく⇨

	オプション機能		できること
た行	ダイジェスト／ダイジェスト解除		タイトルの見どころシーン(盛り上がっている場面)のみを再生したり、ダイジェスト再生を解除したりします(92ページ)。
	ダイジェスト時間		ダイジェスト再生の時間を変更します(93ページ)。
	タイトルサーチ		タイトルを選んで頭出しします(90ページ)。
	ダビング		
		選択ダビング	選んだタイトルをHDDやディスクにダビングします(133ページ)。
		すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30タイトルまでをHDDやディスクにダビングします(133ページ)。
		グループ内選択	グループ内の選んだタイトルをディスクにダビングします(136ページ)。
		グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30タイトルまでをディスクにダビングします(135ページ)。
	ダビング進行状況		タイトルダビング実行中に、ダビング進捗画面を表示します(135ページ)。
	チャプターサーチ		チャプターを選んで頭出しします(90ページ)。
	停止		スライドショーを停止します。
	トップメニュー		ディスクのメニュー画面を表示します(85ページ)。
な行	名前変更		名前を変更します(119ページ)。
	並び替え		タイトルを、日付順(新しい順)、日付順(古い順)、未視聴順、タイトル名順に並び替えます。 緑 (緑)を押しても並び替えできます(96ページ)。

	オプション機能		できること
は行	始めから再生		始めから再生します。
	早見／早見解除		タイトルを早見再生したり、早見再生を解除したりします。
	表示		写真を表示します(98ページ)。
	表示モード		
		ノーマル	写真を画面にあわせて表示し、余白には黒帯を表示します。
		ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[ノーマル]と同様に再生します。
	ファイナライズ		DVD-RやDVD+Rをファイナライズします(136ページ)。
	ファイルサーチ		指定した写真ファイルを表示します。
	プロテクト／プロテクト解除		HDDやディスクのタイトルが消去、編集されないよう保護したり、解除したりします(109、122ページ)。
	編集		
		タイトル結合	複数のタイトルを結合します(119ページ)。
		プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します(114ページ)。
ま行	メニュー /ポップアップ		DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します(85ページ)。
ら行	ロック／ロック解除		ディスクをロックしたり、解除したりします(122ページ)。
アルファベット	BDクローズ		BD-Rを録画できないようにします(123ページ)。
	BD情報		BDの情報を表示します(120ページ)。
	DVD情報		DVDの情報を表示します(120ページ)。
	HDD情報		HDDの情報を表示します(120ページ)。
	x-Pict Story作成		x-Pict Story HDを作成します(160ページ)。
	x-ScrapBook再生		スクラップブックを再生します(157ページ)。

消去する

録画した映像を消去する（タイトル消去）

HDD BD-RE BD-R

選んだ映像（タイトル）を消去します（1タイトル消去）。

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

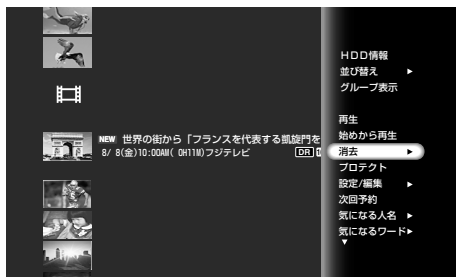
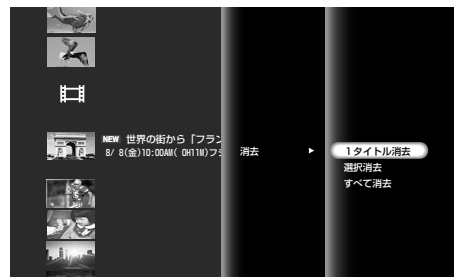
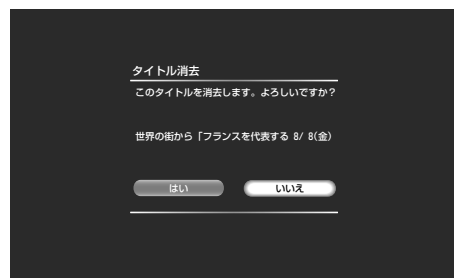
3 テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。

4 ホーム を押す。

5 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

6 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

BDの場合は、● を選んで 決定 を押し、さらにタイトルを選んで オプション を押します。

7 ↑↓で［消去］を選び 決定 を押す。

8 ↑↓で［1タイトル消去］を選び 決定 を押す。

9 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

- 手順4で 見る を押すと、手順6から操作できます。
- 手順6で クリア（クリア）を押してもタイトルを消去できます。

ご注意

- 消去して増える残量は、タイトル情報の容量を目安にしてください。プレイリストタイトルを消去しても残量は増えません。
- BD-Rでは消去しても録画できる時間は増えません。

複数の映像を選んで消去する（選択消去）

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。
BDの場合は、● を選んで 決定 を押し、さらにタイトルを選んで オプション を押します。

4 ↑↓で[消去]を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で[選択消去]を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で消去したいタイトルを選び、決定 を押す。
選んだタイトルの横のボックスに、チェックマークが付きます。チェックマークを消すには、もう一度 決定 を押します。

［全選択］または［全選択解除］を選ぶと、消去可能なすべてのタイトルにチェックマークを付けたり、消したりできます。

7 ↑↓←→で[確定]を選び、決定 を押す。

8 ←→で[はい]を選び、決定 を押す。

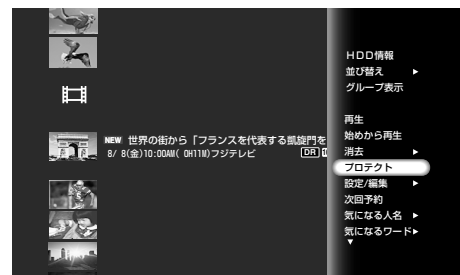
誤って消さないようにする（プロテクト）

誤ってタイトルを消去しないよう、録画した映像（タイトル）ごとにプロテクト（保護）の設定をします。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。
BDの場合は、● を選んで 決定 を押し、さらにタイトルを選んで オプション を押します。

4 ↑↓で[プロテクト]を選び、決定 を押す。

タイトルがプロテクトされ、 が表示されます。

プロテクトを解除するには

上の手順4で[プロテクト解除]を選び、決定 を押します。
タイトルから が消えます。

ちょっと一言

タイトルリストのすべてのタイトルを消去したいときは、手順5で[すべて消去]を選び 決定 を押します。

消去する

次のページにつづく⇨

グループごとにまとめて消去する

選んだグループ(フォルダ)と、そのグループに含まれる映像(タイトル)を、一括して消去します(グループ消去)。

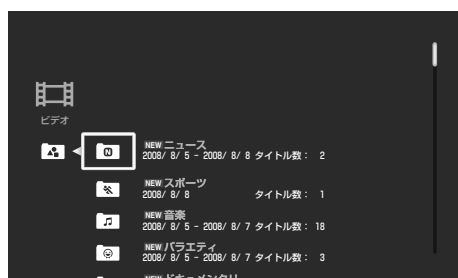
1 ホーム を押す。

2 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

3 黄(黄)を押す。
タイトルがグループに分類されます。

4 ↑↓でグループを選び、決定 を押す。

5 ↑↓で消去したいグループ(フォルダ)を選び、オプション を押す。

6 ↑↓で[消去]を選び、決定 を押す。

7 ↑↓で[グループ消去]を選び、決定 を押す。

8 ←→で[はい]を選び、決定 を押す。

グループ内の複数の映像を選んで消去する

1 「グループごとにまとめて消去する」の手順7で[グループ内選択]を選び、決定 を押す。

2 「複数の映像を選んで消去する(選択消去)」(109ページ)の手順6 ～ 8を行い、タイトルを消去する。

タイトル消去についての制限事項

- 次のようなタイトルは消去できません。
  - プロテクトされているタイトル
  - 録画中のタイトル
  - ダビング中のタイトル
  - おでかけ転送中のタイトル
  - アクトビラからダウンロード中のタイトル
  - ホームサーバー機能で再生中のタイトル
  - プレイリストから参照されているオリジナルタイトル(オリジナルタイトルと、そのタイトルを参照しているプレイリストが同じグループにある場合を除く)
- [1タイトル消去]や[選択消去]でプロテクトされたタイトルを選んだときは、確認画面で[プロテクト解除]を選び、プロテクトを解除してください。
- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去したいときは、先にプレイリストを消去してください。
- タイトルリストに表示されていない視聴年齢制限されたタイトルは、[グループ消去]で消去されません。この場合は、タイトルリストで任意のタイトルを選び、オプション を押して[視聴制限一時解除]を選びます。画面にしたがって、 －[年齢制限設定]の[暗証番号設定](205ページ)で設定した暗証番号を入力して、すべてのタイトルを表示させてから操作してください。

ちょっと一言

- 「グループごとにまとめて消去する」の手順2の後でタイトルやグループを選んで オプション を押し、[グループ表示]または[全タイトル表示]を選んでもビューを切り換えることができます。
- 「グループごとにまとめて消去する」の手順5で クリア (クリア)を押しても消去できます。

編集する

「編集する」でできること

プレイリストの作成

114ページ

お好みの場面のみを集めたプレイリストを作成できます。

チャプター消去

117ページ

録画した映像（タイトル）の中のチャプターを選び、映像を消去できます。チャプター単位で不要なシーンを一括して消去できます。

チャプター編集

117ページ

録画した映像（タイトル）のチャプターを結合したり、チャプター単位で不要なシーンを一括して消去できます。

A-B消去

118ページ

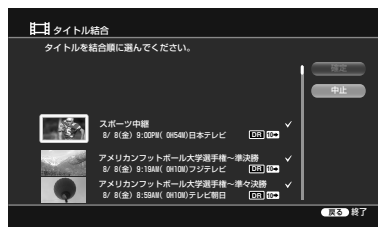
録画した映像（タイトル）内で任意にA点、B点を設定し、その間の映像を消去できます。

タイトル分割

118ページ

録画した映像（タイトル）を分割します。長時間のタイトルを画質を落とさずに複数のディスクにダビングしたいときなどに便利です。

タイトル結合

119ページ

ハードディスク内や同一のディスク内でタイトルを結合できます。

オリジナルとプレイリストについて

本機では2通りの方法で編集ができます。それぞれの方法でできることが異なりますので、用途に応じて編集方法を使い分けてください。

オリジナル映像を編集する ➡ 116ページ

録画した映像（オリジナル映像）を直接編集します。

オリジナル編集の特徴

編集すると、HDDの残量を増やせます
映像（タイトル）の不要な部分を、チャプター消去やA-B消去などで編集すると、HDDの残量を増やせます。

一度編集すると、元の状態に戻せません
消去した映像は二度と元に戻りません。大切な映像は、プレイリスト編集をおすすめします。

プレイリスト映像を編集する ➡ 114ページ

オリジナル映像から、編集用の映像（プレイリスト映像）を作成して編集します。

プレイリスト編集の特徴

何度でも編集できます
プレイリストは何回でも作成できるので、1つのオリジナルタイトルから異なる内容のプレイリストを複数作成できます。また、同じシーンをくり返したり、複数のタイトルを組み合わせたり、複雑な編集ができます。

編集しても、HDDの残量は増えません
プレイリストの不要な部分を消去しても、HDDの残量は増えません。また、プレイリストから参照されているオリジナルタイトルは、編集や消去ができなくなります。プレイリストを作成すると、HDDのタイトル数が増えます。

次のページにつづく⇨

プレイリストを作成する

HDD BD-RE BD-R

オリジナルの映像（タイトル）や他のプレイリストのタイトルから映像の範囲（シーン）を選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。

1 **本機を接続しているテレビの電源を入れる。**

2 **本機の電源を入れる。**

3 **テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。**

4 **（ホーム）を押す。**

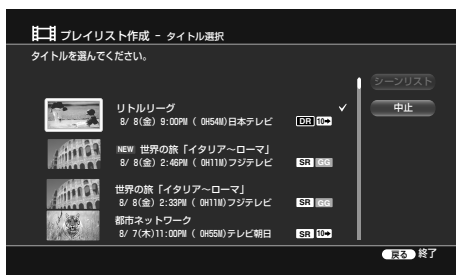
5 **←→で（ビデオ）を選ぶ。**

6 **↑↓でタイトルを選び、（オプション）を押す。**

7 **↑↓で［設定/編集］を選び、（決定）を押す。**

8 **↑↓で［プレイリスト作成］を選び、（決定）を押す。**

HDDに保存しているシーンリストがある場合は、確認画面が表示されます。

9 **↑↓←→でプレイリストに含めたいタイトルを選び、（決定）を押す。**

選んだタイトルの再生が最初から、または以前に再生した続きから始まります。

10 **↑↓←→で、開始点（イン点）で［イン点設定］を選び、（決定）を押す。**

タイトル全体を1つのシーンとして追加するには、［全指定］を選びます。

11 **↑↓←→で、終了点（アウト点）で［アウト点設定］を選び、（決定）を押す。**

イン点とアウト点が表示されます。アウト点を先に設定することもできます。

12 **↑↓←→で［確定］を選び、（決定）を押す。**

つづけて同じタイトルから他のシーンを設定する場合は、手順**10**～**12**をくり返します。

13 **同じタイトルからシーンを選び終わったら、↑↓←→で［終了］を選び、（決定）を押す。**

それまでに選んだシーンの一覧（シーンリスト）が表示されます。

項目名	説明
中止	シーンを保存し、再度プレイリストを作成するときに、続きから作成できます。
シーン追加	同じプレイリストに追加したい別のシーンを選びます。手順**9**～**13**をくり返します。
シーン移動	シーンの順番を変えます。
すべて消去	切り出したシーンをすべて消去します。

シーンリスト画面でシーンを選んで（決定）を押すと、シーンの消去、またはイン点とアウト点の修正ができます。

14 **↑↓←→で［確定］を選び、（決定）を押す。**

タイトル名を入力するためのキーボードが表示されます。文字の入力方法については、「文字を入力する」（63ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

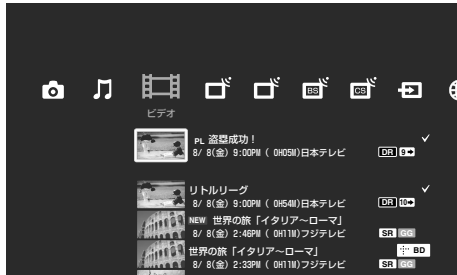
- プレイリストは、1タイトルにつき最大50シーンまで設定できます。
- プレイリストのタイトルを作成すると、設定したイン点がチャプターマークになります。また、参照元のオリジナルタイトルのチャプターマークが引き継がれる場合があります。

ご注意

- プレイリストを作成すると、参照元のオリジナルタイトルは消去やチャプター編集ができなくなります。
- プレイリストを作成すると、編集したシーンを再生するとき、映像が一時停止することがあります。
- 録画中は、プレイリストを作成できません。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルは、プレイリストを作成できません。

15 **タイトル名を入力したら、↑↓←→で[入力終了]を選び、(決定)を押す。**

プレイリストのタイトルが作成されます。

作成されたプレイリストのタイトルは （ビデオ）の映像の一覧（タイトルリスト）に表示されます。

編集する

録画した映像を編集する

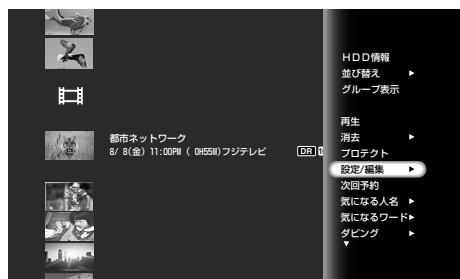
HDD BD-RE BD-R

ここでは基本的な編集について説明します。録画したオリジナルの映像(タイトル)を編集すると、元の状態に戻せないのでご注意ください。

映像にマークを付ける

HDD

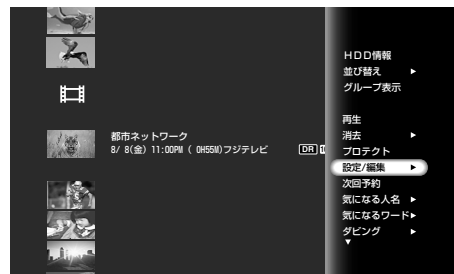
録画した映像(タイトル)にマークを設定します。29種類のマークから選べます(95ページ)。

1. ホーム を押す。
2. ◀▶で (ビデオ)を選ぶ。
3. ▲▼でタイトルを選び、オプション を押す。
4. ▲▼で[設定/編集]を選び、決定 を押す。

5. ▲▼で[マーク設定]を選び、決定 を押す。
6. ▲▼◀▶でマークを選び、決定 を押す。

映像のサムネイルを変更する

HDD BD-RE BD-R

録画した映像(タイトル)のサムネイル画像を変更します。

1. ホーム を押す。
2. ◀▶で (ビデオ)を選ぶ。
3. ▲▼でタイトルを選び、オプション を押す。
4. ▲▼で[設定/編集]を選び、決定 を押す。

5. ▲▼で[サムネイル設定]を選び、決定 を押す。
6. ◀◀ / ▶▶ (早戻し/早送り)などを使って場面を選ぶ。
7. ▲▼◀▶で[確定]を選び、決定 を押す。
8. ◀▶で[はい]を選び、決定 を押す。

ご注意

- 編集する前にディスクの種類を本体表示窓(257ページ)で確認して、編集機能をお選びください。
- 編集中にディスクを取り出したり、録画予約で設定した録画が始まると、編集内容が取り消されることがあります。
- BD-Rをクローズすると、編集や録画はできなくなります(123ページ)。
- 元の録画を変えずに編集したいときは、プレイリストを作成してください(114ページ)。
- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中のタイトルは編集できません。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルは「映像にマークを付ける」(116ページ)以外の編集はできません。
- 「録画2」で録画中は、サムネイルの変更はできません。
- ホームサーバー機能を利用して、本機の映像(タイトル)を他機器で再生しているときに、本機でチャプター消去やチャプター編集、A-B消去、タイトル分割、サムネイル設定、プレイリスト作成をしようとすると、他機器の再生が停止します。また、本機でこれらの編集を行っているとき、本機の映像(タイトル)は、ネットワーク上の他機器から再生できません。
- 「管理情報がいっぱいです」が画面に表示されたら、不要なタイトルを消去してください。

映像の一部をチャプター単位で消去する（チャプター消去）

HDD BD-RE BD-R

録画した映像（タイトル）の中のタイトルよりも小さい区切りをチャプターと呼びます。不要なチャプターを選んで、映像を消去できます。オリジナルタイトルのチャプターを消去すると、元に戻せないのでご注意ください。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［設定/編集］を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で［チャプター消去］を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で消去したいチャプターを選び、決定 を押す。

チャプターにカーソルを合わせると、そのチャプター内の映像が背景に表示されます。

選んだチャプターの横のボックスにチェックマークが付きます。消去したいチャプターが複数あるときは、手順**6**をくり返し行ってください。チェックマークを消すにはもう一度 決定 を押します。［全選択解除］を選ぶと、すべてのチェックマークが消えます。

7 ↑↓←→で［確定］を選び、決定 を押す。

8 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。

手順**6**で選んだチャプターが消去されます。

すべてのチャプターを選んだ場合は、タイトル自体が消去されます。

チャプター消去画面の表示の見かた

1 チェックボックス

2 チャプターのサムネイル

3 チャプター番号

4 チャプター開始時刻

5 チャプター総時間

チャプターを結合・分割・複数消去する（チャプター編集）

HDD BD-RE BD-R

チャプターを選んで、1つにまとめたり、2つに分けたり、消去したりして、映像（タイトル）をお好みのチャプターに分けることができます。また、映像の不要なシーンで新たにチャプターを作成して、まとめて消去することもできます。オリジナルのチャプターを消去すると、元に戻せないのでご注意ください。

結合：チャプターマークを消去して、複数のチャプターをまとめます。

分割：お好みの位置にチャプターマークを付けて、新しいチャプターを作成します。

複数消去：不要なチャプターを一度に消去します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

編集する

ご注意

- 録画中は、チャプター消去はできません。
- チャプター消去やチャプター編集、A-B消去で消去した場所の映像や音声が途切れることがあります。
- プロテクトされたタイトルでは、チャプター消去やチャプター編集、A-B消去ができません。
- チャプターの時間が短いときは、チャプター消去、チャプター編集で消去ができないことがあります。

次のページにつづく⇨

4 ↑↓で[設定/編集]を選び、（決定）を押す。

5 ↑↓で[チャプター編集]を選び、（決定）を押す。

6 ←→で編集したいチャプターを選ぶ。

7 ↑↓←→で以下の編集方法を選び、（決定）を押す。

項目名	説明
分割	現在の再生位置にチャプターマークを入れ、2つのチャプターに分けます。チャプターを再生して、（早戻し）／（早送り）などで分けたい場面を選んでから（決定）を押します。
前と結合	チャプターマークを消して、現在のチャプターと前のチャプターをつなぎます。
消去実行	選んだ複数のチャプターを一度に消去します。手順**6**で（決定）を押し、消したいチャプターをすべて選んでおきます。消去確認画面が表示されたら、[はい]を選びます。

映像の一部を消去する（A-B消去）

HDD BD-RE BD-R

録画した映像（タイトル）内の一部分（シーン）を選んで消去できます。オリジナルタイトルのシーン消去後は元の状態に戻すことができないので、ご注意ください。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、（オプション）を押す。

4 ↑↓で[設定/編集]を選び、（決定）を押す。

5 ↑↓で[A-B消去]を選び、（決定）を押す。

6 ↑↓←→で[A点設定]を選び、消去開始場面（A点）で（決定）を押す。

7 ↑↓←→で[B点設定]を選び、消去終了場面（B点）で（決定）を押す。

A点とB点が表示されます。B点を先に設定することもできます。

8 ↑↓←→で[確定]を選び、（決定）を押す。

9 ←→で[はい]を選び、（決定）を押す。
A点からB点までのシーンが消去されます。
つづけて同じタイトルの他のシーンを消去するには、手順**6**～**9**をくり返してください。

10 消去したい場面をすべて消去したら、↑↓←→で[終了]を選び、（決定）を押す。

映像を2つに分ける（タイトル分割）

HDD BD-RE BD-R

長時間の映像（タイトル）を画質を落とさずにディスクにダビングしたいときなどは、オリジナルタイトルやプレイリストタイトルを2つのタイトルに分割して、それぞれのタイトルを別々のディスクにダビングできます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、（オプション）を押す。

ちょっと一言

- 再生中にリモコンのふたの中の（チャプター書込み）を押しても、チャプターの分割ができます（90ページ）。
- A-B消去でシーンを消去した場所にはチャプターマークが入り、前後のシーンはそれぞれ別のチャプターになります。
- A-B消去でA点やB点を設定中や、タイトル分割で分割する場面を設定中に、早送り／早戻しやチャプター送り／チャプター戻しなどもできます。

ご注意

- A-B消去で消去設定したシーンが、若干ずれて消去されることがあります。
- プロテクトされたタイトルでは、タイトル分割やタイトル結合ができません。

4 ↑↓で[設定/編集]を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で[タイトル分割]を選び、決定 を押す。

6 2つに分ける場面で[確定]を選び、決定 を押す。

7 ←→で[はい]を選び、決定 を押す。

8 ←→で分割した後のタイトル名を変更するか選ぶ。
[はい]を選ぶと、タイトル名を変更します。文字入力について詳しくは、63ページをご覧ください。タイトル名を入力後、タイトルが分割されます。
[いいえ]を選ぶと、元のタイトル名を両方のタイトルに使います。

複数の映像を1つにする（タイトル結合）

HDD BD-RE BD-R

HDD内、同一ディスク内で次の映像（タイトル）の結合ができます。

- プレイリストタイトル同士
- オリジナルタイトル同士

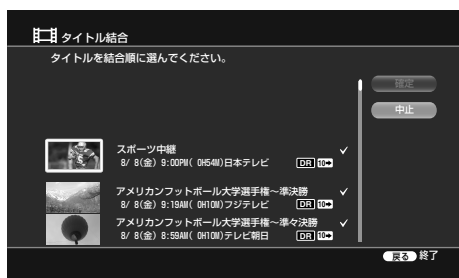
1 ホーム を押す。

2 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

4 ↑↓で[設定/編集]を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で[タイトル結合]を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で結合するタイトルを選び、決定 を押す。

決定 をもう一度押すと、選択を取り消すことができます。

7 手順6をくり返して、結合したいタイトルをすべて選ぶ。
タイトルは、選んだ順に結合されます。

8 ↑↓←→で[確定]を選び、決定 を押す。
選んだタイトルからタイトル名を選ぶ画面が表示されます。

9 ↑↓で使いたいタイトル名を選び、決定 を押す。
[名前入力]を選ぶと、新しくタイトル名を入力できます。文字入力について詳しくは、63ページをご覧ください。
[再選択]を選ぶと、前の画面に戻って再び結合するタイトルを選び直せます。

映像の名前を変更する

HDD BD-RE BD-R

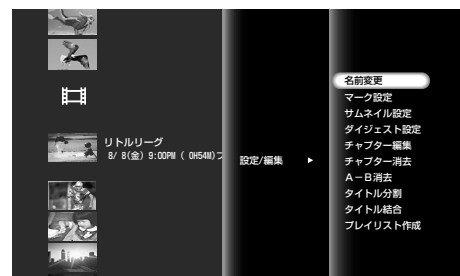
録画した映像（タイトル）の名前を変更します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

4 ↑↓で[設定/編集]を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で[名前変更]を選び、決定 を押す。

6 名前を変更する。
文字の入力については63ページをご覧ください。

7 タイトル名を入力したら、↑↓←→で[入力終了]を選び、決定 を押す。

ご注意

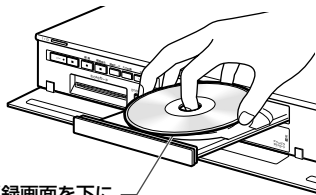
- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- コピー制限のないタイトルを、ダビング10に対応したタイトルと結合すると、同じだけの回数制限が付きます。ダビング可能回数が1回の場合は、ダビングするとHDDからは消去されます。

ディスク情報を確認する

HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

ディスク情報画面では、ディスクの種類や残量を確認できます。

1 開/閉 (開/閉)を押してディスクトレイを開け、録画済みのBDやDVDを入れる。

HDDの情報を見たいときは、BDやDVDを挿入する必要はありません。

2 開/閉 (開/閉)を押して、ディスクトレイを閉める。

3 ホーム を押す。

4 ←→で (ビデオ)または (フォト)を選ぶ。

DVDの場合は、 (フォト)を選ぶことはできません。

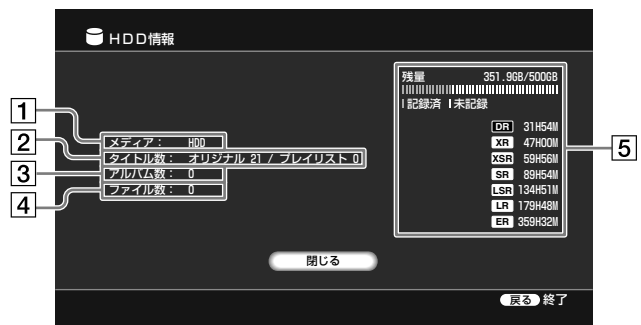
5 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

BDやDVDの場合は、●を選んで オプション を押します。

6 ↑↓で[HDD情報]または[情報表示]を選び、決定 を押す。

[HDD情報]を選ぶと本機のHDDの情報が、[情報表示]を選ぶとタイトルの情報が表示されます。BDやDVDを入れた場合は、それぞれ[BD情報]や[DVD情報]を確認できます。
情報画面の項目は、ディスクの種類や記録フォーマットによって異なります。

ディスク情報画面の見かた

例：HDD情報

1 **メディア**
ディスクの種類

2 **タイトル数**
オリジナルタイトルの総数／プレイリストの総数

3 **アルバム数**
写真のアルバムの総数

4 **ファイル数**
写真のファイルの総数

5 **残量（目安）**
- HDDの空きを表すバー表示
- HDDの空き容量／総容量
- HDDの録画可能時間

残量や空き容量は目安です。なお、HDDのDRモードの表示は、ハイビジョン放送(HD)を録画できる時間の目安です。

例：ディスクの情報（BD-REの場合）

例：ディスクの情報（DVD-RWの場合）

1 **ディスク名**
ディスクの名前を表示します。
ディスク名はタイトルリストにも表示されます。

2 **メディア**
ディスクの種類

3 **ディスクのフォーマット**
DVD-RWとDVD-Rでは記録フォーマットがVRモードかビデオモードかを表示します。

4 **タイトル数**
タイトルの総数／プレイリストの総数*

* BD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）、AVCHD方式で記録されたディスクのみ

5 **プロテクト**
ディスクが保護設定されているかどうかを表示します（122ページ）。（BD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のみ）

6 **ロック設定**
ディスクがロック設定されているかどうかを表示します（122ページ）。（BD-REとBD-Rのみ）

7 **録画日**
録画した期間を表示します。

8 **データフォルダ**
フォトなどを含むフォルダがあるかどうかを表示します（BD-REとBD-Rのみ）。

9 **残量（目安）**
- BD/DVDの空きを表すバー表示
- BD/DVDの空き容量／総容量
- BD/DVDの録画可能時間

残量や空き容量は目安です。
他機器で録画したディスクは、ディスクの情報画面で正しく表示されない場合があります。

ディスク設定を変更する

ディスクに名前を付ける

BD-RE BD-R

ディスクに名前を付けたり、変更したりできます。DVDにはダビングの手順のなかで名前を付けます（133ページ）。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）または （フォト）を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［名前変更］を選び、決定 を押す。
ディスク名入力画面が表示されます。

5 ディスク名を入力したら、［入力終了］を選び、決定 を押す。
文字入力について詳しくは、「文字を入力する」（63ページ）をご覧ください。

誤って消さないようにする（プロテクト）

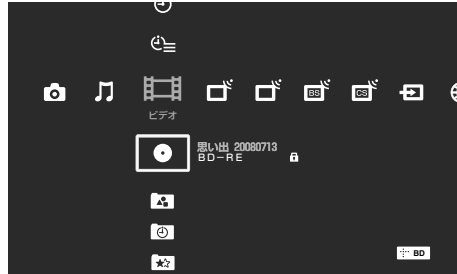
BD-RE BD-R

録画した映像（タイトル）を誤って消去したりすることのないように、ディスクをプロテクト（保護）できます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）または （フォト）を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［プロテクト］を選び、決定 を押す。
ディスクがプロテクトされます。プロテクトされたディスクには、ホームメニュー上で マークが付きます。

プロテクトを解除するには、オプション を押して［プロテクト解除］を選んでください。

ディスクをロックする

BD-RE BD-R

ディスクに暗証番号を設定して、再生などをできないようにします。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）または （フォト）を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［ロック］を選び、決定 を押す。
暗証番号設定画面が表示されます。

5 数字ボタンで暗証番号を設定し、［確定］を選び、決定 を押す。
ディスクを取り出すと、次に入れたときに暗証番号を入力しないと再生などができなくなります。
ロックしたディスクを再生するには「ロック設定されたBD-REやBD-Rを再生するには」（86ページ）をご覧ください。

ロックを解除するには

手順**4**で［ロック解除］を選び、ディスクロック設定画面で［はい］を選び 決定 を押します。

ご注意

ディスク名として入力できる文字数は、BDの場合は最大で全角69文字、半角138文字までです。他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。

BD-REを初期化する

BD-RE

BD-REの内容をすべて消去して、空きディスクにします。録画した映像(タイトル)を選んで消去したいときは、「録画した映像を消去する(タイトル消去)」(108ページ)をご覧ください。
DVDの初期化はダビングの手順の中で行います(133ページ)。

1 ホーム を押す。

2 ←→で (ビデオ)または (フォト)を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で[初期化]を選び、決定 を押す。
確認画面が表示されます。

5 ←→で[はい]を選び、決定 を押す。

ディスクの初期化が始まります。

BD-Rを録画できないようにする(BDクローズ)

BD-R

BD-Rをクローズすることにより、追加記録や編集ができなくなります。録画した映像(タイトル)を誤って消去したり、あらたなタイトルを記録しないようにできます。一度クローズしたディスクは解除できません。

1 ホーム を押す。

2 ←→で (ビデオ)または (フォト)を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で[BDクローズ]を選び、決定 を押す。
確認画面が表示されます。

5 ←→で[はい]を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

HDDの初期化は、 の[設定初期化] – [HDD初期化]でできます(212ページ)。

ご注意

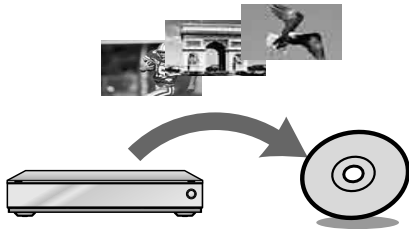
本機にBD-REを入れたときの自動初期化以外の方法で初期化されている場合、「BD-REを初期化する」(123ページ)の手順では初期化できない場合があります。

ディスクに残す（ダビング）

「ディスクに残す(ダビング)」

でできること

タイトルダビング

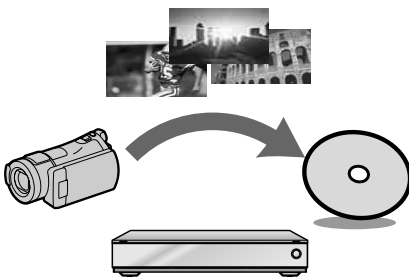
133ページ

録画した映像(タイトル)やアクトビラからダウンロードしたタイトル、x-Pict Story HDで作成した映像などをBDやDVDにダビングできます。

グループ一括ダビング(連ドラ一括ダビング)

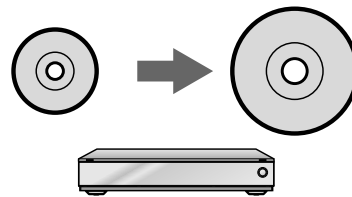
135ページ

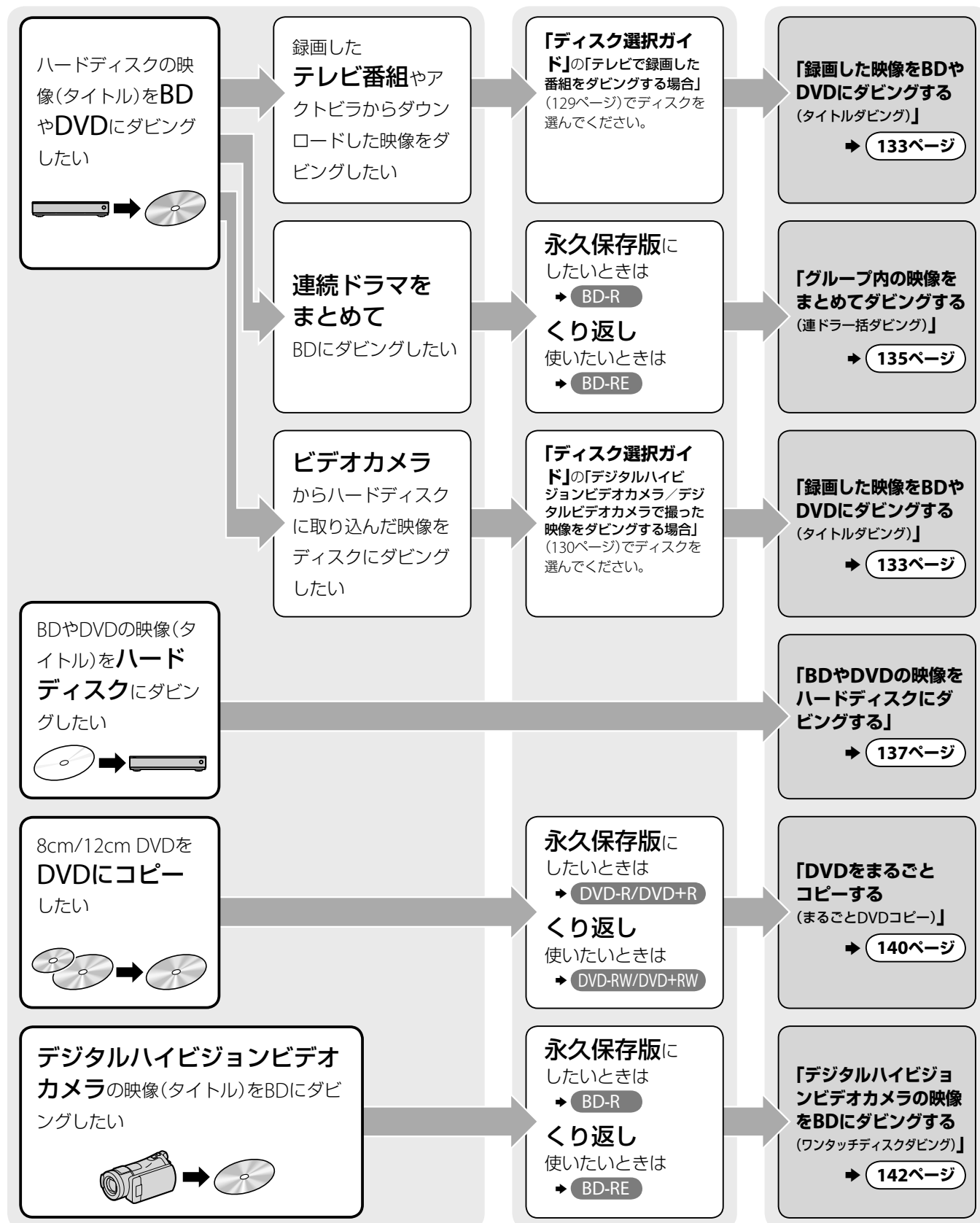
タイトルをグループごとに一括してBDやDVDにダビングできます。録りためたドラマをまとめてダビングするときなどに便利です。

ワンタッチディスクダビング

142ページ

ワンタッチディスクボタンの付いたソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した映像を、簡単にBDにダビングできます。

まるごとDVDコピー

140ページ

DVDビデオカメラで撮影した映像が記録された8cm DVDや、お気に入りの映像を記録した12cm DVDを、高速で簡単に12cm DVDにコピーできます。

ダビングガイド

* 本機の入力端子(音声/映像/ S映像、HDV1080i/DV)につないだ機器から、本機のハードディスクやBDにダビング(録画)するには、「ビデオデッキやビデオカメラの映像を録画する」(69ページ)をご覧ください。

ディスクについて

利用できるディスクの種類について

本機でダビングを行うときは、以下のBDディスクとDVDディスクが利用できます。

BD

デジタル放送の番組やアクトビラからダウンロードした映像をハイビジョン画質でダビングしたいときや、長時間の映像をダビングしたいときに最適なディスクです。

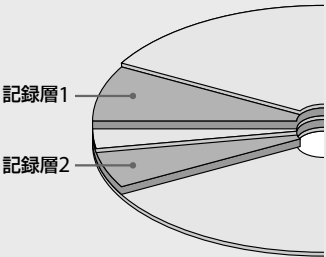
	書き換え	最大記録時間(目安)	デジタル放送の番組のダビング	高速ダビング	ハイビジョン画質でのダビング	利用できるダビングモード
BD-R	×	約24時間25分	○	○ 映像を高速でダビングできます。	○	DR XR XSR SR LSR LR ER デジタル放送（高画質）↕（長時間録画）
BD-R DL（2層）	×	約48時間50分				
BD-RE	○	約24時間25分				
BD-RE DL（2層）	○	約48時間50分				

DVD

アナログ放送の番組をダビングしたいときや、標準画質の映像をダビングしたいときに最適なディスクです。

	書き換え	最大記録時間(目安)	デジタル放送の番組のダビング	高速ダビング	ハイビジョン画質でのダビング	利用できるダビングモード
DVD-R	×	約6時間	○ (CPRM対応のディスクのみ)	× ダビングする映像の長さと同じ時間がかかります。	×	XP XSP SP LSP LP EP （高画質）↕（長時間録画）
DVD-RW	○	約6時間	○ (CPRM対応のディスクのみ)			
DVD+R	×	約6時間	×			
DVD+R DL（2層）	×	約10時間51分	×			
DVD+RW	○	約6時間	×			

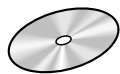
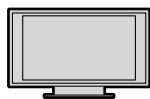
「DL（2層）」とは

片面に記録できる層が2層あるディスクです。片面1層のディスクよりも多くの映像を記録できます。

DVD-R/DVD-RWの記録方式について

DVD-R/DVD-RWを使ってダビングするときは、次の2種類の記録方式の中から、目的にあった記録方式を選んでダビングを行います。

	デジタル放送の番組のダビング	アナログ放送の番組やビデオカメラから取り込んだ映像のダビング	他機器での再生
VRモード	○ （CPRM対応のディスクのみ）	○	DVD-R/-RW VRモード対応の機器で再生可能
ビデオモード	×	○	多くのDVD機器で再生可能

ディスク選択ガイド

次のガイドを使って、ダビングしたい映像の種類や目的に合わせて、おすすめのディスクを選べます。どのディスクを選べばよいかわからない場合などに、ご覧ください。

テレビで録画した番組をダビングする場合

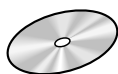
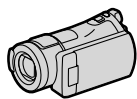
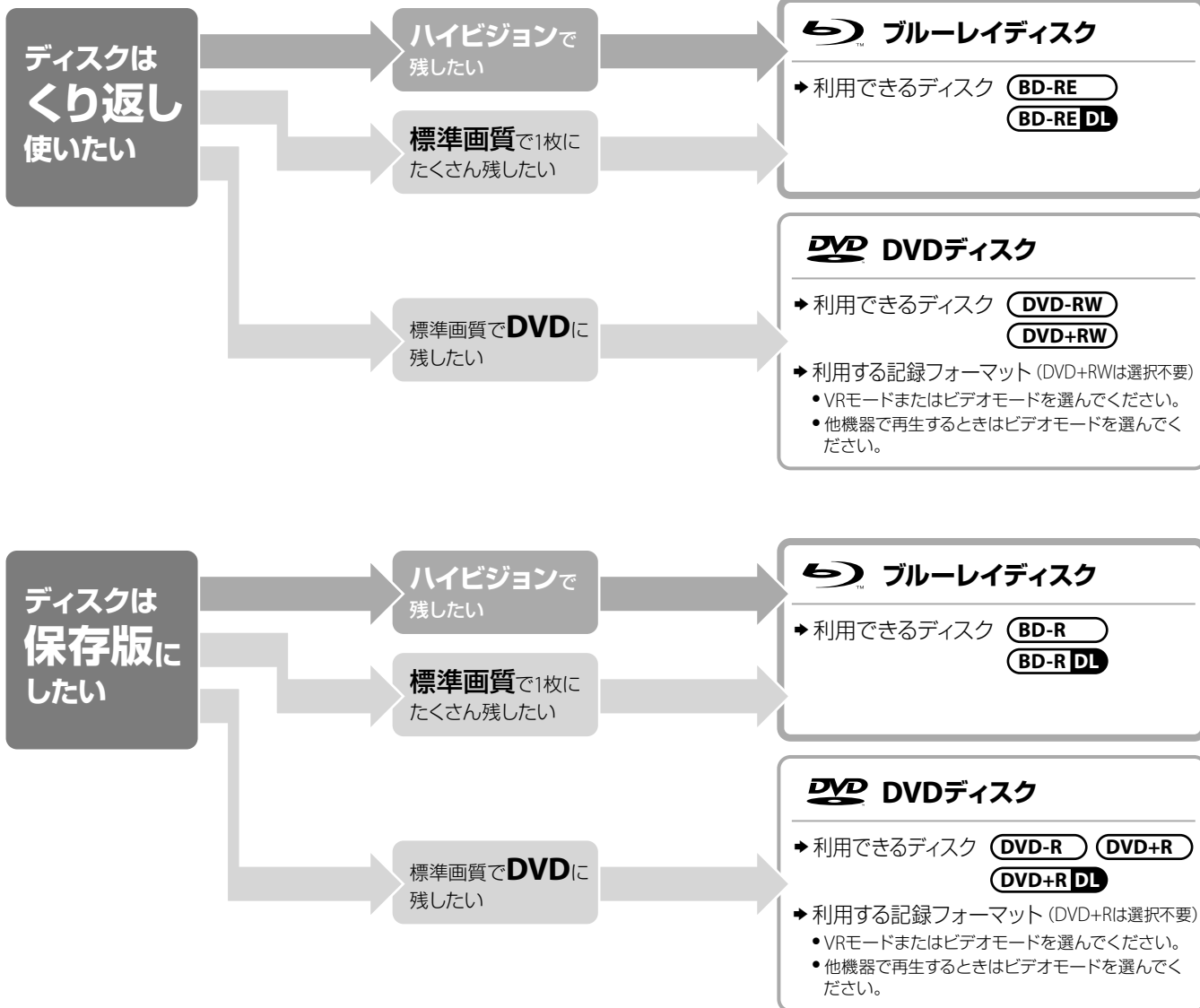
ディスクはくり返し使いたい

- **デジタル放送**の番組や、アクトビラからダウンロードした映像*を残したい
  - **ハイビジョン**で残したい／**標準画質**で1枚にたくさん残したい
    - **ブルーレイディスク**
      - 利用できるディスク BD-RE、BD-RE DL
  - 標準画質で**DVD**に残したい
    - **DVDディスク**
      - 利用できるディスク DVD-RW CPRM対応
      - 利用する記録フォーマット：VRモード
- **アナログ放送**の番組を残したい
  - 1枚に番組を**たくさん**残したい
    - **ブルーレイディスク**
      - 利用できるディスク BD-RE、BD-RE DL
  - **DVDディスク**
    - 利用できるディスク DVD-RW、DVD+RW
    - 利用する記録フォーマット（DVD+RWは選択不要）
      - VRモードまたはビデオモードを選んでください。
      - 他機器で再生するときはビデオモードを選んでください。

ディスクは保存版にしたい

- **デジタル放送**の番組や、アクトビラからダウンロードした映像*を残したい
  - **ハイビジョン**で残したい／**標準画質**で1枚にたくさん残したい
    - **ブルーレイディスク**
      - 利用できるディスク BD-R、BD-R DL
  - 標準画質で**DVD**に残したい
    - **DVDディスク**
      - 利用できるディスク DVD-R CPRM対応
      - 利用する記録フォーマット：VRモード
- **アナログ放送**の番組を残したい
  - 1枚に番組を**たくさん**残したい
    - **ブルーレイディスク**
      - 利用できるディスク BD-R、BD-R DL
  - **DVDディスク**
    - 利用できるディスク DVD-R、DVD+R、DVD+R DL
    - 利用する記録フォーマット（DVD+Rは選択不要）
      - VRモードまたはビデオモードを選んでください。
      - 他機器で再生するときはビデオモードを選んでください。

*アクトビラからダウンロードした映像は、ブルーレイディスク（BD-RE/BD-R）にのみ高速ダビングできます。
録画モード変換ダビングはできません。

次のページにつづく⇨

デジタルハイビジョンビデオカメラ／デジタルビデオカメラで撮った映像をダビングする場合

ダビングの制限について

HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

デジタル放送のコピー制限について

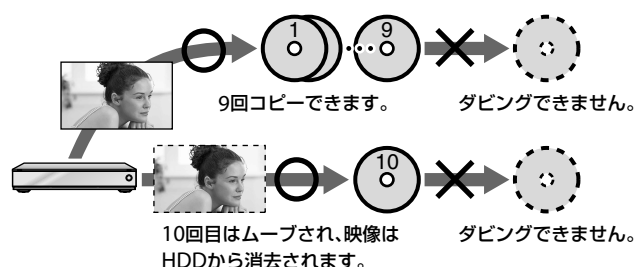
地上デジタル放送、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送には、番組の著作権保護のために、コピー制御信号が組み込まれています。そのため、本機で録画／ダビングするときは、番組に組み込まれているコピー制御信号の種類により以下の制限が発生します。

制限の種類	制限の説明		利用できるディスク
録画制限なし 地上アナログ	**録画**	本機のHDDやBDに録画できます。	HDD BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）/ BD-RE DL（2層）
	ダビング	BDやDVDに何回でもダビングできます。	BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）/ BD-RE DL（2層） DVD-R/DVD-RW/DVD+R/ DVD+RW/DVD+R DL（2層）
1回だけ録画可能 地上デジタル BSデジタル 110度CSデジタル　など	**録画**	本機のHDDやBDに録画できます。	HDD BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）/ BD-RE DL（2層）
	ダビング	BDやDVD（CPRM対応）に移動（ムーブ）できます。詳しくは、下記の「移動（ムーブ）について」をご覧ください。	BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）/ BD-RE DL（2層） CPRM対応のDVD-R/DVD-RW
ダビング10 地上デジタル BSデジタル 110度CSデジタル　など	**録画**	本機のHDDやBDに録画できます。	HDD BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）/ BD-RE DL（2層）
	ダビング	BDやDVD（CPRM対応）に10回ダビングできます。10回目のダビングは本機からBD、DVDへの移動（ムーブ）になります。詳しくは、下記の「ダビング10について」をご覧ください。	BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）/ BD-RE DL（2層） CPRM対応のDVD-R/DVD-RW
録画禁止 110度CSデジタル放送の未契約の有料放送　など	**録画**	本機では録画できません。	

移動（ムーブ）について

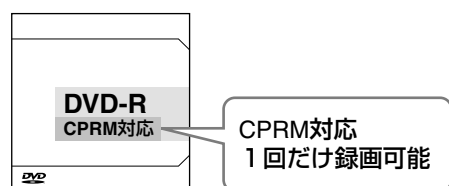
「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（タイトルリストで [1] が表示されているタイトル）は、HDDからBD-RE/BD-R、CPRM対応のDVD-RW（VRモード）／DVD-R（VRモード）へのみ1回だけ移動（ムーブ）させることができます。一度ムーブさせると、録画した映像はHDDから消えますので、ご注意ください。

ダビング10について

ダビング10（タイトルリストで [10] が表示されているタイトル）は、HDDに録画した映像をBDやDVDに10回ダビングできます。ダビングを行うごとに、アイコンに表示されるダビング可能回数の数字が減ります。9回ダビングを行うと [1] が表示され、もう一度ダビングを行うと、録画した映像はHDDからBDやDVDに移動（ムーブ）します。本機のHDDからBDやDVDにダビングした映像を、HDDに戻したり、そのディスクから他のBDやDVDにダビングすることはできません。

次のページにつづく⇨

ディスクに残す（ダビング）

DVDにダビングするときは

デジタル放送は、CPRMに対応したDVD-RまたはDVD-RWのVRモードにのみダビングできます。デジタル放送をダビングするときは、パッケージに「CPRM対応」と記載されたディスクをお使いください。

CPRMとは

CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-Rに録画した映像（タイトル）は、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。

ダビングについての制限事項

- 「録画1」で録画しているときは、下記の操作はできません。
  - 録画モードを変えるダビング
  - アクトビラからダウンロードしたタイトルのダビング
- 「録画2」で録画中のときは、ダビングを開始できません。
- HDD→DVDダビングでは高速ダビングできません。
- DRモード以外のモードでは二か国語放送の両音声やアクトビラからダウンロードしたタイトルをBDに記録できません。
- DVDにダビングする時は二か国語放送の両音声を記録することはできません。あらかじめ、記録する音声の種類（[主音声]または[副音声]）を選んでください（[二重音声記録]、197ページ）。
- HDDからDVD-RAMへはダビングできません。DVD-RAMからは「録画制限なし」のタイトルをHDDにダビングできます。
- 🚫 が付いたタイトルはダビングできません。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルをダビングするときは、本機をインターネットにつないでください（「準備編」の「[準備5]電話回線／ネットワークにつなぐ」）。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルのダビングを中止した場合は、もう一度ダビングを行って、必ずダビングを完了してください。タイトルによっては、ダビングを中止したタイトルを違う種類の機器やメディアに転送することが禁止されている場合があります。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルは録画モードを変えるダビングはできません。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルが視聴年齢制限されている場合は、画面にしたがって、🧰 ー[年齢制限設定]の[暗証番号設定]で設定した暗証番号を入力してください（205ページ）。
  20歳未満制限付きタイトルは、視聴年齢制限されていると、タイトルダビング画面などでタイトルが表示されません。この場合は、あらかじめタイトルリストで任意のタイトルを選び、オプション を押して[視聴制限一時解除]を選んで、画面にしたがって暗証番号を入力して、すべてのタイトルを表示させてから操作してください。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルには、ダビング期限や有効期限が指定されているものがあります。ダビング期限などを確認するには、「タイトルの情報を確認するには」（85ページ）でタイトル情報画面を表示してください。
- ホームサーバー機能対応のクライアント機器で再生中にダビングをしようとすると、再生が停止します。
- アクトビラからダウンロード中にダビングを開始すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング直後に開始する「録画2」の録画予約やBDへの録画予約が実行されない場合があります。
- ダビング中のタイトルは再生できません。
- HDDとBD間のダビングで、複数のタイトルを選んで合計12時間を超える場合はダビングできません。
- 8時間を超えるタイトルはBDやDVDにダビングできません。
- HDDからBD/DVDへのダビングで、ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。録画モードを変換するとダビングが可能となる場合は、自動調整の画面が表示され、ダビングできます（138ページ）。

録画した映像をBDやDVDにダビングする（タイトルダビング）

HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

録画した映像をダビングする

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。

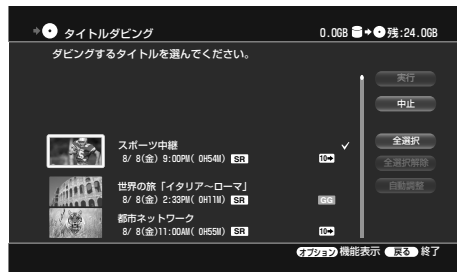
4 本機にディスクを入れる。

5 ホーム を押す。

6 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

7 ↑↓で （ディスクダビング）を選び、決定 を押す。

8 ↑↓で （HDD→BD/DVDダビング）を選び、決定 を押す。

9 ↑↓でダビングしたい映像（タイトル）を選び、決定 を押す。

すべてのタイトルを選ぶときは、[全選択]を選び、決定 を押します。

初期化や、DVDの記録フォーマットを選ぶ画面が表示されます。ダビングするディスクにより、表示される画面が以下のように異なります。

- **DVD-R/-RW 未初期化ディスクの場合**
  VRモードとビデオモードのどちらで初期化するかを選ぶ画面が表示されます。どちらかのモードを選ぶと、初期化が始まります。デジタル放送をダビングする場合はVRモードを選んでください。
- **DVD+R/+RW 未初期化ディスクの場合**
  自動的に初期化が始まります。
- **DVD-RW（ビデオモード／VRモード）やDVD+RWの初期化済み／記録済みディスクの場合**
  データを追記するか初期化するかを選ぶ画面が表示されます。
- **DVD-RW、DVD+RW のデータディスクや、ビデオとデータが混在しているDVDディスク、DVD フォーマットが不明のディスクの場合**
  ディスクの初期化を行うと記録済みデータがすべて消去されることを確認する画面が表示されます。

一度のダビングで最大30個までタイトルを選ぶことができます。ダビングモードは元の録画モードと同じ設定になります（BD-RE/BD-Rのみ）。高速ダビン

ちょっと一言

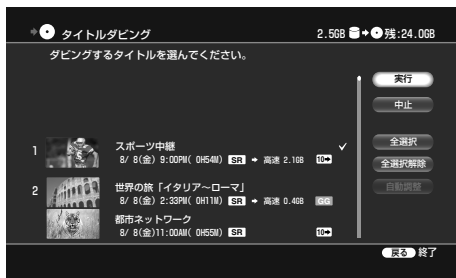
- HDDのプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとしてダビングされます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ることができます。電源を切ってもダビングは続きます。
- 下記の文字を使用したタイトルをDVDにダビングすると、ダビング時にこれらの文字は消去されます。
  「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」
  「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」
  その他特殊文字は削除される場合があります。
- HDDに録画したタイトルをDVDにダビングする場合は、自動的にXPモードや他のモードに設定されます。DRモードやXRモードで記録したタイトルは、XPモードに設定されます。XSR、SR、LSR、LR、ERモードは、それぞれXSP、SP、LSP、LP、EPモードに設定されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- アクトビラからダウンロード中にダビングを開始すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

次のページにつづく⇨

グ可能なタイトルは「高速ダビング」に設定されます。なお、ダビングモードは変更できます（「タイトルごとにダビングモードを変更するには」、139ページ）。

10 ↑↓←→で[実行]を選び、決定 を押す。

BDの場合はダビングを開始します。DVD-RやDVD+Rの場合、ファイナライズ選択画面が表示されます。手順**11**に進んでください。

DVD-RW（ビデオモード）やDVD+RWの場合、DVDメニュー選択画面が表示されます。手順**12**に進んでください。

DVD-RW（VRモード）の場合、手順**13**に進んでください。

11 ファイナライズ選択画面が表示されたら、[ファイナライズする]を選び、決定 を押す。

[しないで実行]を選ぶと、そのままダビングを開始します。

DVD-R（VRモード）で[ファイナライズする]を選んだ場合は、手順**13**に進んでください。

12 ↑↓でDVDメニューを選び、決定 を押す。

DVDメニューは24種類の中から選べます。
黄（黄）を押すと、背景画面を拡大表示し、背景画面のデザインを確認できます。

13 ←→で[ダビング実行]または[名前変更]を選び、決定 を押す。

[名前変更]を選ぶと、ディスクの名前を変更できます。ディスクの名前を変更せずにダビングするときは、[ダビング実行]を選んでください。
[ダビング実行]を選ぶと、ダビングを開始します。ダビングが終了すると、自動的にファイナライズを行います。映像の記録時間が短いほど、ファイナライズにかかる時間は長くなります。
ダビング終了後、手順**8**の画面に戻ります。

ダビングを途中でやめたり、手順**11**で[しないで実行]を選んだときは、ファイナライズされません。後でファイナライズのみ行うことができます。詳しくは「ファイナライズについて」（136ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- BD-REとBD-Rでは、ファイナライズすることなく、他のBD機器で再生できます。
- BDやDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）ではDVDメニューが作成されません。

ご注意

- HDDからBDやDVD（DVD+R DL（2層）を除く）へダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。HDDからDVD+R DL（2層）へダビングする場合は、の[ビデオ設定]ー[自動チャプターマーク]の設定（入／切）に合わせて、チャプターマークが書き込まれます。DVD（ビデオモード）へダビングすると、チャプターマークが書き込まれない場合があります。
- 画面横縦比（16:9と4:3）が混在しているタイトルでは、HDDからDVD-RW（ビデオモード）、DVD-R（ビデオモード）にダビングする場合、LPまたはEPモードの時は4:3でダビングされます。それ以外のモードではタイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされます。HDDからDVD+RW、DVD+Rにダビングする場合は、常に4:3でダビングされます。BDに高速ダビングした場合、元の映像サイズのままダビングされます。BDに録画モード変換ダビングする場合は、タイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされます。
- HDDやBD、DVDの状態などにより、手順どおりに動作しない場合があります。画面のメッセージにしたがって操作してください。
- ダビング先の残量などが不足しているときは、ダビング実行時にメッセージが表示されます。その場合は、ダビングするタイトル数を減らしたり、ディスク内のタイトルを消去してください（108ページ）。
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングが可能になる場合があります。
- ダビングモードを調整することによりダビングが可能になる場合は、画面に「ダビングモードが高いタイトルを以下のダビングモードに調整して実行しますか？」と表示されます。[はい]を選ぶと、ダビング先の残量に合わせてダビングモードの設定を自動で変更してダビングします。タイトルダビング画面で[自動調整]を選んで 決定 を押しても、ダビングモードの自動調整ができます（138ページ）。
- 本機で録画したタイトルであっても、ダビングできないことがあります。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送を、本機のHDDに録画すると5.1chの音声で記録されますが、DVDへダビングすると5.1ch音声では記録できません。
- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすることはできません。
- 手順**13**でディスク名として入力できる文字数は、最大で全角32文字、半角64文字までです。他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。

タイトルダビング画面の見かた

1 **ダビングする全タイトル容量**

2 **ダビングの方向**

3 **ダビング先の残量（目安）**

4 **ダビングする順番**

5 **タイトルの種類／マーク**
マークの種類について詳しくは、255ページをご覧ください。

6 **ボタン**
実行：タイトルダビングを実行します。
中止：タイトルダビング画面を中止します。
全選択：ダビング可能なタイトルを、リストの上から順に30タイトルまで選びます。
全選択解除：ダビング対象に選んだタイトルをすべて取り消します。
自動調整：ディスクの残量に応じてダビングモードを調整します（138ページ）。

ダビングを途中でやめるには

ダビング進捗画面で［停止］を選び 決定 を押し、確認画面で［はい］を選び、決定 を押します。ダビングが止まるまでに数十秒かかることがあります。
ダビングの状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。
ダビングを途中でやめると、DVD-R、DVD+R、DVD-RW（ビデオモード）ではファイナライズされません。必要に応じて、オプションメニューからファイナライズを実行してください。

高速ダビング中に他の操作を行ったり、ダビングの進捗画面に戻るには

高速ダビング中は、いったんホームメニューに戻り、テレビを見たり、HDDに録画した映像（タイトル）を再生したりできます。
ホームメニューに戻るには、ダビング進捗画面で［閉じる］を選び 決定 を押し、［はい］を選び 決定 を押します。この場合は、高速ダビング所要時間（239ページ）が通常より長くなりますので、ご注意ください。
ダビング進捗画面に戻るには、「録画した映像をダビングする」（133ページ）の手順**5**～**8**を行ってください。番組視聴中、またはホームメニューでタイトルを選んで、オプション を押して［ダビング進行状況］を選んでも、ダビング進捗画面に戻れます。
アクトビラからダウンロードしたタイトルを高速ダビングしているときは、他の操作を行ったり、ダビング進捗画面に戻ったりすることはできません。

グループ内の映像をまとめてダビングする（連ドラ一括ダビング）

毎回録画で録りためたドラマなどを、タイトルやシリーズのグループ（フォルダ）ごとにまとめてダビングできます。

1 **本機にディスクを入れる。**
ディスクを入れると、本機前面の表示窓に「LOAD」の表示が点滅します。表示が消えるまでお待ちください。

2 **ホーム を押す。**

3 **←→で （ビデオ）を選ぶ。**

4 **タイトル一覧が表示されている場合は、黄（黄）を押す。**
タイトルがグループごとに分類されます。

5 **↑↓でグループを選び、決定 を押す。**

6 **↑↓でダビングしたい番組のグループ（フォルダ）を選択して、オプション を押す。**

7 **↑↓で［ダビング］を選び、決定 を押す。**

ディスクに残す（ダビング）

次のページにつづく⇨

8 ↑↓で[グループ内すべて]を選び、(決定)を押す。

タイトルダビング画面が表示され、グループ内で録画日などの古い順にタイトルが並びます。上から順に30タイトルまでを選びます。

9 ↑↓で[実行]を選び、(決定)を押す。

ダビングが開始されます。
ダビングが終わると、ホームメニューに戻ります。
ダビングするディスクによっては、初期化を選ぶ画面などが表示されます。その場合は、「録画した映像をダビングする」(133ページ)の手順9～13をご確認の上、操作してください。

グループ内の複数の映像を選んでダビングする

1 「グループ内の映像をまとめてダビングする(連ドラ一括ダビング)」の手順8で[グループ内選択]を選び、(決定)を押す。

2 「録画した映像をダビングする」(133ページ)の手順9～13を行い、ダビングを実行する。

ファイナライズについて

+RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

ファイナライズとは、本機で録画したDVD を他のDVD 機器で再生可能なデータ配列にすることです。ダビング時にファイナライズしなかったディスク(DVD+R/DVD-R)は後でファイナライズのみ行うことができます。
DVD+RWやDVD-RWでダビングを行うと自動的にファイナライズを行います。

1 本機にディスクを入れる。

2 (ホーム)を押す。

3 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

4 ↑↓で (ディスク)を選び、(オプション)を押す。

5 ↑↓で[ファイナライズ]を選び、(決定)を押す。

ファイナライズの解除について

-RWVideo

ソニー製のBD/DVDレコーダーで作成したファイナライズ済みのDVD-RW(ビデオモード)に映像を追記しようとした場合、ファイナライズ解除作業が自動的に行われます。

ちょっと一言

ファイナライズされていないディスクは、ディスクのオプション項目に[ファイナライズ]が表示されます。

BDやDVDの映像をハードディスクにダビングする

HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo RAM AVCHD

BDやDVDに記録されている映像(タイトル)を、本機のHDDにダビングできます。

1 本機にディスクを入れる。

2 (ホーム) を押す。

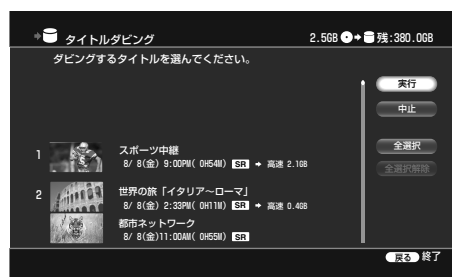
3 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

4 ↑↓で (ディスクダビング)を選び、(決定) を押す。

5 ↑↓で (BD/DVD→HDDダビング)を選び、(決定) を押す。

6 ↑↓でダビングしたいタイトルを選び、(決定) を押す。

すべてのタイトルを選ぶときは、[全選択]を選び、(決定) を押します。

7 ↑↓←→で[実行]を選び、(決定) を押す。
ダビングを開始します。

ちょっと一言

- BD-RE、BD-R、DVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)のプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとしてダビングされます。
- BDやDVDからHDDへダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- BDやDVDからHDDへダビングする場合は、BDやDVDの映像サイズはそのままダビングされます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみダビングされることがあります。
- DVD(AVCHD方式)からHDDへダビングした場合は、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。
- 市販のBD-ROMやDVDビデオからは、本機のHDDにダビングできません。
- コピー制御信号を含む映像は、本機のHDDにダビングできません。
- ディスクを挿入したときに、「BD-R/RE BDMV」と表示されたディスクはダビングできません。

ダビングモードについて

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。以下を読んで、所要時間やディスク容量、画質に合わせて、ダビングモードをお選びください。

すばやくダビングする（高速ダビング）

HDD ↔ BD-RE/BD-R

HDDとBDの間で、録画モードを変えずに高速でダビングできます。また、AVCHD方式で記録されたDVDからHDDに高速でダビングできます。
タイトルダビングやタイトルダビング時の［ダビングモード設定］で、［高速］を選んで実行します（139ページ）。ダビングの所要時間は239ページをご覧ください。

録画モードを変えてダビングする（録画モード変換ダビング）

HDD → BD-RE/BD-R
HDD ↔ +RW/-RW VR/-RW Video/+R/-R VR/-R Video

HDDからBDやDVD、またはDVDからHDDへ、ダビング元とは異なる録画モードを設定してダビングします。たとえば、高画質でデータ量の多いXRで録画した映像（タイトル）を、データ量の少ないSPに設定して変換ダビングすると、少ないディスク容量でたくさん保存できます。

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動調整する

HDD → BD-RE/BD-R/+RW/-RW VR/-RW Video/+R/-R VR/-R Video

ディスク残量が不足しているときのみ、［自動調整］が選べます。

「録画した映像をダビングする」（133ページ）の手順9を終えたあと、↑↓←→で［自動調整］を選び、決定 を押す。

ディスクの残量に応じて本機がダビングモードを自動的に調整します。変更後のダビングモードが画面に表示されます。

ちょっと一言

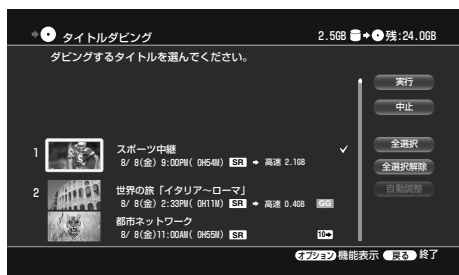
- 編集したタイトルを高速ダビングすると、消去した画像が残ることがあります。
- 編集したタイトルで録画モード変換ダビングをすると、シーンの継ぎ目がなめらかになります。
- AVCHD方式で記録されたDVD からHDD へのダビングでは、録画モードを変更できません。
- HDDにDRモードで録画したデジタル放送の字幕をダビングしてBD/DVDに焼きこむには、（ツールボックス）－［ビデオ設定］の［字幕焼きこみ］を［入］にして、ダビングしてください（198ページ）。なお、字幕を焼きこんだ映像から字幕を削除することはできません。
- 本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しています。このため、録画モードを変えてダビングする場合や、ダビングモードを自動調整してダビングする場合は、元のタイトルと実際にダビングされるタイトルの容量に差が出ることがあります。特に長時間録画モードでは、その差が著しくなりますので、残量に余裕がある状態でダビングしてください。

ご注意

- 高速ダビング中にダビングを途中で停止した場合、タイトルはHDDに残り、BDには残りません。ただし、BD-Rのときは残量が減りますのでご注意ください。
- DVD（AVCHD方式以外）からHDDへのダビングでは、高速ダビングできません。
- 録画モード変換ダビングで、ダビング元の録画モードより高画質の録画モードに変換しても画質は良くなりません。
- 再生時間が短いタイトルを録画モード変換ダビングすると、正しくダビングされないことがあります。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルは高速ダビングのみ利用できます。録画モード変換ダビングはできません。

タイトルごとにダビングモードを変更するには

HDD ➡ BD-RE/BD-R
HDD ⬌ +RW/-RWVR/-RWVideo/+R/-RVR/-RVideo

1 「録画した映像をダビングする」(133ページ)の手順9を終えたあと、(オプション)を押す。

2 ⬆⬇で[ダビングモード設定]を選び、(決定)を押す。

3 ⬆⬇でダビングモードを選ぶ。

高速* ／ XR/XSR/SR/LSR/LR/ERから好みのダビングモードを選びます。HDDからDVDへダビングするときは、XP/XSP/SP/LSP/LP/EPから選びます。

* HDDからBDへのダビング時のみ表示されます。

4 ⬅➡で[設定]を選び、(決定)を押す。

5 ⬅➡で[実行]を選び、(決定)を押す。
デジタル放送の (10) が付いた映像(タイトル)を選んだ場合は、タイトルを移動(ムーブ)してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、(決定)を押します。

複数の映像／音声が記録されているタイトルのダビング方法を変更する

1つのタイトルに複数の映像／音声が記録されている場合、ダビング時に記録する映像と音声を設定することができます。DRモードで録画したタイトルを、録画モード変換ダビングするときに行います。

1 「録画した映像をダビングする」(133ページ)の手順9を終えたあと、(オプション)を押す。

2 ⬆⬇で[ダビングモード設定]を選び、(決定)を押す。

3 ダビングモードを[高速]以外のモードにして、⬆⬇⬅➡で[設定]を選び、(決定)を押す。

4 (オプション)を押す。

5 ⬆⬇で[信号選択]を選び、(決定)を押す。
信号選択画面に切り換わります。

6 ⬅➡で[映像]または[音声]を、⬆⬇でダビングする信号を選び、(決定)を押す。

7 ⬅➡で[確定]を選び、(決定)を押す。

8 ⬅➡で[実行]を選び、(決定)を押す。
デジタル放送の (10) が付いた映像(タイトル)を選んだ場合は、タイトルを移動(ムーブ)してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、(決定)を押します。

タイトルダビング画面で (オプション) を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「ディスクに残す(ダビング)」で利用できるオプション」(144ページ)をご覧ください。

DVDをまるごとコピーする（まるごとDVDコピー）

+RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

DVDビデオカメラで撮影した映像が記録された8cm DVDや、お気に入りの映像を記録した12cm DVDを、高速で、簡単に12cm DVDにコピーできます。

1 開/閉（開/閉）を押してディスクトレイを開け、コピーしたい録画済みのDVD（ファイナライズ済みのディスク）を入れる。

2 開/閉（開/閉）を押して、ディスクトレイを閉める。

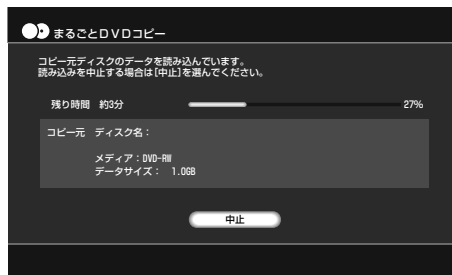
3 ホーム を押す。

4 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

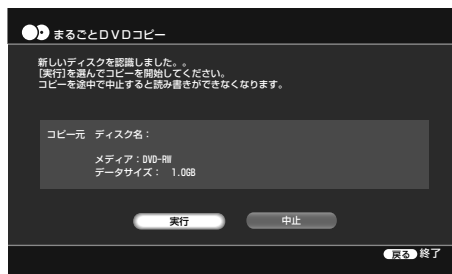
5 ↑↓で（ディスクダビング）を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で（まるごとDVDコピー）を選び、決定 を押す。

まるごとDVDコピー読込画面が表示されます。

7 ←→で[実行]を選び、決定 を押す。
まるごとDVDコピー読込実行中画面が表示され、ディスクの読み込みが始まります。

読み込みが終わると、メッセージが表示されます。

8 コピー元のDVDを取り出して、新しいDVDを入れる。
新しいディスクが認識されるとディスク認識のメッセージが表示されます。
DVD-RWまたはDVD+RWの記録済みディスクを入れると、記録されているデータがすべて消去されるというメッセージが表示されます。

9 ←→で[実行]を選び、決定 を押す。

まるごとDVDコピー書込実行中画面が表示され、ディスクへのコピーが始まります。
コピーが完了すると、終了確認画面が表示されます。

ちょっと一言

DVDビデオカメラで記録した写真や5.1ch音声をそのままコピーできます。

ご注意

- コピーするDVDのメディアの種類が異なる場合、容量が微妙に異なることがあるため、コピーできないことがあります。
- コピー先のDVDがDVD+R/-Rの場合、書き出しを途中で中止すると、そのディスクは使えなくなります。
- DVD-RAMへはコピーできません。
- アクトビラからダウンロード中に「まるごとDVDコピー」を開始すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

複数のDVDにコピーするときは

まるごとDVDコピーの終了確認画面で［継続］を選び、決定を押します。新しいディスクに入れ換えて、「DVDをまるごとコピーする（まるごとDVDコピー）」の手順8から行ってください。

本機でコピーできるDVDについて

DVDコピーは読み込み元のディスクの種類により、書き込み先のディスクが異なります。次の表をご覧になり、最適なディスクを選んでください。
書き込み先のディスクにDVD-RまたはDVD+Rを使う場合、必ず新品（未フォーマット）のディスクを使用してください。

コピー可能なDVDの種類

読み込み元	書き込み先
DVD-R	DVD-R
DVD-RW	DVD-R または DVD-RW
DVD+R	DVD+R
DVD+R DL（2層）	DVD+R DL（2層）
DVD+RW	DVD+R または DVD+RW

また、ディスクのサイズによって書き込み先のディスクが異なります。
次の表をご覧になり、最適なディスク*1を選んでください。

読み込み元のディスクサイズ	書き込み先のディスクサイズ
12cm　片面1層	12cm　片面1層
12cm　片面2層*2	12cm　片面1層
12cm　片面2層	12cm　片面2層*3
8cm　片面1層	12cm　片面1層
8cm　片面2層	12cm　片面1層 12cm　片面2層*3

*1 読み込み元と書き込み先ディスクのメーカーが異なるとコピーできない場合があります。

*2 データ、またはAVCHD方式の映像を記録したディスクのみ

*3 DVD+Rのみ

「まるごとDVDコピー」は、本機で記録したDVD、および、ソニー製DVDデジタルビデオカメラレコーダーで記録したDVDでのみ行えます。
他の機器で記録したDVDがデータディスクの場合、「まるごとDVDコピー」ができない場合があります。
他の機器で記録したDVDで本機能が動作しない場合は、タイトルダビングを行ってください。

「まるごとDVDコピー」についての制限事項

次の場合、DVDをコピーすることはできません。
- HDDの空き容量がコピーしたいDVDの容量より少ない
- 録画実行中
- 映画などの市販ソフト
- 「1回だけ録画可能」などのコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送など）を録画したことがあるDVD
- ファイナライズされていないDVD

デジタルハイビジョンビデオカメラの映像をBDにダビングする（ワンタッチディスクダビング）

BD-RE BD-R

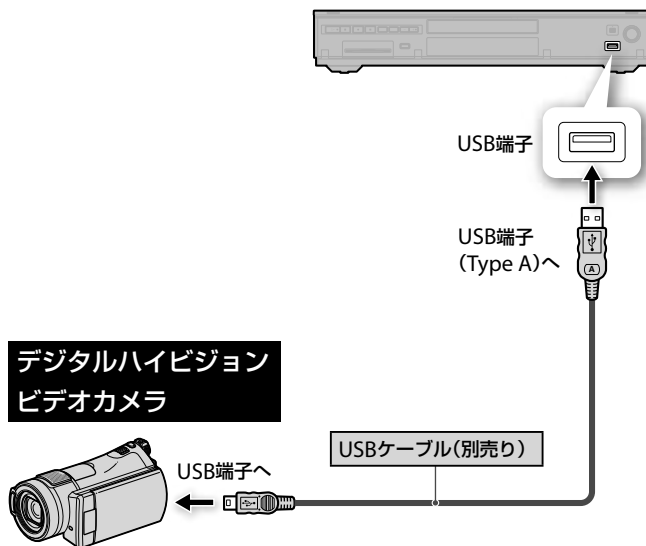
ワンタッチディスクボタンの付いたソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラ*を、USB端子を使って本機につなぐと、AVCHD方式の映像を簡単にBDにダビングすることができます。
お使いのデジタルハイビジョンビデオカメラに、ワンタッチディスクボタンが付いていない場合は、ビデオカメラの映像を本機に取り込み（148、150ページ）、取り込んだ映像をBDにダビング（133ページ）してください。

* 対応機種について詳しくは、ソニー製品情報のホームページ（http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html）をご覧ください。

1 **ダビングするAVCHD方式のデジタルハイビジョンビデオカメラの電源を入れる。**

2 **本機の電源を入れる。**

3 **本機に書き込み可能なBD-REまたはBD-Rディスクを入れる。**

4 **デジタルハイビジョンビデオカメラを本機につなぐ。**
本機のUSB端子につないでください。

5 **デジタルハイビジョンビデオカメラのワンタッチディスクボタンを押す。**
ワンタッチディスクダビング画面が表示され、ダビングが始まります。

ダビングが完了すると、終了します。

ちょっと一言

- 本機後面のUSB端子も使用できます。
- ワンタッチディスクダビング中に本機の電源を切ってもダビングできます。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した映像をダビングすると、表示される録画モードが元の録画モードと異なる場合がありますが、画質は劣化しません。

ご注意

- 本機の電源を入れてから、USBケーブルをつないでください。
- 電源供給のみのUSBケーブルは使用できません。
- 最初にダビングするタイトルが、記録するディスクの残量よりも大きい場合は、ダビングできません。
- 複数のタイトルをダビングする場合、未記録ディスクの容量よりも大きいタイトルがあると、そのタイトルはダビングされません。
- ダビングすると、日付ごとにシーンをまとめたタイトルとして記録されます。各撮影シーンはチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影シーンの数が多い場合、ダビング時に複数のタイトルに分割される場合があります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで多数の編集点を追加した場合、ダビング時に編集点の一部が失われることがあります。
- ワンタッチディスクダビングの場合、接続したデジタルハイビジョンビデオカメラをUSBモードに切り換える必要はありません。
- ダビングが、「録画2」の録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までにダビング完了できる範囲でダビングします。
- ダビングがうまく行かなかった場合は、いったんUSBケーブルを抜いて、もう一度差し込んでから、再び手順**5**の操作を行ってください。
- 録画モードなどの設定はできません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した字幕は記録されません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD方式以外の映像は、本機にダビングできません。
- おでかけ転送中はワンタッチディスクダビングできません。

1枚のBDにダビングできなかったときは

複数の映像が1枚のディスクにおさまらなかったときは、画面にメッセージが表示されます。[継続]を選んで 決定 を押し、新しいディスクを入れてください。ダビングを終了するときは、[終了]を選びます。
2枚目以降は未記録のディスクを入れてください。
記録済みのBD-REを入れた場合は、ディスクを初期化してダビングを続けます。
記録済みのBD-Rを入れると、ダビングを続行できません。新しいディスクと交換してください。
ダビング中に本機の電源を切り、1枚のディスクにおさまらなかった場合は、1枚目のディスクへのダビングが終わった時点でダビングは終了します。

ダビングを途中でやめるときは

ワンタッチディスクダビング画面で[停止]を選び 決定 を押し、確認画面で[はい]を選び 決定 を押します。ダビングが止まるまでに数十秒かかることがあります。
ダビングを途中でやめると、ダビングしていたタイトルはディスクに残りません。また、BD-Rの場合はディスクの残量が減ります。

「ディスクに残す(ダビング)」で利用できるオプション

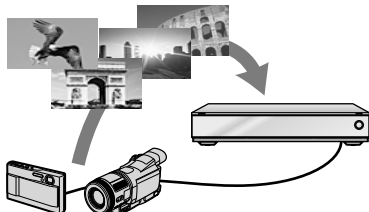
利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
さ行	信号選択	録画モードをDRモードから変換するときに、ダビングする信号を設定します(139ページ)。
	選択	タイトルを選びます。
	選択解除	タイトルの選択を解除し、ダビング選択リストから消去します。
た行	ダビングモード設定	ダビングモードを設定します(139ページ)。

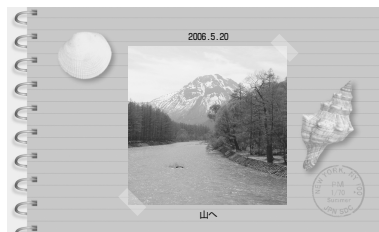
映像や写真を取り込んで楽しむ

「映像や写真を取り込んで楽しむ」
でできること

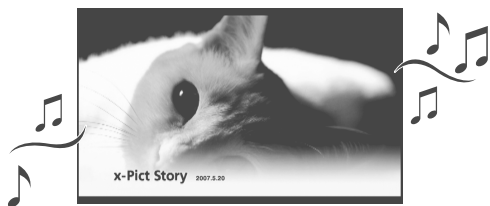
映像や写真の取り込み

148ページ

デジタルビデオカメラから映像を取り込んだり、ディスクやUSB接続したデジタルスチルカメラから写真を本機に取り込むことができます。

x-ScrapBook

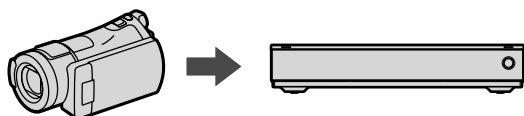
157ページ

本機に取り込んだ写真やビデオを自動的にレイアウトして、スクラップブックのように楽しめます。

x-Pict Story HD

160ページ

デジタルスチルカメラで撮った写真をHDDに取り込みBGMを選べば、ビデオクリップのようなハイビジョンフォト作品が自動で完成します。思い出の写真などをBGMで演出しながらテレビの大画面で鑑賞できます。

ビデオカメラや、デジタルスチルカメラの映像や写真をディスクに保存するには

1 映像や写真を本機に取り込む

ビデオカメラやデジタルスチルカメラに記録されている映像や写真を取り込みます。
本機では以下の方法で取り込みを行います。

USBケーブルを使ってビデオカメラの映像を取り込む場合

「USBケーブルを使ってデジタルハイビジョンビデオカメラの映像をダビングする（AVCHDダビング）」

➡ 150ページ

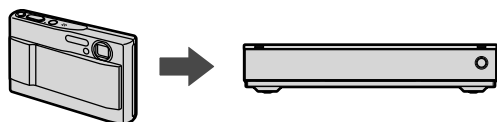
HDV/DVケーブルを使ってビデオカメラの映像を取り込む場合

「i.LINKケーブルを使ってデジタルビデオカメラの映像をまるごとダビングする（HDV/DVダビング）」

➡ 148ページ

S映像ケーブルまたは**映像ケーブル**を使ってビデオカメラの映像を取り込む場合

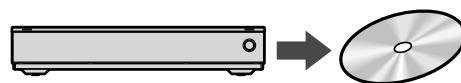
「S映像ケーブルや映像ケーブルを使ってビデオカメラの映像をダビングする」

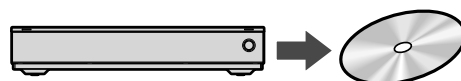
➡ 151ページ

USBケーブルを使ってUSB機器の写真を取り込む場合

「写真を本機に取り込む」

➡ 152ページ

2 ディスクにダビングする

本機に取り込んだ映像や写真をディスクにダビングします。使用できるディスクについて詳しくは、「ディスク選択ガイド」の「デジタルハイビジョンビデオカメラ／デジタルビデオカメラで撮った映像をダビングする場合」（130ページ）をご覧ください。

「録画した映像をBDやDVDにダビングする（タイトルダビング）」

➡ 133ページ

「本機に取り込んだ写真をコピーする（ディスク書出し）」

➡ 155ページ

映像や写真を取り込む

i.LINKケーブルを使ってデジタルビデオカメラの映像をまるごとダビングする（HDV/DVダビング）

HDD

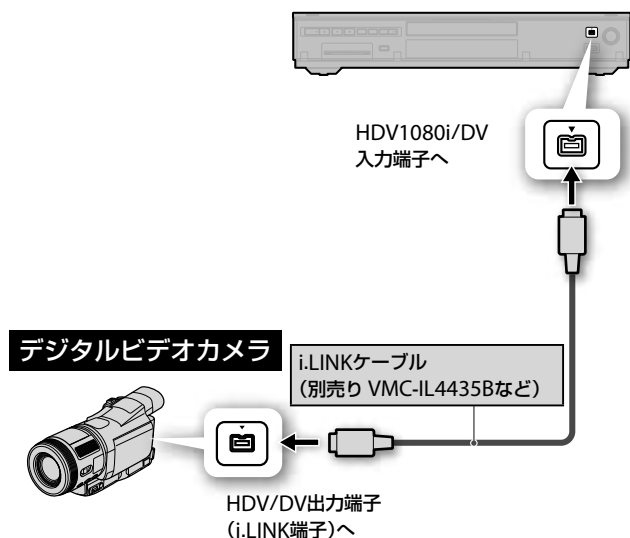
本機のHDV1080i/DV入力端子にデジタルビデオカメラをつなぐと、HDV/DV方式の映像を簡単にダビングできます。

本機に対応しているデジタルビデオカメラについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html

1 本機の電源を入れる。

2 デジタルビデオカメラを本機につなぐ。

お使いのデジタルビデオカメラのHDV/DV出力端子（i.LINK端子）と本機前面のHDV1080i/DV入力端子をi.LINKケーブルでつないでください。

3 つないだデジタルビデオカメラの電源を入れる。

本機で録画や編集をするとき、デジタルビデオカメラは必ずビデオ再生モードにします。デジタルビデオカメラ側でテープを巻き戻すなどの操作は必要ありません。

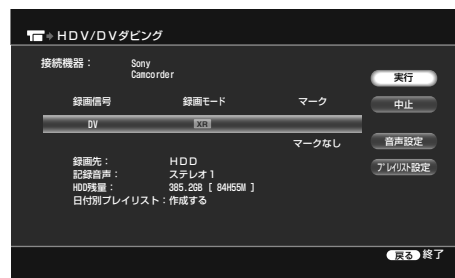
4 本機のリモコンの ホーム を押す。

5 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

6 （ビデオカメラダビング）を選び、決定 を押す。

7 ↑↓で （HDV/DVダビング）を選び、決定 を押す。

HDV/DVダビング画面が表示されます。

8 ←→で次の各設定項目を選び、↑↓で設定する。

項目	設定
録画信号	DV機器をつないだ場合、自動的に[DV]に固定されます。 HDV機器をつないだ場合は、ダビングしたい信号に合わせて[HDV]または[DV]を手動で選んでください。 ・HDV ⇨ ハイビジョン画質で記録されたHDV信号のみをダビングする場合。 ・DV ⇨ 従来方式のDV信号のみをダビングする場合。
録画モード	録画モードを選びます。ただし、録画信号に[HDV]を選んだときは、自動的に[DR]に固定され、ハイビジョン画質のまま録画できます。録画モードについて詳しくは、「録画モード一覧」（238ページ）をご覧ください。
マーク	タイトルに設定された分類用のマークを表示します。「［マーク］」（95ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- HDV規格（1080i方式）に対応したデジタルハイビジョンビデオカメラとつなぐと、撮影したハイビジョン映像をそのままの画質で、ダビングできます。
- ダビングの前に、録画の画質を調整できます。「録画の画質・映像サイズや音声を設定する」（77ページ）をご覧ください。
- HDV/DV機器側の停止ボタンを押すとダビングは停止します。
- ダビングした映像をスクラップブックの中に取り込むことができます。「写真とビデオをスクラップブックにして楽しむ（x-ScrapBook）」（157ページ）をご覧ください。
- お気に入りのシーンを静止画にして切り出すことができます（154ページ）。

ご注意

- 本機のHDV1080i/DV入力端子は入力専用です。信号は出力されません。
- デジタルビデオカメラやデジタルハイビジョンビデオカメラで録画した録画モードと、本機に取り込んだときの録画モードは異なる場合があります。

項目	設定
音声設定（DVのみ）	音声入力用の設定を選び、決定を押します。お買い上げ時は[ステレオ1]に設定されています。 ・ステレオ1 ⇨ 最初からの記録音声のみをダビングします。DVテープをダビングするときは通常この設定を選びます。 ・ミックス ⇨ ステレオ1、ステレオ2音声の両方をダビングします。 ・ステレオ2 ⇨ あとから追加された音声のみをダビングします。[ミックス]や[ステレオ2]はデジタルビデオカメラで記録したあとから第2音声を加えたときにだけ、選んでください。
プレイリスト設定	デジタルビデオカメラに録画した日付ごとにプレイリストを作成するかどうかを選びます。お買い上げ時は[作成する]に設定されています。 一回のダビングでプレイリストを30まで作成でき、ひとつのプレイリスト内に250のシーンを入れることができます。

9 ↑↓↔で[実行]を選び、決定を押す。

ダビング実行中画面が表示され、ダビングが始まります。ダビングが完了すると、終了します。

チャプターの作られかた

テープ上の1回の撮影が自動的に1つのチャプターになります。ダビング中にリモコンのふたの中の チャプター書込み（チャプター書込み）で手動でチャプターマークを書き込むこともできます。その場合は、の[ビデオ設定]－[自動チャプターマーク]を[切]にしてください（197ページ）。

ダビングを止めるには

リモコンのふたを開け、赤い 録画停止（録画停止）を押します。[プレイリスト設定]を[作成する]にしているときは、録画が止まるまでに5分以上かかることがあります。白い 停止（停止）を押しても録画は止まりません。

または、オプション を押し、[ダビング停止]を選び、決定を押します。確認画面で、[はい]を選び、決定を押します。

HDV1080i/DV入力端子から録画するには

本機のHDV1080i/DV入力端子につないだデジタルビデオカメラの映像を録画できます。
デジタルビデオカメラのHDV/DV出力端子(i.LINK端子)を、本機前面のHDV1080i/DV入力端子につなぎます。ホーム を押し、↔で（外部入力）を選び、↑↓で[HDV]または[DV]を選びます。「ビデオデッキやビデオカメラの映像を録画する」（69ページ）の手順**4**～**7**を行って録画してください。

HDV/DVダビングの制限事項

- 次の場合、HDV1080i/DV入力端子は使えません。
  －デジタルビデオカメラと本機のHDV1080i/DV入力端子に互換性がない場合は、本機の音声／映像／S映像入力端子につなぎ、「S映像ケーブルや映像ケーブルを使ってビデオカメラの映像をダビングする」（151ページ）の手順にしたがってください。
  －テープの記録画像がコピー制御信号を含んでいる場合。
- 次のときは、HDV/DVダビングはできません。
  －「録画1」で録画しているとき
  －ダビングをしているとき
  －おでかけ／おかえり転送実行中や、おでかけ転送用動画ファイルを作成しているとき
- アクトビラからダウンロード中にHDV/DVダビングすると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

ご注意

- MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子（MICROMV信号）とは信号が異なるため、接続できません。S映像端子または映像・音声端子を使って接続してください。
- 他の機器や本機と同じ機種のレコーダーを使って、本機を操作できません。
- テープのカセットメモリーの内容はディスクに記録できません。
- テープに5分以上の無記録部分があると、ダビングは自動的に終了します。HDV機器からのダビングの場合、無記録部分は本機に録画されません。DV機器からのダビングの場合は録画されます。止めるには、リモコンのふたの中の 録画停止（録画停止）を押してください。
- 撮影の前にデジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていることを確認してください。デジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていないと、自動チャプター機能（197ページ）や日付ごとのプレイリスト作成機能が正しく働きません。
- テープの途中に無記録部分があるときや、HDV信号とDV信号が混在しているときは、日付ごとのプレイリスト作成機能が正しく働かないことがあります。
- 次のときは、ダビングされた画像と音声が一瞬途切れることがあります。
  －複数の録画モードで記録されているとき
  －画像サイズが途中で切り換わっているとき
  －無記録部分を含むとき
  －HDV信号とDV信号が混在しているとき

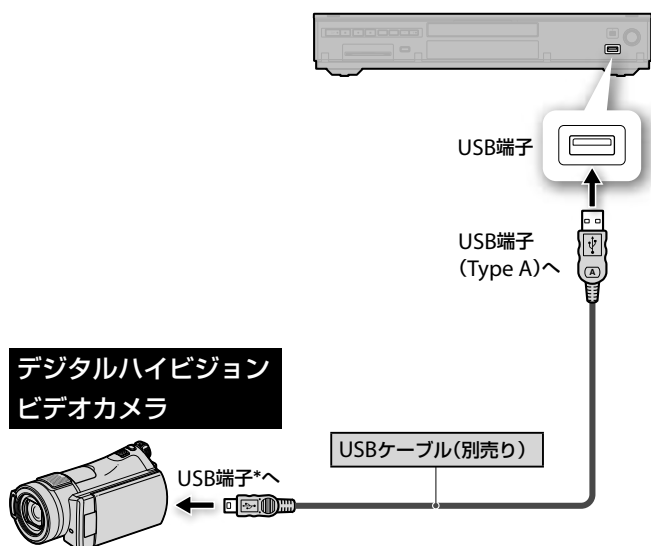
次のページにつづく⇨

USBケーブルを使ってデジタルハイビジョンビデオカメラの映像をダビングする（AVCHDダビング）

HDD

USB端子のあるデジタルハイビジョンビデオカメラを本機につなげると、AVCHD方式の映像を簡単に本機にダビングできます。
8cm DVDで記録するデジタルビデオカメラからUSBケーブル経由で直接取り込むことはできません。ディスクを本機に挿入してダビングしてください。
本機に対応しているデジタルビデオカメラについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html

1 **本機の電源を入れる。**

2 **デジタルハイビジョンビデオカメラを、本機のUSB端子につなぐ。**

* 接続する機器によりUSBケーブルの端子の形状は異なります。

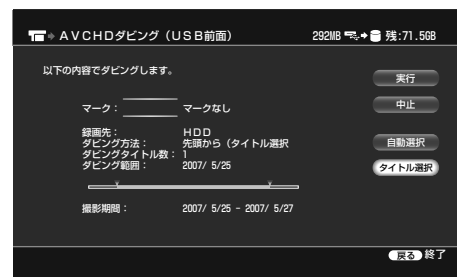
3 **つないだAVCHD方式のデジタルハイビジョンビデオカメラの電源を入れる。**

4 **デジタルハイビジョンビデオカメラをUSBモードに切り換える。**
切換え方法について詳しくは、お使いのデジタルハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

5 **本機のリモコンの ホーム を押す。**

6 **←→で（ビデオ）を選ぶ。**

7 **↑↓で →（ビデオカメラダビング）を選び、決定 を押す。**

8 **↑↓で →（AVCHDダビング（USB前面））を選び、決定 を押す。**
本機後面のUSB端子につないでいるときは、[AVCHDダビング（USB背面）]を選びます。
AVCHDダビング画面が表示されます。

画面上の[ダビング範囲]には、取り込む先頭と末尾の各シーンの撮影日時が表示されます。[自動選択]を選ぶと、一度に30タイトルまで自動でダビングします。[タイトル選択]を選ぶと、タイトルを選択する画面に移り、ダビングしたいタイトルを選ぶことができます。
AVCHDダビングの画面でマークの設定を変更できます。マークについて詳しくは、95ページをご覧ください。

9 **↑↓←→で[実行]を選び、決定 を押す。**
ダビング実行画面が表示され、ダビングが始まります。
ダビングが完了すると、終了します。

前回ダビングした続きからダビングするには

ソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラからダビングする場合、前回ダビングした続きからダビングできます。
つないだデジタルハイビジョンビデオカメラに記録されている映像を自動で検出し、前回ダビングした映像がある場合、手順8で確認画面が表示されます。続きからダビングするには[続きから]を選びます。

ちょっと一言

本機後面のUSB端子も使用できます。

ご注意

- デジタルスチルカメラで撮影した動画は、フォーマットによっては、本機に取り込むことはできません。
- 電源供給のみ行うUSBケーブルは使用できません。
- ダビングすると日付ごとにシーンをまとめたタイトルとして取り込まれます。各撮影シーンはチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影シーンの数が多い場合、複数のタイトルに分割される場合があります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで多数の編集点を追加した場合、取り込み時に編集点の一部が失われることがあります。
- ダビングが、録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までにダビング完了できる範囲でダビングします。ダビングできなかったタイトルをダビングするには、「前回ダビングした続きからダビングするには」（150ページ）をご覧ください。予約した録画の完了後にもう一度AVCHDダビングを行うと、続きからダビングできます。
- データの転送速度は、デジタルハイビジョンカメラの使用環境によって異なります。

AVCHDダビングについての制限事項

- HDDの残量が足りない場合や、タイトルがいっぱいの場合は、ダビングできません。
- 録画モードなどの設定はできません。
- デジタルビデオカメラで記録した字幕は記録されません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD方式(ハイビジョン画質)以外の映像は、本機にダビングできません。
- アクトビラからダウンロード中にAVCHDダビングすると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した映像を本機に取り込んだ場合、表示される録画モードが元の録画モードと異なる場合がありますが、画質は劣化しません。
- おでかけ転送中はAVCHDダビングはできません。

S映像ケーブルや映像ケーブルを使ってビデオカメラの映像をダビングする

HDD

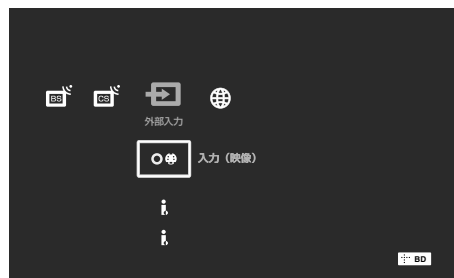
S映像端子または映像端子のあるビデオカメラを本機につなぐと、撮影した映像を本機にダビングできます。

1 **ビデオカメラを、本機後面の音声/映像/ S映像入力端子につなぐ。**

2 **つないだビデオカメラの電源を入れる。**

3 **本機のリモコンの ホーム を押す。**

4 **←→で (外部入力)を選ぶ。**

5 **↑↓で (入力)を選び、決定 を押す。**

放送を見ている状態で 入力切換 (入力切換)をくり返し押して選ぶこともできます。
画面が外部入力の映像に切り換わります。

6 **リモコンのふたの中の 録画モード (録画モード)をくり返し押して、録画モードを選ぶ。**

録画モードについて詳しくは、「録画モード一覧」(238ページ)をご覧ください。

7 **リモコンのふたの中の 録画一時停止 (録画一時停止)を押して、本機を録画一時停止状態にする。**

8 **ビデオカメラを再生一時停止状態にする。**

9 **リモコンの 録画一時停止 (録画一時停止)と、ビデオカメラの一時停止または再生ボタンを同時に押す。**
録画が始まります。
録画を止めるには、リモコンのふたの中の 録画停止 (録画停止)を押します。

ちょっと一言

ダビングの前に、録画の画質や映像サイズを調整することができます。「録画の画質・映像サイズや音声を設定する」(77ページ)をご覧ください。

ご注意

- 外部入力から録画する場合、「1回だけ録画可能」の番組は、BDには録画できません。
- S映像ケーブルを使うときは、映像ケーブル(黄)をはずしてください。

次のページにつづく⇨

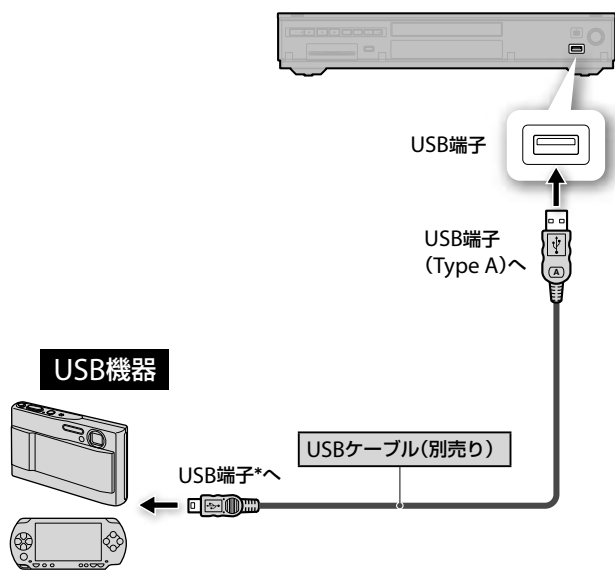
写真を本機に取り込む

HDD BD-RE BD-R DATA DVD DATA CD

ディスクや本機につないだデジタルスチルカメラ、“PSP”、USB機器から写真を取り込むことができます。

USB機器の接続方法

デジタルスチルカメラや“PSP”などのUSB機器から写真を取り込む場合は、本機のUSB端子につなぎます。

USB機器によっては、USB機器側からデータを送信できるように、モードを切り換える必要があるものもあります。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

* 接続する機器によりUSBケーブルの端子の形状は異なります。

アルバムごとHDDに取り込む

1 (ホーム) を押す。

2 ←→で (フォト)を選ぶ。

3 ↑↓でメディア、接続機器を選び、(決定) を押す。

*1 BD-RE/BD-R ／データDVD ／データCD

*2 デジタルスチルカメラをつないだ場合でも「USB機器」と表示されることがあります。

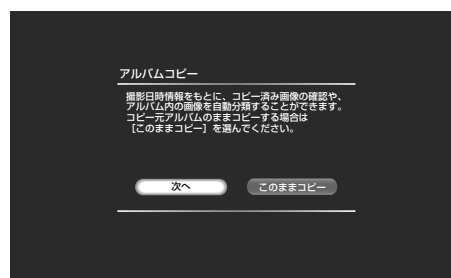
*3 つないだUSB機器に応じて[USB機器（前面）] [USB機器（背面）]と表示されます。

4 ↑↓ →で取り込みたいアルバムを選び、(オプション) を押す。

5 [コピー]から[1アルバムコピー]を選び、(決定) を押す。

6 ←→で[はい]を選び、(決定) を押す。

7 アルバム内にコピー済みの写真があるか調べたり、アルバム内の写真を自動的に撮影日で分類する場合は、←→で[次へ]を選び、(決定) を押す。

以前に途中までコピーしたアルバムのコピーを再開したり、コピーした写真を撮影日などで自動分類するときは、[次へ]を選んでください。コピー元のアルバムをそのままコピーするときは、[このままコピー]を選んでください。

ちょっと一言

- 「アルバムごとHDDに取り込む」の手順**5**で[選択コピー]を選ぶと複数のアルバムを選択してコピーできます。[選択コピー]を選んだときは自動分類しません。
- 本機後面のUSB端子も使用できます。

ご注意

- USB機器と映像をやり取りしている間は、USBケーブルを抜かないでください。
- 電源供給のみ行うUSBケーブルは使用できません。
- フォルダごと取り込むときは、取り込もうとしているフォルダの中に入っている写真のみ取り込むことができます。取り込もうとしているフォルダの中に入っているフォルダは、取り込むことができません。
- 写真以外のファイルが複数記録されているUSB機器の場合、写真(JPEG)を表示できない場合があります。
- 本機では1枚の写真を取り込むのに10秒ほどかかります。また、一度に大量の写真を取り込むと、取り込みが完了するまで30分以上時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。
- 写真の取り込み中に接続機器の電源を切ると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- コピー先に同じ名前の写真がある場合は、コピーする写真の名前の末尾に(1)、(2)…などの数字が付きます。写真に付けられる名前の文字数は全角16文字、半角32文字以内になるため、コピーする写真の名前が長いと、すべて同じ名前として判断され、数字が付いてしまうことがあります。
- 接続するデジタルスチルカメラによっては一度に100枚以上取り込む場合、100枚ごとに仮想フォルダができます。

［次へ］を選んだ場合、コピー済みの写真が本機にあるときは手順8に進んでください。お買い上げ後など、本機にコピー済みの写真がないときは、手順9に進んでください。

8 ←→で［続きからコピー］または［すべてコピー］を選び、決定を押す。

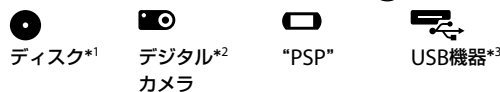
［続きからコピー］を選ぶとコピー済みではないアルバム内の写真を取り込みます。

［すべてコピー］を選ぶと、アルバム内のすべての写真を取り込みます。

9 ←→で［分類して実行］または［分類しないで実行］を選び決定を押す。

［分類して実行］を選んだときは、撮影頻度や撮影日時の情報からイベントごとに自動分類して取り込みます。自動分類された各アルバム名の先頭には、アルバムに含まれるもっとも古い日付の写真の撮影年月日が付きます。［分類しないで実行］を選んだときは、自動分類せずそのまま写真を取り込みます。

写真を選択してHDDに取り込む

1 ホーム を押す。

2 ←→で（フォト）を選ぶ。

3 ↑↓でメディア、接続機器を選び、決定を押す。

ディスク*1　デジタルカメラ*2　"PSP"　USB機器*3

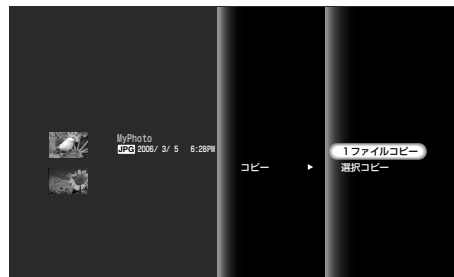
*1 BD-RE/BD-R ／データDVD ／データCD

*2 デジタルスチルカメラをつないだ場合でも「USB機器」と表示されることがあります。

*3 つないだUSB機器に応じて［USB機器（前面）］［USB機器（背面）］と表示されます。

4 ↑↓でアルバムを選び、決定を押す。

5 取り込む写真を選び、オプション を押す。

6 ［コピー］から［1ファイルコピー］を選び、決定を押す。

7 ←→で［確定］を選び、決定を押す。

8 ↑↓でコピー先のアルバムを選び、決定を押す。

選んだ写真が取り込まれます。

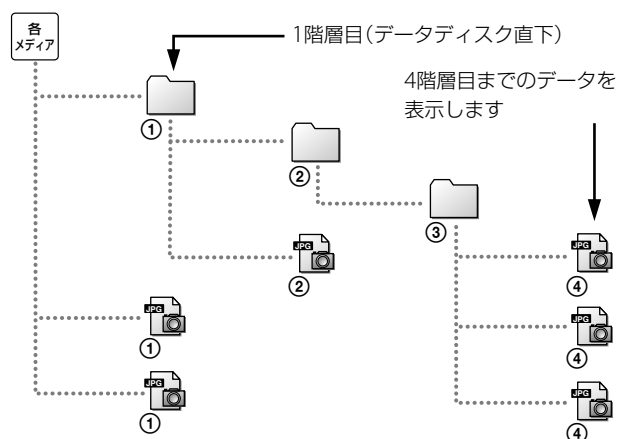
新しくアルバムを作成する場合は↑↓←→で［新規作成］を選びます。新しいアルバムの名前入力については「文字を入力する」（63ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

「写真を選択してHDDに取り込む」の手順6で［コピー］から［選択コピー］を選ぶと、複数の写真を選んで取り込むことができます。

次のページにつづく⇨

フォルダやファイルの作成・保存場所について

各メディア直下（ルート）を第1階層とした場合、本機は4階層目までに保存したファイルを認識できます。

写真を本機に取り込むときの制限事項

- 本機には最大で10,000個までのファイルが保存できます。
- HDD内に取り込めるアルバムの総数は最大200個です（サンプルアルバムは除く）。
- 1つのフォルダからは500枚までの写真を取り込めます。
- HDDの空きがない場合は取り込めません。
- 4階層目のフォルダは本機に取り込みができません。
- HDD上のアルバムの名前に登録できる文字数は全角16文字、半角32文字までです。
- HDD上のアルバムの名前に半角の「<」「>」「|」「"」「/」「?」「*」「'」「\」「¥」「:」「・」「.」「 」（スペース）などの文字を使用すると、DVDにコピーした場合、フォルダ名が正しく表示できないことがあります。
- ビデオカメラ映像からフォト切出ししたファイル（写真）は、HDVからは日付が付きますが、DVからの切出しは本機にダビングした日付になります。
- おでかけ転送中は写真を取り込むことはできません。

映像の中のお気に入りの場面を写真にする（フォト切出し）

以下の映像（タイトル）の中から、好みの場面を選んで写真にできます。

- HDV/DVダビングしたタイトル
- AVCHDダビングしたタイトル
- HDV1080i/DV入力端子から録画したタイトル
- 8cm DVDからダビングしたタイトル
- x-Pict Story HDで作成したタイトル

1 ホーム を押す。

2 ←→で （フォト）を選ぶ。

3 ↑↓で （フォト切出し）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で写真にしたい場面を含む映像を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で保存先のアルバムを選び、決定 を押す。

新しくアルバムを作成する場合は↑↓←→で［新規作成］を選びます。新しいアルバムの名前入力については「文字を入力する」（63ページ）をご覧ください。

6 再生中の映像を見ながら、切り出すポイントを選び、一時停止（一時停止）を押す。

再生（再生）を押すと映像を再生します。また、◀◀/▶▶（早戻し／早送り）で切り出すポイントを選べます。

7 ↓で[実行]を選び、決定を押す。
実行後、自動で手順6に戻ります。同じタイトルから他の画像を切り出す場合は手順6からくり返します。

8 終了するには→で[終了]を選び、決定を押す。

本機に取り込んだ写真をコピーする（ディスク書出し）

BDやDVDにコピーする

本機に取り込んだ写真をBDやDVDにコピーできます。
以下のディスクが使用できます。

- BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD+RW（記録済みのDVD-RW/DVD+RWは上書きされて、それまでの記録は消去されますのでご注意ください。）
- 未記録で、未フォーマットまたはビデオフォーマットのDVD-R
- 未記録で未フォーマットのDVD+R

1 ホームを押す。

2 ←→で（フォト）を選ぶ。

3 ↑↓で（ディスク書出し）を選び、決定を押す。

4 ↑↓で（アルバムコピー）を選び、決定を押す。

5 本機にディスクを入れる。

6 コピーするアルバムを選び、決定を押す。

7 [実行]を選び、決定を押す。
ディスクへのコピーがはじまります。

本機の別のアルバムにコピーする

本機に取り込んだアルバム内の写真を、他のアルバムへコピーしたり、新しいアルバムにコピーしたりできます。アルバムにまとめることで写真を整理したり、x-Pict Story HDで1つのフォト作品にしたりできます。

1 ホームを押す。

2 ←→で（フォト）を選ぶ。

3 ↑↓でコピーしたいアルバム内の写真を選び、オプションを押す。

4 ↑↓で[コピー]を選び、決定を押す。

5 ↑↓で[1ファイルコピー]を選び、決定を押す。

6 [確定]を選び、決定を押す。

7 コピー先のアルバムを選び、決定を押す。
HDDに写真がコピーされます。
新しくアルバムを作成する場合は↑↓←→で[新規作成]を選びます。新しいアルバムの名前入力については「文字を入力する」（63ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- 本機に取り込んだアルバムを使ってx-Pict Story HDで映像を作成すると、BDやDVDにダビングできるようになります（161ページ）。
- 「本機の別のアルバムにコピーする」の手順5で[選択コピー]を選ぶと、複数の写真を選んでコピーできます。

ご注意

パソコンなどで作成された、写真データを間接的に参照しているファイルは表示できません。

次のページにつづく⇨

BDやDVDにコピーするときの制限事項

- 1枚のDVDに約4,000個以上のファイル*やフォルダをコピーすると、一部のファイルがコピーできないことがあります。
- BDへコピーするときは、すでにBDに記録されているファイルと、新たにコピーするファイルとフォルダの合計が2,000個以下の場合にコピーできます。
- コピー先のアルバム内に同じ名前のファイルがある場合は、コピーしたファイル名の末尾に(1)、(2)…などの数字が付きます。
- DVD-R/DVD+Rは新品のディスク、または未記録でビデオフォーマットのDVD-Rのみ使用できます(DVD+R DL（2層)を除く)。
- 記録済みのDVD-RW/DVD+RWは上書きされて、それまでの記録は消去されます。
- DVDへのコピー終了後、自動的にファイナライズされ、ディスクへの追記はできなくなります。BD-RE、BD-Rの場合は追記できます。
- DVDへコピーするときは、HDD内にコピーイメージを一時的に作成するため、DVDの容量よりも多めのHDD残量が必要です。
- アクトビラからダウンロード中にBDやDVDにコピーすると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

* JPEG以外のファイルも含む。

本機に取り込んだアルバムや写真を消去する

アルバムを消去するには

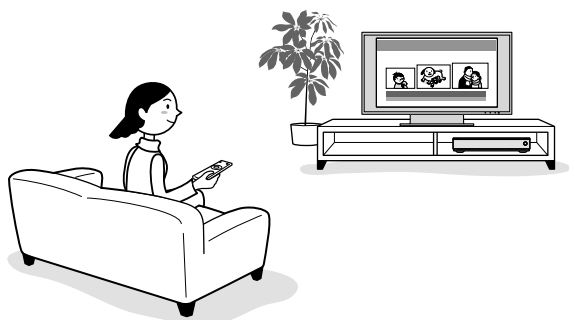
1. ホーム を押す。
2. ←→で (フォト)を選ぶ。
3. ↑↓で消去したいアルバムを選び、オプション を押す。
4. ↑↓で[消去]を選び、決定 を押す。

写真を消去するには

1. ホーム を押す。
2. ←→で (フォト)を選ぶ。
3. ↑↓でアルバムを選び、決定 を押す。
4. ↑↓で消去したい写真を選び、オプション を押す。
5. ↑↓で[消去]を選び、決定 を押す。
6. ↑↓で[1ファイル消去]または[選択消去]を選び、決定 を押す。
   [1ファイル消去]を選んだときは、決定 を押すとファイルが消去されます。[選択消去]を選んだときは、次の手順に進んでください。
7. ↑↓で消去したい写真を選び、決定 を押す。
8. 消去したいすべての写真を選んだら、↑↓←→で[確定]を選び、決定 を押す。

映像や写真を取り込んで楽しむ

写真とビデオをスクラップブックにして楽しむ（x-ScrapBook） HDD

写真を取り込んでアルバムが作成されると、本機はその中に含まれるすべての写真をレイアウトしたオリジナルのスクラップブックを自動作成します。また、壁紙を変更したり、HDV/DVダビングで取り込んだ映像やx-Pict Story HDで作成した映像の追加もでき、写真とビデオを一緒に楽しめます。

x-ScrapBookには次の機能があります。

- 「スクラップブックを再生する」（157ページ）
  自動作成された内容や編集した内容を、確認できます。
- 「スクラップブックを編集する」（158ページ）
  自動作成されたスクラップブックはビデオを含みません。ビデオカメラから取り込んだビデオやx-Pict Story HDで作成した映像を追加してオリジナルのスクラップブックを完成させます。表紙や壁紙も変更できます。
- 「スクラップブックをBDやDVDに記録する」（159ページ）
  完成したHDD内のスクラップブックをBDやDVDにコピーします。データの保存に便利です。

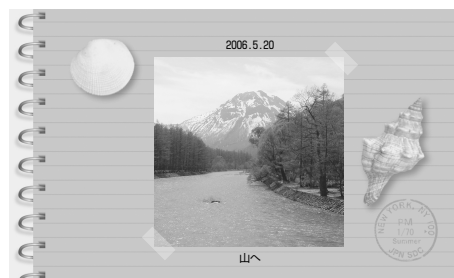
スクラップブックを再生する

1 ホーム を押す。

2 ←→で （フォト）を選ぶ。

3 ↑↓で （x-ScrapBook）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で再生したいスクラップブックを選び、決定 を押す。
スクラップブックの表紙、または前回の続きのページが表示されます。

例：初めから再生するとき

例：途中から再生するとき

画面表示 （画面表示）でアルバム名やページ番号を表示できます。

ページ送りについて

黄 （黄）でページモードと選択モードを切り換えます。ページモードではアルバムをめくるように全体を再生でき、選択モードでは写真やビデオを個別に選んで、拡大表示や再生ができます。

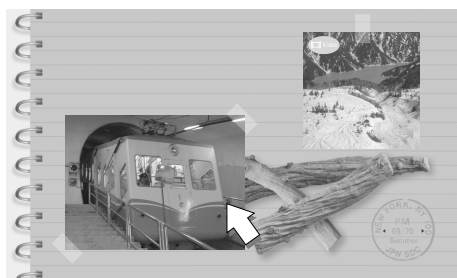
ご注意

- スクラップブックを編集すると、つづき再生の再生ポイントが解除されます。
- 1つのスクラップブックに同じビデオを複数回追加できません。
- スクラップブックに使われているビデオを編集または消去すると、スクラップブックでの表示が編集後の内容に変わったり、再生内容がビデオから写真に変わったり、表示位置が移動したり、削除されたりすることがあります。
- 元になるフォトアルバムや、そのフォトアルバム内のすべての写真がHDDから消去されると、スクラップブックも消去されます。
- x-ScrapBook書出し（159ページ）で作成したディスクでは、HDD内での再生と同じ操作ができません。

次のページにつづく⇨

ページモード

⇔でページを送ります。オプション を押して[ページサーチ]を選び、1 ～ 12/連続/確定 の数字ボタンで見たいページ番号を入力し 決定 を押すと、そのページを表示します。

選択モード

右端や左端の写真／ビデオを選んで⇔を押すとページを送ります。ビデオには、ビデオであることを示すアイコンが表示されます。⇕⇔で写真やビデオを選んで 決定 を押すと、個別に全画面で再生します。再生を停止するには 停止 (停止)を押します。

撮影期間が重なるビデオがあるとき

手順4の後、スクラップブックに追加するかどうかの確認画面が表示されます。⇔で[はい]を選んで 決定 を押すとビデオが追加され、スクラップブックが表示されます。
[いいえ]を選んでも、後から手動で追加できます(158ページ)。

スクラップブックを再生中に オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「映像や写真を取り込んで楽しむ」で利用できるオプション」(163ページ)をご覧ください。

スクラップブックを編集する

ビデオの追加や選択解除、壁紙のテーマ変更ができます。写真の追加や削除はできません。スクラップブックの表紙に表示されるタイトル名はホームメニュー上のアルバム名がそのまま入力されます。表紙のタイトル名を変更したいときは、アルバム名を変更することで表紙のタイトル名も変更されます。

1 ホーム を押す。

2 ⇔で (フォト)を選ぶ。

3 ⇕で (x-ScrapBook)を選び、決定 を押す。

4 ⇕で編集したいスクラップブックを選び、オプション を押す。

5 [編集]を選び、決定 を押す。

ビデオを追加するには

1 手順5の後、[ビデオ選択追加]を選び、決定 を押す。
ビデオのサムネイル画像を表示しない場合があります。
撮影日を持たないビデオは、後ろに追加されます。

2 ⇕で追加したいタイトルを選び、決定 を押す。

3 タイトルをすべて選び終わったら⇕⇔で[確定]を選び、決定 を押す。

4 ⇔で[はい] を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

- オプション を押してから、[選択モード]または[ページモード]を選んでページモードと選択モードを切り換えることができます。
- フォトアルバムの写真が消去された場合やフォトアルバムに写真が追加された場合、スクラップブックも自動更新されます。
- x-Pict Story HDで作成したフォト作品も先に映像にしておくと(161ページ)、ビデオタイトルとして追加できます。
- ビデオが追加されたスクラップブックは、DVD+RやDVD+RWに書き出せません(159ページ)。

ビデオを解除するには

1 手順5の後、[ビデオ選択解除]を選び、決定 を押す。

2 ↑↓で解除したいタイトルを選び、決定 を押す。

3 タイトルをすべて選び終わったら↑↓←→で[確定]を選び、決定 を押す。

4 ←→で[はい] を選び、決定 を押す。

表紙や壁紙のテーマを変更するには

1 手順5の後、[テーマ変更]を選び、決定 を押す。

2 ↑↓でテーマを選び、 決定 を押す。

黄（黄）で拡大表示します。

スクラップブックをBDやDVDに記録する

スクラップブックに使った写真・ビデオ、さらにスクラップブック再生画面をページごとに静止画像として保存したものをまとめてBDやDVDに書き出せます。
以下のディスクが使用できます。
- BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD+RW（記録済みのDVD-RW/DVD+RWは上書きされて、それまでの記録は消去されますのでご注意ください。）
- 未記録で、未フォーマットまたはビデオフォーマットのDVD-R
- 未記録で未フォーマットのDVD+R

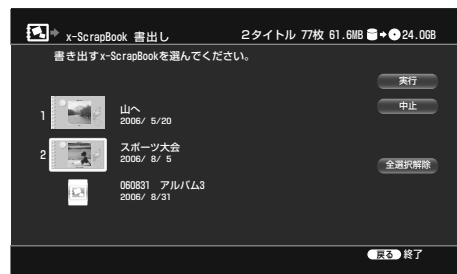
1 ホーム を押す。

2 ←→で（フォト）を選ぶ。

3 ↑↓で（ディスク書出し）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で（x-ScrapBook書出し）を選び、決定 を押す。

5 本機にディスクを入れる。

6 ↑↓でディスクに書き出したいスクラップブックを選び、決定 を押す。
書き出したい順番で選びます。

選択順に番号が付きます。

7 ←→で[実行]を選び、決定 を押す。

8 ダビングが終了したら、 ←→で[終了] を選び、決定 を押す。
他に書き出したい画像や映像があるときは[継続]を選び、ディスクを入れ換えて手順6からくり返します。

BDやDVDに記録したスクラップブックのビデオは から、写真は から再生が可能です。

ちょっと一言

DVD+R DL（2層）には書き出せません。

ご注意

アクトビラからダウンロード中にスクラップブックをBDやDVDに書き出すと、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

アルバムの写真を使ってフォト作品にして楽しむ（x-Pict Story HD） HDD

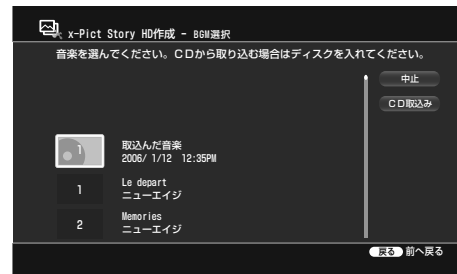
本機のHDDのアルバムに保存されている写真を、30種類のオリジナルサウンドの中から好みの音楽を選ぶだけの簡単操作で、音楽と顔の位置を捉えたエフェクト（映像処理）が付いたハイビジョン画質のフォト作品を自動作成します。
CDからお気に入りの曲を取り込んでBGMにしたり、できあがったフォト作品を映像にしてデジタルハイビジョン信号でBDにダビングしたり、標準テレビ信号(SD)でDVDにダビングしたりできます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で （フォト）を選ぶ。

3 ↑↓で （x-Pict Story HD 作成）を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓でフォト作品を作成したいアルバムを選び、（決定）を押す。

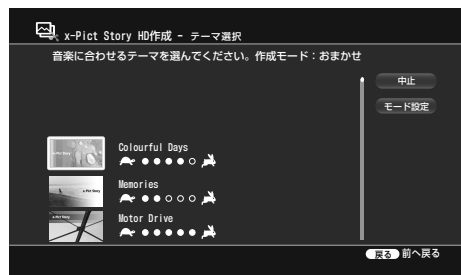
曲の選択画面が表示されます。すでにCDから取り込んだ曲がある場合、取り込んだ曲が5曲までオリジナルサウンドと一緒に一覧上に表示されます。

本機にあらかじめ登録されている曲を利用したいときは、↑↓で曲を選び手順**7**に進んでください。選んだ曲によりエフェクトが変わります。セピアやモノクロになるエフェクトがありますが、故障ではありません。

CDの曲をBGMにしたいときは、（開／閉）を押して、ディスクを入れ、[CD取込み]を選び、（決定）を押してください。
CDの曲を選ぶ画面が表示されるので、手順**5**に進んでください。

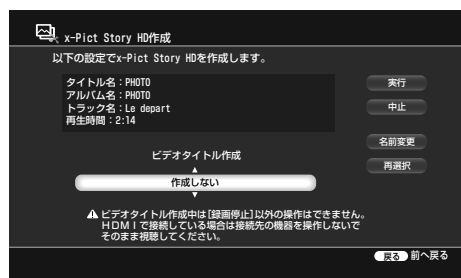
5 CDから取り込みたい曲を選び、（決定）を押す。

ご注意

- フォト作品を作成したあとに、作品で使用したアルバムから写真を1枚でも削除するとフォト作品は削除されます。
- CDによっては、完全に取り込めない場合があります。
- BDおよびDVDにダビングしたx-Pict Story HD映像を第三者にプレゼントする場合は内蔵BGMをお使いください。あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数が利用できる家庭外ネットワークに送信すること、また他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数からアクセスできる状態におくことは著作権法上禁止されていますのでご注意ください。

6 ↑↓で曲に合わせたいテーマを選ぶ。

選んだテーマによってエフェクトが変わります。
から に向かう●の数が多いほど、エフェクトのテンポが速くなります。
[モード設定]で作成するフォト作品の再生時間を設定できます。
おまかせ：曲長と使用する写真の枚数を自動的に設定します。
曲長合わせ：取り込んだ曲を最後まで使います。
画像枚数合わせ：選んだアルバム内の写真をすべて使います。

7 (決定) を押す。
フォト作品が再生されるので、内容を確認してください。

8 ↑↓で x -Pict Story HD映像を作成するかしないかを選ぶ。

作成する：本機が自動的にx-Pict Story HD 映像を作成します。作成した映像はBDやDVDにダビングしたり、"ウォークマン"や"PSP"に転送できます。映像作成中はフォト作品が再生されます。映像作成が終了するまでお待ちください。完成したx-Pict Story HD映像は (ビデオ)のタイトルとして表示されます。作成できるx-Pict Story HD映像は最大100個までです。

作成しない：x-Pict Story HD 映像として保存しません。作成したフォト作品は (フォト)の (x-Pict Story HD)内に保存されます。

アルバム名がタイトル名として自動的に入力されます。タイトル名を変更したい場合は[名前変更]を選んで (決定) を押します。文字入力について詳しくは「文字を入力する」(63ページ)をご覧ください。

9 ↑↓←→で[実行]を選び、(決定) を押す。

x-Pict Story HD映像作成を途中で止めるには

リモコンのふたの中の 録画停止 (録画停止)を押します。

フォト作品を再生する

1 (ホーム) を押す。

2 ←→で (フォト)を選ぶ。

3 ↑↓で (x-Pict Story HD)を選び、(決定) を押す。

4 ↑↓で再生したいフォト作品を選び、(決定) を押す。

フォト作品を映像にする

フォト作品の作成を終了した後からでも、フォト作品を映像にできます。

1 (ホーム) を押す。

2 ←→で (フォト)を選ぶ。

3 ↑↓で (x-Pict Story HD)を選び、(決定) を押す。

4 ↑↓で映像にしたいフォト作品を選び、(オプション) を押す。

映像や写真を取り込んで楽しむ

ちょっと一言

- 1曲が70分以上の曲を取り込んで[曲長合わせ]を選んだ場合、フォト作品が正しく再生されないことがあります。
- フォト作品に表示される日時が不要なときは、の[フォト設定]ー[x-Pict Story HD 日時情報表示]で、表示しないようにできます(202ページ)。

ご注意

- 再生中に次のものを本機から抜き差しすると、フォト作品が正しく再生されないことがあります。
  - B-CASカード
  - USB機器
  - アンテナケーブル
  - HDV/DV接続機器
  - HDMI接続機器
- 出力解像度、x-Pict Story HDで使う写真の絵柄、x-Pict Story HDのエフェクトによっては、フォト作品の一部分が震えて見える場合があります。
- [モード設定]で[おまかせ]や[曲長合わせ]を選んだ場合は、曲の長さによってはすべての写真が表示されないことがあります。

次のページにつづく⇨

5 ［ビデオ作成］を選び、決定 を押す。

ビデオ作成開始画面が表示されます。

6 ［実行］を選び、決定 を押す。

x-Pict Story HD映像作成が開始されます。映像作成中はフォト作品が再生されます。映像作成中はリモコンのふたの中の 録画停止（録画停止）以外働きません。映像作成が終了するまでお待ちください。完成したx-Pict Story HD映像は （ビデオ）のタイトルとして表示されます。作成できるx-Pict Story HD映像は最大100個までです。

x-Pict Story HD映像作成を途中で止めるには

リモコンのふたの中の 録画停止（録画停止）を押します。映像作成を途中で中止すると、中止した時点までの映像が作成されます。

フォト作品を消去する

1 ホーム を押す。

2 ◆◆で （フォト）を選ぶ。

3 ◆◆で （x-Pict Story HD）を選び、決定 を押す。

4 ◆◆で消去したいフォト作品を選び、オプション を押す。

5 ◆◆で［消去］を選び、決定 を押す。

フォト作品についての制限事項

- 次の場合、フォト作品を保存、再生できません。
  - 録画実行中の場合
  - 録画予約の開始時間が重なる場合
- x-おまかせ・まる録とx-Pict Story HDが重なるときは、x-おまかせ・まる録は実行されません。
- アクトビラからダウンロード中にx-Pict Story HDの作成や再生をすると、ダウンロードの速度が遅くなったり、一時停止したりします。

「映像や写真を取り込んで楽しむ」で利用できるオプション

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能		できること
か行	回転(左)		写真ファイルを左周りに90度回転させます。
	回転(右)		写真ファイルを右周りに90度回転させます。
	画質設定		画質の調整をします(101ページ)。
	コピー		アルバムや写真をコピーします。
		1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします(152ページ)。
		1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします(153ページ)。
		選択コピー	選択した複数のアルバムまたは写真をコピーします(152、153ページ)。
さ行	再生		再生を停止したところから再生します(84ページ)。
	再生停止		スライドショーやx-Pict Story HD の再生を停止します。
	消去		アルバムや写真を消去します(156ページ)。
		1ファイル消去	1ファイルの写真を消去します(156ページ)。
		選択消去	選択した複数の写真を消去します(156ページ)。
	情報表示		アルバムや写真の情報を表示します。
	初期化		BD-REのディスクを初期化します(123ページ)。
	スライドショー		スライドショーで表示します(99ページ)。
	スライドショーの速さ		スライドショー表示の速さ(速い/標準/遅い)を設定します。
	選択モード		選択モードに切り換えます。
た行	ダビング停止		ダビング実行中にダビングを停止します。
	チャプターサーチ		チャプターを選んで頭出しします(90ページ)。
	停止		再生を停止します。
	テーマ変更		壁紙のテーマを変更します(159ページ)。
な行	名前変更		アルバムやx-Pict Story HDのフォト作品の名前を変更します。文字入力については63ページをご覧ください。

	オプション機能		できること
は行	始めから再生		タイトルを始めから再生します。
	早見		タイトルを早見再生します。
	早見解除		タイトルの早見再生を解除します。
	ビデオ作成		x-Pict Story HD のフォト作品を映像にします。
	表示		x-ScrapBookを表示します(157ページ)。
	表紙へ		表紙ページを表示します。
	表示モード		
		ノーマル	写真を画面にあわせて表示し、余白には黒帯を表示します。
		ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[標準]と同様に再生します。
	ファイナライズ		DVD-RやDVD-RW、DVD+R、DVD+RWをファイナライズします(136ページ)。
	ファイルサーチ		指定した写真ファイルを表示します。
	ファイル消去		x-Pict Story HDのフォト作品を消去します。
	プロテクト/プロテクト解除		ディスクの内容が誤って消去されないよう保護します(109ページ)。
	ページサーチ		入力した番号のページを表示します。
	ページモード		ページモードに切り換えます。
	編集		
		テーマ変更	壁紙のテーマを変更します(159ページ)。
		ビデオ選択解除	x-ScrapBookからビデオの選択を解除します(159ページ)。
		ビデオ選択追加	x-ScrapBookにビデオを追加します(158ページ)。
ら行	ロック解除/ロック設定		ディスクをロックしたり、ロックを解除します(122ページ)。
アルファベット	BDクローズ		BD-Rを録画できないようにします(123ページ)。
	BD情報		BDの情報を表示します(120ページ)。
	DISCへ書出し		x-ScrapBookをディスクに書き出します。
	DVD情報		DVDの情報を表示します(120ページ)。
	HDD情報		HDDの情報を表示します(120ページ)。
	x-Pict Story作成		x-Pict Story HDを作成します(160ページ)。
	x-ScrapBook再生		x-ScrapBookを再生します(157ページ)。

アクトビラを楽しむ

アクトビラで映像や情報サービスを楽しむ

本機をインターネットのブロードバンド回線につなげば、アクトビラのネットサービスを利用できます。

アクトビラを利用するための準備

1 ネットワークに接続する。

ネットワークの接続方法について詳しくは、「準備編」の「[準備5]電話回線／ネットワークにつなぐ」をご覧ください。

2 ネットワークの設定をする。

詳しくは、「ネットワーク設定」(208ページ)をご覧ください。

アクトビラを利用するために必要な回線速度の目安

「アクトビラ ビデオ・フル」、「アクトビラ ビデオ・ダウンロードレンタル」「アクトビラ ビデオ・ダウンロードセル」のご利用には、FTTH（光)回線をおすすめします。実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。

回線速度が安定しない場合、映像や音声が途切れることがあります。回線速度についてはお使いの回線事業者やプロバイダーなどにお問い合わせください。

■アクトビラに関するお問合せは
アクトビラ・カスタマーセンター：
0570-091017(10時-19時年末年始除く)
IP電話の場合：03-3513-6740
info@desk.actvila.jp

■アクトビラの最新情報は
アクトビラ公式情報サイトhttp://actvila.jp/

アクトビラのページを表示する

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。

4 [ホーム] を押す。

5 ←→で (ネットワーク)を選ぶ。

6 ↑↓で (アクトビラ)を選び、(決定) を押す。

アクトビラのトップページが表示されます。
アクトビラをはじめて利用するときは、アクトビラの案内画面が表示されます。画面のメッセージにしたがってください。
「アクトビラ」は無料でご利用いただけますが、一部有料のサービスもあります。有料サービスの課金方法については、アクトビラのヘルプページをご覧ください。

ちょっと一言

暗証番号を設定して、アクトビラを利用できないように制限できます。暗証番号は の[年齢制限設定]から[アクトビラ利用制限]を設定してください(206ページ)。

ご注意

- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款により、ご利用いただけない場合があります。
- 天災、システム障害その他の事由により、「アクトビラ」のサービスを表示できない場合がありますので、あらかじめご了承ください
- サービスの内容や画面は、予告なく変更することがあります。
- 「アクトビラ」の利用規約などについては、アクトビラのヘルプページをご覧ください。

ページ表示画面の見かた

画面はイメージです。

1 **ページタイトル**
現在表示しているページのタイトル

2 **ダウンロード可能容量**
HDDにダウンロードできる容量を表示します。

3 **鍵マーク**
通信内容を保護し安全にやりとりできるホームページであることを示すマークを表示します。

4 **ビジーマーク**
ページ読込み中に表示されます。

5 **操作ガイド**
画面の操作に利用できるボタンを表示します。
青：表示しているページを上にスクロールします。
赤：表示しているページを下にスクロールします。
緑：前のページを表示します。
黄：次のページを表示します。

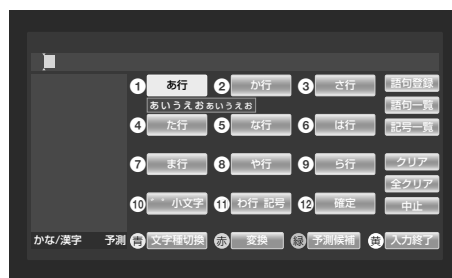
アクトビラのページを表示中に オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「アクトビラを楽しむ」で利用できるオプション」（172ページ）をご覧ください。

映像再生中の操作（アクトビラ ビデオ／ビデオ・フル）

押すボタン	できること
再生（再生）	停止中または一時停止中に押すと再生を始めます。
停止（停止）	停止します。
一時停止（一時停止） 決定	一時停止／一時停止を解除します。
（早戻し／早送り） ⇔	早戻し／早送り再生します。 対応している映像（タイトル）のみ利用できます。
前 次（前／次）	前や次のチャプターの先頭に進みます。 1つ前のチャプターの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。 対応している映像（タイトル）のみ利用できます。
フラッシュ（フラッシュ）	少し前に戻る、または先に進みます。
戻る（戻る）	再生を停止して、前のページに戻ります。

文字を入力するには

1行入力の場合

1 アクトビラページ上の文字入力欄を選び、決定 を押す。
文字入力画面が表示されます。

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力する」（63ページ）をご覧ください。

2 文字入力画面で、[入力終了]を選び 決定 を押す。
文字の入力を終了します。

次のページにつづく⇨

複数行入力の場合

1 **アクトビラページ上の文字入力欄を選び、決定を押す。**
文字入力欄にカーソルが表示されます。

2 **↑↓←→で入力したい箇所にカーソルを動かし、決定を押す。**
文字入力画面が表示されます。

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力する」(63ページ)をご覧ください。

3 **文字入力画面で、[入力終了]を選び、決定を押す。**

4 **(戻る)を押す。**
文字の入力を終了します。

文字入力欄で改行するとき

手順2で改行したい箇所にカーソルを動かし、赤[改行]を押してください。

文字を削除するとき

手順2で削除したい文字の右側にカーソルを動かし、緑[左削除]を押してください。

ブックマークに登録する

1 **アクトビラのページを表示中に オプション を押す。**

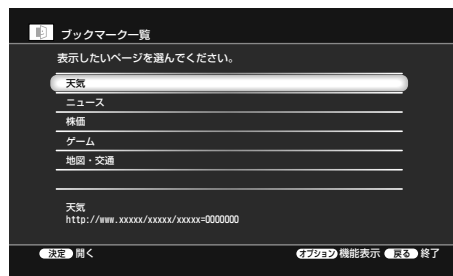
2 **↑↓で[ブックマーク]を選び、決定を押す。**

3 **↑↓で[ブックマーク追加]を選び、決定を押す。**
表示中のページがブックマークに登録されます。
登録しているブックマークを確認するには、手順3で[ブックマーク一覧]を選んでください。ブックマークが一覧で表示されます。

ブックマークに登録したページを表示する

1 **アクトビラのページを表示中に オプション を押す。**

2 **↑↓で[ブックマーク]を選び、決定を押す。**

3 **↑↓で[ブックマーク一覧]を選び、決定を押す。**
ブックマークの一覧が表示されます。

4 **↑↓で見たいブックマークを選び、決定を押す。**

アクトビラを終了する

1 **アクトビラのページを表示中に ホーム を押す。**

2 **←→で[はい]を選び、決定を押す。**

前回終了したページを表示する

1 **アクトビラのトップページ表示中に オプション を押す。**

2 **↑↓で[前回終了のページ]を選び、決定を押す。**
前回アクトビラを終了するときに表示していた画面に移動します。
アクトビラのトップページを表示後に他のページに移動した場合は、この操作はできません。

アクトビラについての制限事項

ダビング中またはおでかけ転送中はアクトビラを利用できません。

ちょっと一言

アクトビラのページを表示中に オプション を押し、[終了]を選んでも、アクトビラを終了できます。

映像をダウンロードする

HDD

ダウンロードレンタルした映像（タイトル）は、一定期間視聴することが出来ます。また、「アクトビラ ビデオ・ダウンロードセル」で購入したタイトルは、視聴に加え、タイトルによってはBDにダビングしたり、おでかけ転送して楽しむことができます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で (ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓で (アクトビラ)を選び、決定 を押す。

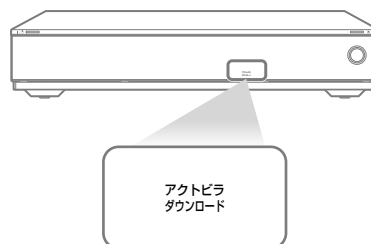
4 ダウンロードしたいタイトルを選ぶ。
ダウンロードできるタイトルに関しては、アクトビラのヘルプページをご覧ください。

5 購入手続きを行う。
購入手続きが完了すると、ダウンロードが開始されます。
ダウンロード中に本機の電源を切ってもダウンロードは継続されます。
ダウンロード中は、本体のアクトビラダウンロードランプが点灯します。
タイトルの購入方法や課金方法について詳しくは、アクトビラのヘルプページをご覧ください。

ダウンロードした映像の表示について

ダウンロードした映像（タイトル）はタイトルの一覧（タイトルリスト）に表示されます。
ただし、の[年齢制限設定]－[ダウンロードタイトル視聴年齢制限]（206ページ）で視聴年齢制限の設定をした場合、20歳未満制限付きタイトルは表示されません。表示するにはタイトルリストを表示中に オプション を押して[視聴制限一時解除]を選び、画面の指示に従って の[年齢制限設定]―[暗証番号設定]（205ページ）で設定した暗証番号を入力してください。オプション を押して[視聴制限再設定]を選ぶと、制限を再設定できます。

ダウンロード中の本体表示について

ダウンロードの状況により、アクトビラダウンロードランプの状態が変わります。

ダウンロード実行中のとき

アクトビラダウンロードランプが点灯します。

ダウンロードエラーのとき

アクトビラダウンロードランプが点滅します。

ダウンロードが一時停止中や待機中、またはすべてのダウンロードが終了したとき

アクトビラダウンロードランプが消灯します。

ちょっと一言

- ホームサーバー機能の利用中やBD-Liveの再生中などは、ダウンロードを一時停止することがあります。
- ダウンロード中も他のタイトルを購入できます。

ご注意

- 同時にダウンロードできる数は、最大50件です。
- HDDの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合は、ダウンロードできません。HDD内の不要なタイトルを消去し、残量を増やしてください。
- x-Pict Story HDの作成や再生, BD-ROMの再生、ネットワークの設定時に、一時的にダウンロードを停止することがあります。

次のページにつづく⇨

ダウンロード情報を確認する

ダウンロード管理画面を表示して、ダウンロード情報を確認できます。

1 ホーム を押す。

2 ↔で (ネットワーク)を選ぶ。

3 ↕で (ダウンロード管理)を選び、決定 を押す。

ダウンロード管理画面が表示されます。
ダウンロード予定の映像(タイトル)を一覧で確認できます。

4 ↕で確認したいタイトルを選び、決定 を押す。

ダウンロードの詳細画面が表示されます。
タイトルのダウンロード情報を確認できます。
サムネイルは表示されません。

ダウンロード管理画面を表示中に オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「アクトビラを楽しむ」で利用できるオプション」(172ページ)をご覧ください。
ダウンロード完了後のタイトルは、ダウンロード管理画面から消え、 (ビデオ)のタイトルの一覧(タイトルリスト)にのみ表示されます。

ダウンロードを再開する

インターネットの切断や、本機のHDDの残量不足、タイトル数の上限到達により、ダウンロードが停止されることがあります。
これらの問題を解消することによって、以下の方法でダウンロードを再開できます。

1 ダウンロード管理画面を表示中に オプション を押す。

2 ↕で[ダウンロード再開]を選び、決定 を押す。
ダウンロードを再開します。

ダウンロードの優先順位を変更する

1 ダウンロード管理画面で映像(タイトル)選び、オプション を押す。

2 ↕で[ダウンロード実行]を選び、決定 を押す。

3 ↔で[はい]を選び、決定 を押す。
選んだタイトルを最優先でダウンロードします。

ダウンロードを中止する

ダウンロードを中止すると、ダウンロードを再開することはできません。**中止すると購入した映像(タイトル)が視聴できなくなりますので、ご注意ください。**

1 ホーム を押す。

2 ↔で (ネットワーク)を選ぶ。

3 ↕で (ダウンロード管理)を選び、決定 を押す。

4 ↕で中止したいタイトルを選び、オプション を押す。

5 ↕で[中止]を選び、決定 を押す。

6 ↔で[はい]を選び、決定 を押す。

選択したタイトルのダウンロードを中止し、ダウンロード管理画面やタイトルの一覧(タイトルリスト)から消去します。

ダウンロードした映像を再生する

インターネットに接続したままで、再生してください。再生方法について詳しくは、「録画した映像やBD、DVDを再生する」(84ページ)をご覧ください。また、以下もあわせてご確認ください。

ご注意

映像をダウンロードしている間は、ルーターなどのネットワーク機器の電源を切らないでください。

- 視聴年齢制限の設定をした場合、映像（タイトル）によっては、再生する際に暗証番号の入力を求められる場合があります。
- 20歳未満制限付きタイトルは、視聴年齢制限が設定してある場合、タイトルの一覧（タイトルリスト）に表示されません。
- 視聴期間に入っていない、または視聴期限が切れたタイトルは再生できません。また、再生中に視聴期限が切れた場合は、再生を停止します。
- レンタルしたタイトルは、視聴期限が切れると削除されます。
- ダイジェスト再生は出来ません。
- ホームサーバー機能による再生はできません。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルは、編集できません。

視聴年齢制限された映像を再生するには

の［年齢制限設定］－［ダウンロードタイトル視聴年齢制限］（206ページ）で視聴年齢制限の設定をした場合、該当する映像（タイトル）を再生するには暗証番号が必要です。
詳しくは、「視聴年齢制限されたディスクや映像（タイトル）を再生するには」（88ページ）をご覧ください。

ダウンロードした映像をダビングする

アクトビラで購入した映像（タイトル）には、ダビングできるものがあります。ダビング方法について詳しくは、「ディスクに残す（ダビング）」（125ページ）をご覧ください。また、以下もあわせてご確認ください。

- インターネットに接続したままで操作してください。
- 書き出せるメディアや回数に制限があります。タイトルリストのアイコン（254ページ）で確認してください。
- 高速ダビングのみ利用できます。録画モード変換ダビングはできません。
- 視聴年齢制限を設定した場合、タイトルによってはダビングする際に暗証番号の入力を求められる場合があります。
- 20歳未満制限付きタイトルは、視聴年齢制限が設定してある場合、タイトルの一覧（タイトルリスト）に表示されません。この場合、以下の手順でタイトルを表示させてください。

  1 **タイトルリストを表示中に、 を押す。**

  2 **［視聴制限一時解除］を選び、画面にしたがって暗証番号を入力する。**

  すべてのタイトルが表示されます。
- DVDにダビングできません。
- ダウンロード中のタイトルはダビングできません。
- ダビングを中断した場合は、必ず同じメディアで再開してください。

ダウンロードした映像をおでかけ転送する

アクトビラで購入した映像（タイトル）を"ウォークマン"や" PSP"などに転送して外に持ち出せます。
転送方法について詳しくは、「"ウォークマン"や"PSP"に映像を転送する」（173ページ）をご覧ください。また、以下もあわせてご確認ください。

- インターネットに接続したままで操作してください。
- 書き出せる回数に制限があります。タイトルリストのアイコン（254ページ）で確認してください。
- 視聴年齢制限を設定した場合、タイトルによっては、転送する際に暗証番号の入力を求められる場合があります。
- 20歳未満制限付きタイトルは、視聴年齢制限が設定してある場合、タイトルの一覧（タイトルリスト）に表示されません。
- ダウンロード中のタイトルは転送できません。
- 携帯電話には転送できません。
- おかえり転送はできません。
- おでかけ転送を中断した場合は、必ず同じ機器やメディアで再開してください。
- タイトルを部分的に転送することはできません。

「アクトビラを楽しむ」で利用できるオプション

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

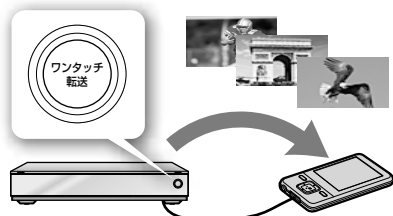
	オプション機能	できること
か行	改行	改行します。
	画質設定	画質を調整します（101ページ）。
さ行	再生	映像（タイトル）を再生します。
	再生停止	● アクトビラのページから再生している場合は、停止してアクトビラのページを表示します。 ● ダウンロードした映像（タイトル）を再生している場合は、停止してタイトルの一覧（タイトルリスト）を表示します。
	再読込み	表示中のページを更新します。
	削除	選んだブックマークを削除します。
	視聴制限一時解除／視聴制限再設定	視聴年齢制限を一時的に解除したり、再び設定したりします。
	終了	アクトビラを終了します。
	情報表示	ページ情報または映像（タイトル）の情報を表示します。
	進行状況	映像（タイトル）のダウンロード情報を表示します（170ページ）。
	進む	次のページを表示します。
	すべて一時停止／すべて再開	ダウンロードを一時的に停止したり、再開したりします。
	前回終了のページ	前回アクトビラを終了するときに表示していたページを表示します。
た行	ダウンロード管理	アクトビラを終了して、ダウンロード管理画面を表示します。
	ダウンロード実行	選んだ映像（タイトル）のダウンロードを最優先にします。
	チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします（90ページ）。
	中止	選んだ映像（タイトル）のダウンロードを中止し、ダウンロード管理画面およびタイトルの一覧（タイトルリスト）から消去します。
	トップページ	アクトビラのトップページを表示します。
な行	名前変更	選んだブックマークの名前を変更します。
	入力	文字入力画面を表示します。

	オプション機能	できること
は行	始めから再生	頭出しします。
	左削除	カーソルの左1文字を削除します。
	開く	選んだブックマークのページを表示します。
	ブックマーク	
	ブックマーク一覧	ブックマーク一覧画面を表示します。
	ブックマーク追加	表示中のページをブックマークに登録します。ブックマークは10個まで登録できます。
ま行	戻る	前のページを表示します。
や行	読込み中止	ページの読み込みを中止します。
アルファベット	Cookie削除	Cookieを削除します。

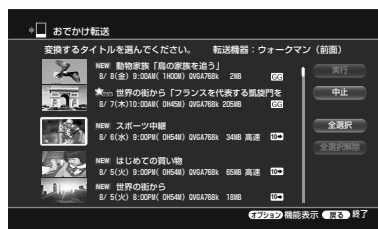
“ウォークマン”や“PSP”に映像を転送する

「“ウォークマン”や“PSP”に映像を転送する」でできること

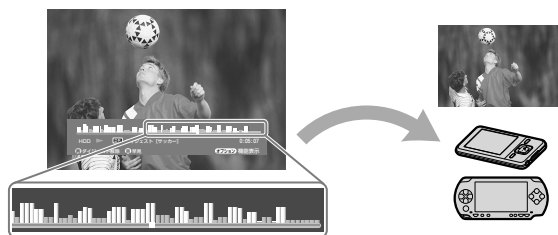
ワンタッチ転送

184ページ

録画した番組（タイトル）を、本機前面のワンタッチボタンでかんたんに転送できます。

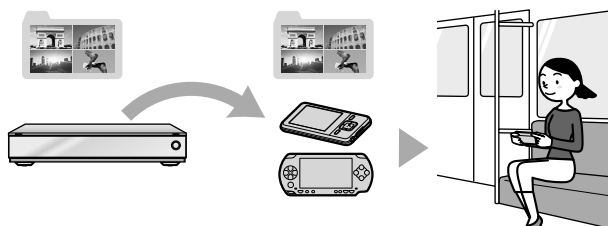
高速転送

177ページ

録画時に転送用動画ファイルを一緒に生成しておくことで、あらためて生成する手間と時間を省けます。急に転送することになっても、すぐ転送先機器に転送できます。

ダイジェスト転送

182ページ

録画した映像（タイトル）の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、見どころシーンに絞ったタイトルを、“ウォークマン”や“PSP”に転送できます。

グループ一括転送

181ページ

タイトルをグループごとに一括で“ウォークマン”や“PSP”に転送します。録りためたドラマをまとめて転送するときなどに便利です。

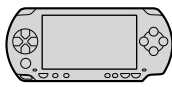
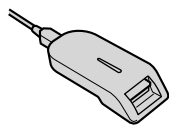
おでかけ転送について

HDD

おでかけ転送ができる機器について

おでかけ転送に対応している機器と転送できる映像（タイトル）の種類、記録可能時間については、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html

デジタル放送の録画タイトルをおでかけ転送できる機器

“ウォークマン”
（一部の機種）

“PSP”
“PSP”は、“メモリースティック PROデュオ”に転送できます。

USBリーダー／ライター

転送できる映像（タイトル）の種類

- デジタル放送の番組を録画したタイトル
- アナログ放送の番組を録画したタイトル
- ビデオカメラからダビングしたタイトル
- x-Pict Story HDで作成したタイトル
- ダビング可能回数が2回以上あるオリジナルタイトルを参照するプレイリスト
- コピー制御信号のないプレイリスト
- アクトビラからダウンロードしたタイトル（ただし、おかえり転送はできません）

転送できない映像（タイトル）の種類

- の付いたタイトル
- 外部入力から録画したコピー制御信号のあるタイトル

ダビング回数に制限のあるタイトルを転送するときは

「1回だけ録画可能」の映像（タイトル）や、ダビング可能回数が上限に達したタイトルは、タイトルリストなどの画面上で のアイコンが付きます*。
この の付いたオリジナルタイトルをおでかけ転送すると、本機からの「コピー」ではなく「移動」となり、本機で再生できなくなります。おでかけ転送した“ウォークマン”や“PSP”ではタイトルの先頭に「⇔」が表示されますので、再び本機で再生したいときはおでかけ転送先機器から本機に戻す「おかえり転送」をしてください（183ページ）。
の付いたタイトルをおでかけ転送、おかえり転送するときは、以下の制限があります。

- 本機におかえり転送すると、転送先機器からはタイトルが自動的に消去されます。
- 転送先機器でタイトルを消去すると、本機へのおかえり転送ができなくなります。このとき、本機のHDDに残っているおかえり待ちのタイトルは再生できなくなりますので、タイトルを消去してください。
- おでかけ転送したタイトルを本機側で消去すると、おかえり転送できなくなります。
- 途中まで転送したタイトルを前回の続きから転送するには、転送したタイトルを本機におかえり転送してから、もう一度おでかけ転送を行ってください。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルを、 の状態でおでかけ転送しても、本機のHDDに残っているタイトルで再生可能です。
また、そのタイトルをおかえり転送することはできません。

* コピー制御信号について詳しくは131ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 本機のUSB端子は一部の“ウォークマン”や“PSP”の充電にも使えます。
- ［本体設定］の［スタンバイモード］を［高速起動］に設定すると、本機の電源が切れている場合でもUSB機器に充電できます（203ページ）。
- 転送先機器によって、再生映像の映りかたが異なる場合があります。
- 本機は、“PSP”のシステムソフトウェアバージョン2.60以降で利用できます。8GB以上のメモリースティックを使用するときは、バージョン2.81以降で利用できます。“PSP”でチャプター機能をご利用の際はバージョンを3.00以降にしてください。
“PSP®”のシステムソフトウェアの情報やバージョンアップ方法については株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品情報ページ（http://www.jp.playstation.com/psp/index.html）をご確認ください。

次のページにつづく⇨

ダビング回数を制限するコピー制御信号のないタイトルのみおでかけ転送できる機器

「1回だけ録画可能」などダビング回数を制限するコピー制御信号のないタイトルのみをおでかけ転送できます。

“ウォークマン”（一部の機種）

“mylo”

NTTドコモのFOMAの一部機種*

* 対応機種など詳細については下記ホームページでご確認ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html

対応機種などドコモに関するお問い合わせ先（DoCoMoインフォメーションセンター）

ドコモの携帯電話から：（局番なし）151（無料）
一般電話などから　：0120-800-000

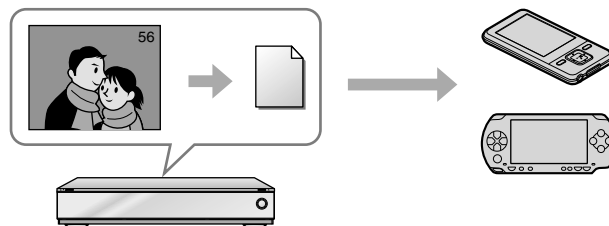
転送できる映像（タイトル）の種類

- アナログ放送の番組を録画したタイトル
- ビデオカメラからダビングしたタイトル
- x-Pict Story HDで作成したタイトル
- コピー制御信号のないプレイリスト

転送できない映像（タイトル）の種類

- デジタル放送の番組を録画したタイトル
- アクトビラからダウンロードしたタイトル

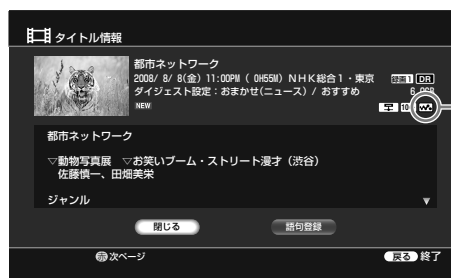
おでかけ転送の流れ

本機で録画した映像（タイトル）を転送先機器で再生できる動画ファイル（AVC*）に変換してから、転送先機器に転送します。

* AVC（Advanced Video Coding）は、国際標準化団体であるMPEG、ITU-Tとの共同標準化組織 JVT（Joint Video Team）で策定され標準化された、MPEG4動画の高圧縮デジタル符号化技術です。

おでかけ転送用動画ファイルについて

おでかけ転送用の動画ファイルには、以下の2種類があり、転送先の機器によって転送するファイルの種類が異なります。

転送先の機器	ファイルの種類（ファイルの形式）
“ウォークマン” “mylo”（または携帯電話）	“ウォークマン”転送用ファイル（AVC Baseline Profile）
“PSP” “メモリースティックPROデュオ”	“PSP”転送用ファイル（AVC Main Profile）

「おでかけ転送する機器を設定する」（179ページ）で転送先の機器に合った設定を選んでください。
おでかけ転送用動画ファイルの種類は、タイトル情報画面に表示されるマークで確認できます。“ウォークマン”、“mylo”、または携帯電話の場合 、“PSP”または“メモリースティックPROデュオ”の場合 アイコンが表示されます。

タイトル情報画面の表示方法について詳しくは、「タイトルの情報を確認するには」（85ページ）をご覧ください。

ご注意

- x-おまかせ・まる録で録画した映像（タイトル）は、おでかけ転送した状態でも、予約した番組を録画するためのHDD残量が足りない場合は自動消去されます。消去されないよう保護するには「誤って消さないようにする（プロテクト）」（109ページ）をご覧ください。
- 転送中画面に表示される残り時間はおおよその目安です。

おでかけ転送用動画ファイルについての制限事項

- 本機のHDDに記録されているおでかけ転送用動画ファイルを本機で再生したり消去したりすることはできません。
- 本機のHDD内に録画されている映像(タイトル)を消去したり、A-B消去やタイトル分割などの編集を行うと、対応するおでかけ転送用動画ファイルは自動的に消去されます。
- 録画時におでかけ転送用動画ファイルを作成すると、その分HDDの空き容量が必要となり録画可能時間は短くなります(238ページ)。

おでかけ転送用動画ファイルの生成について

録画時に同時生成するには(高速転送)

録画時におでかけ転送用動画ファイルを生成すると、短時間でファイルを転送できます(高速転送)。[おでかけ転送 高速転送録画](198ページ)を[入]にし、「録画1」で録画した場合に可能です。また、デジタルビデオカメラからHDV/DVダビングした映像(タイトル)やx-Pict Story HDで作成したタイトルもおでかけ転送用動画ファイルが生成されるので高速転送できます。

60分番組を"ウォークマン"に転送した場合のファイル転送時間

録画モード	転送時間
QVGA768k	約4分(約15倍速)
QVGA384k	約2分(約30倍速)

* 上記の転送時間はおおよその目安です。転送時間は"ウォークマン"の機種や、転送する映像(タイトル)により異なります。また、本機の動作状況により大きく時間が変わります。

60分番組を"メモリースティックPROデュオ"("PSP"など)に転送した場合のファイル転送時間

録画モード	転送時間
QVGA768k	約3分(約20倍速)
QVGA384k	約2分(約30倍速)

* 上記は無記録状態のソニー製"メモリースティックPROデュオ"への転送時間であり、おおよその目安です。転送時間は"メモリースティックPROデュオ"や、転送する映像(タイトル)により異なります。また、本機の動作状況により大きく時間が変わります。

おでかけ転送用動画ファイルを自動的に生成したくないときは

[ビデオ設定]で[おでかけ転送 高速転送録画]を[切]にしてください(198ページ)。
[おでかけ転送 高速転送録画]を[切]にすると、選んだ映像(タイトル)のみ、転送時におでかけ転送用動画ファイルを生成します。本機のHDDに録画できる時間は長くなりますが、高速転送できなくなるため、転送時間は再生時間と同程度かかるようになります。

録画時に同時生成されないタイトルについて

以下の映像(タイトル)は、録画時におでかけ転送用動画ファイルが同時生成されません。

- [おでかけ転送 高速転送録画]が[切]になっている状態で録画したタイトル
- 「録画2」で録画したタイトル
- 外部入力からデジタル放送の番組を録画したタイトル
- [おでかけ転送機器]で設定した転送先の機器と異なる機器に転送するタイトル
- プレイリスト
- デジタルハイビジョンビデオカメラからAVCHDダビングしたタイトル
- アクトビラからダウンロードしたタイトル

転送時におでかけ転送用動画ファイルを生成するため、転送時間は再生時間と同程度かかります。高速転送したいときは、おでかけ転送用動画ファイルの生成のみあらかじめ行ってください(178ページ)。

ご注意

- [ワンタッチ転送 更新転送](186ページ)を[切]に設定したときに、転送したタイトルを転送先機器から消去したいときは、以下の方法で消去してください。
  コピー制御信号を含まないタイトル：転送先機器でタイトルを消去してください。タイトルの消去方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
  1↔ または 1➡ ～ 10➡ のコピー制御信号を含むタイトル：おかえり転送で本機に戻してください。
- 転送にかかる時間は、お使いの機器によって異なります。
- 「録画2」で録画された番組(タイトル)は高速転送できません。

次のページにつづく⇨

おでかけ転送用動画ファイルの生成のみするには

録画時におでかけ転送用動画ファイルが同時生成されないタイトル（177ページ）の場合、おでかけ転送用動画ファイルにあらかじめ変換のみ行えば、高速転送が可能となります。
転送先機器をつながずにおでかけ転送しようとすると、おでかけ転送用動画ファイルを生成できます。
生成する前に、「おでかけ転送する機器を設定する」（179ページ）で転送先の機器に合った設定を選んでください。

転送する映像（タイトル）の録画モードと記録可能時間について

おでかけ転送で利用できる録画モードは2種類あります。
録画モードの設定方法については［ビデオ設定］の［おでかけ転送 録画モード］（198ページ）をご覧ください。

録画モード	できること
QVGA768k	高画質な映像で転送します。
QVGA384k	データサイズを小さくして、より高速に映像を転送します。

転送先の機器や、録画モードによって記録できる時間が異なります。それぞれの機器で記録できる時間については、下記をご覧ください。

“PSP”などに挿入した“メモリースティックPROデュオ”に記録できる時間

録画モード	記録可能時間（目安）				
	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
QVGA768k	約2時間20分	約4時間50分	約9時間40分*	約19時間20分*	約39時間20分*
QVGA384k	約4時間10分	約8時間30分*	約16時間40分*	約33時間40分*	約68時間20分*

* 2009年3月現在、6時間37分を超える映像が記録されているタイトル（ファイル）は“PSP”では再生できません。ファイルは6時間37分以下になるよう分割してください。
画像の内容によって、記録できる時間は異なります。

“ウォークマン”に記録できる時間

録画モード	記録可能時間（目安）	
	16GB	32GB
QVGA768k	約35時間00分*	約71時間00分*
QVGA384k	約61時間00分*	約124時間30分*

* 2009年3月現在“ウォークマン”や携帯電話は、2GBを超えるタイトル（ファイル）を再生できません。ファイルサイズが2GB以下になるようにファイルを分割してください。
画像の内容によって、記録できる時間は異なります。

おでかけ転送についての制限事項

- 「録画1」で録画中は転送や変換はできません。また本機のHDDへ映像を戻す、おかえり転送（183ページ）もできません。
- [アイコン] が付いたタイトルはおでかけ転送できません。
- 「録画2」に録画中のときは、高速転送でのみ、おでかけ転送ができます。
- 以下の状況やタイトルの場合は、高速転送できません。
  － 録画したタイトルを編集したとき
  － 録画モード、映像や音声の信号、おでかけ転送機器の設定を変更したとき
  － 録画時におでかけ転送用動画ファイルが同時生成されないタイトル(177ページ)
- アクトビラからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送するときは、本機をインターネットにつないでください（「準備編」の「［準備5］電話回線／ネットワークにつなぐ」）。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルのおでかけ転送を中止した場合は、必ず同じ機器やメディアで転送を再開してください。タイトルによっては、おでかけ転送を中止したタイトルを違う種類の機器やメディアに転送することが禁止されている場合があります。
- アクトビラからダウンロードした、視聴年齢制限されたタイトルをおでかけ転送するときは、画面にしたがって、[ツールボックス] －［年齢制限設定］の［暗証番号設定］で設定した暗証番号を入力してください（205ページ）。20歳未満制限付きタイトルは、視聴年齢制限されていると、おでかけ転送画面などでタイトルが表示されません。この場合は、あらかじめタイトルリストで任意のタイトルを選び、[オプション] を押して［視聴制限一時解除］を選んで、画面にしたがって暗証番号を入力して、すべてのタイトルを表示させてから操作してください。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルには、有効期限が指定されているものがあります。有効期限を確認するには、「タイトルの情報を確認するには」（85ページ）でタイトル情報画面を表示してください。
- アクトビラからダウンロード中におでかけ／おかえり転送すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

おでかけ転送の準備をする

HDD

おでかけ転送する機器を設定する

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。

4 ホーム を押す。

5 ←→で （設定）を選ぶ。

6 ↑↓で （ビデオ設定）を選び、決定 を押す。

7 ↑↓で[おでかけ転送機器]を選び、決定 を押す。

8 ↑↓で転送したい機器を選び、決定 を押す。
"mylo"や携帯電話におでかけ転送するときは[ウォークマン]、"メモリースティックPROデュオ"におでかけ転送するときは[PSP]を選んでください。

高速転送するための準備をする

おでかけ転送で高速転送を利用するには、録画時におでかけ転送用動画ファイルを生成するための設定が必要です。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （設定）を選ぶ。

3 ↑↓で （ビデオ設定）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で[おでかけ転送 高速転送録画]を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で[入]を選び、決定 を押す。
高速転送する場合は、「録画1」で録画してください。
「録画2」で録画された番組（タイトル）は高速転送できません。

デジタル放送の字幕も録画した状態で転送する

録画する前に[ビデオ設定]の[字幕焼きこみ]（198ページ）を[入]にして、番組を録画してください。
なお、字幕が記録されたタイトルから字幕を削除できません。
アクトビラからダウンロードしたタイトルの場合は、オプション の[信号選択]で選んだほうの設定が優先されます。

二か国語放送の映像（タイトル）を転送する

録画する前に[ビデオ設定]の[二重音声記録]（197ページ）を[主音声]または[副音声]にして録画してください。設定された音声が転送されます。

ご注意

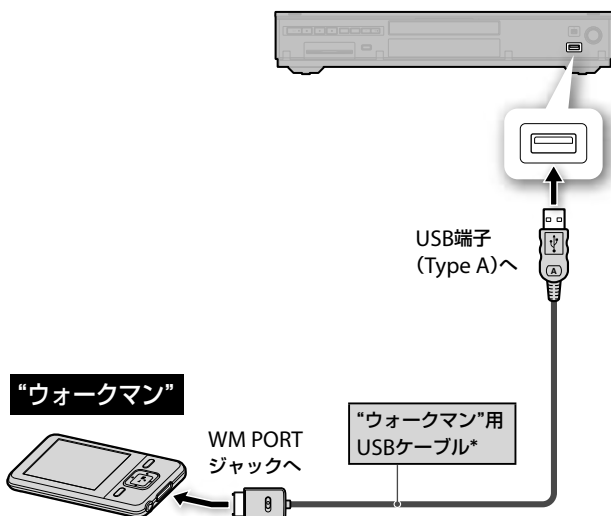
- 転送中に次の状態になった場合は、本機と転送先の両方から映像が消去される可能性があります。
  －転送先機器の電源を切ったとき
  －USBケーブルを抜いたとき
  －停電になったとき
  転送中に転送先機器の電源が切れないよう、あらかじめバッテリーの残量を確認してください。
- ホームサーバー機能を利用して、本機の映像（タイトル）を他機器が再生しているときにおでかけ転送を行うと、他機器の再生が停止します。
- HDDの録画可能時間は、[ビデオ設定]の[おでかけ転送 録画モード]の設定（198ページ）により異なります。
- 本機につないだビデオデッキなどの外部機器から、通常再生以外（早送り再生など）の再生方法で録画したタイトルをおでかけ転送すると、映像が乱れることがあります。
- "ウォークマン"や"メモリースティックPROデュオ"にパソコンなどを使って作成したファイルなどがあるときは、おでかけ転送用動画ファイルを"ウォークマン"や"メモリースティックPROデュオ"に転送しても再生できない場合があります。

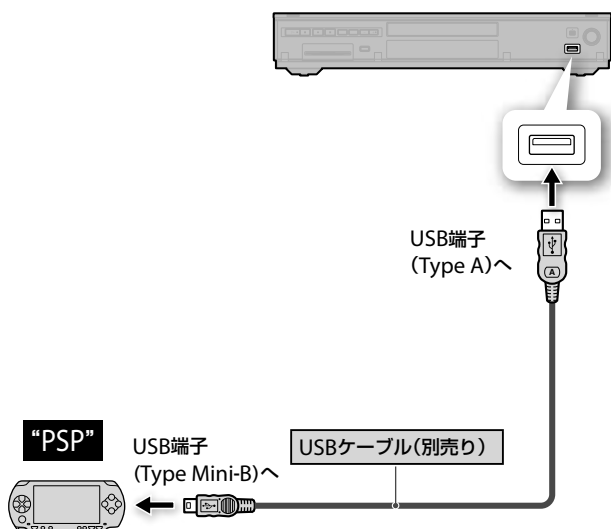
おでかけ転送する

HDD

1 接続する機器の電源を入れる。
"PSP"の場合は"PSP"側の から[USB接続]を選び、USBモードに切り換えます。ソフトウェアバージョンが5.00以降の"PSP"は、USB自動接続が「入」に設定されているとき、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。"PSP"の操作方法について詳しくは"PSP"の取扱説明書をご覧ください。

2 "ウォークマン"や"PSP"を、本機のUSB端子につなぐ。

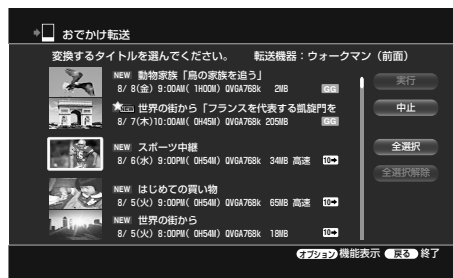
"ウォークマン"をつなぐ

* 詳細についてはお使いの"ウォークマン"の取扱説明書をご覧ください。

"PSP"をつなぐ

3 ホーム を押す。

4 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

5 ↑↓で (おでかけ・おかえり転送)を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で (おでかけ転送)を選び、決定 を押す。
おでかけ転送画面が表示されます。

7 ↑↓で転送したい映像を選び、決定 を押す。

- 高速転送できる映像(タイトル)には 高速 が表示されます。
- 複数の映像を転送したいときは、手順7をくり返してください。
- 一度に30個の映像まで選択できます。[全選択]を選ぶと、上から順に30個の映像が選ばれます。[全選択解除]を選ぶと、選んだ映像をすべて取り消せます。
- タイトルを選んで オプション を押すと、転送方法や、モードなどの設定ができます(188ページ)。

8 ↑↓←→で[実行]を選び、決定 を押す。
選んだ映像が転送されます。
映像を転送している間は、転送先機器の電源を切らないでください。

転送をやめるには

おでかけ転送の進捗画面で[停止]を選び 決定 を押します。

ちょっと一言

- 本機後面のUSB端子も使用できます。前面と後面の両方のUSB端子につないだ場合は、前面端子につないだ機器に転送します。
- 手順7の画面で高速表示がないタイトルを選ぶと、ファイルを作成(変換)してから転送を行います。
- 手順7以降で転送に使うUSB端子を変更したいときは、おでかけ転送を中止し、ホームメニューを表示している状態でUSB機器をつなぎ直してください。
- 手順4のあと↑↓で転送したいタイトルを選び、オプション を押して、[おでかけ転送] — [選択転送]を選んでもおでかけ転送できます。

転送先の空きが足りないときは

確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと、途中まで転送できます。転送先のメモリーの空きを増やすには、転送先の機器を操作して不要なファイルを消去してください。

グループごとにまとめて転送する(グループ一括転送)

選んだグループに含まれる映像(タイトル)を、一括して転送します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で (ビデオ)を選ぶ。

3 タイトルがグループ化されていない場合、黄(黄)を押す。
タイトルがグループごとに分類されます。

4 ↑↓でグループを選び、決定 を押す。

5 ↑↓で転送したいタイトルのグループ(フォルダ)を選び、オプション を押す。

6 ↑↓で[おでかけ転送]を選び、決定 を押す。

7 ↑↓で[グループ内すべて]を選び、決定 を押す。

8 ←→で[実行]を選び、決定 を押す。
おでかけ転送が開始されます。
おでかけ転送が終わると、ホームメニューに戻ります。

グループ内の複数の映像を選んで転送する

1 「グループごとにまとめて転送する(グループ一括転送)」の手順7で[グループ内選択]を選び、決定 を押す。

2 ↑↓で転送したい映像を選び、決定 を押す。

3 転送したいすべての映像を選んだら、↑↓←→で[確定]を選び、決定 を押す。

おでかけ転送画面で オプション を押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「"ウォークマン"や"PSP"に映像を転送する」で利用できるオプション」(188ページ)をご覧ください。

高速転送中に他の操作を行ったり、おでかけ転送の進捗画面に戻るには

高速転送中は、いったんホームメニューに戻り、テレビを見たりHDDのタイトルを再生したりできます。ホームメニューに戻るには、おでかけ転送の進捗画面で[閉じる]を選び 決定 を押します。
おでかけ転送の進捗画面に戻るには、「おでかけ転送する」(180ページ)の手順3 ～ 6を行ってください。
また、番組視聴中やタイトル再生中に、オプション を押し、↑↓で[おでかけ進行状況]を選んでも戻れます。

ちょっと一言

- おでかけ転送用動画ファイルの転送中や作成(変換)中に本機の電源を「切」にしても、転送や作成(変換)は続きます。
- [おでかけ転送機器](198ページ)の設定と異なる機器をつないだ場合、つないだ機器に合わせたファイルを自動的に作成してから転送します。
- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルをおでかけ転送すると、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。あらかじめ の[おでかけ転送 再生位置同期]を[入]にしてください(198ページ)。
対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html

ご注意

- タイトルの転送を途中でやめた場合は、"ウォークマン"や"PSP"にタイトルは残りません。
- 高速転送中に他の操作を行った場合、転送にかかる時間が通常より長くなることがあります。
- 転送中のタイトルを再生することはできません。
- 「録画2」で録画したタイトルは高速転送できません。

次のページにつづく⇨

見どころシーンを中心に転送する（ダイジェスト転送）

録画した映像（タイトル）の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、タイトルの中で見どころと思われるシーンを中心としたタイトルを作成して転送します。「録画1」で録画したタイトルのみダイジェスト転送できます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で （おでかけ・おかえり転送）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で （おでかけ転送）を選び、決定 を押す。
おでかけ転送画面が表示されます。

5 ↑↓でダイジェスト転送したいタイトルを選び、青（青）を押す。
- 選んだタイトルの左側に D （ダイジェストマーク）が表示されます。
- 複数の映像を転送したいときは、手順5をくり返してください。
- タイトルを選び、オプション を押して［ダイジェスト設定］を選ぶと、タイトルの長さを設定できます。
- ダイジェスト転送には選んだ映像のダイジェスト再生と同程度、またはそれ以上の時間がかかります。

6 ↑↓←→で［実行］を選び、決定 を押す。
選んだ映像がダイジェスト転送されます。
映像を転送している間は、転送先機器の電源を切らないでください。

ダイジェスト再生できない映像はダイジェスト転送できません。ダイジェスト再生できない映像について詳しくは、93ページをご覧ください。

途中まで視聴／転送した映像を続きから転送する

HDD

HDD内で途中まで再生した映像（タイトル）や、前回途中まで転送した映像を、続きから転送し、"ウォークマン"や"PSP"で楽しめます。
 の付いたタイトルで、転送先の"ウォークマン"や"PSP"では先頭に⇔の付いたタイトルは、本機におかえり転送してから以下の手順を行ってください（183ページ）。

1 接続する機器の電源を入れる。
"PSP"の場合は"PSP"側の から［USB接続］を選び、USBモードに切り換えます。ソフトウェアバージョンが5.00以降の"PSP"は、USB自動接続が「入」に設定されているとき、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。"PSP"の操作方法について詳しくは"PSP"の取扱説明書をご覧ください。

2 "ウォークマン"や"PSP"をつなぐ。
接続方法については、180ページをご覧ください。

3 ホーム を押す。

4 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

5 ↑↓で （おでかけ・おかえり転送）を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で （おでかけ転送）を選び、決定 を押す。
おでかけ転送画面が表示されます。

7 ↑↓で、続きから転送したいタイトルを選び、決定 を押す。

8 ←→で［続きから］を選び、決定 を押す。

9 ↑↓←→で［実行］を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルをおでかけ転送すると、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。あらかじめ の［おでかけ転送 再生位置同期］を［入］にしてください（198ページ）。
対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html

ご注意

- ダイジェスト転送は"ウォークマン"や"PSP"をつないでいるときのみ可能です。
- タイトルリストの映像（タイトル）が498以上の場合はダイジェスト転送できません。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルは続きから転送できません。

本機のハードディスクに映像を戻す（おかえり転送）HDD

1➡ ～ 10➡ の付いた映像（タイトル）をおでかけ転送した場合、ダビング可能回数の数字は減りますが、おかえり転送すると、もとの数字に戻ります。
1➡ の付いたタイトルを転送した場合、映像（タイトル）とおでかけ転送用動画ファイルは本機のHDDに残りますが、転送先の映像を本機に戻すまでタイトルリストから再生できなくなります。
次の手順で映像を戻してください。

1 接続する機器の電源を入れる。
"PSP"の場合は"PSP"側の から［USB接続］を選び、USBモードに切り換えます。ソフトウェアバージョンが5.00以降の"PSP"は、USB自動接続が「入」に設定されているとき、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。"PSP"の操作方法について詳しくは"PSP"の取扱説明書をご覧ください。

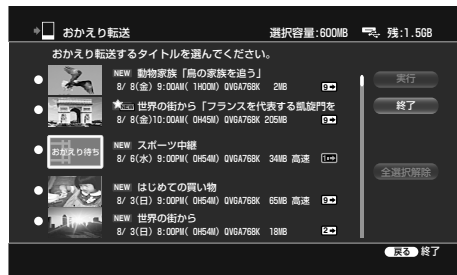
2 "ウォークマン"や"PSP"をつなぐ。
接続方法については、180ページをご覧ください。

3 ホーム を押す。

4 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

5 ↑↓で （おでかけ・おかえり転送）を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で （おかえり転送）を選び、決定 を押す。
おかえり転送画面に、おかえり転送できるタイトルのみ表示されます。

7 ↑↓で本機のHDDに戻したい映像を選び、決定 を押す。
選んだタイトルの横にチェックマークが付きます。チェックマークを消すには、もう一度 決定 を押します。

複数の映像を転送したいときは、手順7をくり返してください。［全選択解除］を選ぶと、選んだ映像をすべて取り消せます。

8 ↑↓←→で［実行］を選び、決定 を押す。
選んだ映像が本機のHDDに戻り、転送先から削除されます。

おかえり転送についての制限事項

以下の状況やタイトルの場合はおかえり転送できません。

- 「録画1」で録画中のとき
- おでかけ転送先の機器でタイトルを消去したとき（本機のHDDに残っているおかえり待ちのタイトルは再生できなくなりますので、タイトルを消去してください）
- おでかけ転送したタイトルを本機のHDDで消去したり、A-B消去やタイトル分割などの編集をしたとき（転送したタイトルが不要になった場合は、転送先機器でタイトルを消去してください）
- アクトビラからダウンロードしたタイトル

ちょっと一言

- 更新転送（186ページ）で送ったタイトルをメニュー画面を使っておかえり転送すると、更新期間内でもワンタッチ転送リストからタイトルが削除されます。
- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルをおかえり転送すると、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。あらかじめ の［おでかけ転送 再生位置同期］を［入］にしてください（198ページ）。
  対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html

ご注意

- ［ワンタッチ転送 更新転送］（186ページ）を［切］に設定したときに、転送したタイトルを転送先機器から消去したいときは、以下の方法で消去してください。
  コピー制御信号を含まないタイトル：転送先機器でタイトルを消去してください。タイトルの消去方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
  1➡ または 1➡ ～ 10➡ のコピー制御信号を含むタイトル：おかえり転送で本機に戻してください。
- 1➡ または 1➡ ～ 10➡ の付いたタイトルをおでかけ転送して本機のHDDに戻した場合（おかえり転送）、転送先の映像は消去されます。
- 同じタイトルを同じ機器に複数回おでかけ転送した場合、おでかけ転送した日時が一番古いタイトルから、1タイトルずつおかえり転送します。

ワンタッチで転送する

HDD

番組表から録画予約するときにワンタッチ転送の設定をすると、本機前面のワンタッチ転送ボタンを押すだけで、タイトルを、"ウォークマン"や"PSP"におでかけ転送できます。

ワンタッチ転送の準備をする

ワンタッチ転送するときは、録画予約時にワンタッチ転送の設定が必要です。
予約時にワンタッチ転送の設定をしていない番組は、ワンタッチ転送できません。「おでかけ転送する」(180ページ)をご覧になり、転送してください。

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

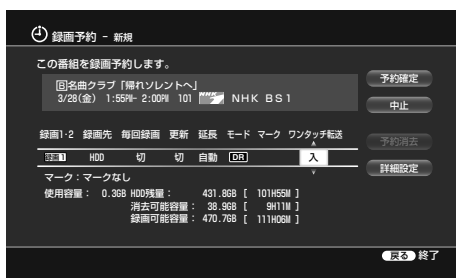
2 本機の電源を入れる。

3 テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。

4 (予約する) を押す。

5 ↑↓で番組表を選び、(決定) を押す。

6 ↑↓←→で録画したい番組を選び、(決定) を押す。

7 ←→で[ワンタッチ転送]を選び、↑↓で[入]を選ぶ。

必ず「録画1」と[HDD]を選んでください。他の項目も必要に応じて変更します。

8 ←→で[予約確定]を選び、(決定) を押す。
ワンタッチ転送の設定をした番組が録画されると、録画した番組が[ワンタッチ転送リスト]に表示されます。

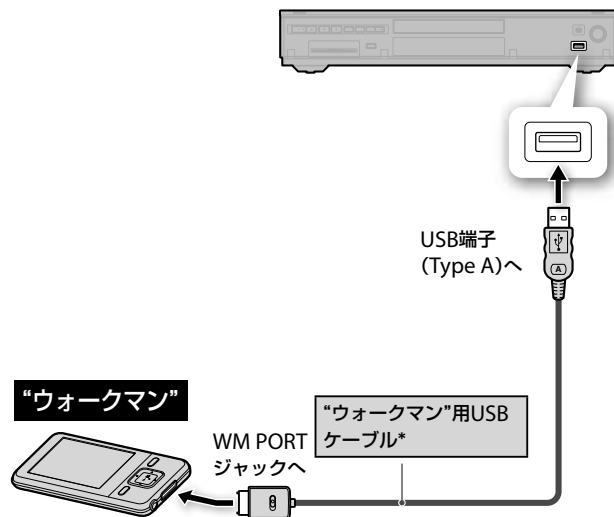
[ワンタッチ転送リスト]の表示方法は、「ワンタッチ転送するタイトルを確認する・取り消す(ワンタッチ転送リスト)」(186ページ)をご覧ください。

ワンタッチ転送する

1 本機の電源を入れる。

2 接続する機器の電源を入れる。
"PSP"の場合は"PSP"側の (ツールボックス) から[USB接続]を選び、USBモードに切り換えます。ソフトウェアバージョンが5.00以降の"PSP"は、USB自動接続が「入」に設定されているとき、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。"PSP"の操作方法について詳しくは"PSP"の取扱説明書をご覧ください。

3 "ウォークマン"や"PSP"を、本機のUSB端子につなぐ。

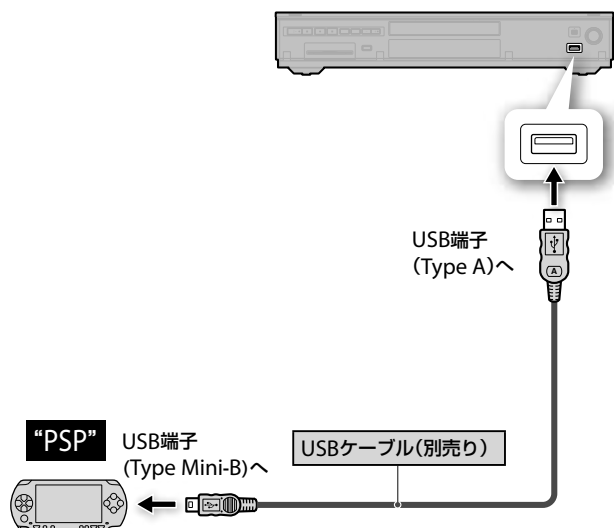
"ウォークマン"をつなぐ

* 詳細についてはお使いの"ウォークマン"の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- 本機後面のUSB端子も使用できます。前面と後面の両方のUSB端子につないだ場合は、前面端子につないだ機器に転送します。
- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルをワンタッチ転送すると、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。あらかじめ (ツールボックス) の[おでかけ転送 再生位置同期]を[入]にしてください(198ページ)。
  対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/index.html

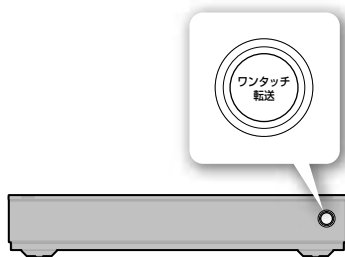
ご注意

- 日時指定予約からワンタッチ転送したい番組を選ぶことはできません。
- 録画予約の設定で「録画1」を「録画2」に変更すると、ワンタッチ転送の設定は[切]に戻り、ワンタッチ転送できなくなります。
- 「録画2」で録画したタイトルはワンタッチ転送できません。

“PSP”をつなぐ

接続し、本機が“ウォークマン”や“PSP”を認識すると、**白く点灯します**。白く点灯するまでお待ちください。

4 **本機前面のワンタッチ転送ボタンを押す。**

［ワンタッチ転送リスト］に表示されている番組を転送します。

タイトルを転送している間は、USBケーブルを抜かないでください。

ワンタッチ転送ボタンを押すと「しばらくお待ちください」と表示され、ワンタッチ転送ボタンが白く点滅します。しばらくするとワンタッチ転送ボタンがオレンジ色に点灯し転送が開始されます。転送できない場合はオレンジ色に点滅します。

転送中に電源を切っても転送が終了するまで転送は続きます。

高速起動モードのときは

高速起動モードのときは、本機の電源が「切」の状態でも、ワンタッチ転送ボタンを押せば、本機の電源が自動的に入りワンタッチ転送できます。

ワンタッチ転送ボタンを押すと、ワンタッチ転送ボタンが白く点滅しながら本機が起動します*。その後“ウォークマン”や“PSP”を本機が認識すると、白く点灯します。

* 本機の起動時にディスクが入っている場合、ディスクを読み込むまでしばらく時間がかかります。

しばらくすると、ワンタッチ転送ボタンがオレンジ色に点灯し転送が開始されます。転送できない場合はオレンジ色に点滅します。

転送終了後、電源は自動的に切れませんのでご注意ください。

転送中に本機の電源を切っても、転送が終了するまで転送は続きます。

転送が終了すると

本機の電源が「入」になっている場合、転送が終了すると、ワンタッチ転送ボタンが白く点灯します。

本機の電源が「切」になっている場合、転送が終了すると、ワンタッチ転送ボタンが消灯します。

ご注意

- ワンタッチ転送リストからタイトルを消去すると、消去したタイトルはワンタッチ転送できなくなります。メニュー画面を使って転送してください。
- ワンタッチ転送で転送先の容量が不足し、すべて転送できない場合、ワンタッチ転送リストの録画日時の古い順から転送先機器の容量に収まる分まで転送します。ただし、更新転送の場合は、未転送のタイトルを優先して転送します。

次のページにつづく⇨

一定期間のワンタッチ転送対象タイトルに、転送先機器内のタイトルを同期させる（更新転送）

ワンタッチ転送の設定を[入]にして録画したタイトルのうち一定期間のタイトルが更新転送対象タイトルとなり、ワンタッチ転送リストに表示されます。

ワンタッチ転送リストにあるタイトルのうち、転送先機器（"ウォークマン"や"PSP"）にないタイトルは自動的におでかけ転送され、すでに更新転送されて転送先機器にあり、ワンタッチ転送リストにないタイトルは転送先機器から自動的に消去されます（「1回だけ録画可能」なタイトルの場合は消去ではなく、おかえり転送されます）。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （設定）を選ぶ。

3 ↑↓で （ビデオ設定）を選び 決定 を押す。

4 ↑↓で[ワンタッチ転送 更新転送]を選び 決定 を押す。

5 ↑↓で更新期間を選び 決定 を押す。

[最新3日間分][最新1週間分][最新2週間分]から選べます。ワンタッチ転送対象タイトルは選んだ設定により変化しますので、ワンタッチ転送リスト（186ページ）でご確認ください。

以上で設定は終了です。設定終了後、ワンタッチ転送を行うと、更新転送が実行されます。

[ワンタッチ転送 更新転送]の設定を[切]にすると、更新転送は行わず、ワンタッチ転送対象タイトルを録画日の古い順に転送します。

更新転送したタイトルを本機内で消去すると、次に更新転送したときに、転送先機器内からもそのタイトルは消去されますのでご注意ください。

ワンタッチ転送するタイトルを確認する・取り消す（ワンタッチ転送リスト）

選んだ映像（タイトル）のワンタッチ転送を取り消します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で （おでかけ・おかえり転送）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で （ワンタッチ転送リスト）を選び、決定 を押す。

転送されるタイトルの一覧が表示されます。

5 ↑↓で取り消したいタイトルを選び、決定 を押す。

6 ←→で[はい]を選び、決定 を押す。

複数の映像を選んでワンタッチ転送を取り消す（転送選択取消）

1 ホーム を押す。

2 ←→で （ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で （おでかけ・おかえり転送）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で （ワンタッチ転送リスト）を選び、決定 を押す。

転送されるタイトルの一覧が表示されます。

5 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

6 ↑↓で[転送選択取消]を選び、決定 を押す。

7 ↑↓で取り消したいタイトルを選び、決定 を押す。

選んだタイトルの横にチェックマークが付きます。チェックマークを消すにはもう一度 決定 を押します。[全選択解除]を選ぶと、選んだ映像をすべて解除できます。

8 取り消したいすべてのタイトルを選び、↑↓←→で[確定]を選んで、決定 を押す。

9 ←→で[はい]を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

- 更新転送は本体のワンタッチ転送リストにある内容に転送機器内の内容を一致させます。したがって、転送機器側でファイルを削除しても、リスト上に存在するタイトルがあれば、同じファイルを再度転送します。
- [ワンタッチ転送 更新転送]の設定を[切]にしてもワンタッチ転送できます。

ワンタッチ転送の設定をして録画したタイトルでも、以下の場合、ワンタッチ転送リストから消去されるため、ワンタッチ転送できません

- タイトルを消去したとき
- 映像(タイトル)を編集(A-B消去/タイトル分割/チャプター消去/チャプター編集/タイトル結合)したとき
- ダイジェスト転送をしたとき
- 更新転送(186ページ)が「切」で、下記の場合
  - ワンタッチ転送で転送済みのとき(184ページ)
  - メニュー画面を使っておでかけ転送したとき(180ページ)
  - 以前に更新転送を行ったことがあるタイトルで、録画の日から2週間以上経過したとき
- 更新転送(186ページ)が「切」以外で、下記の場合
  - メニュー画面からおかえり転送したとき(183ページ)
  - 更新転送(186ページ)で設定した期間を過ぎたとき

ワンタッチ転送の制限について

機器や接続、設定が以下の状態のときは正常にワンタッチ転送できなくなります。症状別に次の原因をご確認ください。

録画予約画面の[ワンタッチ転送](43ページ)で[入]に設定してもワンタッチ転送されない

以下の場合に発生します。

- ワンタッチ転送リストに表示されていないとき(186ページ)
- おでかけ転送中のとき
- 1➡ の付いたタイトルで、プレイリストが作成されているとき
- 1➡ の付いたタイトルで、タイトルがプロテクトされているとき
- 録画時点の[おでかけ転送機器]の設定とは異なる機器が接続されていたとき("PSP"転送用ファイルを"ウォークマン"、"ウォークマン"転送用ファイルを"PSP"へはワンタッチ転送できません)。
- デジタル放送の録画タイトルに対してコピー制御信号に対応しない機器やメモリースティックが転送先に使用されていたとき

一部のタイトルしか転送されない

以下の場合に発生します。

- 転送先機器の容量が不足していたとき
- 転送中に「録画1」の予約が重複したとき(「録画1」の録画が終わってからもう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます)
- 転送タイトルが31タイトル以上あったとき(もう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます)

全く転送されない

以下の場合に発生します。

- 「録画1」で録画中のとき
- 接続された機器に合う転送用ファイルが作成されていなかったとき
- DVDのファイナライズ中だったとき
- 接続機器やメディアが書き込み禁止だったとき
- 接続機器やメディアの残量が転送する最初のタイトルの容量よりも小さかったとき
- [本体設定]の[スタンバイモード](203ページ)が[標準]に設定され、本機の電源が入っていなかったとき
- USB機器が正しく接続されていなかったとき
- USBケーブルが断線していたとき
- "メモリースティックPROデュオ"が"PSP"に正しく挿入されていなかったとき
- "PSP"がUSBモードになっていなかったとき
- "PSP"のシステムソフトウェアがバージョン2.80以前の状態で8GB以上の"メモリースティックPROデュオ"を使用していたとき

ご注意

アクトビラからダウンロード中にワンタッチ転送すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

「"ウォークマン"や"PSP"に映像を転送する」で利用できるオプション

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
さ行	**信号選択***	複数の映像または音声が記録されている映像を転送するときに設定できます。[映像]または[音声]で転送する信号を選んでください。アクトビラからダウンロードした映像(タイトル)では[字幕]も選べます。
	選択	タイトルを選びます。
	選択解除	タイトルの選択を解除します。
た行	**ダイジェスト設定**	[転送方法]で[ダイジェスト]を選んだときの、映像の長さを設定できます。
	転送選択取消	複数のタイトルを選んでワンタッチ転送を取り消します。
	転送取消	1件のタイトルのワンタッチ転送を取り消します。
	転送方法	"ウォークマン"や"PSP"への転送方法を選べます。[ダイジェスト]を選ぶと、見どころシーンを中心に転送できます(ダイジェスト転送、「録画1」で録画したタイトルのみ)。おでかけ転送画面に D(ダイジェストマーク)が表示されます。
	通常	通常タイトルと同一内容のおでかけ転送用動画ファイルを生成し転送します。
	ダイジェスト	見どころシーンを中心に転送できます(ダイジェスト転送、「録画1」で録画したタイトルのみ)。おでかけ転送画面に D(ダイジェストマーク)が表示されます。
ま行	**モード***	転送する映像の録画モードを設定します。
	QVGA768k	QVGA 768kbpsの映像を転送します。
	QVGA384k	QVGA 384kbpsの映像を転送します。

* [信号選択]や[モード]の設定を変更すると、高速転送できなくなり、再生時間と同程度の転送時間がかかります。

設定を変更する

本機の設定を変更する

設定画面でチャンネルや画質・音質などのさまざまな設定ができます。

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 テレビの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。

4 ホーム を押す。

5 ←→で （設定）を選ぶ。

6 ↑↓で設定したい項目を選び、決定 を押す。

各設定項目の詳細については、右の設定カテゴリー一覧に記載されているページをご覧ください。

設定カテゴリー 機能一覧

アイコン	説明
	お問い合わせ（191ページ） 商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。
	お知らせ（191ページ） 本機や放送局からのお知らせメールなどをご確認いただけます。
	放送受信設定（192ページ） 受信設定やチャンネル設定などを行います。
	ビデオ設定（197ページ） 録画の詳細設定を行います。
	映像設定（199ページ） つないだ端子にあわせた映像設定などを行います。
	音声設定（201ページ） つないだ端子にあわせた音声設定などを行います。
	フォト設定（202ページ） スライドショーの効果などを設定します。
	本体設定（203ページ） 本体全般の設定を行います。
	BD/DVD視聴設定（204ページ） BDやDVDを視聴するときの詳細設定を行います。
	年齢制限設定（205ページ） 暗証番号と制限レベルを設定します。
	通信設定（206ページ） 電話回線やネットワークなど通信の詳細設定を行います。
1・2・3	**かんたん設定（211ページ）** 基本的な設定を順に行います。
	設定初期化（211ページ） お買い上げ時の状態に戻します。

お問い合わせ	商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。

お知らせを見る（お知らせ）

メール 放送メール	放送局からお客様へのお知らせのメールを見ることができます。 **ご注意** 受信してから14日以上経ったメールは、未開封でも自動的に削除されます。 **メールマークの意味** （既読）：すでに読んだメール （未読）：まだ読んでいないメール メールはお客様自身で削除できません。
メール 自己メール	予約や録画、ダビングの結果、ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。
ボード	110度CSデジタル放送から利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。
ルートCA証明書	見たいルートCA証明書を選び、決定 を押すと、詳細が表示されます。 選んだルートCA証明書を削除するには、[削除]を選び、決定 を押します。 **ちょっと一言** ルートCA証明書はルートCA（認証機関）が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。セキュリティ情報をやりとりするときに、接続先のセキュリティサイトの証明書が確認され、信頼するかどうかを決定できます。

次のページにつづく⇨

受信する放送の設定を行う（放送受信設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

ご注意

チャンネル設定を変更すると、変更前に登録した録画予約が正しく行われないことがあります。チャンネル設定を変更した場合は、録画予約を登録し直してください。

地上デジタルチャンネル設定 受信している地上デジタル放送の選局方法などが設定できます。	**[アップダウン選局]** リモコンのチャンネル＋／－ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：[ワンタッチ選局]が選ばれているときに設定されます。チャンネル＋／－で選局できます。 **選局する**：チャンネル＋／－で選局できるようになります。 **選局しない**：チャンネル＋／－で選局できません。[選局しない]を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 [臨時チャンネル]と表示されているときは、[選局する]や[選局しない]に変更できません。 すべてのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の[全選局]や[全選局解除]を選んでください。 [全選局]を選ぶと、[ワンタッチ選局]の設定は[初期スキャン]時の状態に戻ります。 また、[全選局解除]を選ぶと、[ワンタッチ選局]の設定もすべて解除されます。 **[ワンタッチ選局]** リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。 **1　↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、決定 を押す。** **2　←→で[ワンタッチ選局]を選ぶ。** **3　↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、決定 を押す。** ワンタッチ選局を登録すると、[アップダウン選局]の設定が[必ず選局]になります。
地上デジタルチャンネルスキャン 「準備編」の「[準備8]かんたん設定をする」を行うと地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。ただし、県域が変わった場合や、他にも受信できるチャンネルがある場合には、チャンネルスキャンをやり直してください。	**1　県域に変更があるときは、↑↓で[県域]にお住まいの地域を選び、→を押す。** **2　[初期スキャン]または[再スキャン]を選び、決定 を押す。** **初期スキャン**：全チャンネルを再設定します。 **再スキャン**：新しく受信できたチャンネルが追加されます。県域を変更した場合は選べません。 チャンネルスキャンが終わると、スキャン結果画面が表示されます。 **ちょっと一言** 地上デジタル放送のチャンネルが増減した場合、チャンネルの再スキャンが必要になります。電源を入れたときに表示される指示にしたがってください。スキャンを行った後は、録画予約が正しく行われないことがありますので、予約を設定し直してください。
地上デジタル自動スキャン設定 地上デジタル放送のチャンネル変更に合わせて自動的に本機のチャンネルを変更するかを選びます。	**1　決定 を押す。** **2　↑↓で設定を選び、決定 を押す。** **入**：地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信時に、本機が自動的にチャンネルスキャンを行います。通常はこの設定にします。 **切**：チャンネルスキャンを自動で行いません。 **ご注意** [切]を選んだ場合、チャンネルが変更された放送は選局できなくなることがあります。[放送受信設定]の[地上デジタルチャンネルスキャン]で[初期スキャン]を選び、手動でチャンネルスキャンを行ってください。
地上デジタルアンテナレベル 地上デジタル放送の受信状態を確認できます。	**1　決定 を押す。** **2　↑↓で受信状態を見たいチャンネルを選ぶ。** **3　受信状態を確認しながら、アンテナの向きを調整する。**

BSデジタルチャンネル設定 受信しているBSデジタル放送の選局方法などが設定できます。	**[アップダウン選局]** リモコンのチャンネル＋／－ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：[ワンタッチ選局]が選ばれているときに設定されます。チャンネル＋／－で選局できます。 **選局する**：チャンネル＋／－で選局できるようになります。 **選局しない**：チャンネル＋／－で選局できません。[選局しない]を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 「臨時チャンネル」と表示されているときは、[選局する]や[選局しない]に変更できません。 すべてのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の[全選局]や[全選局解除]を選んでください。 [全選局]を選ぶと、[ワンタッチ選局]の設定は[初期スキャン]時の状態に戻ります。 また、[全選局解除]を選ぶと、[ワンタッチ選局]の設定もすべて解除されます。 **[ワンタッチ選局]** リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。 **1　↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、決定 を押す。** **2　←→で[ワンタッチ選局]を選ぶ。** **3　↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、決定 を押す。** ワンタッチ選局を登録すると、[アップダウン選局]の設定が[必ず選局]になります。
CSデジタルチャンネル設定 受信している110度CSデジタル放送の選局方法などが設定できます。	**[アップダウン選局]** リモコンのチャンネル＋／－ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：[ワンタッチ選局]が選ばれているときに設定されます。チャンネル＋／－で選局できます。 **選局する**：チャンネル＋／－で選局できるようになります。 **選局しない**：チャンネル＋／－で選局できません。[選局しない]を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 [臨時チャンネル]と表示されているときは、[選局する]や[選局しない]に変更できません。 すべてのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の[全選局]や[全選局解除]を選んでください。 [全選局]を選ぶと、[ワンタッチ選局]の設定は[初期スキャン]時の状態に戻ります。 また、[全選局解除]を選ぶと、[ワンタッチ選局]の設定もすべて解除されます。 **[ワンタッチ選局]** リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。 **1　↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、決定 を押す。** **2　←→で[ワンタッチ選局]を選ぶ。** **3　↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、決定 を押す。** ワンタッチ選局を登録すると、[アップダウン選局]の設定が[必ず選局]になります。
BS/CSデジタルアンテナレベル 受信中のBS/110度CSデジタル放送の受信状態を確認できます。アンテナレベルができる限り最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。	BS/110度CSデジタル放送の映像がテレビに映った状態で、必要に応じて[最大値]の数字がより大きくなるようにBS/110度CSアンテナを動かして固定します。 **ちょっと一言** • 「BS/CSデジタルアンテナレベル」は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/Nの換算値を表します。 • リモコンの BS、CS を使って、BS/CSのアンテナレベルの表示を切り換えることができます。

次のページにつづく⇨

BS/CSデジタルアンテナ電源 BS/110度CSアンテナへの電源供給を設定します。	**自動**：本機の電源を入れたときに、本機が衛星アンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。 **切**：電源を供給しません。 **ちょっと一言** [自動]に設定しているときに、つないだアンテナのショートを検出すると電源供給を停止します。再度[自動]に設定するには、本機の電源を入れ直してください。
デジタル放送地域設定 地域特有の放送を受信できるように、郵便番号と県域を設定します。	**1** **[郵便番号]を選び、決定 を押す。** **2** **↑↓←→または 1～10 で7桁の郵便番号を入力し、決定 を押す。** **3** **[県域]を選び、決定 を押す。** **4** **↑↓でお住まいの地域を選び、決定 を押す。** **ご注意** お住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信してしまいます。
文字スーパー表示 地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報を「文字スーパー」と呼びます。文字スーパー放送は最大2言語の放送が行われます。 デジタル放送では、第1音声（日本語）、第2音声（英語）のように、同時に複数の音声信号による放送を行うことがあります。その場合に表示される文字スーパーも、[第一言語]、[第二言語]のような表示が行われ、切り換えることができます。	**切**：文字スーパーを表示しません。 **第一言語**：文字スーパー放送が行われているときに、第一言語の文字スーパーを表示します。 **第二言語**：文字スーパー放送が行われているときに、第二言語の文字スーパーを表示します。 **ご注意** 放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。
地上アナログチャンネル設定 地上アナログ放送のチャンネル設定では右の6項目が設定できます。	**[表示CH]（表示チャンネル）** 受信している放送のチャンネル番号表示を、お使いのテレビや新聞のテレビ欄などの表示に合わせることができます。 **1** **↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。** **2** **←→で[表示CH]を選ぶ。** **3** **↑↓で番号を選び、決定 を押す。** 選んだ番号が放送のチャンネル番号表示になります。 **ご注意** • 録画予約が設定されているときに、表示チャンネルを変更しないでください。変更すると、録画予約が正しく行われないことがあります。 • [表示CH]を[--]に設定すると、そのCHが受信できなくなります。 **[受信CH]（受信チャンネル）** 本機で受信する放送を変更できます。 **1** **↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。** **2** **←→で[受信CH]を選ぶ。** **3** **↑↓で受信したいチャンネル番号を選び、決定 を押す。**

項目	内容
地上アナログチャンネル設定（つづき）	**[放送局]** 受信している放送の放送局名を設定できます。放送局名を正しく設定しない場合、アナログ放送の番組表が正しく表示されなくなります。「準備編」の「Gガイド地域番号・放送局表」をご覧になり、正しい放送局名を設定してください。 **1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で[放送局]を選ぶ。** **3 ↑↓で放送局名を選び、決定 を押す。** 放送局名は「準備編」の「Gガイド地域番号・放送局表」をご覧になり、お住まいの地域にあった放送局名を必ず選んでください。 [番号入力]を選ぶと、ガイドチャンネルの番号を直接入力できます。 **[アップダウン選局]** リモコンのチャンネル＋／－ボタンで選局できるようにします。Gガイドのホスト局（「準備編」の「Gガイド地域番号・放送局表」の●の付いている放送局）を[しない]にすると、番組表データが正しく表示できなくなります。 **1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で[アップダウン選局]を選ぶ。** **3 ↑↓で項目を選び、決定 を押す。** **する**：チャンネル＋／－で選局できるようになります。 **しない**：チャンネル＋／－で選局できません。[しない]を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 [初期設定]を選ぶと、[ワンタッチ選局]の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。また、[全選局解除]を選ぶと、[ワンタッチ選局]の設定もすべて解除されます。 **[ワンタッチ選局]** リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。 **1 ↑↓で登録したい放送の行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で[ワンタッチ選局]を選ぶ。** **3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、決定 を押す。** **[微調整]** 受信している映像を見ながら、受信状態を微調整できます。 **1 ↑↓で微調整したい放送の行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で[微調整]を選ぶ。** **3 ↑↓で項目を選び、決定 を押す。** **自動**：映像を自動的に調整します。 **手動**：受信状態の微調整を手動で行います。地上アナログ微調整画面が表示されますので、←→で画面を見ながら映像がきれいに映るように調整し、決定 を押します。
地上アナログチャンネルスキャン	[実行]を選び 決定 を押すと、[地域番号設定]（196ページ）で設定した地域のチャンネルを自動で設定します。
地上アナログ自動ステレオ受信 ステレオ放送を受信したときに、自動的にステレオ音声に切り換えるための設定です。	**入**：ステレオ放送をステレオで出力します。通常はこの設定にします。 **切**：ステレオ放送でもモノラルで出力します。雑音が多いときにこの設定にします。

設定を変更する

次のページにつづく⇨

Gガイド設定 Gガイド(地上アナログ番組表)の設定をします。	[地域番号設定] 本機の地上アナログ番組表を利用するには、お住まいの地域の地域番号を設定して、その地域の番組表を表示させる必要があります。 どの地域番号を選べばよいかわからなくなったときは、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号(「準備編」の「Gガイド地域番号・放送局表」)を選んでください。お住まいの地域の放送局は新聞のテレビ欄などで確認できます。 **1 ↑↓で[地域番号設定]を選び、決定を押す。** **2 ↑↓でお住まいの地域に近い地域を選び、決定を押す。** [番組表取得設定] お住まいの地域により、地上アナログ番組表データの取得チャンネルと取得時刻が異なります。かんたん設定を行うと、自動的に地域ごとの取得チャンネルと取得時刻が設定されます。 誤った放送局(ホスト局)を指定すると、番組情報を正しく受信できなくなりますので、放送局からのお知らせがない限り、変更しないでください。 **1 ↑↓で[番組表取得設定]を選び、決定を押す。** **2 ↑↓で[取得チャンネル]または[取得時刻1]、[取得時刻2]、[取得時刻3]、[取得時刻4]、[取得時刻5]を選び、決定を押す。** **3 ↑↓でチャンネル番号または項目を選び、決定を押す。** **自動**:取得時刻にx-おまかせ・まる録があるときは、x-おまかせ・まる録を優先し、番組表データを取得しません。 **取得する**:取得時刻にx-おまかせ・まる録があっても、番組表データを取得します。x-おまかせ・まる録は実行されません。 設定したい取得時刻が複数あるときは、**2**、**3**の設定をくり返してください。 **4 [戻る]で前の画面に戻る。** **ご注意** • 電源を「切」にしておかないと地上アナログ番組表が取得できません。 • [取得チャンネル]は、ホスト局の都合でデータを送信する放送局(ホスト局)が変更になったとき以外は、手動で変更しないでください。誤って変更すると、番組表を取得できなくなります。 • 本機ではじめて地上アナログ番組表データを受信するまでは、電源を切った状態で1日(24時間)程度かかります。電源コードは抜かないでください。いったん地上アナログ番組表を受信した後は、1日数回ホスト局から送られてくる地上アナログ番組表データを受信するたびに、地上アナログ番組表を更新します。1回の地上アナログ番組表データの受信には、数十分ほどかかります。 • 電波状況によっては、地上アナログ番組表データを受信できない場合があります。また、気象条件などにより、地上アナログ番組表データを受信/更新できないこともあります。これらの場合、地上アナログ番組表は空欄になります。地上アナログ番組表について詳しくは、46ページをご覧ください。 • 本機の日付と時刻が正しく設定されていないと、地上アナログ番組表データを受信/更新できません。時刻の設定について詳しくは203ページをご覧ください。 • 放送局側の都合により、地上アナログ放送の番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。 • 引越した場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な地上アナログ番組表データの受信のためにかんたん設定をやり直すことをおすすめします(「準備編」の「[準備8]かんたん設定をする」)。

録画・再生の設定をする（ビデオ設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	設定
自動チャプターマーク ソニー独自の「シーン検出アルゴリズム」により、無音状態のステレオ音声の検出だけでなく、音楽と会話の境など音の切り換わりや、場面変化が大きい映像の切り換わりを自動で検出してチャプターを設定します。	**入**：「録画1」で録画したときは、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。「録画2」で録画したときは、約6分間隔でチャプターを区切ります。 **おまかせチャプターのみ**：「録画1」で録画したときは、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。その他の場合では、自動でチャプターを区切りません。 **切**：録画時に、自動でチャプターを区切りません。 **ご注意** • 録画する動画の情報量によっては、実際に区切られるチャプターの間隔が異なることがあります。 • この設定が［入］または［おまかせチャプターのみ］の場合、HDDへのHDV/DVダビングでは、テープ上の1回の撮影ごとに、その先頭にチャプターマークが自動的に入ります（149ページ）。 • DVD+R DL（2層）へのダビングの場合、おまかせチャプターで設定されたチャプターを引き継がず、約6分間隔でチャプターを区切ります。
スポーツ延長対応 スポーツ延長対応（75ページ）で延長時間の情報が番組表にないときの録画延長時間を設定します。	**30分**：30分延長します。 **60分**：60分延長します。 **120分**：120分延長します。 **切**：録画時間を延長しません。
番組追跡録画 番組放送の開始時刻や終了時刻が変更になった場合、時刻変更に合わせて録画時間を自動で修正します。	**入**：録画時間を自動的に修正します。 **切**：録画時間を自動的に修正しません。
ダイジェスト設定 ダイジェスト再生の再生時間を映像（タイトル）のジャンルごとに設定できます。 **ちょっと一言** タイトルごとにダイジェスト再生の設定を変更したいときは、［ダイジェスト設定］画面から行ってください（93ページ）。	**1** ↑↓で再生時間を変更したいジャンルを選び、決定を押す。 **2** ↑↓で再生時間を選び、決定を押す。 **長め**：ダイジェストをじっくり見たいときに設定します。 **少し長め**：通常よりも少し長めのダイジェストが再生されます。 **おすすめ**：適度な長さのダイジェストが再生されます。 **少し短め**：通常よりも少し短めのダイジェストが再生されます。 **短め**：短時間でダイジェストを再生したいときに設定します。 **ご注意** ダイジェスト再生を利用するときは、「録画1」で10分以上録画してください。
二重音声記録 DRモード以外でHDD/BDへ録画するときの音声を設定します。HDD内のDRモードのタイトルを、BDやDVDに録画モード変換ダビングするときの音声も設定します。	**主音声**：主音声で録音します。 **副音声**：副音声で録音します。 **ちょっと一言** 外部入力音声を録画するときは、「外部チューナーの二重音声放送を記録するには」（68ページ）をご覧ください。
外部入力録画横縦比 外部入力（ライン入力）録画時の映像サイズを設定します。	**16：9**：画面サイズが16：9の横縦比で録画します。 **4：3**：画面サイズが4：3の横縦比で録画します。
DV入力録画横縦比 DV入力録画時の映像サイズを設定します。	**16：9**：画面サイズが16：9の横縦比で録画します。 **4：3**：画面サイズが4：3の横縦比で録画します。

次のページにつづく⇨

おでかけ転送機器 録画時にはここで選んだ機器に合わせた転送用ファイルを作成します。必ず転送する機器に合わせて設定してください。	**ウォークマン**："ウォークマン"へ転送できるファイルを作成します。"mylo"や携帯電話に転送する場合は[ウォークマン]を選んでください。 **PSP**："PSP"へ転送できるファイルを作成します。"メモリースティックPROデュオ"に転送する場合は[PSP]を選んでください。 "ウォークマン"転送用ファイルはAVC Baseline Profile形式、"PSP"転送用ファイルはAVC Main Profile形式で作成されます。
おでかけ転送 高速転送録画 "ウォークマン"や"PSP"転送用動画ファイルを、録画時に自動的に作成できます。	**入**：「録画1」でのすべてのデジタル放送と地上アナログ放送、外部入力(ライン入力)、HDV/DV入力の録画時やx-Pict Story HDの映像作成時で、"ウォークマン"や"PSP"転送用動画ファイルを自動的に作成します。 **切**："ウォークマン"や"PSP"転送用動画ファイルを自動的に作成しません。 **ちょっと一言** • [入]に設定すると、HDDの録画可能時間が短くなります。録画可能時間については、「録画モード一覧」(238ページ)をご覧ください。 • 上記項目で[切]を選択しても、録画予約設定画面(43ページ)の[ワンタッチ転送]で[入]にすると転送用ファイルは作成されます。
おでかけ転送 録画モード "ウォークマン"や"PSP"転送用動画ファイルの画質を設定します。	**自動**：録画時の録画モードにあった画質を自動で調整します。 LSR以上のモードで録画したときはQVGA768k、LR以下のモードで録画したときはQVGA384kでおでかけ転送用動画ファイルが作成されます。 **QVGA768k**：高画質で"ウォークマン"や"PSP"転送用動画ファイルを作成します。 **QVGA384k**：データサイズを抑えた画質で"ウォークマン"や"PSP"転送用動画ファイルを作成します。
おでかけ転送 再生位置同期 おでかけ/おかえり転送をしたときに、本機と転送先機器の再生位置を同期するかどうかを設定します。	**入**：お使いの転送先機器によっては、再生したタイトルをおでかけ/おかえり転送すると、前回再生を停止した位置から再生を開始します。転送時に、本機と転送先機器に同じタイトルが存在するときは、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。 **切**：再生位置は同期されません。つづき再生の再生位置は本機と転送先機器で、それぞれ別の位置になります。
ワンタッチ転送 更新転送 ワンタッチ転送の転送方法を設定します。	**切**：更新転送を行いません。ワンタッチ転送をすると、対象タイトルを録画日の古いものから順番に転送します。 **最新3日間分**：ワンタッチ転送対象タイトル(ワンタッチ転送リストの内容)を最新3日間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは消去またはおかえり転送されます。 **最新1週間分**：ワンタッチ転送対象タイトル(ワンタッチ転送リストの内容)を最新1週間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは消去またはおかえり転送されます。 **最新2週間分**：ワンタッチ転送対象タイトル(ワンタッチ転送リストの内容)を最新2週間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは消去またはおかえり転送されます。
字幕焼きこみ デジタル放送の字幕放送をDR以外の録画モードで録画やダビングするときに、字幕を映像の中に焼きこむかどうかを設定します。字幕を焼きこんだ映像から字幕を削除できません。	**入**：字幕を焼きこみます。おでかけ転送用動画ファイルにも焼きこまれます。 **切**：字幕を焼きこみません。 **ご注意** アクトビラからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送する場合は、の[信号選択]で選んだほうの設定が優先されます。

映像の設定をする（映像設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

テレビタイプ お使いのテレビの横縦比を選びます。	16：9：画面サイズが16：9のテレビとつなぐときに選びます。 4：3：画面サイズが4：3のテレビとつなぐときに選びます。
画面モード 画面の横縦比を維持して映像を表示するか、画面いっぱいに映像を表示するか設定します。	**オリジナル**：ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐときに選びます。ワイドテレビでも4：3映像を常に16：9で表示します。 **横縦比固定**：映像の横縦比は維持したまま、映像サイズを変更します。
DVDワイド映像表示 16:9サイズの映像を記録したDVDを4:3画面のテレビで再生するときの画面サイズを設定します。 [映像設定]の[テレビタイプ]が[4：3]で、同時に[画面モード]が[横縦比固定]のときに有効な設定です。 横縦比が16：9のワイド映像を見るときに調整してください。	**レターボックス**：ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。 **パンスキャン**：ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。 **ご注意** DVDによっては[レターボックス]または[パンスキャン]に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。
映像入力 外部入力（ライン入力）からの映像信号の種類を選びます。	**映像**：映像端子でつないだときに選びます。 **S映像**：S映像端子でつないだときに選びます。
シネマ変換モード HDMI出力端子またはD映像出力端子で接続していて、525p（480p）や750p（720p）、1125i（1080i）の信号を出力しているときに、映像の変換方法を設定します。映像にはビデオ素材（テレビドラマやアニメーション）とフィルム素材（映画フィルム）があり、ご覧になる映像に合わせて設定します。	**自動**：通常はこの設定にします。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。 **ビデオ**：記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。
出力映像解像度設定 HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使う場合に、設定します。	**HDMI解像度優先**：HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使うときに、HDMI解像度設定に従って映像信号を出力します。 **D1/2/3/4設定優先**：HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使うときに、D1/2/3/4設定に従って、映像信号を出力します。この設定を選んだ場合、[HDMI解像度]は[自動]（お買い上げ時の設定）に設定されます（200ページ）。

次のページにつづく⇨

HDMI解像度 HDMI出力端子からの映像信号の種類を選びます。	自動：通常はこの設定にします。また、[出力映像解像度設定](199ページ)で[D1/2/3/4設定優先]を選んだ場合はこの設定になります。 テレビ側で受けられる最大の解像度で映像信号を 750p（720p)→1125i（1080i)→525p（480p)→525i（480i)の優先順位で出力します。 映像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、ディスクやお持ちのテレビ／プロジェクターなどに合わせて他の設定を試してください。詳しくは、テレビ／プロジェクターなどの取扱説明書もご覧ください。 HDMIケーブルで接続されたテレビの電源が入っているときに設定できる解像度だけが表示されます。 525i（480i)：525i（480i)の映像信号を出力します。 525p（480p)：525p（480p)の映像信号を出力します。 1125i（1080i)：1125i（1080i)の映像信号を出力します。 750p（720p)：750p（720p)の映像信号を出力します。
BD-ROM 1125(1080)/24p出力 お使いのテレビが1125（1080）/24pの映像信号に対応している場合に、設定します。	自動：1125（1080）/24pの映像信号を自動で出力します。 切：1125（1080）/24pの映像信号を出力しません。
HDMI映像出力フォーマット HDMI出力端子からの映像信号の色空間変換を設定します。	自動：通常はこの設定にします。 Y Cb Cr（4：2：2)：Y Cb Cr を 4：2：2 の比率で色変換を行います。 Y Cb Cr（4：4：4)：Y Cb Cr を 4：4：4 の比率で色変換を行います。 RGB（16-235)：出力信号を RGB 16 ～ 235 の範囲で色変換を行います。 RGB（0-255)：出力信号を RGB 0 ～ 255 の範囲で色変換を行います。
HDMI Deep Color出力 HDMI出力端子からの映像信号Deep Color（色深度)を設定します。Deep Colorに対応したテレビやプロジェクターが必要です。	自動：通常はこの設定にします。 12bit：お使いのテレビで12bit階調の表現ができる場合に設定します。 10bit：お使いのテレビで10bit階調の表現ができる場合に設定します。 切：映像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。
SBM SBM (Super Bit Mapping)技術で人間の目では見ることのできない領域を利用して、高階調な画像データを、低い階調出力でも視覚的に表現可能にする機能です。	入：通常はこの設定にします。 切：映像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。
x.v.Color情報出力 xvYCC情報をつないだテレビやプロジェクターに送るかを設定します。 xvYCCに準拠した映像と x.v.Color表示に対応したテレビやプロジェクターと組み合わせることで、自然界に存在する物体色をより忠実に再現できます。	x.v.Color対応テレビをお使いの場合に対応状況に合わせて設定してください。 自動：通常はこの設定にします。 切：映像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。
一時停止モード 一時停止にしたときの映像のモードを設定します。BD-ROMやAVCHD方式で記録されたディスクを再生する場合は、常に[自動]になります。	自動：通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。 フレーム：動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

音声の設定をする（音声設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	設定
HDMI音声出力 HDMIの音声信号の出力を設定します。	**自動**：通常はこの設定にします。テレビやAVアンプで受けられる最適な音声信号を出力します。 **PCM**：音声信号を常に2チャンネルのリニアPCM信号にダウンミックスし、HDMI出力端子から出力します。 **ご注意** ドルビーデジタルやDTS、AACに対応しないテレビやAVアンプに本機をつないで［自動］を選ぶと、音が出ないことがあります。その場合は［PCM］を選んでください。
BD-ROM HD音声出力 HDMIからのドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDの音声信号の出力を設定します。	**自動**：ドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDの出力をする設定です。 **切**：「BD-ROM HD音声出力」を行いません。 **ご注意** • 「BD-ROM HD音声出力」に対応しているBD-ROMの再生時のみ、出力します。 • HDオーディオ*対応機器に接続している時のみ、出力します。 • HDオーディオ出力時は、デジタル音声出力、アナログ音声出力からは出力されません。 • ［HDMI解像度］（200ページ）が1125i（1080i）/ 750p（720p）のときのみ、効果があります。ただし、DolbyDigitalPlusとDTS-HD High Resolutionは、解像度の制限を受けません。 • ［HDMI音声出力］を［自動］に設定しているときのみ、効果があります。 * HDオーディオとはドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDです。
音声出力ATT 音声出力レベルを低くして、音のひずみを防ぎます。	**入**：音がひずまないように音声の出力レベルを低くします。 **切**：通常はこの設定にします。 **ご注意** デジタル音声出力、HDMI音声出力には効果がありません。
ドルビーデジタル ドルビーデジタル信号の出力方式を設定します。 デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	**ダウンミックスPCM**：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選びます。5.1ch のサラウンド情報も付加されます。 **ドルビーデジタル**：ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。
AAC AAC信号の出力方式を設定します。 デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	**ダウンミックスPCM**：AACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選びます。5.1ch のサラウンド情報も付加されます。 **AAC**：AACデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。
DTS DTS信号の出力方式を設定します。 デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	**ダウンミックスPCM**：DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。5.1ch のサラウンド情報も付加されます。 **DTS**：DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。
48kHz/96kHz PCM デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	**48kHz/16bit**：96kHzPCMの音声を48kHz16bitで出力します。 **96kHz/24bit**：96kHzPCMの音声を96kHz24bitで出力します。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは、48kHz16bitで出力されます。 **ご注意** • 96kHzに対応していないアンプなどをつないでいるときに［96kHz/24bit］を選ぶと、音が出なかったり、突然大音量が出たりすることがあります。 • 音声信号が音声出力（左／右）端子から出力されるときは、この設定は影響しません。サンプリング周波数は96kHzなら96kHzのままアナログ信号に変換されて出力されます。

次のページにつづく⇨

オーディオDRC（BD/DVDのみ） [オーディオDRC]（Dynamic Range Control）では、オーディオDRC対応のBDやDVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。	**スタンダード**：通常はこの設定にします。 **テレビ**：小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。 **ワイドレンジ**：迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。 **ご注意** • オーディオDRC機能のないBDやDVDを再生しているときは効果がありません。 • ［音声設定］の［ドルビーデジタル］が［ドルビーデジタル］に設定されている場合（201ページ）、デジタル音声出力 光端子から出力される音声には［オーディオDRC］の効果はありません。ただし、BDの場合［BD音声デジタル出力］（202ページ）を［ミックス］に設定してある場合は除きます。
ダウンミックス ［ダウンミックス］では、左右リア信号やモノラルリア信号などのリアスピーカーの音声信号成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルで記録されているタイトルを再生するとき、ダウンミックスの方式を切り換えます。	**ドルビーサラウンド**：ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応しているオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。 **ノーマル**：ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかっていない音声信号を出力します。 **ご注意** ［音声設定］の［ドルビーデジタル］が［ドルビーデジタル］に設定されている場合（201ページ）、デジタル音声出力 光端子から出力される音声には［ダウンミックス］の効果はありません。
BD音声デジタル出力 ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたセカンダリーオーディオ·インタラクティブオーディオを含むBDを再生するとき、セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオをミキシングしてドルビーデジタル出力またはDTS出力するか、記録されている音声ストリームをそのまま出力するかを選択します。	**ダイレクト**：セカンダリーオーディオ（映画の解説など）・インタラクティブオーディオ（効果音など）が含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングせずに記録されている音声ストリームをそのまま出力します。 **ミックス**：セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングして出力します。デジタル音声出力には、ドルビーデジタル出力またはDTS出力します。 **ご注意** • アナログ音声出力、PCMデジタル音声出力には効果がありません。（常にセカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオをミキシングします。） • ［ミックス］に設定時、オーディオ機器とHDMI接続している場合は、PCM出力となります。

フォトの設定をする（フォト設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

表示モード 横長の写真を表示するときの設定を行います。横縦比は保持します。	**ノーマル**：写真の縦方向と画面をあわせます。両側に黒い帯がでます。 **ズーム**：写真の横方向と画面をあわせます。上下を省略して画面いっぱいに表示します。
スライドショーの速さ スライドショーの速さを設定します。	**速い**：［標準］より速い再生速度です。 **標準**：基本の再生速度です。 **遅い**：［標準］より遅い再生速度です。
スライドショー効果設定 フォトスライドショーの効果を設定します。	**入**：効果を付けて次の写真に切り換わります。 **切**：効果を付けずに、スライドショーを再生します。
x-Pict Story HD 日時情報表示	**入**：フォト作品の効果として日時情報を表示します。 **切**：フォト作品の効果として日時情報を表示しません。
サンプル表示	**入**：のサンプルアルバムを表示します。 **切**：のサンプルアルバムを表示しません。

本体の設定をする（本体設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	設定
現在時刻／時刻設定	地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻を自動的に設定し、表示します。 時刻を自動で設定できなかった場合に、手動で設定を行います。 **ご注意** 手動で設定しても、地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を受信できた時点で、時刻が自動的に再設定されます（オートクロック）。
本体表示の明るさ ［暗］または［消灯］に設定すると、消費電力を軽減できます。	**明**：表示窓とランプ*は明るく点灯します。 **暗**：表示窓とランプ*は暗く点灯します。 **消灯**：表示窓は電源「切」時に消灯し、電源「入」時は暗く点灯します。ただし、ビデオや静止画の再生時には表示窓は消灯します。ランプ*は暗く点灯します。 * ランプとは、HDD録画1ランプ、HDD録画2ランプ、ディスク録画ランプ、録画予約ランプ、およびアクトビラダウンロードランプを指し、本機の状態によって点灯または消灯します（38、42、169ページ）。
HDMI機器制御 HDMI機器制御機能を設定します。HDMI機器制御について詳しくは、「準備編」の「HDMI機器制御機能を利用する」をご覧ください。	**入**：HDMI機器制御機能を使うときに選びます。 **切**：HDMI機器制御機能を使わないときに選びます。 **ご注意** • ［入］に設定すると［スタンバイモード］（203ページ）が［高速起動］に設定されます。 • ブラビアリンク対応のマルチリモコンを使用するときは、［入］を選んでください。 • HDMI機器制御機能を「入」にすると、待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。
HDMI機器制御 高速連動	**入**：テレビの電源に連動します。テレビの電源を「入」にすると、本機は起動待機状態になります（電源「入」の状態ではありません）。テレビの電源を「切」にすると、本機の電源は「切」になります。 **切**：テレビの電源に連動しません。 **ご注意** • ［入］に設定し、テレビの電源を「入」にすると、本機の電源を切っていても起動待機状態になり、電源が入っている状態と同等の消費電力になります。 • 本機が番組表データを取得中のときは、テレビの電源と本機の電源に連動しないことがあります。
スタンバイモード 電源「切」（待機状態）時からの起動時間を短縮する［高速起動］モードの設定をします。 ホームサーバー機能を利用して他機器で本機の映像（タイトル）を再生したり（103ページ）、リモート録画予約を利用したり（70ページ）、USB端子経由で"ウォークマン"に充電したり（175ページ）、電源「切」の状態でワンタッチ転送を行ったり（184ページ）、HDMI機器制御機能を利用するときは［高速起動］に設定されていることをご確認ください。	**高速起動**：電源「切」（待機状態）からの起動後、素早くチャンネル切換えや入力切換えなどの操作が行えます。さらに、電源「切」のときでもUSB端子からUSB機器の充電ができます。 ホームサーバー機能や、リモート録画予約、HDMI機器制御機能を利用するように設定すると、自動的に［高速起動］に設定されます。 **標準**：お買い上げ時に設定されているモードです。 **ご注意** • ［高速起動］モードに設定した場合、内部の制御部が電源「切」（待機状態）のときでも通電状態になるため、［標準］モードに比べて待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。 • 電源「切」の状態で、ワンタッチ転送を行うときは、［高速起動］に設定してください。 • ［スタンバイモード］を［標準］に設定すると、ホームサーバー機能やリモート録画予約が正しく動作しません。［HDMI機器制御］の設定は「切」に設定されます。
自動画面表示 番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示できます。	**入**：画面表示を自動で表示します。 **切**：画面表示を自動で表示しません。

次のページにつづく⇨

リモコンモード 「準備編」の「1つのリモコンで複数のソニー製BD機器を操作する(リモコンモード)」をご覧ください。	BD1 BD2 BD3
ソフトウェアアップデート 地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを自動的に受信し、本機のソフトウェアを更新します。	**自動**:アップデートデータを自動で更新します。通常はこの設定にしてください。 **切**:アップデートデータを自動で更新しません。
カード情報	カードID番号などを表示します。カードを本体から取り出さなくても、カードID番号を確かめることができます。
本体情報	本機ソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

BDやDVDの設定をする(BD/DVD視聴設定)

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

ご注意

BDやDVD、タイトルによっては、再生の設定があらかじめ決められていることがあります。その場合、設定した機能は働きません。

BD/DVDメニュー言語 BD/DVDメニューに表示する言語を設定します。	[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(240ページ)を参照して、言語コードを入力します。
音声言語 BDやDVD再生時の音声の言語を設定します。	[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(240ページ)を参照して、言語コードを入力します。 **ちょっと一言** [オリジナル]を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
字幕言語 BDやDVDに記録されている字幕の言語を設定します。	[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(240ページ)を参照して、言語コードを入力します。
BD-ROMインターネット接続 BD-Liveを利用するときは、本機をネットワークにつなぎ、BD-ROMインターネット接続を[許可する]に設定してください。	**許可する**:BD-ROMからのインターネット接続を許可します。 **許可しない**:BD-ROMからのインターネット接続を許可しません。

年齢制限の設定をする（年齢制限設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	操作
暗証番号設定 暗証番号を設定すると、次の場合に視聴や再生を制限できます。 － 視聴制限があるBS/110度CSデジタル放送の番組を見たり、録画したりするとき － 視聴制限があるBDやDVDを再生するとき － 視聴制限があるアクトビラからダウンロードした映像（タイトル）の再生、ダビング、おでかけ転送をするとき － アクトビラのページを表示するとき 暗証番号はすべて同じ番号ですが、それぞれ違う制限レベルを設定できます。	**1 暗証番号を入力する。** **2 ［確定］を選び、決定 を押す。** **暗証番号を変更するには** ［暗証番号設定］を選んだときに表示される画面で現在の暗証番号を入力し、その後で新しい暗証番号を入力します。 **登録した暗証番号を忘れてしまったときは** から［設定初期化］を選び、［お買い上げ時の状態に設定］の［年齢制限設定］を選びます（211ページ）。［実行］を選ぶと以前の暗証番号が削除されます。
BS/CSデジタル視聴年齢制限 視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。制限した放送は、［暗証番号設定］（205ページ）で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。	**1 暗証番号（205ページ）を入力して［確定］を選び、決定 を押す。** **2 制限年齢を選び、決定 を押す。** 年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。［制限しない］を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。 **ご注意** 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。
BD視聴年齢制限 BD-ROMには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。	**1 暗証番号（205ページ）を入力して［確定］を選び、決定 を押す。** **2 制限する年齢を選び、決定 を押す。** 年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。［制限しない］を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。［年齢指定］を選ぶと、0歳から255歳までの年齢を↑↓←→と数字ボタンで入力できます。 **ご注意** ● 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。 ● 視聴制限機能がないディスクを再生するときは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。 ● ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、年齢を変更してください。
DVD視聴年齢制限 DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。	**1 暗証番号（205ページ）を入力して［確定］を選び、決定 を押す。** **2 制限するレベルを選び、決定 を押す。** レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。［制限しない］を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。 **ご注意** ● 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。 ● 視聴制限機能がないディスクを再生するときは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。 ● ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。

次のページにつづく⇨

ダウンロードタイトル視聴年齢制限 アクトビラからダウンロードした映像（タイトル）を見る人の年齢によって、再生、ダビング、おでかけ転送できないように制限できます。タイトルの制限レベルによって、ダウンロードしたタイトルの一覧（タイトルリスト）などに表示されなくなったり、暗証番号を入力しないと再生などができなくなったりします。	**1 暗証番号（205ページ）を入力して[確定]を選び、決定 を押す。** **2 制限する年齢を選び、決定 を押す。** タイトルの制限レベルによって、制限方法が異なります。 • 20歳未満制限付きタイトルの場合 本機で視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。 • 上記以外の制限付きタイトルの場合 タイトルリストなどには表示されますが、本機の設定年齢以上の制限付きタイトルは、暗証番号を入力しないと再生、ダビング、おでかけ転送できません。 • 制限のないタイトルの場合 本機で視聴年齢制限を設定しても、制限できません。 **ちょっと一言** 視聴年齢制限を一時的に解除するには、タイトルリストで任意のタイトルを選び、オプション を押して[視聴制限一時解除]を選んで、暗証番号を入力します。 **ご注意** • 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。 • ダビングやおでかけ転送をするときは、あらかじめタイトルリストで視聴年齢制限を一時的に解除してください。
アクトビラ利用制限 暗証番号を入力しないと、アクトビラのページを表示できないように制限できます。	**入**：暗証番号（205ページ）を入力しないと、アクトビラのページが表示できなくなります。暗証番号が登録されていないときは、[入]を選んだ後に暗証番号設定の画面が表示されます。 **切**：暗証番号による制限を行いません。

通信の設定をする（通信設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

データ放送通信設定 セキュリティサイト自動接続	**入**：セキュリティ保護されたサイトを表示しようとしたときや、セキュリティ保護されていないサイトへ移るとき、確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。 **切**：セキュリティサイト表示の確認ダイアログを表示します。
データ放送通信設定 証明書のダウンロード確認	**入**：放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **切**：ダウンロードの確認ダイアログを表示しません。
データ放送通信設定 証明書の自動ダウンロード	[証明書の自動ダウンロード]項目は、[証明書のダウンロード確認]（上記）が[切]の場合に選択できます。 **入**：放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **切**：放送局から新しい証明書が発行されても、自動的にはダウンロードしません。 **ちょっと一言** [入]を選び直すと、それまで受信されていなかった証明書が自動的にダウンロードされます。
電話回線設定 回線 電話回線の種類を設定します。	**自動**：回線の種類を自動的に選びます。ADSL回線を使っているときはこの設定にします。 **トーン**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときや、ISDN回線を使っているときに選びます。 **20pps**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときに選びます。 **10pps**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときで、[20pps]で正常に接続できない場合に選びます。

設定項目	内容
電話回線設定 **発信** 発信方法を設定します。	**通常**：外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときに選びます。 **0発信**：外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付けるときに選びます。 **9発信**：外線に電話するときに、電話番号の頭に「9」を付けるときに選びます。
電話回線設定 **発信詳細設定** [電話番号通知]、[電話会社の指定]、または[マイラインプラス契約]を選んで、設定します。	**[電話番号通知]** **通知しない**：電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせません。 **通知する**：電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせます。 **指定しない**：電話番号の先頭に何も付けません。 **[電話会社の指定]** 必要に応じて、電話会社の事業者識別番号を設定します。 **[マイラインプラス契約]** **している**：マイラインプラスの契約をしているときに選びます。 **していない**：マイラインプラスの契約をしていないときに選びます。
電話回線設定 **接続診断**	電話回線と物理的に接続されているかをテストします。テストがうまくいっても正常につながらないときは、[回線]（206ページ）の設定が正しいか確認してください。 **ご注意** • BS/110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。 • データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

次のページにつづく⇨

ネットワーク設定

LANケーブルを接続し、FTTH（光）等のブロードバンド接続環境でアクトビラを楽しんだり、インターネット経由で放送局から提供される双方向サービスを楽しんだり、リモート録画予約を利用したり、ホームサーバー機能を利用したいときに設定します。設定する項目は、状況によって異なります。インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。

1 [IPアドレス取得方法]を選び、(決定) を押す。

2 項目を選び、(決定) を押す。

DHCPを利用：ルーターやプロバイダーのDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。通常ルーターが自動で割り当てますので、設定する必要はありません。

固定IPアドレスを指定：ルーターの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。

次の項目にプロバイダー指定の値を手動で入力してください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNSサーバー自動取得*[1]
- DNSサーバー（プライマリ）／（セカンダリ）*[2]

*[1] 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。

*[2] [DNSサーバー自動取得]を[切]に設定すると、DNSサーバー（プライマリ）とDNSサーバー（セカンダリ）のアドレスを手動で設定できます。この場合、必ずDNSサーバー（プライマリ）は入力してください。入力しない場合ネットワークが正しく設定されません。

3 プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは、↑↓で[プロキシ設定]を選び、(決定) を押す。

プロキシ設定画面が表示されます。プロキシサーバーの設定が必要ない場合は、手順7に進んでください。

4 [プロキシサーバー使用]を[入]に設定する。

5 [プロキシサーバー]と[ポート]を選び、設定を入力する。

[プロキシサーバー]を選ぶと、文字入力画面が表示されます。「文字を入力する」（63ページ）をご覧ください。

6 (戻る)を押す。

7 ↑↓で[接続診断]を選び、(決定) を押す。

8 ←→で[はい]を選び、(決定) を押す。

9 「ネットワークは正しく接続されています」というメッセージが画面に表示されていることを確認する。

「ネットワークは正しく接続されています」と表示されない場合は、画面のメッセージにしたがってください。

10 [閉じる]を選び、(決定) を押す。

ちょっと一言

LAN ケーブルを別のネットワークに切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、切り換えたときは[接続診断]を行ってください。

リモート録画予約設定

リモート録画予約を利用するには、本機をネットワークに接続する必要があります。詳しくは「準備編」の「［準備5］電話回線／ネットワークにつなぐ」をご覧ください。

［リモート機器登録］
リモート録画予約で利用する携帯電話やパソコンを本機に登録します。

↑↓で［リモート機器登録］を選び、決定 を押す。
登録パスワード入力画面が表示されます。登録パスワードの入力方法には、携帯電話の赤外線を利用した入力と本機の画面を見ながら、リモコンのボタン操作により入力する方法とがあります。
登録パスワードは携帯電話やパソコンからアクセスしたサービス事業者の画面に表示されます。
詳しくはリモート録画予約サービス事業者にご確認ください（70ページ）。

携帯電話の赤外線を利用して入力する場合

1. **携帯電話で登録パスワード送信画面を表示させる。**
2. **携帯電話の赤外線発光部を本機のリモコン受光部に向け、登録パスワードを本機に発信する。**

本機の画面を見ながら、リモコンのボタン操作により入力する場合（携帯電話の赤外線を利用しないで入力する場合や、パソコンをリモート機器として登録する場合など）

1. **←→で入力欄を選ぶ。**
2. **↑↓や数字ボタンで数値を入力する。**
3. **すべての数値を入力したら、↑↓←→で［確定］を選び、決定 を押す。**
4. **［閉じる］を選び、決定 を押す。**

ご注意

本製品内のメモリーにはリモート録画予約の使用のためにお客様が設定された携帯電話やパソコンの「ニックネーム」や「機器名」が記録されます。

［登録リモート機器一覧］
本機に登録されている携帯電話やパソコンを一覧で確認できます。登録した携帯電話やパソコンの削除なども行えます。

1. **↑↓で［登録リモート機器一覧］を選び、決定 を押す。**
［設定クリア］を選ぶと、［登録リモート機器一覧］に表示されている登録機器をすべて削除できます。
2. **↑↓で詳細を確認したいリモート機器を選び、決定 を押す。**
選んだ携帯電話やパソコンの詳細が表示されます。
ここで［機器削除］を選び 決定 を押すと、選んだ携帯電話やパソコンが登録機器一覧から削除されます。

次のページにつづく⇨

ホームサーバー設定	
本機をホームサーバーとして登録すると、ホームサーバー機能対応機器から本機の映像を再生できるようになります。登録には、右記の設定が必要です。 ホームサーバー機能対応機器からの再生方法は、対応機器の取扱説明書をご覧ください。 ホームサーバー機能を利用するには、本機をネットワークに接続する必要があります。詳しくは「準備編」の「[準備5]電話回線／ネットワークにつなぐ」をご覧ください。	**[サーバー機能]** 本機のホームサーバー機能を入／切します。 **1 ↑↓で[サーバー機能]を選び、決定 を押す。** **2 ↑↓で項目を選び、決定 を押す。** **入**：本機のホームサーバー機能を有効にします。 [入]に設定すると[スタンバイモード]の設定(203ページ)が自動的に[高速起動]に設定されます。 **切**：本機のホームサーバー機能を無効にします。 **[サーバー名]** 本機の機器名称を設定します。ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスしたときに、ホームサーバー機能対応機器側でこの名前が表示されます。 **1 ↑↓で[サーバー名]を選び、決定 を押す。** **2 画面上のキーボードで本機のサーバー名を入力する。** **[クライアント機器登録方法]** 本機の映像を再生できるホームサーバー機能対応機器のことをクライアント機器と呼びます。本機にクライアント機器が登録されていないと、クライアント機器側から本機の映像を再生できません。 ここではクライアント機器の登録方法を設定できます。 **1 ↑↓で[クライアント機器登録方法]を選び、決定 を押す。** **2 ↑↓で項目を選び、決定 を押す。** **自動**：本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。 [未登録機器一覧]に表示されているホームサーバー機能対応機器があるときは、[自動]を選ぶと、[未登録機器一覧]で表示されている未登録機器を削除できます。 **手動**：本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。 **[登録機器一覧]** 本機に登録されているクライアント機器を一覧で表示します。 **1 ↑↓で[登録機器一覧]を選び、決定 を押す。** [設定クリア]を選ぶと、表示されている登録機器を一覧から削除できます。 確認したい機器が登録機器一覧に表示されないときは、[未登録機器一覧]をご覧ください。 **2 ↑↓で詳細を確認したい機器を選び、決定 を押す。** 選んだ機器の詳細が表示されます。 ここで[機器削除]を選び 決定 を押すと、選んだ機器が機器登録一覧から削除されます。 **[未登録機器一覧]** 本機に登録されていないホームネットワーク上のホームサーバー機能対応機器を一覧で表示し、本機のクライアント機器として登録できます。 **1 ↑↓で[未登録機器一覧]を選び、決定 を押す。** [設定クリア]を選ぶと、表示されている未登録機器を一覧から削除できます。 **2 ↑↓で詳細を確認したい機器を選び、決定 を押す。** 選んだ機器の詳細が表示されます。 ここで[機器登録]を選び 決定 を押すと、選んだ機器が本機のクライアント機器として登録され、本機の映像を再生できるようになります。

基本的な設定を行う（かんたん設定）

かんたん初期設定 本機を使うための基本的な設定をします。本機を使う前に必ずかんたん初期設定を行ってください。	かんたん設定について詳しくは、「準備編」の「［準備8］かんたん設定をする」をご覧ください。
かんたん機能設定 本機をさらに便利に使うための設定をします。	お気に入り番組表とx-おまかせ・まる録に登録するジャンルの設定、おすすめ自動録画、スカパー！ｅ２おすすめ自動録画、おでかけ転送する機器、おでかけ転送 高速転送録画、スタンバイモード、HDMI機器制御の設定を行います。 **ちょっと一言** 地上アナログ放送を受信しない設定にすると、地上アナログ放送の番組表のデータを受信しなくなり、消費電力量を軽減できます。

お買い上げ時の設定に戻す（設定初期化）

お買い上げ時の状態に設定 各設定ごとに、お買い上げ時の設定に戻すことができます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。	**1　お買い上げ時の設定に戻したい設定を選び、決定 を押す。** **2　確認画面で［はい］を選び、決定 を押す。** **ご注意** ［本体設定］、または［すべての設定の内容］をお買い上げ時の状態に設定すると、［HDMI機器制御］（203ページ）の設定が［切］に戻り、ブラビアリンクやテレビ付属のマルチリモコンが利用できなくなります。
個人情報の初期化 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のHDD、メモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。	本機を廃棄したり譲渡したりするときは、次の個人情報などのデータを本機から消去することを強くおすすめします。 • データ放送で登録した個人情報やポイントなど • 視聴年齢制限レベルと暗証番号 • 語句登録した単語 • キーワード履歴 • 検索履歴 • メール • すべてのルートCA証明書 • アクトビラのサービスに機器を登録した際に発行される機器登録（識別）情報など 暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が出ます。 **ご注意** • 個人情報などの登録・設定データは項目ごとに消去できません。一度消去すると、すべての登録・設定データが消去されます。 • リモート録画予約サービス事業者のサーバーに登録しているお客様は、本機を廃棄したり譲渡したりするときは、リモート録画予約設定の設定内容を消去しておくことをおすすめします。詳しくは、「リモート録画予約設定」（209ページ）をご覧ください。 • ［通信設定］（206ページ）で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、［放送受信設定］（192ページ）で入力した県域、郵便番号などの情報は、消去されません。［お買い上げ時の状態に設定］（211ページ）でそれぞれの設定を選んで消去してください。 • アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。アクトビラの退会処理をする場合は、本機の個人情報の初期化より前に行ってください。先に本機の個人情報を初期化すると、アクトビラの退会処理ができなくなります。

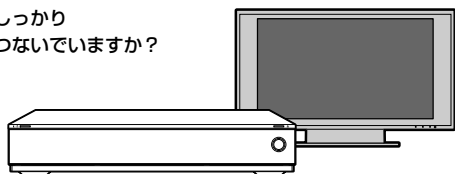
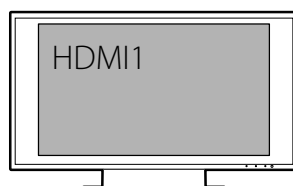
次のページにつづく⇨

HDD初期化	HDDを初期化します。初期化すると以下が削除され、元に戻すことができません。 ● 録画した番組（タイトル） ● 写真 ● x-Pict Story HDで作成したフォト作品と映像 ● x-ScrapBook作品 ● BonusViewやBD-Liveで使用するBD-ROMデータ（ローカルストレージ）（86ページ） ● アクトビラからダウンロードしたタイトル

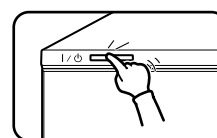
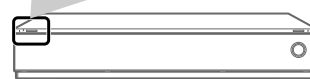
困ったときは

故障かな？と思ったら

まず確認してください

各種コード・ケーブル

テレビの入力切換

本機の映像が映るよう、テレビの
入力は切り換わっていますか？

本機の電源

こんな場合は故障ではありません

電源を切っているのにファンなどの動作音がする

電源が「切」でも、以下のような場合、本機が動作をすることがあります。

- 番組表データの取得時
- 録画中
- ダビング中
- 予約した番組の録画実行時
- リモート録画予約やHDMI機器制御の利用時
- 高速起動の待機時
- ホームサーバー機能使用時

など

このような場合、本機のファンが動作します。

「PLEASE WAIT」と点滅表示され、なかなか起動しない

本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅表示されます。
本機の起動には数十秒かかりますので、そのままお待ちください。
起動時間を短くできる機能（高速起動モード）もあります（203ページ）。

動作を受け付けない／動いていない

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、電源ボタンを10秒以上押し続けてください。本機が再起動します。

➡ 症状に当てはまらない場合は、次ページ以降をご覧になり、当てはまる症状を探してください。

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。(▶裏表紙)

電源

症状	対処のしかた	参照ページ
電源が入らない。	• 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。	準備編

映像

症状	対処のしかた	参照ページ
映像が出ない、乱れる。	• 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。	準備編
	• 接続ケーブルのプラグが正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	214
	• 接続ケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、ケーブルを交換してください。	—
	• 本体表示窓のHDMI表示が点滅しているときは、HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。HDMIケーブルを差し直してください。	257
	• テレビを本機に接続している入力(「ビデオ」や「HDMI2」など)に切り換えてください。	16、29
	• プログレッシブ方式に対応していないテレビとD映像ケーブルでつないでいるときは、D1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、設定をD1に切り換えてください。	準備編
	• プログレッシブ方式に対応しているテレビとD映像ケーブルでつないでいても、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがあります。D1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、設定をD1に切り換えてください。	準備編
	• 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビにつないだり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部のDVDプログラムやデジタル放送に使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性があります。 本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続してください。	—
	• HDDの特性上、ごくまれに映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	• 2層BD/DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるときに映像／音声が一瞬途切れることがあります。	—
	• DVD再生時などでプログレッシブ映像に切り換わるときに一瞬映像が乱れることがあります。	—
	• 24p True Cinema に対応したBD-ROMや、x-Pict Story HDやx-ScrapBookの再生をすると、再生前後で映像が乱れることがあります。	—
	• [画質設定]で[ガンマ(HDMI)]の明るさを部分的に調整したあと、映像が乱れて表示されるように感じた場合は、[画質設定]を一度[標準に戻す]に戻してください。	101
	• 電源ボタンを10秒以上押し続けて、本機を再起動してください。	—
D映像出力端子でつないだとき、映像が出ない。	• [HDMI解像度]がD端子解像度より高解像度に設定されている場合や、BD-ROMの24p映像を出力中は、D端子から出力されないことがあります。[出力映像解像度設定]を変更すると、出力できることがあります。テレビと本機を映像出力端子やS映像出力端子で接続して、テレビの入力を本機をつないだ映像入力に切り換えます。 の[映像設定]から[出力映像解像度設定]を[D1/2/3/4設定優先]に設定してください。テレビの入力を本機をつないだD映像入力に切り換えて、映像が出るまでD1/D2/D3/D4切換ボタンをくり返し押してください。	199

次のページにつづく⇨

症状	対処のしかた	参照ページ
HDMI出力端子につないだとき、映像が出ない。	• 本機はDVI機器への接続に対応していません。	準備編
	• の[映像設定]で[HDMI映像出力フォーマット]の設定を変更すると、映像が表示されることがあります。	200
	• の[映像設定]から[HDMI解像度]の設定を変えると解消される場合があります。テレビと本機をHDMI出力端子以外の映像出力端子で接続し、テレビの入力を本機につないだ映像入力に切り換えて、設定画面をテレビ画面に表示させてください。 の[映像設定]から[出力映像解像度設定]を[HDMI解像度優先]に設定してください。次に の[映像設定]から[HDMI解像度]の設定を変え、テレビ側の入力をHDMIに戻してください。それでも映像が出ない場合は、この手順をくり返して他の解像度を試してください。	199、200
	• の[映像設定]から[出力映像解像度設定]を[HDMI解像度優先]に設定しているときに、 の[映像設定]から[HDMI解像度]の設定項目が[自動]しか選べない場合は、正しく接続されていない場合があるので、その場合はケーブルを差し直すか本体の電源を入れ直してください。	199、200
	• 本体のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、[D2]以上にしてみてください。	256
本機の入力端子につないだ機器の映像が映らない。	• 入力切換ボタンを押して、つないでいる入力端子を本体表示窓に表示させてください。 例)音声/映像/ S映像入力端子のときは「LINE」	—
	• 本機のS映像入力端子につないだ場合は、 から[映像設定]を選び、[映像入力]を[S映像]に設定してください。	199
[映像設定]の[DVDワイド映像表示](199ページ)で設定した映像の形で再生できない。	• 映像の形が固定されているタイトルを再生しているためで、故障ではありません。	—
画面の横縦比がおかしい。	• テレビの横縦比に映像を合わせてください。	232
	• 録画する映像にあった映像サイズを設定してから録画を行ってください。	77
サムネイルが表示されない。	• 動作モード、または録画内容によってはサムネイルを作成できない場合があります。	—
HDV1080i/DV入力端子にデジタルビデオカメラを接続しても映像が表示されない。	• デジタルビデオカメラとの接続に使用しているi.LINKケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。	—
	• つないだデジタルビデオカメラの電源を切り、もう一度入れ直してください。	—
	• 本機の電源を切り、もう一度入れ直してください。	—

テレビの受信

症状	対処のしかた	参照ページ
チャンネル設定連動が働かない。	• テレビで郵便番号設定をしているか確認してください。	準備編
	• テレビで地上デジタル放送のスキャンをしているか確認してください。	準備編
本機で受信しているテレビ放送が**映らない。**	• アンテナケーブルをアンテナ入力端子につないでください。	準備編
	• の[放送受信設定]から[地上アナログチャンネル設定]を選び、手動でチャンネルを合わせてください。	194
	• テレビの入力切換ボタンで正しい外部入力を選んでください。または、本機のチャンネル+／−ボタンで他のテレビ局を選んでください。	—
	• 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組が見られません。変更後のチャンネルに手動で合わせてください。	194
	• 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、再スキャンして受信設定してください。	192
本機で受信しているテレビ放送の映像が**汚い。**	• アンテナの向きを調節してください。	—
	• アンテナケーブルをアンテナ入力端子につないでください。	準備編
	• 映像を手動で微調整してください。	195
	• 本機とテレビを離して設置してください。	—
	• 本機から離してアンテナ線をたばねてください。	—
	• 電波が弱くありませんか？デジタル放送の映像が汚い場合、アンテナレベルを確認してください。アンテナレベルが低いときは、別売りのアンテナブースターで電波信号を増幅してください。	192、193
本機のテレビチャンネルを**切り換えることができない。**	• 「録画1」で録画中は、本機のテレビチャンネルを切り換えることができません。テレビの入力切換ボタンなどを押して、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。	—
	• 本機の入力切換ボタンを押して映像が映るように入力を地上波放送またはBS/CS放送に合わせてください。	—
	• チャンネルをとばすよう設定している場合は、チャンネル+／−ボタンでは選局できません。	192、193、195
本機につないだ他機で再生・受信している映像が**ゆがむ。**	• 他機で再生や受信している映像に、著作権保護のための信号が含まれています。その場合は、プレーヤーやチューナーなどの機器をテレビに直接つないでください。	—
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が**映らない。**	• BS/110度CS対応アンテナを本機に正しくつないでください。	準備編
	• BS/110度CS対応アンテナの向きを調整してください。	193
	• BS/110度CS対応アンテナからゴミや雪を取り除いてください。	—
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組が**映らない。**	• B-CASカードを正しく入れてください。	準備編
WOWOWが映らない。	• 受信契約をしたB-CASカードを入れてください。	準備編
スター・チャンネルが映らない。	• 受信契約をしたB-CASカードを入れてください。	準備編
110度CSデジタルの**有料放送**が映らない。	• 受信契約をしたB-CASカードを入れてください。	準備編

次のページにつづく⇨

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
アナログ放送の番組表が表示されない。	• ①接続と[かんたん設定]が終了しても、番組表データを受信するまでは表示されません。②受信が終わるまで電源を切ってしばらくお待ちください。③受信までに、1日程度かかることもあります。	196
	• 日付や時刻が正しく設定されているか確認してください。	203
	• 番組表データを送信している放送局の受信状態が悪い場合、番組表は表示できません。	準備編
	• から[かんたん設定]を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直してください。	211
	• 正しい放送局や時刻を設定してください。	196
	• [番組表取得設定]で番組表の取得時刻がすべて[自動]に設定されている場合、どれかひとつの設定を[取得する]に設定してください。	196
	• の[設定初期化]から[お買い上げ時の状態に設定]を選び、初期状態に戻してから[かんたん設定]を選び直してください。	211
	• 番組表の取得時刻に本機の電源が入っている場合、番組表データを取得できません。	196
	• お住まいの地域によっては、番組表データを受信できない場合があります。	準備編
デジタル放送の番組表が表示されない。	• チャンネルを切り換えて各放送局をひととおり選局してから、番組表を表示してください。	45
	• ケーブルテレビの送信チャンネルが元のチャンネルと異なるときは、手動でチャンネル設定をしてください。	準備編
番組表に**表示されない放送局**がある。	• [地上アナログチャンネル設定]の[アップダウン選局]を[する]に設定してください。	195
	• [地上デジタルチャンネル設定]や[BSデジタルチャンネル設定]、[CSデジタルチャンネル設定]の[アップダウン選局]を[選局する]に設定してください。	192、193
	• から[かんたん設定]を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直してください。	211
	• 番組表データに含まれない放送局は表示されません。	—
番組表が**更新されない。**	• 更新時の受信状態が悪いと、最新の番組表データを受信できない場合があります。	—
	• 正しい放送局や時刻を設定してください。	196
	• アナログ放送の番組表の取得時刻に本機の電源が入っている場合、番組表データは受信・更新されません。	196
番組表に**表示されない**番組がある。	• 受信状態が悪いと、一部の番組表データを受信できない場合があります。	—
	• 時刻別番組表には、短い番組(5分間の番組など)は表示されません。チャンネル別番組表を使ってください。デジタル放送の場合、黄ボタンで番組表を拡大表示すると表示されることがあります。	46
間違った放送局名が表示される。	• から[かんたん設定]を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直してください。	211
	• 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがあります。の[設定初期化]から[お買い上げ時の状態に設定]を行うと、消すことができます。	211

録画・予約・ダビング

症状	対処のしかた	参照ページ
録画中、テレビのチャンネルを**変えられない。**	• 「録画1」で録画中は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ本体側で見たいチャンネルに切り換えてください。	—
録画中に 録画停止 （録画停止）を押してもすぐに**録画が止まらない。**	• 録画が止まる前にHDDやBDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかる場合があります。	44
予約したのに録画されていない。	• 自己メールを確認してください。	190
	• テレビの番組表からの録画予約は、ネットワーク録画予約のみ可能です。ネットワーク録画予約をしない場合は、必ず本機の番組表から番組を選んで録画予約をしてください。	42
	• 録画中に停電がおきたときは、録画されません。	—
	• 1時間以上の停電があり、時計が止まっているときは時計を合わせ直してください。	203
	• 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれていると、録画されません。	131
	• 後から設定した予約や優先設定、延長設定されている予約がある場合、それらの予約が優先されます。	74
	• デジタル放送の場合、番組が中止になった可能性があります。	—
	• ダビングをしているときは、録画されない場合があります。	38
	• BDに直接録画する場合、BDが入っているか確認してください。	—
	• HDDやBDの残量を確認してください。	120
	• 録画した映像（タイトル）数が上限に達していると録画できません。各メディアの最大タイトル数は以下のとおりです。 － HDD オリジナル＋プレイリスト：500タイトル － BD-R/BD-RE オリジナル＋プレイリスト：200タイトル	39
	• HDV/DVダビングをしているときは、録画されない場合があります。	38
	• まるごとDVDコピーをしているときは、録画されません。	38
	• "ウォークマン"や"PSP"へ転送中のときは、「録画1」で録画できません。	38
	• "ウォークマン"や"PSP"へ転送するときに転送用ファイルを作成する必要がある場合、「録画2」でも録画できません。	38
	• x-Pict Story HDを作成しているときは、録画されません。	38
	• 静止画コピーをしているときは、「録画2」に録画されません。	38
	• 視聴年齢制限を超えた番組は録画されません。	30
	• 録画できるディスクか確認してください。	235
	• 契約していない有料チャンネルではなかったか確認してください。	—
	• B-CASカードが入っているか確認してください。	準備編

次のページにつづく⇨

症状	対処のしかた	参照ページ
予約した内容が**途中で切れている。**	• 後から設定した予約や優先設定、延長設定されている予約がある場合、それらの予約が優先されます。	74
	• デジタル放送の場合、番組が中断された可能性があります。	—
	• 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像が途中から始まったときは、録画されません。	131
	• HDDやBDの残量を確認してください。	120
	• 録画中に停電がおきたときは、録画されません。	—
	• 録画終了時刻から開始する別の録画予約がある場合、録画内容が途中で切れる場合があります。この場合、前後の録画を「録画1」と「録画2」に分けて予約すると、途切れずに録画できます。	—
	• 受信状態が悪かった場合も途切れます。	—
以前録画した内容が**なくなっている。**	• 更新録画されているときは、録画予約設定画面の[更新]を[切]に設定してください。	55
	• HDDの容量がなくなると、x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルが自動的に消去されます。	58
映像や写真の**取り込みができない。**	• 本機の電源を入れてからデジタルビデオカメラを接続してください。	148
	• デジタルビデオカメラにテープが入っているか確認してください。	—
	• デジタルビデオカメラがビデオ再生モードになっているか確認してください。	148
	• デジタルハイビジョンビデオカメラがUSBモードになっているか確認してください。	150
	• デジタルハイビジョンビデオカメラからUSB接続で取り込む場合、記録されたAVCHD方式以外の映像は、本機のハードディスクにダビングできません。	150
	• HDDの残量が足りない場合や、HDD内のタイトルがいっぱいの場合は、HDDにダビングできません。HDD内の不必要なタイトルを消去し、残量を増やしてください。	—
	• 各メディア直下（ルート）を第1階層とした場合、4階層目までに保存したファイルでなければ、取り込むことができません。	154
勝手に録画されている。	• 本機には、お客様の好みを学習し、おすすめの番組を自動で録画する機能があります（自動で録画したタイトルには、☆が付きます）。この機能を解除するには、「本機がおすすめする番組を自動録画するための設定をする」の手順**2**で[自動録画]を[切]に設定してください。	59
	• あらかじめ設定したキーワードをもとに自動録画する機能（x-おまかせ・まる録）があります。自動で録画したタイトルには、☆が付きます。この機能を解除するには、「おまかせ条件を変更・取り消すには」で、x-おまかせ・まる録の録画条件を削除してください。	58
ディスクを**コピーできない。**	• 「1回だけ録画可能」な映像（デジタル放送）が録画されているディスクは、コピーできません。	131
リモート録画予約ができない。	• リモート録画予約の設定を行います。	209
	• 本機の電源が「切」のときにリモート録画予約するには、[本体設定]の[スタンバイモード]を[高速起動]にします。	203
	• x-Pict Story HD作成中やx-Pict Story HDの映像作成中はリモート録画予約できません。	—
	• ネットワークに接続されているか確認してください。	208

症状	対処のしかた	参照ページ
USB機器を**認識しない。**	• ソニー製デジタルスチルカメラにつなぐ場合、USB接続設定が標準(Mass Storageモード)になっているか確認してください。詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。	—
	• デジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルスチルカメラ、"PSP"をUSBモードに設定してください(ワンタッチディスクダビングの場合を除く)。	98、150、152、180、184
	• USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。	98、150、152、180、184
	• 本機とのUSB接続に対応している機器かどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。 http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/usb/index.html	99
おでかけ転送ができない。	• "PSP"に"メモリースティックPROデュオ"が正しく挿入されているか確認してください。	—
	• USBケーブルを正しくつないでください。	180
	• USBケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、ケーブルを交換してください。	—
	• "PSP"がUSBモードになっているか確認してください。詳しくは"PSP"の取扱説明書をご覧ください。	180
	• "PSP"で8GB以上のメモリースティックを使用するときは、バージョン2.81以降で利用できます。チャプター機能をご利用の際はバージョンを3.00以降にしてください。	175
	• 「録画1」で録画中のときは、おでかけ転送できません。	—
	• 「録画2」で録画中のときは、高速転送でのみおでかけ転送できます。	—
	• ダビング中はおでかけ転送ができません。	—
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送する場合は、本機をインターネットにつないでください。	—
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルによっては、書き出し先の機器やメディアが制限されたり、書き出しできる回数に制限があります。	—
デジタル放送の映像(タイトル)をおでかけ転送できない。	• デジタル放送のタイトルは、コピー制御信号に対応していない機器には転送できません。おでかけ転送対応機器と転送できる映像の種類が正しいか確認してください。	176
おでかけ転送で**高速転送**ができない。	• [おでかけ転送機器]の設定を、実際に転送する機器と合わせた状態で録画してください。	198
	• [おでかけ転送 高速転送録画]が[切]になっている場合は、[入]に変更してから録画してください。	198
	• 「録画2」で録画されたタイトルは高速転送できません。高速転送する場合は、「録画1」で録画してください。	177

次のページにつづく⇨

症状	対処のしかた	参照ページ
おかえり転送ができない。	• “PSP”や“ウォークマン”などデジタル放送の録画タイトルをおでかけ転送できる機種のみ、おかえり転送できます。	175
	• “PSP”に“メモリースティックPROデュオ”が正しく挿入されているか確認してください。	—
	• USBケーブルを正しくつないでください。	—
	• USBケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、ケーブルを交換してください。	—
	• “PSP”がUSBモードになっているか確認してください。詳しくは“PSP”の取扱説明書をご覧ください。	—
	• 「録画1」で録画中の時は、おかえり転送ができません。	—
	• おでかけ転送中は、おかえり転送ができません。	—
	• ダビング中はおかえり転送ができません。	—
	• デジタル放送の映像(タイトル)以外はおかえり転送できません。つないでいる機器にデジタル放送のタイトルが保存されているか確認してください。	183
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルはおかえり転送できません。	183
ダビングできない。	• 映画などの市販ソフトはハードディスクにダビングできません。	141
	• 「録画2」で録画中のときは、ダビングを開始できません。	132
	• ダビングするタイトルの合計が12時間を越える場合はダビングできません。ダビングするタイトルを減らしてもう一度ダビングを行ってください。	132
	• 8時間を超えるタイトルはBDやDVDにダビングできません。	132
	• 録画時間の短いタイトルはBDやDVDにダビングできないことがあります。	—
	• 本機で録画したタイトルであっても、BDやDVDにダビングできないことがあります。	—
	• 本機でダビングできるBDやDVDを入れているか確認してください。	235
	• BDやDVDに汚れや傷が付いていないか確認してください。	237
	• BDがプロテクト設定されている場合は、解除してください。	122
	• 外部入力から録画する場合、「1回だけ録画可能」の番組はBDに録画できません。	67、151
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルをダビングする場合は、本機をインターネットにつないでください。	—
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルによっては、書き出し先の機器やメディアが制限されたり、書き出しできる回数に制限があります。	—
正しくダビングされていない。	• BDやDVDに入っているコピー制御信号が付いたシーンはダビングされません。	131
	• 「1回だけ録画可能」の番組をダビングすると、コピーではなく移動(ムーブ)となり、HDDからは消去されます。	131
	• 再生時間が短いタイトルを録画モード変換ダビングすると、正しくダビングされないことがあります。	138
「管理情報がいっぱいです」「残量が足りないためダビングできません。」と画面に表示された。	• ダビング先のタイトルを消去してください。	108
	• ダビングするタイトルを減らしてください(ディスクの残量より少なくなるように減らしてください)。	133
	• 編集回数が多いタイトルの場合、タイトルを分割してください。	118

再生

症状	対処のしかた	参照ページ
再生が始まらない。	• BDやDVD、CDが入っているか確認してください。	—
	• 録画されているBDやDVDが入っているか確認してください。	—
	• BDやDVD、CDが裏返しに入っていないか確認してください。	—
	• BDやDVD、CDが斜めにずれて入っていないか確認してください。	—
	• CD-ROMなどの再生できないディスクが入っていないか確認してください。	235
	• BDやDVDの地域番号（リージョンコード）が本機で再生できる番号になっているか確認してください。	236
	• 結露が起きているときは、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。	準備編
	• 他機で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生できません。	236
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルを再生する場合は、本機をインターネットにつないでください。	—
再生がHDDやBD、DVDの最初から始まらない。	• つづき再生になっているときは、タイトル選択時に、（オプション）を押して［始めから再生］を選んでください。	84
	• 自動的にタイトルメニュー、BDまたはDVDメニューの画面が表示されるBDやDVDを入れています。	—
再生が自動的に始まる。	• 自動的に再生が始まるBDやDVDを入れています。	—
	• BDやDVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。	—
停止、早送り／早戻し、スロー再生などの操作ができない。	• 操作を禁止しているBDやDVDを再生しています。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。	—
音声言語を変更できない。	• 再生しているBDやDVDに複数の言語が記録されているか確認してください。	—
	• そのBDやDVDでは音声言語の切り換えを禁止しています。	—
	• BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。	—
字幕を変更できない。	• 再生しているBDやDVDに複数の字幕が記録されているか確認してください。	—
	• そのBDやDVDでは字幕の切り換えを禁止しています。	—
	• BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。	—
	• 本機で録画したタイトルでは変更できません。	—
アングルを変更して見ることができない。	• 再生しているBDやDVDに複数のアングルが記録されているか確認してください。	—
	• 本体表示窓に（ANGLE）と表示されている場面で、アングルを切り換えてください。	88
	• そのBDやDVDではアングルの切り換えを禁止しています。	—
	• BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。	—
	• 本機で録画したタイトルでは変更できません。	—
タイトルのサムネイルが表示されない。	• 一度再生して停止してください。	—
追いかけ再生できない（DRモードで録画中の場合）。	• アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。	—
	• 録画中の番組の途中からスクランブル解除できない信号が入った場合、追いかけ再生できません。	—

困ったときは

次のページにつづく⇨

症状	対処のしかた	参照ページ
BD-ROMに含まれる特典映像などが再生できない。	• BD-ROMを取り出して本機の電源を切り、しばらく経ってからもう一度電源を入れてBD-ROMを挿入し直してください。	—
HDDの「残量が足りません」と画面に表示された。	• 「本機からBD-ROMデータを削除するには」をご覧になりデータを消去してください。	86

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
音が出ない。	• 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。	214
	• 接続ケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、ケーブルを交換してください。	—
	• アンプの入力端子を確認してください。	—
	• アンプの入力切換で本機の音声が出るようになっているか確認してください。	—
	• 一時停止、スロー再生になっていないか確認してください。	—
	• 早送りまたは早戻しになっていないか確認してください。	—
HDMI接続したとき、音声が出ない。	• DVI機器の場合、音声は出力されません。	—
	• HDMI出力端子につないだ機器は、音声信号のフォーマットに対応してください。の[音声設定]から[HDMI音声出力]で[PCM]を選んでください。	201
音がひずむ。	• の[音声設定]から[音声出力ATT]を[入]に設定してください。	201
音が小さい。	• DVDによっては、再生時の音量が小さい場合があります。の[音声設定]から[オーディオDRC]を[テレビ]に設定すると、改善されることがあります。	202
	• の[音声設定]から[音声出力ATT]を[切]に設定してください。	201
二か国語放送の音声が切り換えられない。	• 二か国語放送(主音声および副音声)の音声をHDD（DRモード）、BD（DRモード）以外に記録できません。録画やダビングする前に、の[ビデオ設定]から[二重音声記録]を[主音声]または[副音声]に設定してください。	197
	• 主音声と副音声の両方を記録するには、HDD（DRモード）やBD（DRモード）にダビングしてください。	41
	• 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されている場合、アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅してください。	—
	• デジタル音声出力端子にアンプをつないでいる場合、HDDやBDまたはDVD-RW/R（VRモード）、DVD-RAMで音声を切り換えるには、の[音声設定]から[ドルビーデジタル]または[AAC]を[ダウンミックスPCM]に設定してください。	201
	• HDMI出力端子にデコーダー内蔵アンプをつないでいる場合、HDDやBDまたはDVD-RW/R（VRモード）、DVD-RAMで、本機のリモコンを使って主音声または副音声に切り換えるには、の[音声設定]から[HDMI音声出力]で[PCM]を選んでください。	201
	• 外部チューナーやビデオデッキを使って二重音声放送を記録する場合、外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声、または副音声に切り換えてください。外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声＋副音声に設定したい場合、本機で視聴中に、の[画音設定]から[音声設定]を選び、[外部入力音声]で[二重音声]を選び 決定 を押すと、視聴中の主音声または副音声を本機のリモコンの 音声切換（音声切換）で切り換えることができます。このとき記録する音声は、の[ビデオ設定]から[二重音声記録]で設定した音声になります。	68

アクトビラ

症状	対処のしかた	参照ページ
アクトビラを**起動できない。**	• ネットワークが正しく接続されているか確認してください。	準備編
アクトビラの映像が**乱れる、映らない。**	• 利用するネットワークの回線速度を確認してください。「アクトビラ ビデオ・フル」のご利用には、実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。	166
	• 他機器でインターネットを利用している場合は、他機器のインターネットのご利用を停止してください。	—
画面上に、ダウンロードに失敗したというエラーが表示される。	• ダウンロード予定のタイトル数が50個を超えている場合は、いくつかダウンロードが完了してから再度行ってください。	169
ダウンロード管理画面にエラーが表示され、本機の**アクトビラダウンロードランプ**が点滅している。	• 画面に従って対処してください。	—
ダウンロードが**遅い。**	• 他機器でインターネットを利用している場合は、他機器のインターネットのご利用を停止してください。	—
	• 次のようなネットワークを利用する機能を停止してください。 － BD-Liveの再生 － ホームサーバー機能 － アクトビラでページを表示、またはアクトビラで映像を再生	—
	• 次のような本機に負担がかかる機能を停止してください。 － x-Pict Story HDの作成 － ダビングやおでかけ転送 － 録画など	—
ダウンロードしたタイトルが**見つからない。**	• 視聴年齢制限の設定を確認してください。	206
	• 視聴期限が過ぎているため、自動消去された可能性があります。自己メールを確認してください。	190

表示

症状	対処のしかた	参照ページ
本体の録画予約ランプが**点滅している。**	• HDDやBDの残量を確認してください。	120
	• 本機に録画可能なBDが入っているか確認してください。	—
	• BDが保護（プロテクト）されていないか確認してください。	122
録画モードが**正しく表示されない。**	• 10分未満の録画やダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがあります。設定した録画モードで録画やダビングはされますが、表示が変わることがあります。	—
本機の表示窓に**時計**が表示されない。	• の［本体設定］から［本体表示の明るさ］を［明］または［暗］に設定してください。	203
本体の表示窓に**エラーメッセージ『E5001』**が表示されている。	• 本機の内部温度が上昇していることをお知らせするメッセージです。本機を涼しいところに設置し内部温度が上昇しないようにしてください。	—

困ったときは

次のページにつづく⇨

リモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
リモコンが**動かない。**	• 乾電池を交換してください。	—
	• 乾電池を交換すると、メーカー番号がお買い上げ時の設定に戻る場合があります。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直してください。	**準備編**
	• 操作する機器の操作機器切換用ボタンを押してください。	**準備編**
	• 本体側のリモコンモードのみ変更すると、リモコンで本機を操作できなくなります。このようなときは、「準備編」の「1つのリモコンで複数のソニー製BD機器を操作する（リモコンモード）」にある「リモコン側のリモコンモードを変更するには」の手順**1**から**3**を行い、リモコン側のリモコンモードを本体側のリモコンモードに合わせてください。	—
	• リモコンを本体に向けて操作してください。	—
	• リモコンを本体に近づけて操作してください。	—
本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のBD対応機器が**同時に動いて**しまった。	• 本機のリモコンモードを変更してください。お買い上げ時は［BD3］になっています。	**準備編**
リモコンの数字ボタンでチャンネルを**選ぶことができない**（ソニー製、アイワ製の対応機種を除く）。	• チャンネルは、チャンネル＋／－ボタンで選んでください。	—
「ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビの一部機種に付属している**マルチリモコン**」が動かない。	• ［HDMI機器制御］が「入」になっているか確認してください。	203
	• マルチリモコンに本機が正しく登録されているか確認してください。登録できている場合、リモコンのボタンを押すと登録済みの機能ボタン（リモコン上にある）が光ります。ただし、リモコン上のすべてのボタンが効くわけではありませんので、ホームボタンを押すなどして動作するか確認してください（お使いのリモコンの取扱説明書もご覧ください）。	**準備編**

その他

症状	対処のしかた	参照ページ
電源が「切」のときに本機の**ファンなどの動作音**がする。	• 電源「切」時に番組表の番組データを取得する際、本機のファンが動作することがあります。	214
	• ［スタンバイモード］が［高速起動］モードに設定されている場合、電源が「切」の時でもファンが動作し続けることがあります。	203
	• 本機のホームサーバー機能やリモート録画予約、HDMI機器制御機能を利用しているときは、電源が「切」でもファンが動作し続けます。	214
	• 本機に挿入したB-CASカードが契約切れや無料視聴期間中の場合、本機が確認のための通信動作を行うため、ファンが動作し続けます。	—
	• ソフトウェアアップデート中は本機が待機状態になるため、ファンが回り続けます。	229
	• 録画中のときやダビング中のときはファンが動作し続けます。	214

症状	対処のしかた	参照ページ
HDMI機器制御機能が**働かない。**	• HDMI機器制御が[入]になっているか確認してください。	203
	• 接続機器がHDMI機器制御機能に対応していることを確認してください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。	—
	• 接続機器の電源コード・HDMIケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。	—
	• 接続機器の、HDMI機器制御機能の設定を確認してください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。	—
	• AVアンプを通してテレビにつないだ場合に、HDMI接続を変更したり、電源コードの抜き差しをしたり、停電があった場合は、本機の再生映像がテレビに映るようにAVアンプの入力を切り換えてください。次に、本機の[HDMI機器制御]の設定を一度[切]にし、その後[入]に再設定してください(お使いのAVアンプの取扱説明書もご覧ください)。	203
	• HDMI機器制御機能について詳しくは、「準備編」の「HDMI機器制御機能を利用する」をご覧ください。	**準備編**
	• HDMI機器制御に対応していないAVアンプを通してテレビにつなぐと、HDMI機器制御が正しく機能しません。	—
ホームサーバー対応の他機器から本機の映像を再生できない。または、他機器から**本機が見つからない。**	• [未登録機器一覧]で機器登録をすると、本機の映像を再生できるようになります。	210
	• ホームサーバー機能対応の他機器側で正しく再生されていない場合、機器の取扱説明書を参照してください。	—
	• 本機の電源が「切」のときに他機器から本機の映像を再生するには、[本体設定]の[スタンバイモード]を[高速起動]にしてください。	203
	• 以下の場合は他機器から本機の映像を再生できません。 － 本機の設定を変更しているとき － 再生を伴うタイトル編集をしているとき*[1] － タイトルダビングをしているとき*[2] － まるごとDVDコピーをしているとき － x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中 － x-Pict Story HDを作成しているとき － おでかけ／おかえり転送しているとき － 写真の取り込み中 － アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ・フルを視聴しているとき	104
	• 本機がホームネットワークに接続されているか確認してください。	208、210
正常に**動作しない。**	• 本体の電源ボタンを10秒以上押し続け、本機を再起動させてください。	—
	• 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切って本体表示窓に時計が表示されてから電源コードを抜いてください。しばらく経ってから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。	—
自動的に**再起動**する。	• 本機に不具合が生じたときに、本機が自動的に再起動することがあります。	—
チャンネルを切り換えたとき映像が出るまで**時間がかかる。**	• 番組表データの受信後、映像が出るまでに時間がかかることがあります。	—
アルファベットと数字で**5桁の番号が**本体表示窓に出ている。	• 自己診断機能が働いています。	228

*[1] 再生を伴うタイトル編集とは、以下の編集内容のことです。
サムネイル設定、チャプター編集、チャプター消去、 A-B 消去、タイトル分割、プレイリスト作成

*[2] HDV/DV ダビングを利用しているときは、他機器で再生できます。

次のページにつづく⇨

症状	対処のしかた	参照ページ
開/閉（開／閉）を押してもディスクトレイが開かない。	• BDやDVDに録画や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがあります。これは、本機がBDやDVDにディスク情報を追加しているためです。	—
	• 電源を切って電源コードを抜きます。本体の開／閉ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら開／閉ボタンをはなしてください。ディスクを取り出した後、本体の電源ボタンを10秒以上押し続け、本機を再起動させてください。	—
	• 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数十秒かかることがあります。	—
電話回線に接続できない。	• 本機は電話回線用無線通信ユニットに対応していません。	—

表示窓にアルファベットで始まる表示が出たら（自己診断機能）

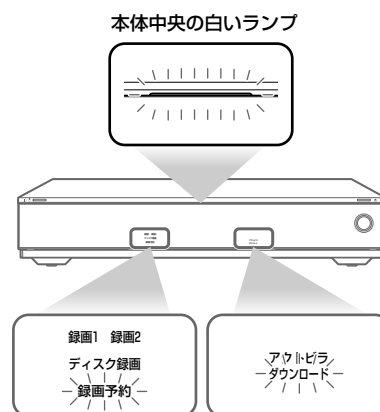
本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号の最初の3桁	原因と対策
EXX （XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。 ➡ ソニーの相談窓口へお問い合わせください（➧裏表紙）。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E 61 10

本機を再起動するには

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本体の電源ボタンを10秒以上押し続けてください。本機が再起動します。

本体前面のランプ

本体前面のランプで、本機のメッセージを確認できます。

本体中央の白いランプが点滅しているとき

➔ 本機のソフトウェアをアップデートしているときに点滅します。表示窓に進行状況が表示されます。

録画予約ランプが点滅しているとき

➔ 録画予約が登録されているとき、以下の理由で録画できません。
- 直近の予約に対してHDDやBDの容量が不足している場合
- 直近の予約がBDへの録画予約であるときに、録画できないディスクが入っている、または、ディスクが入っていない場合

アクトビラダウンロードランプが点滅しているとき

➔ アクトビラからのダウンロードがエラーになったときに点滅します。原因を確認してください（169ページ）。

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデートして更新する機能が搭載されています。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

次の2つの条件を満たしていれば、アップデートが行われます

条件1：BSデジタル放送のアンテナレベルの受信レベル（193ページ）が「20以上」になっている。または地上デジタル放送を安定して受信できている（192ページ）。
条件2：［ソフトウェアアップデート］が［自動］（お買い上げ時の設定）になっている（204ページ）。

データのダウンロードの実行

データのダウンロードは自動で行われます。

アップデート（ソフトウェア更新）の実行

本機がソフトウェア更新用のデータを正常に取得すると、電源が入っていないときソフトウェアの更新を自動的に開始します。電源が入っているときは電源を切ったあとで開始します。
ソフトウェア更新中は本体中央の白いランプが点滅し、表示窓に進行状況が表示されます。完了して時計表示に戻るまでは電源コードを抜かないでください。

アップデートが正常に終了すると

「アップデート終了のお知らせ」のメールが届きます（190ページ）。

ソフトウェアアップデートについて

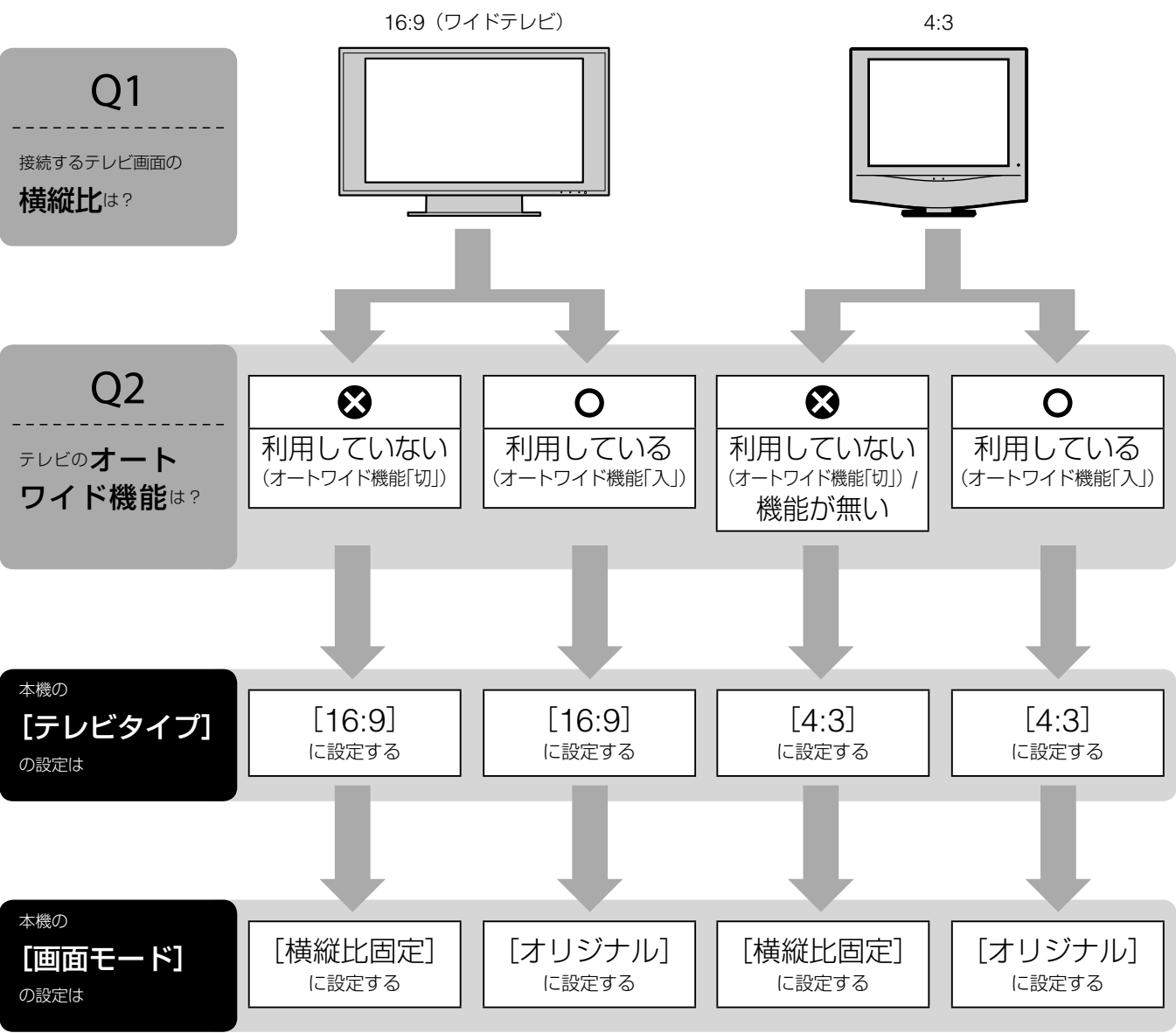
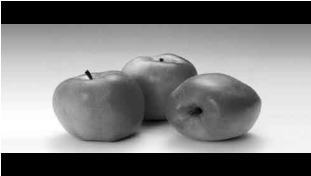
- お客様のお使いになる環境によりアップデートが完了するまで、時間がかかる場合があります。
- お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。
- ソフトウェア更新用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。1回目の信号で正しくダウンロードできなくても次回以降でダウンロードできます。
- 電源コードが抜かれていた場合は、アップデートは行われません。
- アップデート中は、電源コードを抜かないでください。アップデートの中断により、ソフトウェアの更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

アップデート中のご注意

ソフトウェア更新用データをダウンロードするときは、本機が待機状態に入るため、本機の電源が「切」でもファンが回り続けることがあります。
待機中に録画予約などが重なると、録画予約が優先されるため、次のダウンロード時刻までファンが回り続けます。

その他

テレビに表示される画面の横縦比について

ワイドテレビやワイドモード付きのテレビのときは、テレビ側のワイドモード設定によって表示のされかたが異なります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧になり、ワイドモードの設定もご覧ください。

本機の設定方法

の[映像設定]から[テレビタイプ]および[画面モード]で設定できます（199ページ）

16:9のテレビで画面の映像が正しく表示されないときは

映像の見えかた	症状	対処のしかた
	映像が左右に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	テレビで　ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）
	映像が上下に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	本機で　[テレビタイプ]を[16：9]に設定します。 テレビで　ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）
	映像の上下左右に黒帯が付いている	テレビで　ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）

4:3のテレビで画面の映像が正しく表示されないときは

映像の見えかた	症状	対処のしかた
	映像が左右に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	本機で　[テレビタイプ]を[4：3]に設定します。
	映像が縦長で画面いっぱいに表示されている	本機で　[テレビタイプ]を[4：3]、[画面モード]を[横縦比固定]に設定します。

16:9のテレビで4:3の映像を画面いっぱいに引き伸ばして見たいときは

本機で　[テレビタイプ]を[16：9]、画面モードを[オリジナル]に設定します。

テレビで　ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）

音声設定と有効な出力端子について

設定項目ごとに、設定が有効になる出力端子が異なります。お使いになる出力端子の種類を確認してください。

設定項目名	ページ	有効な出力端子		
		HDMI出力端子	デジタル音声出力光端子	音声出力端子
画音同期調整	102	○	○	○
アナログ音声フィルター	102	–	–	○
HDMI音声出力	201	○	–	–
BD-ROM HD音声出力	201	○	–	–
音声出力ATT	201	–	–	○
ドルビーデジタル	201	–	○	–
AAC	201	–	○	–
DTS	201	–	○	–
48kHz/96kHz PCM	201	–	○	–
オーディオDRC	202	○*	○*	○
ダウンミックス	202	○*	○*	○
BD音声デジタル出力	202	○	○	–

* PCM出力時のみ有効

ご注意

HDMI出力端子から出力される音声は、接続先機器の仕様により異なります。

利用できるディスク一覧

本機で録画・再生できるディスク

本機で録画したDVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）は、DVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。

	HDD（本機内蔵）	12cmにのみ対応							
		BD-RE	BD-R	DVD-RW（VR）	DVD-RW（ビデオ）	DVD-R（VR）	DVD-R（ビデオ）	DVD+RW	DVD+R DVD+R DL（2層）
本機で利用できるバージョン	–	Ver.2.1（1層および2層）に対応した2倍速メディアまで	Ver1.1,Ver.1.2, Ver.1.3（1層および2層）に対応した6倍速メディア*[13]まで（LTH*[12]は1層のみ対応）	Ver.1.1, Ver.1.1 CPRM, Ver.1.2, Ver.1.2 CPRMに対応した6倍速メディアまで		Ver.2.0, Ver.2.0 CPRM, Ver.2.1, Ver.2.1CPRMに対応した16倍速メディアまで		8倍速メディアまで	16倍速メディアまで（DVD+R DL（2層）は8倍速まで）
最大録画時間	490時間（BDZ-A950）、306時間（BDZ-A750）	24時間25分（1層）48時間50分（2層）		約6時間*[10]	約6時間*[10]	約6時間*[10]	約6時間*[10]	約6時間*[10]	約6時間*[10]（DVD+R DL（2層）は約10時間51分）
番組の録画	○	○	○	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]
1回だけ録画可能の番組の録画	○	○	○	×*[10]（要CPRM対応）	×	×*[10]（要CPRM対応）	×	×	×
書き換え	○	○	×	○	○	×	×	○	×
チャプター設定	自動／手動	自動／手動	自動／手動	×	×	×	×	×	×
静止画の保存（取り込み）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二か国語放送の両音声を録画	○*[2]	○*[2]	○*[2]	×	×	×	×	×	×
文字放送の字幕を録画*[1]	○	○	○	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]
16：9番組・映像を録画	○	○	○	×*[10]	×*[10]*[11]	×*[10]	×*[10]*[11]	×	×
16:9/4:3の番組・映像を混在して録画	○*[3]	○*[3]	○*[3]	×*[10]	×	×*[10]	×	すべてを4：3でダビング	すべてを4：3でダビング
タイトル名入力	○	○	○	×	×	×	×	×	×
タイトル消去	○	○	○*[4]	×	×	×	×	×	×
A-B消去	○	○	○*[4]	×	×	×	×	×	×
タイトル分割	○	○	○	×	×	×	×	×	×
タイトル結合*[5]	○	○	○	×	×	×	×	×	×
プレイリスト作成	○	○	○	×	×	×	×	×	×
ディスクの初期化*[6]	不要	自動的に初期化	自動的に初期化	VRモードで初期化	ビデオモードで初期化	VRモードで初期化	ビデオモードで初期化	+VRで自動的に初期化	+VRで自動的に初期化
録画番組・映像の再生	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静止画（JPEG）の再生	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画・静止画が混在しているとき	記録・再生	記録・再生	記録・再生	再生のみ	再生のみ*[7]	再生のみ	再生のみ*[7]	再生のみ	再生のみ*[7]
静止画のHDD→DISCへのコピー	–	○	○	○*[8]	○*[8]	新品のディスクのみ	新品のディスクのみ	○*[8]	新品ディスクのみ（DVD+R DL（2層）は不可）
互換性（再生互換）	–	多くのBD機器で再生可能*[9]	多くのBD機器で再生可能*[9]	VRモード対応の機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	-RVRモード対応の機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）

*[1] 録画モードがDRモード以外で字幕を録画するときは、［字幕焼きこみ］（198ページ）の設定が必要です。

*[2] 録画モードがDRモードのときのみ。

*[3] 1つのタイトルに16:9/4:3の番組・映像を混在して録画できるのはDRモードのみです。

*[4] タイトルを消去してもディスクに空き容量は発生しません。

*[5] オリジナルタイトル同士またはプレイリストタイトル同士。

*[6] 未使用のディスクはDVDへのダビングを行うときに、自動的に初期化されます。

*[7] ファイナライズ済のディスク。

*[8] 静止画をコピーすると、今までに入っていたデータが消去されます。

*[9] DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG4-AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。

*[10] ダビングのみできます。録画はできません。

*[11] ダビングモードがLP、EPでは4：3のみ。

*[12] Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式。

*[13] 記録速度は4倍速まで

次のページにつづく⇨

市販品および他機器録画ディスクの再生

本機は12cmと8cmの両方のディスクに対応しています。

		他機による録画		他機による録画					他機による録画	
	市販のBD-ROM	BD-RE BD-R*1 （1層／2層）	市販のDVDビデオ	DVD-RW (VR／ビデオ)	DVD-R/ DVD-R DL （2層） (VR／ビデオ)	DVD+RW DVD+R/+R DL（2層）	DVD-RAM*2	市販のCD*3	CD-R/ CD-RW	Super Audio CD
本機への動画保存（取り込み）	×	○*4	×	○*4/*5	○*4/*5	○*4/*5	○*4	×	×	×
本機への静止画保存（取り込み）	×	○	○	○*5	○*5	○*5	○	○	○*5	×
動画の再生	○	○	○	○*5	○*5	○*5	○	×	×	×
音楽の再生（CD-DAのみ）	×	×	×	×	×	×	×	○	○*5	CDレイヤーのみ
静止画の再生	○	○	○	○*5	○*5	○*5	○	○	○*5	×

*1 BD-REはVer.2.1、BD-RはVer1.3または1.2、Ver.1.1に対応。ただし、LTH（Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式）は1層のみ対応。
*2 DVD-RAMは、Ver.2.0,Ver.2.1,Ver.2.2に対応。カートリッジ方式（Type1除く）のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出して使用してください。
*3 音楽用のCDのロゴ COMPACT disc DIGITAL AUDIO が付いているもののみ対応。
*4「1回だけ録画可能」の番組は本機へ取り込めません。
*5 ファイナライズ済みのディスク。

ご注意

- 地域番号（リージョンコード）が「A」を含まないBD-ROMは再生できません。
- 地域番号（リージョンコード）が「2」または「ALL」以外のDVDは再生できません。
- NTSC以外のカラーテレビ方式で記録されたディスクは再生できません。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDは再生できません。

AVCHD方式で録画したディスクの再生について

本機で再生できるAVCHD方式で記録したディスクは次のとおりです。ただし、下表のすべてのディスクを動作保証するものではありません。

DVD-RW	DVD-R/ DVD-R DL （2層）	DVD+RW	DVD+R/ DVD+R DL （2層）	DVD-RAM
○*1	○*1	○*1	○*1	×

*1 ファイナライズ済みのディスク。

ディスクに関するご注意

- DVDビデオカメラで作成したフォトムービーなどは本機で編集できません。
- DVD-RW/DVD-R/DVD+RW/DVD+R には録画や編集はできず、ダビングのみ可能です。
- 1枚のDVD-RWまたはDVD-RにVRモードとビデオモードを同時に設定できません。
  記録フォーマットを変更するときは、もう一度初期化してください(133ページ)。ただし、それまで録画した内容は消去されます。またDVD-R（VRモード／ビデオモード)は再度初期化できません。
- DVD-RW/DVD-R/DVD+RW/DVD+R は、単独で初期化はできず、ダビング時にのみ初期化が可能です。BD-RE は、オプションメニューから単独で初期化が可能です。
- 2層BD/DVDを再生する場合、レイヤー（層)が切り換わるときに映像・音声が一瞬途切れることがあります。
- 本機に取り込んだ写真をDVDに記録する場合は、未フォーマットのDVD-RやDVD+R、またはDVD-RW、DVD+RWを使用してください。
- 他機で録画したBD-REやBD-Rは、録画や再生、編集ができないことがあります。
- 記録済みのBD-RE/BD-RまたはDVD+RW/DVD+R、DVD-RW/DVD-R、DVD-RAM、CD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、BD/DVD/CD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、DVD-RW（VRモード)以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないDVDは、再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機で録画したディスクは、ディスク情報画面で正しく表示されない場合があります。
- 本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG4-AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。
- 大切な録画やダビングを行う場合には、BD-REなどのくり返し録画可能なディスクやHDDでかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- Ver.2.1 のBD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.3のBD-R（LTH*は1層のみ対応)は、録画・再生・編集・ダビングが可能です。
- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
  なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。
- パソコンで記録したデータのうち、本機で読み込めないデータは、消去されることがあります。

* Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式。

録画モード一覧

HDD/BDの録画モードと録画可能時間

録画モード		HDDへの録画可能時間*[1]（目安）				BDへの録画可能時間*[1]（目安）	
		[おでかけ転送 高速転送録画]の設定*[3]				BDの種類	
		[切]		[入]			
		BDZ-A950	BDZ-A750	BDZ-A950	BDZ-A750	1層(25GB)	2層(50GB)
DR（デジタル放送画質*[2]）							
	地上デジタル(HD)放送録画時	約61時間	約38時間	約56時間	約35時間	約3時間	約6時間
	BS/110度CSデジタル(HD)放送録画時	約43時間	約27時間	約40時間	約25時間	約2時間10分	約4時間20分
	標準テレビ信号(SD)放送録画時	約94時間	約59時間	約85時間	約52時間	約4時間44分	約9時間28分
	HDVの映像録画時	約38時間	約24時間	約36時間	約22時間	約1時間55分	約3時間50分
XR (AVC15M)	（高画質）	約64時間	約40時間	約59時間	約36時間	約3時間10分	約6時間20分
XSR (AVC12M)	↑	約81時間	約51時間	約74時間	約45時間	約4時間	約8時間
SR (AVC8M)	（標準）	約122時間	約76時間	約108時間	約66時間	約6時間5分	約12時間10分
LSR (AVC5M)		約184時間	約115時間	約155時間	約95時間	約9時間10分	約18時間20分
LR (AVC4M)	↓	約245時間	約153時間	約213時間	約131時間	約12時間10分	約24時間20分
ER (AVC2M)	（長時間録画）	約490時間	約306時間	約386時間	約237時間	約24時間25分	約48時間50分

*[1] 次のようなときに録画時間が異なることがあります。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
- 編集されたBDに追加して録画する場合
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合

*[2] デジタル放送をそのままの画質で録画できます（標準テレビ放送（SD）の番組は、そのままのSD画質で録画されます）。また、「録画2」へは、DRモードでのみ録画できます。
*[3] [おでかけ転送 録画モード]が「自動」に設定されているときの録画可能時間。

HDDからDVDへのダビングモードと記録可能時間

ダビングモード		DVDへの記録可能時間*（目安）	
		DVDの種類	
		DVD+R DL（2層）以外	DVD+R DL（2層）
XP	（高画質）	約1時間	約1時間48分
XSP	↑	約1時間30分	約2時間42分
SP	（標準）	約2時間	約3時間37分
LSP		約2時間30分	約4時間31分
LP	↓	約4時間	約7時間14分
EP	（長時間録画）	約6時間	約10時間51分

* 次のようなときに記録時間が異なることがあります（XSP ～ EPのみ対象）。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組をダビングする場合
- 編集されたDVDに追加してダビングする場合
- 静止画像や音声のみのタイトルをダビングした場合

上記の表の数値は目安です。記録する内容によって変化することがあります。

本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（長時間録画のモードでは、特にその差が著しくなります）残量に余裕がある状態で記録してください。

- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なるため、残量表示は、地上デジタル放送（17Mbps時）またはBS/110度CSデジタル（HD）放送(24Mbps時）として計算されます。そのため、実際の残量と異なる場合があります。

HDDからBDへの高速ダビング所要時間一覧（60分番組の場合）*

録画モード		BD-RE（2倍速メディア使用時）		BD-R（4倍速／ 6倍速メディア使用時）	
		ダビング倍速	ダビング所要時間	ダビング倍速	ダビング所要時間
DR	地上デジタル(HD)放送	約4倍速	約15分	約8倍速	約7分30秒
	BS/110度CS（HD)放送	約2.8倍速	約21分	約5.7倍速	約10分30秒
	標準テレビ信号(SD)放送	約6倍速	約10分	約12倍速	約5分
	HDV	約2.5倍速	約24分	約5倍速	約12分
XR	(高画質)	約4.1倍速	約14分30秒	約8倍速	約7分30秒
XSR		約5.2倍速	約11分30秒	約10倍速	約5分50秒
SR	(標準)	約7.7倍速	約7分45秒	約15倍速	約4分00秒
LSR		約11倍速	約5分15秒	約21倍速	約2分45秒
LR		約15倍速	約4分	約27倍速	約2分10秒
ER	(長時間録画)	約27倍速	約2分10秒	約48倍速	約1分15秒

* 表中の速度・所要時間は目安です。実際には、ディスク管理情報の作成時間も加わります。

HDD/BDの録画モードと記録されるデータ

録画モード		放送番組の情報				
		映像	映像横縦比	音声	二重音声	字幕データ
DR	地上デジタル(HD)放送	HD/SD ／混在	16:9/4:3 ／混在	5.1ch/2ch ／ 混在	二重音声	字幕データ
	BS/110度CS（HD)放送					
	標準テレビ信号(SD)放送					
	HDV					
XR	(高画質)	HD/SD	16:9/4:3 *1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
XSR		HD/SD	16:9/4:3 *1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
SR	(標準)	HD/SD	16:9/4:3 *1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
LSR		HD/SD	16:9/4:3 *1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
LR		HD/SD	16:9/4:3*1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
ER	(長時間録画)	SD	16:9/4:3*1	2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3

*1 HDの場合には、16:9 のみ。

*2 の[ビデオ設定] ― [二重音声記録]にて設定した音声（主音声または副音声）のみが記録されます（197ページ）。

*3 の[ビデオ設定] ― [字幕焼きこみ]の設定を[入]にすると、字幕を映像の一部として焼きこむことができます（198ページ）。

その他

言語コード一覧

詳しくは、204ページをご覧ください。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Belarusian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French

コード	言語
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru

コード	言語
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian

コード	言語
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua

コード	言語
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance

コード	言語
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

言語名表記はISO639：1988（E/F）に準拠

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（➡裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：BDZ-A950、BDZ-A750
- ディスクの種類：BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-Rなど
- 接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS/110度CS混合アンテナ、CATV
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

ソニー以外が提供するサービスについて

リモート録画予約について

リモート録画予約についてはリモート録画予約サービス事業者にお問い合わせください（70ページ）。なお、お客様からのお問い合わせに対応するために、事業者側のサーバーにアクセスし、お客様の情報（サービス登録番号や携帯電話のニックネーム、本機に関する情報*）を確認することがあります。

* ・本機に付与されるサーバー側システム上の管理ID
  ・機種名
  ・MACアドレスの下4桁
  ・ネットワーク接続状況
  ・契約しているサービス情報

主な仕様

型名		BDZ-A950	BDZ-A750
システム	形式	BD/DVD/HDDレコーダー	
	受信チャンネル	地上デジタルチューナー：UHF、CATV 地上アナログチューナー（CATVチューナー一体型）：VHF：1 ～ 12ch、UHF：13 ～ 62ch、CATV：13 ～ 63ch BS/110度CSデジタルチューナー：1032 ～ 2071MHz	
	映像受信方式	周波数シンセサイザー方式	
	音声受信方式	スプリットキャリア方式	
	アンテナ入出力	VHF/UHF：75ΩF型コネクター BS/110度CS IF：75Ω F 型コネクター （コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動／切を切り換え）	
	タイマー	時計方式：クォーツクロック、12時間デジタル表示 停電補償時間：約1時間	
	映像記録方式	MPEG4-AVC（HDD/BD）、MPEG2（HDD/BD）（DRモード時）、MPEG1,2（DVD）	
	音声記録方式／ビットレート	Dolby Digital (2ch 256kbps / 5.1ch 448kbps) MPEG-2 AAC（DRモード時） MPEG-1 Layer2（DRモードでHDVダビング時）	
入・出力端子	映像入力	入力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω	
	映像出力	出力、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω	
	S映像入力	入力1系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω	
	S1映像出力	出力、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω	
	音声入力	入力1系統、ピンジャック入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）	
	音声出力	出力、音声出力の2系統、ピンジャック出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）	
	デジタル音声出力	光：角型光ジャック1系統／ -18 dBm（発光波長660 nm）	
	D1/D2/D3/D4映像出力	D映像出力端子 Y：1.0 Vp-p/75 Ω、P_B/C_B：0.7 Vp-p/75 Ω、P_R/C_R：0.7 Vp-p/75 Ω	
	HDMI出力	19ピン標準コネクタ1系統	
	HDV/DV入力	i.LINK 4ピン HDV1080i/DV入力 1系統	
	USB端子	Hi-Speed USB (USB 2.0準拠）2系統 （デジタルビデオカメラ／デジタルスチルカメラ／メモリースティックUSBリーダーライターおよび“ウォークマン”／“PSP”（発売元：株式会社ソニー・コンピューターエンタテインメント）接続用）	
	電話回線端子	モジュラージャック	
	LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX（ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）	
電源・その他	電源	AC100 V、50/60 Hz	
	消費電力	動作時：64W（BS/CSコンバータおよびUSB機器への電源供給時） 待機時：0.6W（スタンバイモード「標準」、表示窓消灯時）	動作時：64W（BS/CSコンバータおよびUSB機器への電源供給時） 待機時：0.6W（スタンバイモード「標準」、表示窓消灯時）
	許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃	
	許容動作湿度	25 %～ 80 %	
	最大外形寸法	430×79.8×333 mm（幅×高さ×奥行き）最大突起含む	
	HDD容量	500ギガバイト	320ギガバイト
	本体質量	約5.8kg	約5.6kg
	付属品	「準備編」の「［準備1］付属品を確かめる」をご覧ください。	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機の省エネ対応について

本体表示の明るさ設定（203ページ）と、かんたん設定の「地上アナログチャンネル設定」で地上アナログ放送を受信しない設定にすると、消費電力を軽減できます。

商標について

- "ブラビアリンク"、 および は、ソニー株式会社の商標です。
- "ブラビア プレミアムフォト"および は、ソニー株式会社の商標です。
- BD-Live（BDライブ）とBonusView（ボーナスビュー）は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
  Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。
  また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、ダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS,Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD Advanced Digital OutはDTS,Inc.の商標です。
  Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Advanced Digital Out are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.
- i.LINKは、IEEE1394を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニーの商標です。
- " "、"xross media bar"および"XMB"は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- PSP®「プレイステーション・ポータブル」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、「PSP」および「プレイステーション」は同社の登録商標です。
- HDVおよびHDVロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- " "はソニー株式会社の商標です。
- DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.
- "x.v.Color"および"x.v.Color"は、ソニー株式会社の商標です。
- "メモリースティック"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"はソニー 株式会社の商標または登録商標です。
- "MagicGate"（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。"MagicGate Type-R for Secure Video Recording"（以下 MG-R(SVR) ）は "MG-R(SVR) for Memory Stick PRO"および"MG-R(SVR) for EMPR"は Dpa（地上波 デジタル推進協会）からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。
- "Embedded Memory with Playback and Recording Function System" (以下 "EMPR")は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名です。
- この製品はメモリースティックセキュアビデオ規格および"EMPR"規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式 として"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for Memory Stick PRO"および"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR"を利用しています。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- JavaおよびすべてのJava関連のマークは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、㈱アクトビラの商標または登録商標です。
- DCS－人名辞書データ (著作権者・提供者：日外アソシエーツ株式会社)
- DCS－ニュース・シソーラス 第四版
  ー 新聞・放送ニュース検索のための主題14000語：著編者・廣木守雄，服部信司〔編〕／提供：日外アソシエーツ株式会社

録画防止機能について

本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な映像で録画できなかったり、録画したものを正常な映像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機のデジタル音声出力 光端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
また、本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社とその他の著作権利者が保有する米国特許、およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用にはマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の視聴サービスでの使用に制限されています。本機を分解したり改造することは禁じられています。

次のページにつづく⇨

Gガイドについて

本機のアナログ放送の電子番組表は、米Gemstar-TV Guide International, Inc.が開発した「Gガイド」を採用しています。Gガイドを利用した番組表は、特定の放送局（ホスト局）の地上アナログテレビ放送とともに送信されています。本機は、そのデータを1日数回自動的に受信して、テレビ画面に番組表を表示しています。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、かんたん設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。
* 当社では、Gガイドを利用した番組表のサービス内容には関与していません。

ご注意

お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用いただけない場合があります。

Gガイドとは

Gガイドは、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表データを送信するサービスです。番組表のデータ送信は（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドと、データ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています（2009年3月現在）。
- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、IBC岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）
- 中国・四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域ー RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

i.LINK（アイリンク）について

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用HDV1080i/DV入力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器をつないだ場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器とつなぐときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
  接続・動作を確認している機種については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/products/i-link/index.html
  MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子（MICROMV信号）とは信号が異なるため、接続できません。S映像端子または映像・音声端子を使って接続してください。
- ソニー製以外のHDV/DVビデオカメラレコーダーは接続できません。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器とつないだ場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子（HDV1080i/DV入力端子）は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子（MICROMV信号）、および地上デジタルハイビジョンテレビ、地上デジタルチューナー、BSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子（MPEG-TS信号）とは信号が異なるため、接続できません。使用方法については148ページをご覧ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン ←→ 4ピン（HDV/DVダビング時）

本機器はIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000規格に準拠しています。

用語集

五十音順

インターレース(飛び越し走査)
映像の1フレーム(コマ)を2つのフィールド映像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示します。

オリジナルタイトル
HDDやBD-RE、BD-Rに実際に録画したそのままのタイトル。オリジナルのタイトルを消去するとHDDやBD-RE、DVD-RWの空きが増えます。

解像度(200)
ディスプレイの表示能力やプリンタの印刷能力、スキャナの分解能力など、出力される映像の情報量。単位幅をいくつの点の集合として表現するかを表わし、この値が高いほど、より自然に近い画質が得られます。

ガイドチャンネル
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号。

緊急警報放送
地上デジタル、BSデジタルの標準テレビ信号のマルチ放送を利用した放送。
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

ケーブルテレビ(CATV)
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送。地上アナログ放送のテレビ番組や地上デジタル放送、BSアナログ放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

降雨対応放送
激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るもの。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

コピー制御信号
複製防止機能のこと。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトや放送番組を録画できません。

サムネイル(116)
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像。

視聴年齢制限(205)
国・地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限するBD-ROM/DVDの機能。
制限のしかたはBD-ROM/DVDによって異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがあります。

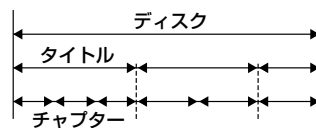
字幕放送(30)
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

受信チャンネル(194)
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

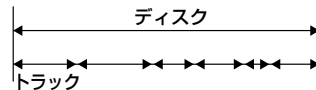
ソニールームリンク(103)
DLNAなどのホームネットワークを介してさまざまな機器をつなぎ、動画・音楽・写真などの楽しみ方を広げるソニー商品の機能名称です。
本機には「ソニールームリンク」対応の「ホームサーバー機能」が搭載されています。「ソニールームリンク」に対応しているテレビやパソコンとホームネットワーク経由で接続すると、HDDに記録した映像や写真を他の部屋からでも楽しめます。

タイトル(84)
HDDやBD、DVDに記録されている映画1作品や、テレビ番組1本分をタイトルと呼んでいます。

ダウンミックス(202)
サラウンド音声を、オリジナルのチャンネル数以下に変換して再生することです。

チャプター(90)
HDDやBD、DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。チャプターが記録されていないタイトルもあります。

データCD/DVD(99)
データディスク(CD、DVD)とは、コンピュータでのみ読み取ることができるファイルを格納するフォーマット。本機の場合、写真ファイルが格納されたディスクを指す。

デジタルハイビジョン信号(HD)
デジタル放送の映像方式。1125iと750pがあり、大画面になっても走査線(テレビ画面を水平に走る線)が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

トラック(97)
CDに記録されている曲の区切り(1曲分)。

トランスモジュレーション方式
ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更して、ケーブルテレビへ再送信する方式。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力されます。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

ドルビーデジタルプラス(91)
ドルビーラボラトリーズの開発した音声圧縮符号化技術。7.1チャンネルのマルチチャンネルサラウンドに対応しています。

ドルビー TrueHD（91）
可逆圧縮で音声を記録する次世代光ディスクのための技術。8チャンネルまでのマルチチャンネルサラウンドに対応し、高品質なオリジナルの音源を完全に再現します。

パススルー方式
ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更せずに、ケーブルテレビへ再送信する方式。パススルー方式には周波数を変換するものとそのままのものがあります。

ハードディスク（HDD）
大容量データ記憶装置のひとつ。表面に磁性体を塗った平らな円盤（ディスク）を回転させ、それに磁気ヘッドを近づけてデータを記憶します。
大量のデータの保存に適し、高速で読み書きできます。

番組連動データ（31）
番組と連動しているデータ放送です。スポーツ中継を見ているときに選手の成績を確認したり、天気予報などお住まいの地域の情報を見ることができます。

ビデオモード（12、235）
録画した映像を、より多くの機器で再生できる記録フォーマットのことです。

表示チャンネル（194）
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更もできます。

標準テレビ信号（SD）
デジタル放送の映像方式。525pと525iがあり、525iは地上アナログ放送と同等の画質です。

フォーマット（133）
記録前のDVD-R/DVD-RWなどを録画機器で記録できるように処理すること。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。初期化されたディスクの記録型式もフォーマットと呼びます（ビデオ、VR、+VR、データなど）。

ブラビアプレミアムフォト（99）
写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。「ブラビアプレミアムフォト」に対応したソニー製機器同士の組み合わせで、写真をフルハイビジョン高画質でお楽しみいただけます。人肌や花びらの繊細な描写、砂浜や波の質感など、美しいフォト画質を大画面でお楽しみいただけます。

ブラビアリンク
ハイビジョンテレビ<ブラビア>付属のリモコンで、本機を簡単に操作できます。また、2.4GHzの無線通信による「マルチリモコン」からの操作にも対応しているので、リモコンをブルーレイディスクレコーダー本体に向けずに操作できます。

フレーム
映像を構成する1コマ1コマのこと。映像は1秒間に30枚の静止画で構成されています。

プレイリストタイトル（114）
HDDやBD-RE、BD-Rに録画したタイトルをもとに作る仮想映像。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報のみを持ちます。プレイリストを消去してもオリジナルに影響はなく、HDDやBD、DVDの残量が少ないときでも新しくタイトルを作って、編集を楽しむことができます。

プログレッシブ（順次走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド映像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの映像で表示する方法。
従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できます。

ブロードバンド
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドといわれるものにはFTTH（光）、CATV、ADSLなどの回線があります。

分配器
入力の信号を複数に分ける機器。ただし信号を分けることにより信号のレベルが小さくなります。

分波器
VHF/UHF、BSなどが合成された信号を入力すると、それぞれの異なる信号に分けて出力する機器。

ポップアップメニュー（85）
BD-ROMを再生中に、再生を継続させながらメニューを表示させる機能のことです。再生画面を見ながら、チャプターや音声、字幕の変更や設定などが行えます。

リニアPCM（201）
音声信号の符号化方式のひとつで、圧縮と伸張による音声劣化が発生しない方式です。

臨時放送
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号のマルチチャンネル放送を利用した放送。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

録画モード（238）
ビデオカセットレコーダーの録画モード（標準録画や3倍録画）などと同じように、本機には複数の録画モードがあります。
高画質になればなるほど、録画に使用するデータ量が多くなるため、記録時間が短くなります。ERやLRなどのモードを選ぶと、録画に使用するデータ量が少ないため長時間録画できます。

数字順／アルファベット順

24p True Cinema（91）
映画フィルムは毎秒24コマで撮影されていますが、テレビ画面では毎秒60コマに変換されて表示されるため、映画本来の表現とは異なるものになります。24p True Cinemaに対応するテレビとプレーヤーを接続すると、映画フィルムと同じ毎秒24コマで表示され、映画の質感そのままでお楽しみいただけます。

AAC
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式。「アドバンスド・オーディオ・コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

次のページにつづく⇨

AACS
「アドバンスド・アクセス・コンテント・システム（Advanced Access Content System）」の略。この技術により、デジタル放送番組もBD-REやBD-Rに記録できます。

ADSL
非対称デジタル加入者回線（Asymmetric Digital Subscriver Line）の略。
ブロードバンド回線の一つ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用しますが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ転送が可能です。

AVCHD（12）
高度な圧縮技術により、1080i*[1]または720 p *[2]のHD（ハイビジョン）映像を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格。映像の圧縮にはMPEG-4AVC/H.264方式、音声の圧縮にはドルビーデジタルまたはリニアPCMが用いられます。MPEG-4AVC/H.264方式は、従来の圧縮方式に比べて高い圧縮符号化効率を持ちます。

*1 有効走査線数が1080本で、表示方式はインターレース方式
*2 有効走査線数が720本で、表示方式はプログレッシブ方式

B-CASカード（デジタル放送用ICカード）
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだもの。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶される。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BD (Blu-ray Disc)（12）
大容量データの保存やハイビジョン映像の記録・再生を目的として開発されたディスクフォーマット。BDは片面1層のディスクで25GBまでのデータを記録できます。

BD-J（86）
双方向操作を可能とするためにBD-ROMフォーマットではJavaをサポートしています。
“BD-J”と呼ばれるJavaアプリケーションは、コンテンツ制作者がBD-ROMタイトル用に双方向コンテンツを作る上で自由度の高い機能を提供しています。

BD-R (Blu-ray Disc Recordable)（12）
一度だけ記録可能なBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切なデータの保存や映像素材の保管・配布に使用できます。

BD-RE (Blu-ray Disc Rewritable)（12）
何度も書き換えが可能なBD。上書き可能なため、さまざまな編集や、テレビ番組の録画などに適しています。

BD-ROM (Blu-ray Disc Read-Only)（12）
映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。映像の記録はMPEG2に加えて、新世代コーデックMPEG4 AVCやSMPTE VC-1に対応。また音声では最大8chのサラウンド音声を収録可能で、今までにない迫力の映像と音声をお楽しみいただけます。

D映像信号
D映像入力端子付きテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な映像となる。D映像出力端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子があります。
- D1端子：525i（480i）の信号
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称です。

DLNA（103）
デジタルリビングネットワークアライアンス（Digital Living Network Alliance）の略。DLNAに対応したパソコンやデジタル家電どうしをネットワークで接続すると、メーカーを問わず、動画・音楽・写真を家中のどの部屋からも楽しめるようになります。DLNAとは、こうした互換性の高い家庭内ネットワークを実現するためのガイドラインです。詳しくは、http://www.dlna.org/jp/homeをご覧ください。

DTCP-IP (Digital Transmission Content Protection - Internet Protocol)
デジタル伝送時に使用する著作権保護技術のこと。これに対応した機器同士でないと著作権者などによって複製を制限されているタイトルをネットワーク上に流すことができない。

DTS（201）
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力されます。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

DTS-HD High Resolution Audio (91)
デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタルサラウンドフォーマット。最大96 kHzのサンプリング周波数、7.1チャンネルのマルチチャンネルサラウンドに対応します。非可逆圧縮で記録された音声を、最大6Mbpsのビットレートで転送します。

DTS-HD Master Audio (91)
可逆圧縮で記録された音声を最大24.5Mbpsのビットレートで転送します。また、最大192 kHzのサンプリング周波数、7.1チャンネルのマルチチャンネルサラウンドに対応します。

DVDビデオ（12）
CDと同じ直径で最大6時間までの動画が記録できるディスク。片面1層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。

DVD-RW（12）
DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスク。DVD-RWには、ビデオモード、VRモードという2つの記録モードがあります。ビデオモードは、DVDビデオフォーマットと互換

性があるモード。VR（ビデオレコーディング）モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能です。

DVD+RW（12）

DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスク。DVD+RWは、DVDビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用しています。

EPG（42）

「エレクトロニック・プログラム・ガイド（Electronic Program Guide）」の略で、放送局から送信される番組表（タイトルや番組説明、放映時間など）のこと。

GB

ギガバイトと読みます。HDDやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

HDリアリティエンハンサー（HDMI）（101）

再生中の映像信号をリアルタイムに画素ごとに解析し、最適な処理を施して、映像の質感や解像感を高める、ソニー独自の技術です。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

パソコン用ディスプレイなどで使用されているDVI（Digital Visual Interface）規格を拡張した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格。
映像と音声を1つのケーブルで、信号がデジタルのまま、劣化することなく伝送できます。デジタル映像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCP*にも対応しています。

* HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）：デジタル映像信号の暗号化方式で、HDMIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムです。

HDV（HDV規格）（148）

DVテープにハイビジョン映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式。本機は、有効走査線数1080本のインターレース方式（1080i方式）の信号に対応しています。
HDV規格の記録機能を搭載したデジタルビデオカメラとi.LINKで接続すれば、撮影したハイビジョン映像を、そのままの画質で、HDDにダビングできます。

IPアドレス（アイピーアドレス）（208）

TCP/IP（伝送制御プロトコル／インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。通常は、3桁の数字4組を点で区切って表示されます。
例：「192.168.139.105」など

JPEG（98）

静止画のファイル形式の一つ。他のファイル形式よりも画質の劣化を抑えて、ファイル容量を少なくできます。

LAN（208）

ケーブルや光ファイバーや無線などを使って、周辺機器や他の機器を接続し、データをやり取りする同じ建物やフロア内のみのネットワーク。社内や学校内、家庭内など、一定範囲内のネットワークのことです。

LTH（Low to High）（235）

有機色素系BD-Rに対応した記録方式。

MACアドレス（マックアドレス）（204）

LAN上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号。ケーブルテレビ会社によっては、本機のMACアドレスの届出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは、[本体設定]の[本体情報]で確認できます。

PCM（201）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式。「パルス・コード・モジュレーション（Pulse Code Modulation）」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

SBM（Super Bit Mapping）（200）

人間の視覚特性を考慮して、8ビットの映像信号に14ビット相当の情報量を伝達して通常よりもより滑らかな諧調表現を可能にするソニー独自の技術です。

VRモード（12、235）

DVDフォーラムが映像のリアルタイム記録用として策定したもの。DVD-RW、DVD-R、DVD-RAMで用いられており、記録したデータを任意の位置で分割できるという特長があります。
著作権保護がかけられたデジタル放送をダビングするにはVRモードを選んでください。

x.v.Color（200）

動画色空間規格の国際規格のひとつ「xvYCC」に対応した機器に付す名称としてソニーが提案している商標です。従来より広い色域を再現でき、赤、青、緑はもちろん、赤紫の花の色や、複雑に変化する美しい海の青色など、自然界の色を鮮やかに、リアルに再現します。

索引

アイコン別索引

ホームメニューを表示する(17ページ)

アイコン	説明	ページ
(BDアイコン)	ホームメニューのXMB（クロスメディアバー）が表示されている状態	17

番組表(45、46、50ページ)

アイコン	説明	ページ
I	これ以上録画予約ができない時間帯に表示	45、46、50
●(赤)	録画中の番組	45、46、50
⏻(赤)	録画予約されている番組	45、46、50
⏻(灰)	予約の一部が録画できない番組	45、46、50
¥	有料番組	45、73

番組説明(46ページ)

アイコン	説明	ページ
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組	46
録画不可	コピー制御信号により、録画できない番組	46
¥	有料番組	45、73
(鍵アイコン)	視聴年齢制限付き番組	30、205
(字幕アイコン)	字幕放送	30、45
d	テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送	31
HD	デジタルハイビジョン信号	46
SD	標準テレビ信号	46
ラジオ	ラジオ放送	31

お気に入り番組表一覧(51ページ)

アイコン	説明	ページ
(★アイコン)	本機がおすすめする番組が登録されたもの	51
(灰)	お気に入りの条件が設定されていないもの	51
(白)	自分で設定した条件で登録されたもの	51
(青)	あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って登録されたもの	51

x-おまかせ・まる録設定一覧(59ページ)

アイコン	説明	ページ
★(緑)	デジタルおすすめ アナログおすすめ	59
★	スカパー！ｅ２　おすすめ	59
☆(白)	自分で設定した録画条件	59
★(青)	プリセットキーワードの録画条件	59
★(灰)	条件が設定されていないもの	59

予約リスト(72ページ)

アイコン	説明	ページ
HDD ⏻	HDDへの録画予約	73
BD ⏻	BDへの録画予約	73
HDD ⇢⏻	HDDへのリモート／ネットワーク録画予約	70、71
BD ⇢⏻	BDへのリモート／ネットワーク録画予約	70、71
録画1 録画2	「録画1」、「録画2」のどちらで録画するか表示	37、43
DRなど	録画時の録画モード	39、238
毎週	毎週、録画を行う	43、54
月-金	平日の5日間連続で録画を行う	43、54
月-土	土曜日を含めた6日間連続で録画を行う	43、54
毎日	毎日録画を行う	43、54
番組名	同じ番組名の録画を行う	43
(重複アイコン)	複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組	74

アイコン	説明	ページ
●(赤)	録画予約した番組を録画しているときに表示	73
●(青)	同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画可能	73
●(灰)	録画不可 録画先に設定されたディスクが残量不足、または他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。録画可能にするには、タイトルを削除するなどして容量を空けてください。 録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。また、番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合にも表示されます。	73
⚠	対象番組なし 予約に該当する番組を追跡できない可能性がある場合に表示	73
GG	地上アナログ放送の番組表から録画予約した場合に表示	46
¥	有料番組	45、73
	(更新) 更新録画予約に設定されている場合に表示	55、73

予約情報(73ページ)

予約情報は、予約リストを表示中に オプション を押して[情報表示]を選ぶと表示できます。

アイコン	説明	ページ
	録画先がHDDに設定されている場合に表示	73
●	録画先がBDに設定されている場合に表示	73
	リモート/ネットワーク予約の場合に表示	70
スポーツ	スポーツ延長自動対応機能によって、延長対象になった場合表示	75
コピー制限	コピー制限情報により、録画後のコピー回数が制限される番組	46
	視聴年齢制限付きの番組で、設定されている制限レベルに該当するため年齢制限を解除して予約したとき表示	30、205
	字幕がある番組のとき表示	30、45
d	連動データがある番組のとき表示	31
HD	デジタルハイビジョン信号の番組	73
SD	標準画質信号の番組	73

タイトルリスト、タイトル情報(84、85ページ)

タイトル情報は、タイトルリストを表示中に オプション を押して[情報表示]を選ぶと表示できます。

アイコン	説明	ページ
	他機器で再生できる画像タイトル	104
	"ウォークマン"などに高速でおでかけ転送が可能なタイトル	180
	"PSP"などに高速でおでかけ転送が可能なタイトル	180
録画1 録画2	「録画1」、「録画2」どちらで録画されたのかが表示	37、43
●(赤)	録画中	40
▶	再生中	84
●▶	追いかけ再生中	89
(ピンク)	HDDにダビング中のタイトル	84
(ピンク)	ディスクにダビング中のタイトル	84
(灰)	ディスクにダビング予定のタイトル	84
(ピンク)	おでかけ転送中のタイトル	84
(灰)	おでかけ転送予定のタイトル	84
	アクトビラからダウンロードしたタイトル	169
(ピンク)	アクトビラからダウンロード中のタイトル	169
(灰)	アクトビラからのダウンロード一時停止、または中断エラーのタイトル	169
	アクトビラからダウンロード中に追いかけ再生をしているタイトル	169
NEW	アクトビラからダウンロードされ、再生されていないタイトル	169
1	移動(ムーブ)可能なタイトル(コピー制御信号により、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクに1回だけダビングできるタイトル。ダビングするとHDDからは消去されるタイトルです)	131

次のページにつづく⇨

アイコン	説明	ページ
1➡ 10➡ 各種	ダビング可能回数2 ～ 10回のタイトル、ダビング可能回数1 ～ 9回のプレイリスト、またはアクトビラからダウンロードしたタイトル。数字の回数だけ、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクにダビングできます。ダビングすると数字が減り、ダビング可能回数に達すると、コピー制御信号によりHDDから消去されます。なお、アクトビラからダウンロードしたタイトルは、ダビング可能回数1回の場合にダビング(BDにのみ)やおでかけ転送をしてもHDDにタイトルが残ります。ただし、おかえり転送はできません。	84、131
DVD	CPRM対応のDVD-RW (VRモード)、DVD-R (VRモード)にのみ移動(ムーブ)可能なタイトル	131
	ダビングできないタイトル	84
NEW	再生されていないタイトル	84
PL	プレイリスト(オリジナルタイトルや他のプレイリストタイトルから作られた仮想映像)	84、114
★	x-おまかせ・まる録で録画されたタイトル。★の付いたタイトルで 🗑 が付いているタイトルは、HDDがいっぱいになったときに自動的に消去されます	59
☆NEW (金)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない番組の中でおすすめ度が高いもの	84
☆NEW (青)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない番組	84
e2	x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルで、「スカパー!e2 おすすめ」のもの	84
e2 NEW (金)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない「スカパー!e2 おすすめ」番組の中でおすすめ度が高いもの	84
e2 NEW (青)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない「スカパー!e2 おすすめ」番組	84
DR など	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER)	39、238
	(更新) 更新録画したタイトル	55、73
	(プロテクト) 保護されたタイトル	109
🗑	xおまかせ・まる録で録画され、自動消去対象となっているタイトル。プロテクトを設定したり、編集をすると、自動消去対象から外れます	84
パック	アクトビラからパック購入したタイトル	170
x-Pict Story	x-Pict Story HDで作成したタイトル	161
	視聴年齢制限付きタイトル	88、205

タイトルリスト-マーク(95ページ)

アイコン	説明	ページ
	マーク1	95
	マーク2	95
	マーク3	95
	マーク4	95
	マーク5	95
	マーク6	95
	マーク7	95
	マーク8	95
	マーク9	95
	マーク10	95
	マーク11	95
	マーク12	95
	マーク13	95
	マーク14	95
	マーク15	95
	マーク16	95
	マーク17	95
	マーク18	95
	マーク19	95
	マーク20	95
	マーク21	95
	マーク22	95
	マーク23	95

アイコン	説明	ページ
	マーク24	95
	マーク25	95
	マーク26	95
	マーク27	95
	マーク28	95
	マーク29	95
マークなし	マークを表示したくないときに選択します。	95

写真の一覧(98ページ)

アイコン	説明	ページ
JPG	JPEGの写真データ	98

タイトルダビング(133ページ)

アイコン	説明	ページ
NEW	再生されていないタイトル	84
PL	プレイリスト(オリジナルタイトルや他のプレイリストタイトルから作られた仮想映像)	114
DR など	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER)	39、238
GG	Gガイドの番組情報が含まれている、地上アナログ放送の番組タイトル	46
	移動(ムーブ)可能なタイトル(コピー制御信号により、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクに1回だけダビングできるタイトル。ダビングするとHDDからは消去されるタイトルです)	131
各種	ダビング可能回数2 ～ 10回のタイトル、ダビング可能回数1 ～ 9回のプレイリスト、またはアクトビラからダウンロードしたタイトル。数字の回数だけ、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクにダビングできます。ダビングすると数字が減り、ダビング可能回数に達すると、コピー制御信号によりHDDから消去されます。なお、アクトビラからダウンロードしたタイトルは、ダビング可能回数1回の場合にダビング(BDにのみ)やおでかけ転送をしてもHDDにタイトルが残ります。ただし、おかえり転送はできません。	84、131

アイコン	説明	ページ
	CPRM対応のDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)にのみ移動(ムーブ)可能なタイトル	131
	ダビングできないタイトル	135
	(更新) 更新録画したタイトル	55、73
	(プロテクト) 保護されたタイトル	109
	xおまかせ・まる録で録画され、自動消去対象となっているタイトル。プロテクトを設定したり、編集をすると、自動消去対象から外れます	84

ダウンロード管理画面、ダウンロード詳細情報(169ページ)

ダウンロード詳細情報は、ダウンロード管理画面表示中にタイトルを選んで 決定 を押すと表示できます。

アイコン	説明	ページ
(ピンク)	アクトビラからダウンロード中のタイトル	169
	ダウンロードを一時停止しているタイトル	169
	ダウンロードエラーのタイトル 本機のHDDの容量が不足している、または保存できるタイトル数が上限に達している場合、ダウンロードできません。 またネットワークの中断や、ダウンロード期限が過ぎている場合にもエラーとなります	169
パック	アクトビラからパック購入したタイトル	169
	視聴年齢制限付きタイトル	169、206

メール(190ページ)

アイコン	説明	ページ
	すでに読んだメール	190
	まだ読んでいないメール メールはお客様自身で削除できません	190

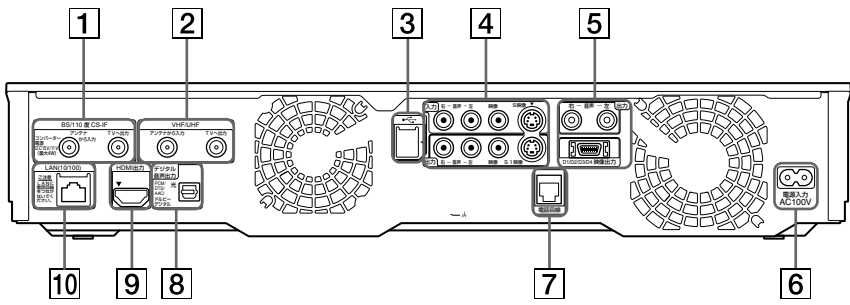
各部の名前

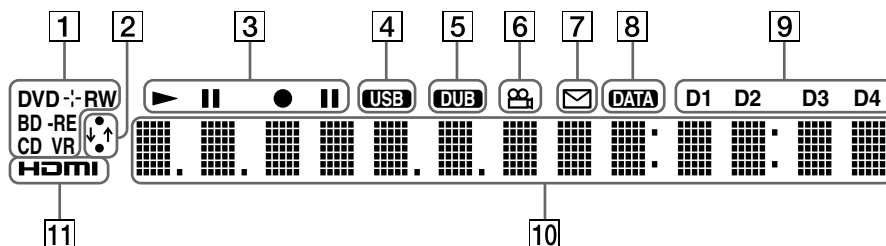
本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
*のボタンには凸(突起)が付いています(チャンネル+／－ボタンは「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。
各部の説明は(　)内のページをご覧ください。

本体

本体前面

1 I/⏻（電源）ボタン
2 ►（再生）*ボタン(84)
■（停止）ボタン(84)
録画●ボタン(40)
録画停止■ボタン(41)
録画モードボタン(40)
入力切換ボタン(66、68、69、151)
チャンネル－／+*ボタン(29)
3 ディスクトレイ(84、120)
4 HDV1080i/DV入力端子(148)
5 ⏏（開／閉）ボタン(84、120)
6 ワンタッチ転送ボタン／ランプ(184)
7 USB端子(98、150、152、180、184)
8 リモコン受光部
9 アクトビラダウンロードランプ(169)
10 表示窓(257)
11 HDD録画1ランプ(38)
HDD録画2ランプ(38)
12 ディスク録画ランプ(38)
13 録画予約ランプ(42)
14 D1/D2/D3/D4切換ボタン
15 B-CASカード挿入口

本体後面

1 BS/110度CS-IF入力／出力端子
2 VHF/UHF入力／出力端子
3 USB端子(98、150、152、180、184)
4 入力 音声／映像／ S映像端子
出力 音声／映像／ S1映像端子
5 音声出力 右／左端子
D1/D2/D3/D4 映像出力端子
6 電源入力端子
7 電話回線端子
8 デジタル音声出力 光端子
9 HDMI出力端子
10 LAN（10/100)端子

本体表示窓

1 BD/DVD/CD表示(種類、記録フォーマット)(12)
BDとDVD(またはCD)のハイブリッドディスクの場合は、BDを表示します。

2 通信表示
LANや電話回線で通信中であることを表示します。

3 HDD/BD/DVD再生記録表示(40、42、84)
それぞれのディスクの再生/記録動作を表示します。

4 USB表示(98、150、152、180、184)
USB機器接続時/おでかけ転送ファイル作成時に点灯、ダビング時/おでかけ・おかえり転送時に点滅します。

5 ダビング表示(133、180)
ダビング中/おでかけ・おかえり転送中に点灯します。

6 ANGLE(アングル)表示(88)

7 お知らせ(メール)表示(190)
未読メールがあるときに点灯します。

8 番組表受信表示

9 D映像出力表示

10 主に次の情報を表示します。
タイトル/チャプター/トラック番号表示(87、90、97)
再生経過時間/残量時間表示(84、88)
録画経過時間表示(40)
録画モード(40)
ダビング/おでかけ・おかえり転送進捗状況表示(133、180)
現在日時(203)
BS/CS/チャンネル/外部入力表示
BD/DVD/CD表示
各種メッセージ表示
リモコンモード

11 HDMI表示
HDMIケーブルで本機に接続された機器が、本機によって認識されている時に点灯します。

ちょっと一言

表示窓の明るさを設定できます。の[本体設定]―[本体表示の明るさ]で設定してください(203ページ)。

表示窓の表示文字

使用状況によって表示される内容は異なります。下記は表示窓に表示される文字の一例です。

状況	表示
ビデオカテゴリーを選んだとき	HOME VIDEO
ディスク読み込み中のとき	LOAD
起動などの処理中のとき	PLEASE WAIT
ディスクが入っていないとき	NO DISC
録画終了処理中のとき	INFO WRITE
ディスクフォーマット中のとき	FORMAT
ディスクがエラーで読み込めないとき	CAN'T USE
ソフトウェアアップデート実行中のとき *	UPDATE XX%
ファイナライズ中のとき	FINALIZE
ディスクのデータが一杯のとき	DISC FULL
BDクローズ中のとき	BD CLOSE
クイックタイマー動作中のとき*	HDD XXX

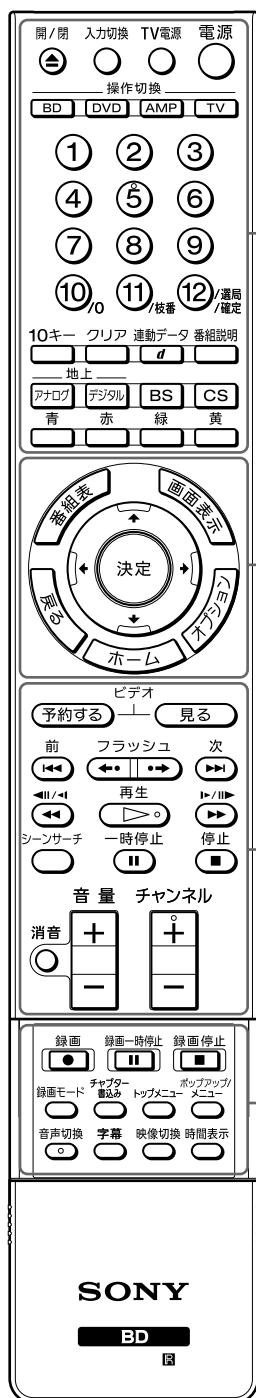
* XXには数字が表示されます。

次のページにつづく⇨

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。

＊のボタンには凸(突起)が付いています(数字ボタンは「５」のみ、チャンネル＋／－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

再生中に操作できるリモコンのボタンの詳細については、87ページをご覧ください。

A 表示切り換え・テレビ操作部

ボタン	機能
開/閉	**トレイ開／閉**（87）
入力切換	**入力切換**（66、68、69、151）
TV電源	**TV電源**（16）
電源	**電源**（16）
BD DVD AMP TV	**操作機器切換用ボタン**（226）
1～12	**数字ボタン***（29、30、63、122、158）
10キー	**10キー**（29）
クリア	**クリア**（63、90、108、110）
連動データ	**連動データ**（31）
番組説明	**番組説明**（46、47）
アナログ デジタル BS CS	**放送切換** **（地上アナログ／地上デジタル／ BSデジタル／ 110度CSデジタル）**（29）
青 赤 緑 黄	**カラーボタン**（45、47、63、92）

B 画面操作部

ボタン	機能
番組表	**番組表**（42）
画面表示	**画面表示**（93、157）
戻る	**戻る**（18）
↑↓←→／決定	**↑↓←→ ／決定**（18）
オプション	**オプション**（18）
ホーム	**ホーム**（17）

C 再生操作部

ボタン	機能
予約する	**予約する**（20、42）
見る	**見る**（21、84）
フラッシュ	**フラッシュ ←/→**（87）
前 次	**前／次**（87）
◀II/◀I I▶/II▶	**早戻し／早送り、コマ戻し／コマ送り、スロー**（87）
再生	**再生***（84）
シーンサーチ	**シーンサーチ**（89）
一時停止	**一時停止**（88）
停止	**停止**（84）
消音	**消音**
音 量 ＋／－	**音量＋／－**
チャンネル ＋／－	**チャンネル＋* ／－**（192）

D 録画・BD・テレビ操作部

ボタン	機能
録画	**録画**（40）
録画一時停止	**録画一時停止**（69）
録画停止	**録画停止**（40）
録画モード	**録画モード**（40）
チャプター書込み	**チャプターマーク書込み**（90）
トップメニュー	**トップメニュー**（88）
ポップアップ/メニュー	**ポップアップ／メニュー**（88）
音声切換	**音声切換***（30）
字幕	**字幕**（30）
映像切換	**映像切換**（30）
時間表示	**時間表示**（88）

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

次のページにつづく⇨

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字

アルファベット

索引

索引

ブルーレイディスクレコーダーホームページ

本機に関する様々な情報が確認できます。
操作情報などについて知りたいときは、以下のホームページの「活用ガイド」、「ファーストステップガイド」をご覧ください。
http://sony.jp/bd/

ブルーレイディスクレコーダーに関する情報を携帯電話からもご覧いただけます。
右記QRコードからアクセスしてください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「100」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-137-923-**01** (1)

この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。

Printed in Japan